# もくじ


EPSON Scan の起動方法 ..... 7
EPSON Scan を単独起動 ..... 7
TWAIN 対応アプリケーション から起動 ..... 9
スキャナビボタンを使って起動（Windows NT4.0 を除く） ..... 10
取り込みモードの選択方法 ..... 12
モードの特長 ..... 12
ホームモード ..... 12
オフィスモード ..... 12
プロフェッショナルモード ..... 12
モードの切り替え方法 ..... 12
取り込み設定を保存する方法 ..... 14
取り込み設定を保存する ..... 14
保存した設定を利用して取り込む ..... 14
取り込み設定を削除する ..... 15
取り込み枠の調整方法 ..... 16
取り込み枠をマウスで指定する ..... 16
出力サイズを指定して取り込み枠を作成する ..... 16
取り込み枠を広げる、狭める ..... 17
取り込む位置を変更する ..... 17
取り込んだ画像の保存方法 ..... 18
EPSON Scan を単独起動した場合 ..... 18
TWAIN 対応アプリケーションで保存する場合 ..... 18
画像ファイル形式について ..... 20


## 目的別の取り込み方法


目的別お勧めモード ..... 21


## 目的に応じた画像サイズで取り込もう


拡大／縮小を設定できるモード ..... 23
モードによる拡大／縮小の設定の違い ..... 23
拡大／縮小の設定方法 ..... 24
ホームモードの場合 ..... 24
サムネイル表示の場合 ..... 25
通常表示の場合 ..... 25
プロフェッショナルモードの場合 ..... 26
ユーザー定義サイズの作成方法 ..... 28
拡大／縮小と解像度の関係 ..... 30
縦横比が同じ原稿の拡大／縮小率 ..... 30
縦横比が違う原稿の拡大／縮小率 ..... 30


## 写真をきれいに取り込もう


画像をシャープにする方法 ..... 32
解像度を上げるときれいになる？ ..... 34
用途に応じた解像度 ..... 34
48bit カラーを選ぶときれいになる？（ES-2200/8500） ..... 35
見た目に違いは分からない ..... 35
では何が違うのか ..... 35
48bit 入力の利用の仕方 ..... 36
画質調整を使い慣れたフォトレタッチソフトで行う場合に利用 ..... 36
元々品質が悪い原稿を取り込む場合に利用 ..... 36
明暗を簡単に調整する方法 ..... 37
明るさ／コントラストの調整 ..... 37
明るさを調整した例 ..... 38

コントラストを調整した例 38
明暗を厳密に調整する方法 39
ヒストグラムを使って調整する 39
調整を始める前に 39
お勧めの調整方法 40
さらに微妙な調整をするには 43
濃度補正 43
シャドウ部／ハイライト部の階調補正 43
メリハリをつけた調整をする方法 44
濃度を調整する方法 46
シャドウ部／ハイライト部の階調を調整する方法 48
モアレ（網目状の陰影）を取り除く方法 49
それでもモアレが目立つときは 50
おかしな色かぶりを取り除く方法 51
より色鮮やかに取り込む方法 54
全体的な色あいを変えて取り込む方法 57
シアン－赤 を調整した場合の例 58

## 原稿に最適な設定で取り込もう

文字原稿／線画の取り込みに適した設定 59
文字／線画の取り込み手順 59
文字や線画がかすれたりつぶれる場合は 60
それでも認識率が向上しないときは 61
カラーのビジネス文書に適した設定 62
カラー書類の取り込み手順 62
新聞・雑誌の取り込みに適した設定 64
お勧めのモード 64
新聞・雑誌の取り込み手順 64
ホームモードの場合 64
プロフェッショナルモードの場合 65

## 便利な取り込み方法

原稿台より大きい原稿を分割して取り込もう 66
分割して取り込む方法 66
原稿のおよそ半分を取り込む 66
残りのおよそ半分を取り込む 68
画像を貼り合わせる 69
複数の原稿を連続して取り込もう 71
複数の領域を指定して一気に取り込む 71
サムネイル表示の場合 71
通常表示の場合 72
フィルムをインデックス画像として取り込もう（ES-2200/8500） 74
インデックスを作る方法（サムネイル表示の場合） 74
サムネイルを作る方法（通常表示の場合） 77
スキャナの最高画質で取り込もう 81
大量の原稿をスピーディに取り込もう 83
原稿の全領域を連続して取り込む場合 83
原稿の一部分を連続して取り込む場合 84

## トラブル対処方法

スキャナのエラー表示 87
電源がオンにならない 89
電源オンでエラーが出る 90
スキャナが認識されない（SCSI） 91

それでもダメな時は ........ 93
**SCSI ボードが認識されない時は（NT を除く）........ 94**
SCSI ボードがプラグ & プレイに対応している場合 ........ 94
SCSI ボードがプラグ & プレイに対応していない場合 ........ 94
**スキャナが認識されない（USB）........ 95**
**プレビュー画像の色がおかしい ........ 96**
**画像がぼけている・細部が良く見えない・ゆがんでいる ........ 98**
**点がいくつか現れるだけで画像にならない ........ 100**
**画像が暗い、原稿の裏面が取り込んだ画像に写ってしまう ........ 101**
**画像にモアレ（網目状の陰影）が生じる ........ 102**
**画像にむらやシミ、斑点が出る ........ 103**
**画像が画面に大きく表示される ........ 104**
**画像の色がセットした原稿と違う ........ 105**
**文字原稿の認識率が良くない ........ 106**
**ディスプレイと印刷結果の色が合わない ........ 107**
**サムネイルプレビューでコマが正常に切り出されない ........ 108**
**透過原稿ユニット使用時のトラブル（ES-8500）........ 109**
透過原稿ユニットを取り付け、電源オンでエラーが出る ........ 109
フィルムの取り込みで画像がおかしい ........ 109
フィルムの取り込みで色付きの縞模様が生じる ........ 110
［原稿種］または［取込装置］を選択できない ........ 111
**透過原稿ユニット使用時のトラブル（ES-2200）........ 112**
透過原稿ユニットを取り付け、電源オンでエラーが出る ........ 112
フィルムの取り込みで画像がおかしい ........ 112
フィルムの取り込みで色付きの縞模様が生じる ........ 113
［原稿種］または［取込装置］を選択できない ........ 113
**ADF 使用時のトラブル（ES-6000HS/8500/9000H）........ 114**
ADF から給紙した原稿に傷が付く ........ 114
ADF から取り込んだ画像が上下にズレる ........ 114
［原稿種］または［取込装置］を選択できない ........ 114
**ADF で原稿が詰まった時は（ES-6000HS/8500/9000H）........ 115**
給紙口で詰まった場合 ........ 115
排紙口で詰まった場合 ........ 115
原稿が破れて取り出せなくなった場合は ........ 116
**ADF 使用時のトラブル（ES-2200）........ 117**
ADF から取り込んだ画像がおかしい ........ 117
［原稿種］または［取込装置］で ADF を選択できない ........ 117
**ADF で原稿が詰まった時は（ES-2200）........ 118**

## オプションの使い方

**オプションの紹介 ........ 119**
スキャナ用オプション ........ 119
ES-8500 用透過原稿ユニット ........ 119
ES-2200 用透過原稿ユニット ........ 119
フィルムホルダ（ES-2200/8500 共通）........ 120
ES-6000HS/8500/9000H 用オートドキュメントフィーダ ........ 120
ES-2200 用オートドキュメントフィーダ ........ 120
コンピュータ接続用オプション ........ 121
SCSI ケーブル ........ 121
USB ケーブル（型番：USBCB2）........ 121
IEEE1394 I/F カード（型番：ES20FWIFS）........ 121
システム条件について ........ 121
IEEE1394 接続での取り込み速度について ........ 122
複数のインターフェイスでの接続について ........ 122
コピーユニット ........ 122
型番：CS-6800 ........ 122
ネットワーク接続用オプション ........ 122

ネットワークスキャニングボックス ..... 122
概仕様 ..... 122
ネットワークスキャン機能とは ..... 123
サーバスキャン機能とは ..... 123
**透過原稿ユニットの取り付け（ES-8500） ..... 124**
輸送用固定ネジの取り外し ..... 124
スキャナへの取り付け ..... 124
透過原稿ガイドの取り付け ..... 126
**使用できるフィルム（ES-8500） ..... 128**
サムネイル表示で認識できるフィルムとセット方法 ..... 128
認識できるフィルム ..... 129
セット方法 ..... 129
**透過原稿のセット方法（ES-8500） ..... 130**
35mm ストリップフィルムのセット ..... 130
35mm スライドフィルムのセット ..... 131
120/220 フィルムのセット ..... 132
4 × 5 インチフィルムのセット ..... 134
8 × 10 インチなどの大きなフィルムのセット ..... 135
**透過原稿の取り込み方法（ES-8500） ..... 137**
透過原稿の取り込み ..... 137
フィルムの取り込みで色の付いた縞模様が生じる時は ..... 138
取り込み時のご注意 ..... 138
透過原稿ガイドの角度調整機能について ..... 139
反射原稿の取り込み ..... 139
**透過原稿ユニットの取り付け （ES-2200） ..... 141**
輸送用固定ネジの取り外し ..... 141
スキャナへの取り付け ..... 142
**使用できるフィルム（ES-2200） ..... 145**
サムネイル表示で認識できるフィルムとセット方法 ..... 145
認識できるフィルム ..... 146
セット方法 ..... 146
**透過原稿のセット方法（ES-2200） ..... 147**
35mm ストリップフィルムのセット ..... 147
35mm スライドフィルムのセット ..... 148
120/220 フィルムのセット ..... 149
4 × 5 インチフィルムのセット ..... 151
8 × 10 インチなどの大きなフィルムのセット ..... 153
**透過原稿の取り込み方法（ES-2200） ..... 154**
透過原稿の取り込み ..... 154
フィルムの取り込みで色の付いた縞模様が生じる時は ..... 155
取り込み時のご注意 ..... 155
反射原稿の取り込み ..... 156
**ADF の取り付け（ES-6000HS/8500/9000H） ..... 157**
**ADF への原稿のセット方法（ES-6000HS/8500/9000H） ..... 162**
ADF で使用できる原稿 ..... 162
セットの仕方 ..... 162
原稿のセット方向 ..... 163
**ADF からの取り込み方法（ES-6000HS/8500/9000H） ..... 164**
原稿の全領域を連続して取り込む場合 ..... 164
原稿の一部分を連続して取り込む場合 ..... 164
**ADF の取り外し（ES-6000HS/8500/9000H） ..... 165**
**ADF の取り付け（ES-2200） ..... 167**
**ADF への原稿のセット方法（ES-2200） ..... 169**
ADF で使用できる原稿 ..... 169
セットの仕方 ..... 169
**ADF からの取り込み方法（ES-2200） ..... 171**
原稿の全領域を連続して取り込む場合 ..... 171
原稿の一部分を連続して取り込む場合 ..... 171
**IEEE1394 I/F カードの取り付け ..... 172**

## ソフトウェア関連情報


**EPSON Scan のシステム条件 ... 173**
Windows ... 173
Macintosh ... 173
**EPSON Scan の削除方法 ... 175**
Windows 98 / Me の場合 ... 175
Windows NT/2000/XP の場合 ... 176
Macintosh の場合 ... 178
**最新スキャナソフトウェアの入手方法 ... 181**
入手方法 ... 181


## その他の情報


**日常のお手入れ ... 182**
本体の清掃 ... 182
蛍光ランプ ... 182
故障の時 ... 182
**移動時のご注意（ES-6000HS/8500/9000H） ... 183**
**移動時のご注意（ES-2200） ... 185**
**基本仕様（ES-6000HS） ... 186**
ハードウェア基本仕様 ... 186
電気的特性 ... 187
適合規格 ... 187
耐電気ノイズ ... 187
環境条件 ... 187
使用条件 ... 187
原稿条件 ... 187
**基本仕様（ES-8500） ... 188**
ハードウェア基本仕様 ... 188
電気的特性 ... 189
適合規格 ... 189
耐電気ノイズ ... 189
環境条件 ... 189
使用条件 ... 189
原稿条件 ... 189
**基本仕様（ES-9000H） ... 190**
ハードウェア基本仕様 ... 190
電気的特性 ... 190
適合規格 ... 191
耐電気ノイズ ... 191
環境条件 ... 191
使用条件 ... 191
原稿条件 ... 191
**基本仕様（ES-2200） ... 192**
ハードウェア基本仕様 ... 192
電気的特性 ... 193
適合規格 ... 193
耐電気ノイズ ... 193
環境条件 ... 193
使用条件 ... 193
原稿条件 ... 193
**コンピュータの TCP/IP 設定（Windows 95/98/Me） ... 194**
**コンピュータの TCP/IP 設定（Windows 2000/XP） ... 196**
**コンピュータの TCP/IP 設定（Windows NT4.0） ... 199**
**Windows 98 で SCSI ID（ボード）または USB ポートを変更する時は ... 202**
Windows 98 のバージョン確認 ... 202
変更手順 ... 202
**スキャナビボタンの設定 ... 203**
**ディスプレイの調整 ... 206**
書籍のご案内 ... 206

カラーマネージメントシステムについて ...... 207
カラーマネージメントシステムとは ...... 207
ICM ／ ColorSync を使用した取り込みから印刷までの手順 ...... 207

## サービス・サポートのご案内

サービス・サポートのご案内 ...... 209
エプソンインフォメーションセンター ...... 209
インターネットサービス ...... 209
ショールーム ...... 209
パソコンスクール ...... 209
保守サービス ...... 209
MyEPSON のご案内 ...... 210
すでに「MyEPSON」に登録されているお客様へ ...... 210
修理に出すときは ...... 211
保証書について ...... 211
保守サービスの受付窓口 ...... 211
保守サービスの種類 ...... 211
インターネット FAQ のご案内 ...... 213

## 付録

用語集 ...... 214
本ガイドの見方／印刷方法 ...... 219
本ガイドの内容をすべてご覧になりたいときは ...... 219
表示される文字サイズが小さいときは ...... 219
本ガイドを印刷するときは ...... 219
Macintosh で Internet Explorer4.5 で印刷する場合のご注意 ...... 219
本文中で使用している記号について ...... 220
各ボタン、ハイパーリンクについて ...... 220
商標・表記について ...... 221
商標について ...... 221
表記について ...... 221
EPSON Scan について ...... 221
索引 ...... 222
改定履歴 ...... 225

# EPSON Scan の起動方法

EPSON Scan の起動には、

- 自動的にファイル名を付けて保存できる単独起動
  「EPSON Scan を単独起動」7
- TWAIN 対応アプリケーション からの起動
  「TWAIN 対応アプリケーション から起動」9
- スキャナビボタンを使って起動（ローカル接続の場合のみ。Windows NT4.0 を除く）
  「TWAIN 対応アプリケーション から起動」9

の 3 つの起動方法があります。

## EPSON Scan を単独起動

EPSON Scan を単独起動する方法を説明します。単独起動で取り込んだ画像は、自動的にファイル名を付けて保存できます。

1. **EPSON Scan を起動します。**

   Windows の場合は、［スタート］-［すべてのプログラム］（または［プログラム］）-［EPSON Scan］-［EPSON Scan］をクリックします。

   ＜画面は Windows XP の場合＞

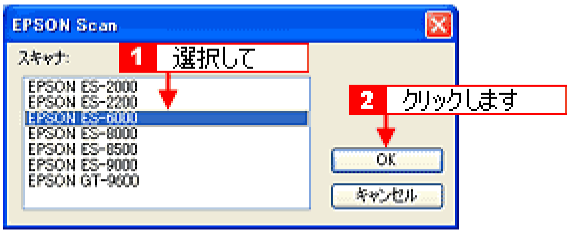



   Macintosh の場合は、アップルメニュー -［EPSON Scan］をクリックします。




2. **お使いの機種を選択して［OK］ボタンをクリックします。**

   EPSON Scan のインストール時に、複数機種を選択していない場合は、この画面は表示されません。手順 3 に進みます。



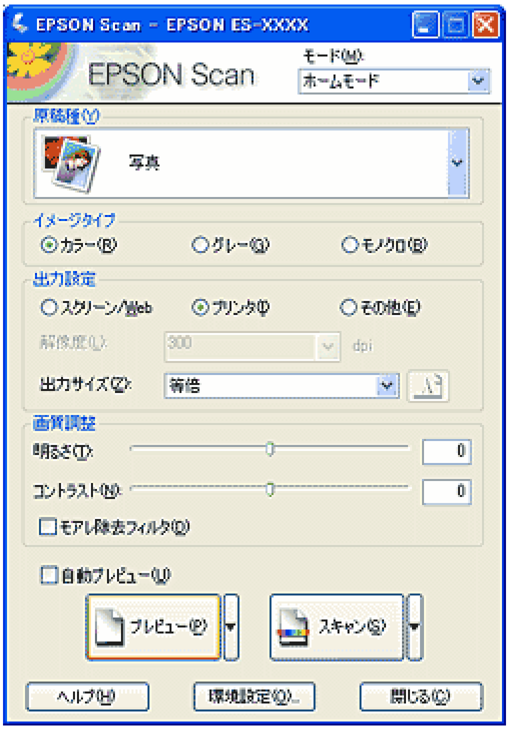

3. **EPSON Scan が起動し、[保存ファイルの設定] 画面が表示されます。**

**必要に応じて、[保存先]、[ファイル名]、[保存形式] を設定し、[OK] ボタンをクリックします。**




4. **EPSON Scan 画面が表示されます。**

EPSON Scan **を初めて起動した場合は、ホームモードが起動して自動的にプレビュー（仮取り込み）が実行されます。**




ホームモード画面

**ポイント**

- EPSON Scan には、ホームモード、オフィスモード、プロフェッショナルモードがあり、モードの切り替えが可能です。モードの切り替え方法やモードについての詳細は以下をご覧ください。
「取り込みモードの選択方法」12
- 簡単な画像の調整をしてから、手軽に取り込みたい方は、ホームモードの使用をお勧めします。ホームモードは、出版用途でなければ十分な品質が得られる最もお勧めのモードです。

## TWAIN 対応アプリケーション から起動

ここでは、市販の TWAIN 対応アプリケーション Adobe Photoshop Elements を例に、EPSON Scan を起動する方法を説明します。

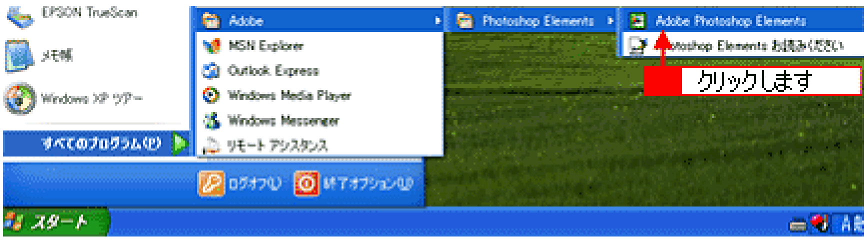
**ポイント**

Adobe Photoshop や Paint Shop Pro など、一般の TWAIN 対応アプリケーションからも EPSON Scan を起動することができます。一般的には、[ファイル] メニューの [読み込み] や [インポート] でスキャナ名を選択するか、[TWAIN 対応機器の選択] でスキャナ名を選択後、[TWAIN 対応機器からの入力] を選択します。詳しくは、お使いの TWAIN 対応アプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

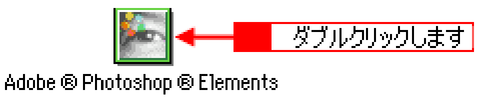
1. **Adobe Photoshop Elements を起動します。**

   Windows の場合は、[スタート] - [すべてのプログラム]（または [プログラム]）- [Adobe ] - [Photoshop Elements] - [Adobe Photoshop Elements] をクリックして起動します。

   ＜画面は Windows XP の場合＞

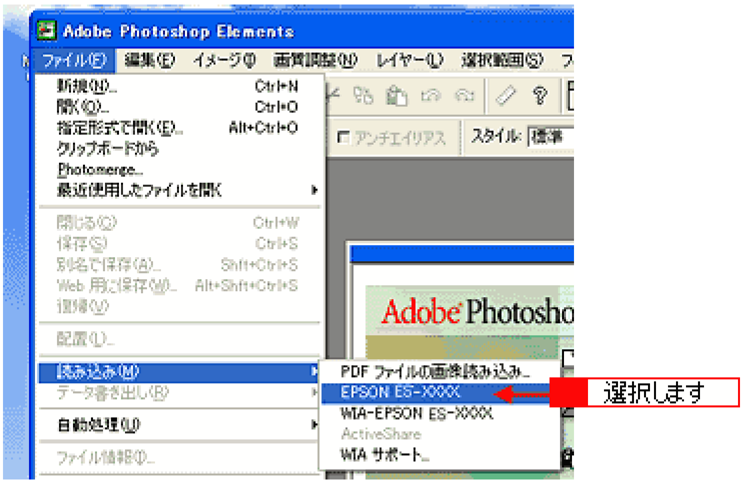



   Macintosh の場合は、[ハードディスク] - [Adobe Photoshop Elements] フォルダ - [Adobe Photoshop Elements] をダブルクリックして起動します。



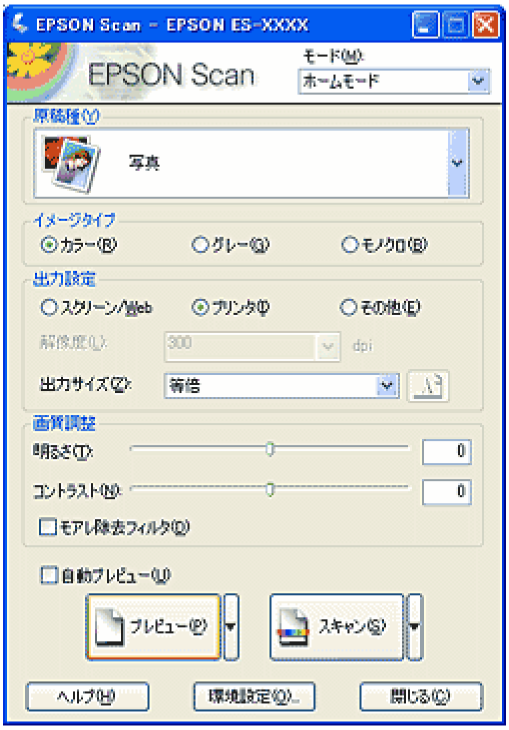

2. **[ファイル] メニュー - [読み込み] - [EPSON ES-XXXX] を選択します。**

   [WIA- EPSON ES-XXXX ] がある場合は選択しないでください。




3. **EPSON Scan が起動します。**

EPSON Scan を初めて起動した場合は、ホームモードが起動して自動的にプレビュー（仮取り込み）が実行されます。




ホームモード画面

**ポイント**

- EPSON Scan には、ホームモード、オフィスモード、プロフェッショナルモードがあり、モードの切り替えが可能です。モードの切り替え方法やモードについての詳細は以下をご覧ください。
  「取り込みモードの選択方法」12
- 簡単な画像の調整をしてから、手軽に取り込みたい方は、ホームモードの使用をお勧めします。ホームモードは、出版用途でなければ十分な品質が得られる最もお勧めのモードです。

## スキャナビボタンを使って起動（Windows NT4.0 を除く）

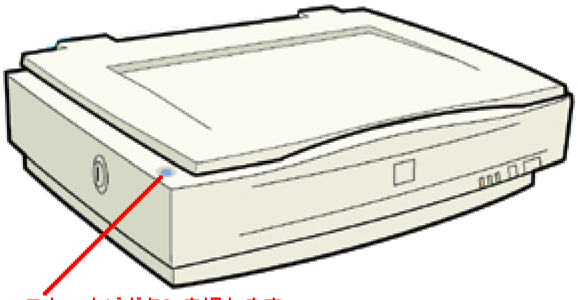
スキャナビボタンを使って EPSON Scan を起動する方法を説明します。

**ポイント**

- スキャナビボタンでの起動は、ローカル接続の場合のみです。
- Windows NT 4.0 ではスキャナビボタンは使用できません。単独起動または TWAIN 対応アプリケーション から起動してください。

1. **スキャナのスキャナビボタンを押します。**

EPSON Scan が自動的に起動します。下図は ES-8500 です。お持ちの機種によって、スキャナビボタンの位置は若干異なります。詳しくは、スタートアップガイドをご覧ください。
スタートアップガイド「各部の名称とはたらき」




**ポイント**

スキャナビボタンを押しても EPSON Scan が起動しない場合は、以下の参照先をご覧ください。
「スキャナビボタンの設定」203

# 取り込みモードの選択方法

EPSON Scan にはホームモード、オフィスモード、プロフェッショナルモードがあり、モードの切り替えが可能です。目的と用途に合わせて各種機能を活用してください。

ここでは、モードの特長とモードの切り替え方法を説明します。

## モードの特長

各モードの特長は以下のとおりです。

### ホームモード

簡単な設定で取り込むことができる、最もお勧めのモードです。出版用途でなければ、十分な品質が得られます。

### オフィスモード

文書ファイリングなど、同じサイズの原稿を速く大量に取り込みたい場合にお勧めします。定型サイズの用紙をプレビューせずに取り込めるため、ADF（オートドキュメントフィーダ）からの取り込みで、特にお勧めします。

### プロフェッショナルモード

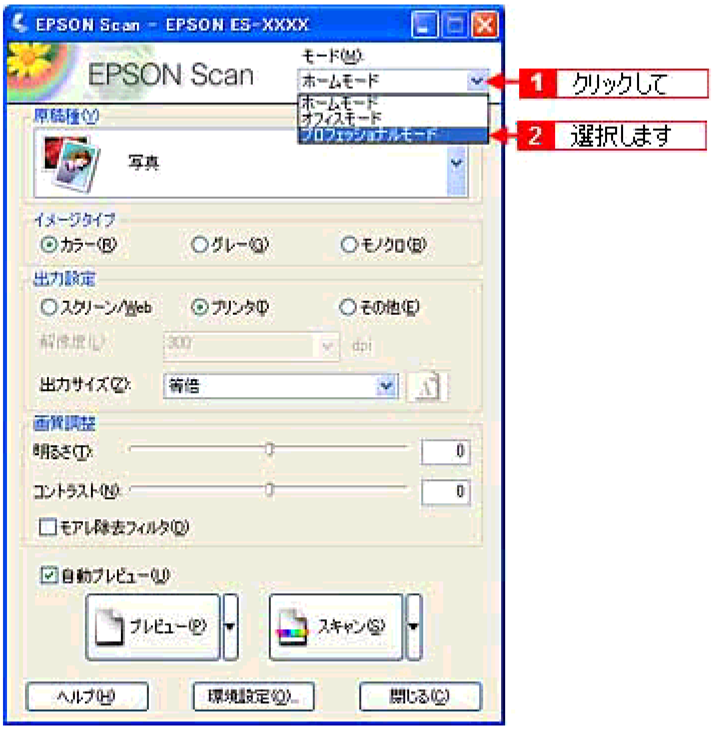
高度な画質調整機能を備えたモードです。出版用途での利用や、他のモードより詳細な設定をして取り込みたい場合にご使用ください。

## モードの切り替え方法

モードは、次の方法で切り替えてください。

初めて起動した場合は、ホームモードが起動します。モードを切り替えたい場合は、画面の右上にある［モード］のプルダウンメニューで切り替えてください。

＜画面は例です＞


EPSON Scan - EPSON ES-XXXX
EPSON Scan
モード(M):
ホームモード
ホームモード
オフィスモード
プロフェッショナルモード
1 クリックして
2 選択します
原稿種(V)
写真
イメージタイプ
カラー(R)
グレー(G)
モノクロ(B)
出力設定
スクリーン/Web
プリンタ(P)
その他(E)
解像度(L)
300
dpi
出力サイズ(Z):
等倍
画質調整
明るさ(T):
0
コントラスト(N):
0
モアレ除去フィルタ(D)
自動プレビュー(U)
プレビュー(P)
スキャン(S)
ヘルプ(H)
環境設定(O)...
閉じる(C)

# 取り込み設定を保存する方法

プロフェッショナルモードでは、取り込み枠・出力設定・画質調整などの設定をまとめて保存することができます。

例えば次のような使い方ができます。

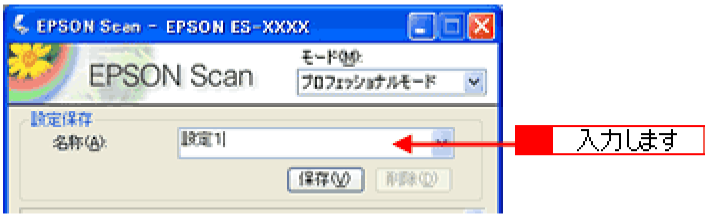
| | |
|---|---|
| 取り込み枠の再利用 | 取り込み枠の位置をすべて保存できるので、写真・名刺などを取り込む時に、常に同じ位置／同じ向きにセットすれば、取り込み枠を毎回作成する必要がありません。 |
| 出力サイズの再利用 | 壁紙／デスクトップピクチャ用、A4 印刷用などの設定を保存しておけば、出力サイズを毎回設定する必要がありません（取り込み枠を微調整するだけです）。 |
| フィルム用取り込み枠の利用：<br>（ES シリーズのみ） | 通常表示でプレビューし、複数のフィルムをまとめて取り込む場合は、スキャナにセットしたフィルムのサイズを［設定保存］リストから選択してください。フィルムサイズに適した取り込み枠が表示されますので、取り込み枠を手動で作成したり、コピーする必要がありません。<br>なお、サムネイル表示でプレビューする場合は、フィルムのコマが自動認識されます。そのため、［設定保存］リストからフィルムのサイズを選択する必要はありません。また、プレビュー後に［設定保存］リストからフィルムのサイズを選択すると、通常表示に切り替わり、プレビューイメージが消えますのでご注意ください。 |

## 取り込み設定を保存する

1. **EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。**

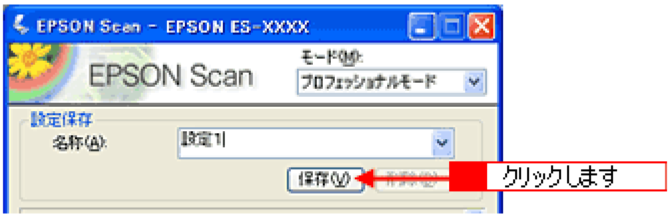
「EPSON Scan の起動方法」7

2. **取り込む原稿種の設定・イメージタイプの設定を行います。**
3. **原稿をプレビューし、取り込み枠の設定や画質調整などを行います。**
4. **設定保存の［名称］の欄に、新規名称を入力します。**




ポイント
入力できる文字数は、半角で 32 文字、全角で 16 文字以内です。

5. **［保存］ボタンをクリックして取り込み設定を保存します。**

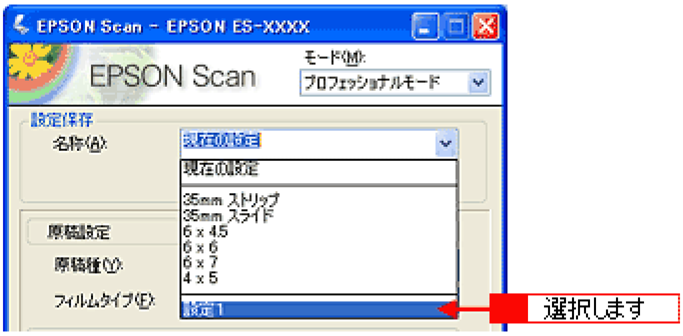



## 保存した設定を利用して取り込む

保存した取り込み設定を利用して画像を取り込みます。

1. **EPSON Scan（プロフェッショナルモード）を起動し、原稿を通常表示でプレビューします。**

2. **取り込みに利用する設定保存名を選択します。**




EPSON Scan の各種設定が、保存されている設定に変わります。

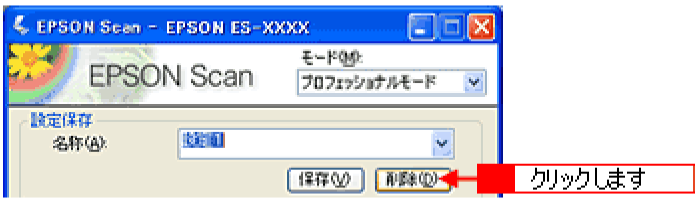
3. **［スキャン］ボタンをクリックして、画像を取り込みます。**




## 取り込み設定を削除する

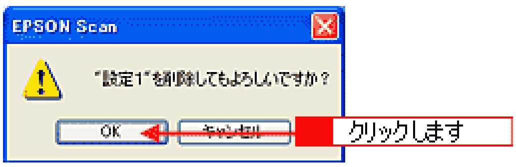
保存した取り込み設定を削除します。

1. **削除したい設定保存名をリストから選択し、［削除］ボタンをクリックします。**




2. **［OK］ボタンをクリックします。**

削除が実行され、ダイアログボックスが閉じます。



# 取り込み枠の調整方法

原稿の一部分だけ取り込みたい場合は、通常表示でプレビューし、プレビュー画面で領域を指定します。

ポイント

- 例えば雑誌のページから写真部分だけを指定して、画像を取り込むことができます。
- 原稿の一部分を取り込みたい場合は、通常表示でプレビューしてください。サムネイル表示では、原稿の任意の部分だけを取り込むことはできません。
- 複数取り込みに対応していない TWAIN 対応アプリケーションから EPSON Scan を起動した場合、複数の取り込み枠を指定しても、有効になっている取り込み枠の領域だけが取り込まれます。
- スキャナに横長の原稿をセットした場合は、［環境設定］ダイアログ－［プレビュー］画面の［プレビュー画像の横長表示］をチェックすることをお勧めします。プレビューウィンドウが時計回りに 90 度回転して表示されるため、プレビュー画像の向きが自然になります。詳しくは、［環境設定］ダイアログのヘルプをご覧ください。

## 取り込み枠をマウスで指定する

**1. EPSON Scan を起動します。**

「EPSON Scan の起動方法」7
ホームモードの場合は、画像がプレビューされます。

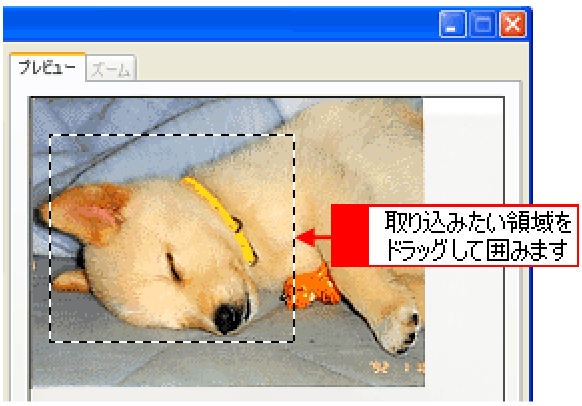
**2. プレビューされていない場合、またはサムネイル表示の場合は、通常表示でプレビューします。**

メインウィンドウの［プレビュー］ボタン右横にある縦長のボタンをクリックし、表示されるメニューで［通常表示］を選択してから、［プレビュー］ボタンをクリックしてください。

ポイント

- 原稿種によっては、縦長のボタンは表示されません。その場合は、通常表示のみになります。
- ホームモードの場合は、初期設定では、EPSON Scan の起動時にサムネイル表示で自動プレビューが行われます。ただし、ADF を取り付けてある場合は、通常表示でプレビューされます。また、［プレビュー］ボタンの上にある［自動プレビュー］のチェックを外してある場合は、プレビューされません。

**3. プレビュー画面上で、ドラッグして取り込み枠を指定します。**




## 出力サイズを指定して取り込み枠を作成する

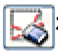
取り込み後の画像のサイズを指定することで、そのサイズの縦横比の取り込み枠を作成できます。出力サイズは、ホームモード、プロフェッショナルモードでのみ指定できます。

**1. ［出力サイズ］リストから、希望するサイズを選択します。**




**指定されたサイズの縦横比で取り込み枠が作成されます。取り込み枠を拡大／縮小または移動して取り込む領域を決めてください。このとき、取り込み枠の縦横比は維持されます。**

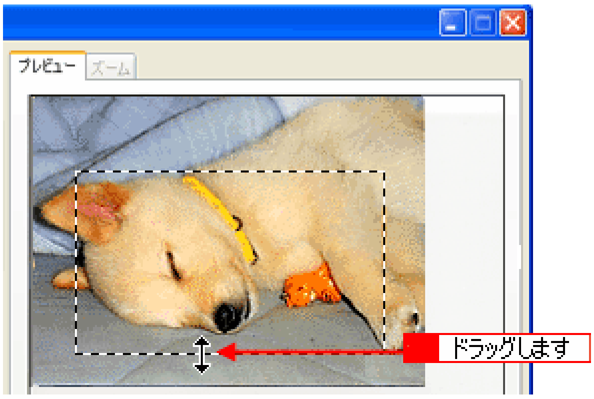
**ポイント**

**取り込み枠を削除したい場合は、****ボタンをクリックします。**

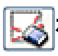
## 取り込み枠を広げる、狭める

**指定した取り込み枠を広げたり、狭めることができます。**

1. **取り込み枠の線上にカーソルを移動すると矢印の形になります。このとき、広げたい、または狭めたい方向の線上に、ポインタを合わせてドラッグします。**



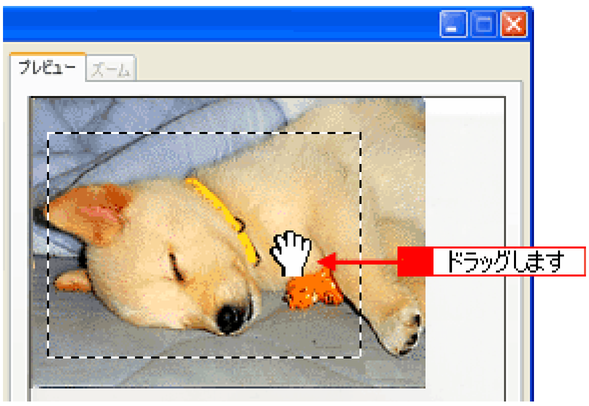

**ポイント**

- **取り込み枠を変形させると、プレビューウィンドウの左下に表示される取り込み枠のサイズ（mm またはインチ）、取り込み後の画像のサイズ（ピクセル）、ファイル容量の目安が連動して変化します。**
- **出力サイズで［等倍］を選択した場合、縦横比を固定して調整するには、[Shift] キーを押しながらドラッグします。**
- **取り込み枠を削除したい場合は、****ボタンをクリックします。**

## 取り込む位置を変更する

**取り込み枠を、別の位置に移動できます。取り込み枠のサイズは変わりません。**

1. **取り込み枠の中にカーソルを移動すると手の形になります。このとき、ドラッグして移動できます。**

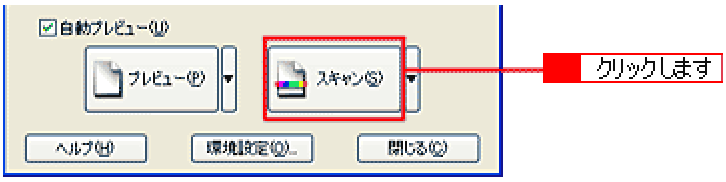


# 取り込んだ画像の保存方法

取り込んだ画像の保存方法について説明します。

## EPSON Scan を単独起動した場合

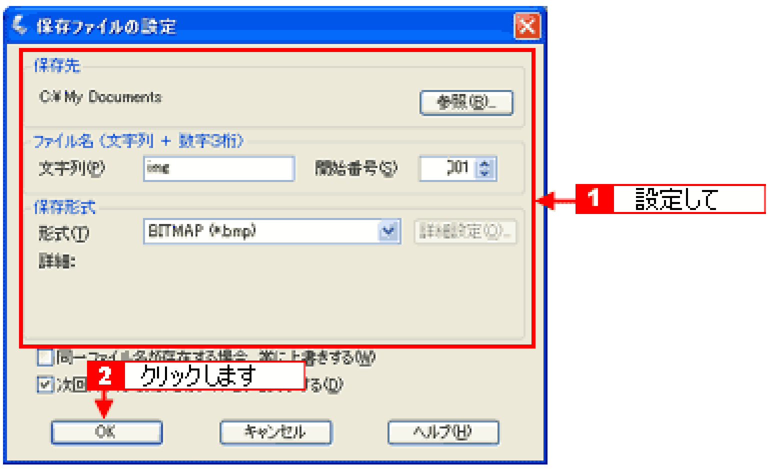
1. ［スキャン］ボタンをクリックします。




- ［保存ファイルの設定］ダイアログボックスが表示されます。
  ［保存先］、［ファイル名］、［保存形式］を設定してください。［保存形式］については、以下の項目を参照してください。
  「画像ファイル形式について」20

ポイント

- ［保存ファイルの設定］ダイアログボックスは、［スキャン］ボタン右横にある縦長のボタンをクリックし、［保存ファイルの設定］をクリックしても表示されます。
- ［保存ファイルの設定］ダイアログでの設定については、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。




2. ［OK］ボタンをクリックします。

画像が取り込まれます。

ポイント

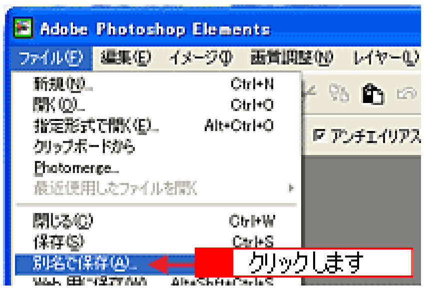
後で画像を開く時はこの［保存先］で設定したフォルダを指定しますので、フォルダ名を覚えておいてください。

## TWAIN 対応アプリケーションで保存する場合

ここでは、市販の Adobe Photoshop Elements を例に、取り込んだ画像の保存方法を説明します。

1. TWAIN 対応アプリケーションで保存します。

取り込み終了後、［ファイル］メニュー －［別名で保存］をクリックしてください。

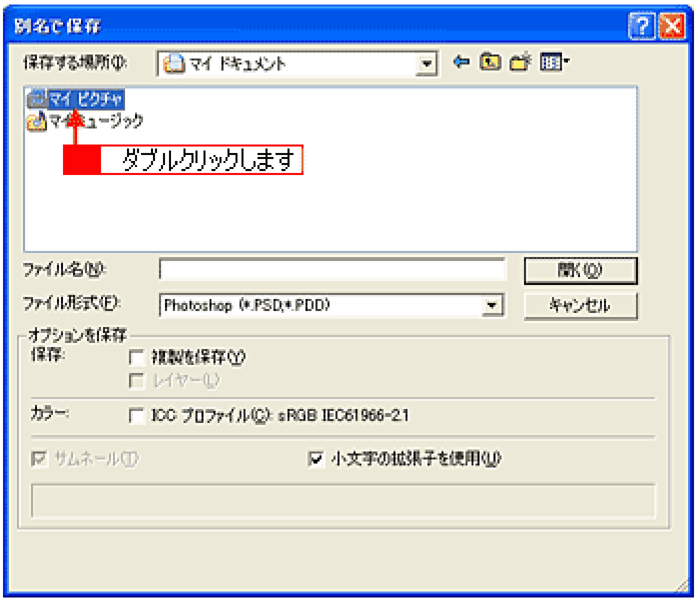



ポイント

保存の手順は、お使いの TWAIN 対応アプリケーションによって異なります。詳しくは、お使いの TWAIN 対応アプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

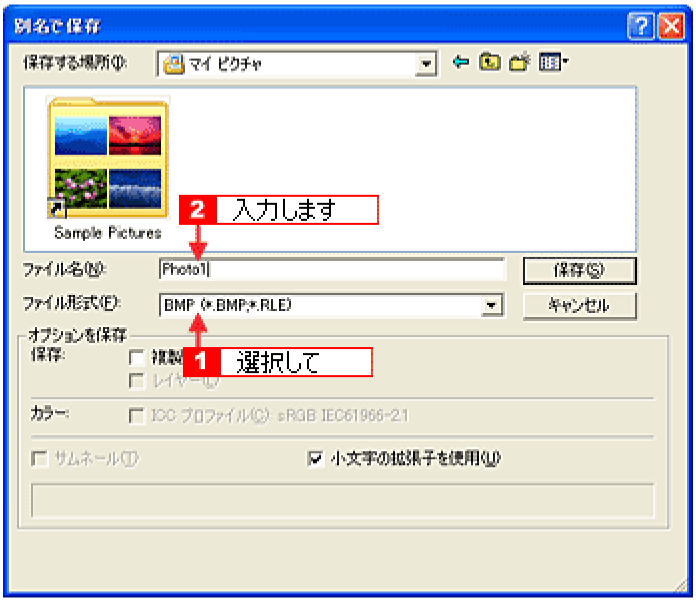
2. **保存するフォルダを選びます。**

後で画像を開くときにフォルダを指定しますので、フォルダ名は覚えておいてください。
ここでは、フォルダ名に［マイピクチャ］を選択した場合を例に説明します。




3. **ファイル形式を選択して、ファイル名を入力します。**

選択できるファイル形式の種類は使用するアプリケーションによって異なります。




4. ［保存］や［OK］などのボタンをクリックして保存します。

以上で、取り込んだ画像の保存は終了です。

## 画像ファイル形式について

主な画像のファイル形式を紹介します。お使いのアプリケーションが各形式に対応しているかご確認の上、ファイル形式を決めてください。
Windows では BMP 形式、Macintosh では PICT 形式で保存しておけば、ほとんどのアプリケーションで開くことができます。

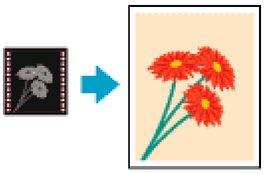
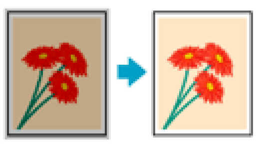
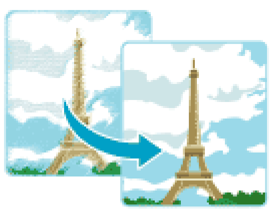
| 形式（拡張子） | 説 明 |
|---|---|
| TIFF 形式<br>（＊ .TIF ） | グラフィックソフト、DTP ソフトなど、多くのソフトウェアでデータ交換するために作られたファイル形式です。 |
| Multi － TIFF 形式<br>（＊ .TIF ） | ADF から複数の文書を連続取り込みした場合、複数ページのデータが 1 つのファイルにまとめて保存されます。拡張子は、TIFF 形式と同じ（＊ .TIF ）で保存されます。 |
| BMP 形式<br>（＊ .BMP ） | 多くの Windows 用アプリケーションが対応しているファイル形式です。 |
| PICT 形式（Macintosh のみ） | Macintosh 標準の画像ファイル形式です。ほとんどの Macintosh 用アプリケーションが対応しています。 |
| JPEG 形式<br>（＊ .JPG ） | 圧縮形式のファイルです。圧縮品質を選択できます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータは復元不可）、さらに保存のたびに劣化していきます。レタッチなどの加工が前提の場合、TIFF 形式などで保存してください。 |
| PDF 形式<br>（＊ .pdf ） | Windows と Macintosh で、画面表示・印刷結果ともに同様の見栄えが得られる汎用的なドキュメント形式です。<br>ADF から複数の文書を連続取り込みした場合、複数ページのデータが 1 つのファイルにまとめて保存されます。 |

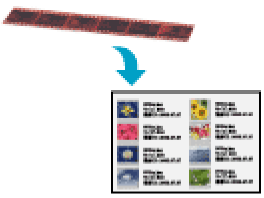
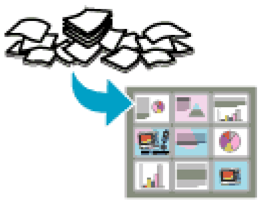
# 目的別の取り込み方法

## 目的別お勧めモード

ここでは、使用できるオプションや取り込む画像の目的に応じてお勧めのモードを説明します。

◎　最適なモード　　○　使用できるモード　　×　使用できないモード

| 目的 | ホームモード | オフィスモード | プロフェッショナルモード |
|---|---|---|---|
| フィルムを取り込む<br>「透過原稿の取り込み方法（ES-8500）」137<br>「透過原稿の取り込み方法（ES-2200）」154<br> | ○ | × | ○ |
| 出力サイズの指定<br>（定型サイズに簡単に拡大／縮小）<br>「拡大／縮小の設定方法」24<br><br> | ○ | × | ◎ |
| 明るさ・色あいの調整<br>「明暗を厳密に調整する方法」39<br> | ○ | ○ | ◎ |
| モアレ（網目状の陰影）を取り除く<br>「モアレ（網目状の陰影）を取り除く方法」49<br> | ○ | ○ | ◎ |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 文字原稿／線画のかすれ補正<br>「文字原稿／線画の取り込みに適した設定」59<br> | ○ | ○ | ○ |
| 原稿台より大きな原稿を取り込む<br>「原稿台より大きい原稿を分割して取り込もう」66<br> | × | × | ○ |
| フィルムのデジタル化<br>（お持ちのフィルムをデジタル化して保存）<br>「フィルムをインデックス画像として取り込もう（ES-2200/8500）」74<br> | ◎ | × | ◎ |
| 同じサイズの原稿を大量に取り込む<br>（ADF を使用して取り込む）<br>「大量の原稿をスピーディに取り込もう」83<br> | × | ◎ | ○ |

**ポイント**

透過原稿（フィルム）の取り込みにはオプションの透過原稿ユニットが必要です。透過原稿の取り込みは、ES-2200/8500 のみ対応しています。

# 目的に応じた画像サイズで取り込もう

## 拡大／縮小を設定できるモード

拡大／縮小の設定ができるのはホームモードとプロフェッショナルモードです。ここでは、それぞれの設定の違いを簡単に説明します。

### モードによる拡大／縮小の設定の違い

取り込みたい画像の拡大／縮小方法によって、適切なモードを選択してください。

| | |
|---|---|
| ホームモード | 出力したいサイズを［出力サイズ］リストから選択して、簡単に拡大／縮小できます。取り込み枠の縦横比は固定です。 |
| プロフェッショナルモード | ・出力したいサイズを［出力サイズ］リストから選択して、簡単に拡大／縮小できます。<br>・初期設定では、取り込み枠の縦横比は固定ですが、トリミングを［なし］に設定すると、取り込みたい領域を出力したいサイズに拡大／縮小して取り込むことができます。 |

ポイント

**プロフェッショナルモードで使用できる「トリミング」について**
作成済みの取り込み枠の縦横比を維持するか、または選択した出力サイズの縦横比に変化させるかどうかを設定する機能です。この設定によって、倍率も自動的に変わります。
詳しくは、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。

実際の拡大／縮小の設定方法については、以下をご覧ください。
「拡大／縮小の設定方法」24

# 拡大／縮小の設定方法

カラー写真を壁紙またはデスクトップピクチャのサイズで取り込む手順を例に、ホームモード、プロフェッショナルモードの場合の取り込み手順を説明します。

「ホームモードの場合」24
「プロフェッショナルモードの場合」26

**ポイント**

解像度を設定する場合は、目的に応じた解像度を設定してください。用途に応じた最適な解像度については、以下の項目を参照してください。

「用途に応じた解像度」34

## ホームモードの場合

サムネイル表示と通常表示での取り込み方法を説明します。ただし、ADF を取り付けている場合は、通常表示のみ使用できます。
複数の原稿を取り込む場合はサムネイル表示が便利ですが、一つの領域を取り込む場合は、取り込み枠を拡大／縮小できる通常表示がお勧めです。

通常表示を選択するには、メインウィンドウの［プレビュー］ボタン右横にある縦長のボタンをクリックし、表示されるメニューで［通常表示］を選択してから、［プレビュー］ボタンをクリックしてください。

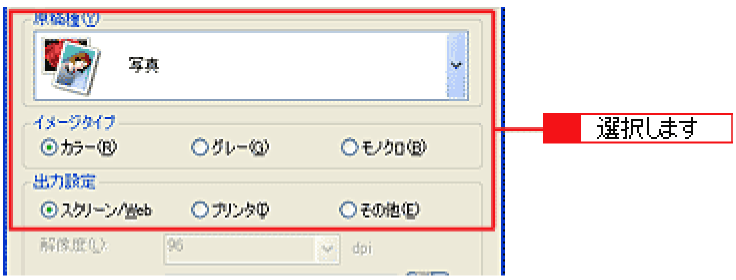
1. **スキャナの原稿台に、カラー写真をセットします。**

2. **EPSON Scan を起動し、ホームモードを選択します。**

   「EPSON Scan の起動方法」7
   EPSON Scan（ホームモード）が起動して、画像がプレビューされます。

3. **［原稿種］、［イメージタイプ］、［出力設定］を目的に合わせて設定します。**

   ［原稿種］、［イメージタイプ］は実際にセットしている原稿に合わせて選択してください。
   ［出力設定］は、［スクリーン /Web］または［プリンタ］を選んだ場合は、用途に応じた最適な解像度が自動設定されます。［その他］を選んだ場合は、目的に適した解像度を入力してください。
   ここでは、壁紙（デスクトップピクチャ）に適した［スクリーン /Web］を選択します。




4. **プレビューされていない場合は、プレビューします。**

   初期設定では、EPSON Scan（ホームモード）の起動時に自動プレビューが行われます。［プレビュー］ボタンの上にある［自動プレビュー］のチェックを外してある場合は、［プレビュー］ボタンをクリックしてプレビューしてください。

5. **出力サイズを設定します。**

   出力サイズリストから、取り込み後の画像のサイズを選択してください。
   ここでは、壁紙またはデスクトップピクチャのサイズ、［画面 -(768X1024)］を選択します。また、ボタンをクリックすると縦／横の向きを変更できます。




選択した出力サイズの縦横比で、取り込み枠がプレビュー画面に表示されます。

6. **取り込み枠をドラッグして移動し、取り込む領域を決めます。**

## サムネイル表示の場合

表示される取り込み枠は、[出力サイズ] で選択したサイズの縦横比になります。取り込み枠の中にカーソルを移動すると手の形になり、ドラッグして移動できます。取り込み枠を拡大／縮小したい場合は、通常表示に切り替えてください。

## 通常表示の場合

取り込み枠の中にカーソルを移動すると手の形になり、ドラッグして移動できます。取り込み枠を拡大／縮小する場合は、取り込み枠の角にカーソルを移動すると矢印になるので、ドラッグして大きさを調整してください。

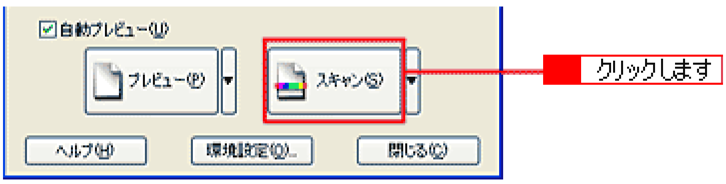



**ポイント**

- サムネイル表示の場合
  取り込み枠のサイズを拡大／縮小することはできません。取り込む領域を拡大／縮小したい場合は通常表示に切り替えてください。
- 通常表示の場合
  取り込み枠のサイズを拡大／縮小しても縦横比は変わりません。[出力サイズ] で選択したサイズに収まるように、倍率が自動設定されます。

7. **[スキャン] ボタンをクリックして画像を取り込みます。**

指定したサイズで画像が取り込まれます。




8. **画像を保存します。**

「取り込んだ画像の保存方法」18

**ポイント**

- Windows の壁紙用の画像は BMP 形式で、Macintosh のデスクトップピクチャ用の画像は PICT 形式で保存することをお勧めします（アプリケーションソフトの機能を使って壁紙またはデスクトップピクチャに設定する場合を除く）。
- ここで紹介した手順で取り込みを行えば、希望するサイズ / 解像度の画像ファイルを作成できます。壁紙またはデスクトップピクチャの作成・印刷用画像の作成・ホームページ用のサムネイル画像の作成などにお役立てください。

## プロフェッショナルモードの場合

プロフェッショナルモードでは、取り込みたい領域をお好みのサイズに拡大／縮小して取り込むことができます。

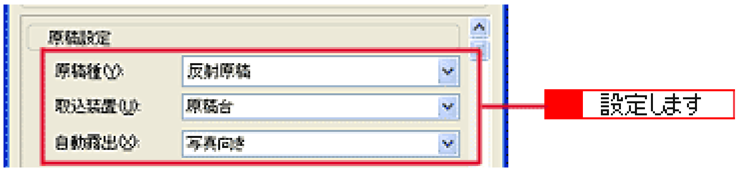
1. **スキャナの原稿台に、カラー写真をセットします。**

2. **EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。**

「EPSON Scan の起動方法」7

3. **［原稿設定］をセットした原稿に合わせて設定します。**

［取込装置］、［自動露出］は原稿に適した項目を選択してください。




4. **［イメージタイプ］と［解像度］を目的に合わせて設定します。**

ここでは、解像度は壁紙（デスクトップピクチャ）に適した［96dpi］に設定します。




**ポイント**

通常、コンピュータの画面の解像度は 70 ～ 90dpi くらいです。そのため、例えば、壁紙またはデスクトップピクチャ用の画像を 150dpi で取り込んでも、画面から画像がはみ出してしまいます。

5. **［プレビュー］ボタンをクリックして、原稿をプレビューします。**

6. **［出力サイズ］を設定します。**

ここでは、壁紙またはデスクトップピクチャのサイズ、［画面 -(768X1024)］を選択してください。また、ボタンをクリックすると縦／横の向きを変更できます。




7. **作成された取り込み枠を拡大／縮小または移動し、取り込みたい領域を設定します。**

このとき、取り込み枠の縦横比は固定されています。また、倍率は自動的に計算されます。




**ポイント**

**縦横比を固定せずに思い通りの領域を取り込みたい場合は、出力サイズの横にある「+」(Macintosh の場合は「▷」)をクリックして、トリミングを［なし］に設定してください。取り込み枠のロックが解除されるので、再度、手順 7 の操作を繰り返してください。**
**トリミングを［なし］に設定した場合、取り込み後の画像サイズは、設定した出力サイズからはみ出ないサイズになります。(倍率が自動的に計算されます。)**

**8. ［スキャン］ボタンをクリックして画像を取り込みます。**

**指定したサイズで画像が取り込まれます。**




**9. 画像を保存します。**

**「取り込んだ画像の保存方法」**18

**ポイント**

- Windows **の壁紙用の画像は** BMP **形式で、**Macintosh **のデスクトップピクチャ用の画像は** PICT **形式で保存することをお勧めします(アプリケーションソフトの機能を使って壁紙またはデスクトップピクチャに設定する場合を除く)。**
- **ここで紹介した手順で取り込みを行えば、希望するサイズ / 解像度の画像ファイルを作成できます。壁紙またはデスクトップピクチャの作成・印刷用画像の作成・ホームページ用のサムネイル画像の作成などにお役立てください。**

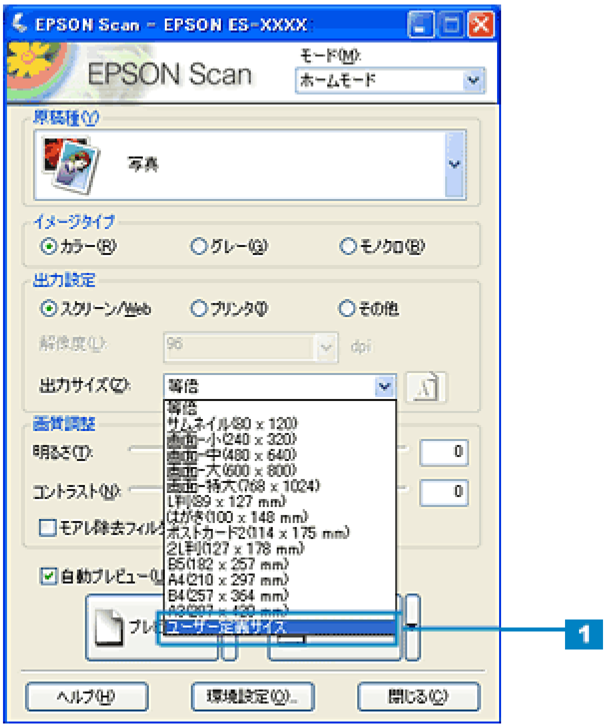
# ユーザー定義サイズの作成方法

［出力サイズ］リストに、目的のサイズ（縦横のサイズ）がない場合は、目的のサイズを［ユーザー定義サイズ］として作成し、登録できます。

**ポイント**

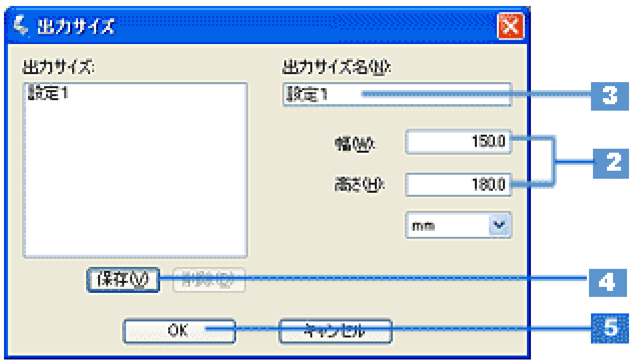
- ［出力サイズ］は、ホームモード、プロフェッショナルモードで設定できます。
- ［出力サイズ］は、プレビュー後に設定できます。

1. **［出力サイズ］リストから、［ユーザー定義サイズ］を選択します。**




2. **表示された画面で、［幅］と［高さ］を設定します。**

   設定できる最小値は 25.4mm（25 ピクセル、1 インチ）、最大値は 15,240.0mm（30,000 ピクセル、600 インチ）です。作成した定義サイズが選択できない場合は、［解像度］の設定値を下げてください。




3. **［出力サイズ名］を入力します。**

   入力できる文字数は、半角で 32 文字、全角で 16 文字以内です。

**4. ［保存］ボタンをクリックします。**

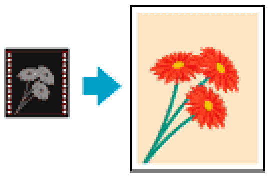
**5. ［OK］ボタンをクリックします。**

**以上で、ユーザー定義サイズの作成と登録は終了です。**

# 拡大／縮小と解像度の関係

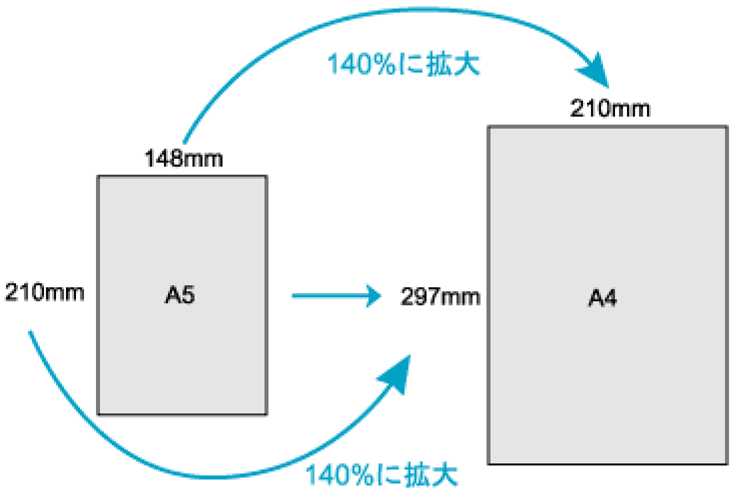
解像度項目で設定する解像度は、出力解像度（取り込み後の画像の解像度）を示します。入力解像度（スキャナから取り込む際の解像度）は、出力解像度の設定、出力サイズの設定、取り込み枠の設定によって自動的に決まります。そのため、拡大／縮小する場合、解像度の数値を拡大／縮小率に合わせて計算・設定する必要はありません。

拡大／縮小する場合に、入力解像度がどのように決まるか、参考として説明します。



## 縦横比が同じ原稿の拡大／縮小率

A5 サイズの原稿を、A4 サイズに拡大して取り込む場合を例に説明します。
A5 サイズを A4 サイズに拡大するには、縦横それぞれを 140% に拡大します。



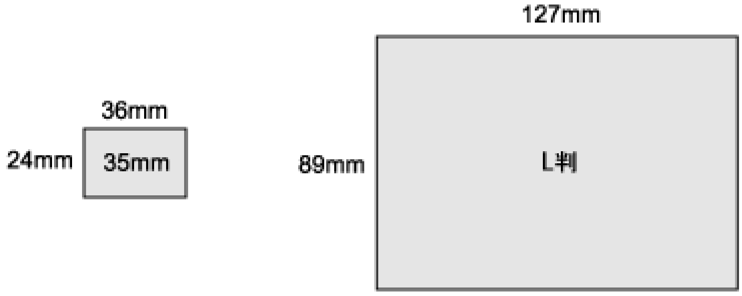

従って、入力解像度は

例）出力設定がプリンタの場合：

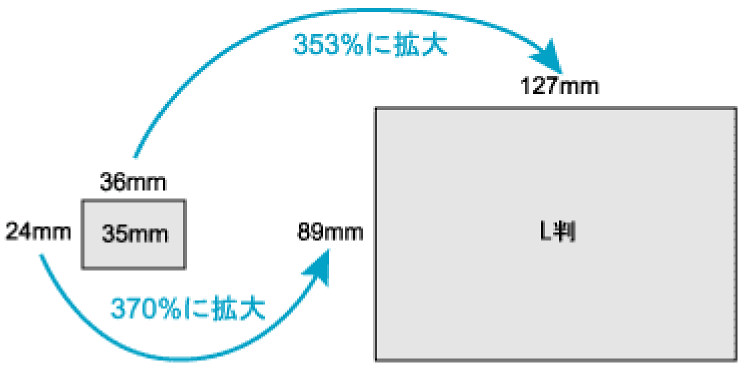
300dpi × 140% ＝ 420dpi に設定されます。

## 縦横比が違う原稿の拡大／縮小率

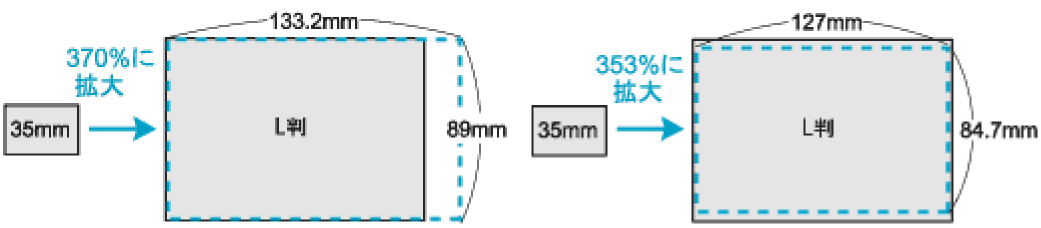
縦横比が同じ原稿は、縦横を同じ比率で拡大／縮小すればよいのですが、35mm フィルムを L 判に拡大する場合、縦横比が異なります。このような場合、拡大／縮小率はどのようになるのでしょうか？
35mm フィルムと L 判はそれぞれ下図のサイズです。




35mm フィルムを L 判の大きさに拡大するには、縦を約 370%、横を 353% に拡大することになります。




この場合、35mm フィルムの縦の長さがちょうど収まる約 370% に拡大すると、横がはみ出してしまいます。横の長さがちょうど収まる約 353% に拡大すると、縦が少し小さめになりますが、 L 版のサイズに収まります。




従って 35mm フィルムを L 判で出力する場合は、縦横の両方が収まる、353% に拡大されます。
入力解像度は

例）出力設定がプリンタの場合：

300dpi × 353% ＝ 1059dpi に設定されます。

ポイント

- 入力解像度と出力解像度を一致させたい場合は、出力サイズを等倍に設定してください。
- プロフェッショナルモードを選択している場合、ここの説明は［出力サイズ］のトリミングを［あり］に設定している場合（初期設定）の例です。

# 写真をきれいに取り込もう

## 画像をシャープにする方法

ここでは、原稿にシャープさが足りない場合に、アンシャープマスクの度合いを調整し、輪郭部分を強調してシャープに取り込む方法を説明します。

**ポイント**

- アンシャープマスクは、オフィス、プロフェッショナルモードで使用できます。ホームモードでは、自動的に適用されます。ここではプロフェッショナルモードを選択した場合を例に説明します。
- イメージタイプで［カラースムージング］、［中間調］、［モノクロ］を選択した場合は、設定できません。

1. **EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。**

「EPSON Scan の起動方法」7

2. **［原稿設定］、［出力設定］を設定します。**

原稿に適した項目を設定してください。

3. **［プレビュー］ボタンをクリックします。**

画像の仮取り込み（プレビュー）が実行され、プレビュー画像が表示されます。

4. **［お勧めの調整方法］を参照して、一通り画質の調整を行います。**

「お勧めの調整方法」40

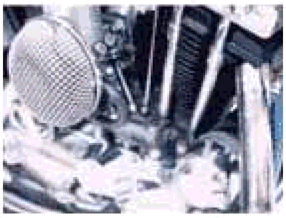
5. **［アンシャープマスクフィルタ］チェックボックスをチェックします。**

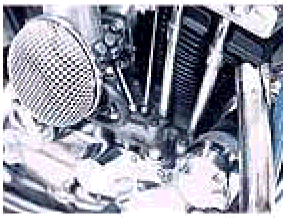



6. **必要に応じて［効果］を選択します。**

「＋」（Macintosh の場合は「 ▷ 」）をクリックして、アンシャープマスクの強度を、弱／中／強から選択してください。




調整前


調整後(中)

7. **取り込みを実行します。**

**以上で、アンシャープマスクの調整は終了です。**

# 解像度を上げるときれいになる？

解像度を上げると、画素が増え、画像がよりきめ細かになります。しかし、解像度を上げれば上げるほどきれいになるというものではありません。次の説明をご覧になり、各用途に合った解像度を設定してください。

## 用途に応じた解像度

用途に応じた解像度の目安は以下のとおりです。

| 用途 | 目安となる解像度 | 説明 |
| --- | --- | --- |
| E メール送信 | 96 〜 150dpi | 目安となる解像度以上に上げると、E メールの送受信に時間がかかり、メールを受信する相手に負荷がかかります。なるべくデータが小さくなるように解像度を設定してください。 |
| OCR（光学文字認識） | 400dpi | 目安となる解像度以上に上げても、文字の認識率は向上しません。認識率が良くない場合は、しきい値を調整してください。しきい値を調整した方が、よりよい効果が得られます。<br>「文字原稿／線画の取り込みに適した設定」59 |
| EPSON インクジェットプリンタでのファイン印刷 | 150dpi（カラー、グレー画像の場合）<br>360dpi（白黒の線画の場合） | 目安となる解像度で十分です。それ以上に上げても印刷品質は向上しません。むしろデータ容量が多くなるため、画像の取り込み／保存／読み込み／印刷に時間がかかります。 |
| EPSON インクジェットプリンタでのフォト／スーパーファイン印刷 | 300dpi（カラー、グレー画像の場合）<br>720dpi（白黒の線画の場合） | |
| レーザープリンタでの印刷 | 200dpi（カラー、グレー画像の場合）<br>600dpi（白黒の線画の場合） | |
| ディスプレイ表示 | 96dpi | 通常、コンピュータの画面の解像度は 70 〜 90dpi くらいです。そのため、例えば、壁紙またはデスクトップピクチャ用の画像を 150dpi で取り込んでも、画面から画像がはみ出してしまいます。 |

また、解像度を上げるほど、多くのハードディスク／メモリ容量を必要とします。
以下は、解像度ごとの画像データ容量です。

| 原稿の種類 | 原稿サイズ | 解像度 | | |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| | | 150dpi | 300dpi | 600dpi |
| カラー写真 | L 判＊ | 約 1.1MB | 約 4.3MB | 約 17.4MB |
| | A4 | 約 6.1MB | 約 24.5MB | 約 98MB |
| 白黒写真 | L 判＊ | 約 0.4MB | 約 1.4MB | 約 5.8MB |
| | A4 | 約 2MB | 約 8.2MB | 約 32.6MB |
| 文字原稿／線画 | A4 | — | 約 1MB | 約 4MB |

＊約 90mm × 130mm

ポイント

- 解像度が 2 倍になると、データ容量は約 4 倍になります。
- 取り込む画像の容量の目安は、EPSON Scan のプレビューウィンドウの下側に、画像のサイズ（ピクセル）、ファイル容量として表示されます。
- ハードディスクには、最低でも取り込む画像データ容量の 2 倍以上の空き容量がないと、取り込むことはできません。

# 48bit カラーを選ぶときれいになる？（ES-2200/8500）

ここでは、48bit カラーまたは 16bit グレーで取り込むことのメリットについて、48it カラーを例に説明します。

**ポイント**

イメージカラーで 48bit カラーまたは 16bit グレーを選択できるのは、プロフェッショナルモードのみです。また、ES-2200/8500 です。ただし ES-8500 の場合、取り込み後の画像データは 48bit または 16bit になりますが、そのデータに含まれる階調は、42bit または 14bit です。

## 見た目に違いは分からない

48bit カラーで取り込んでも、24bit カラーで取り込んでも、ディスプレイ上では違いがわかりません。これは、コンピュータが 24bit までのデータしか扱えない（1,677 万色までしか表示できない）ためです。

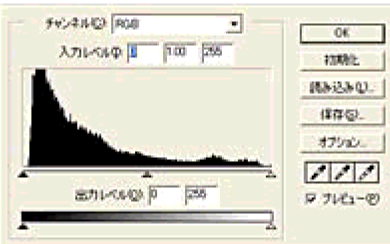
## では何が違うのか

見た目には違いが分からなくても、48bit カラーで取り込んだ画像はデータ量が豊富です。そのため、フォトレタッチソフトでレベル補正などを行った後の階調飛び（ヒストグラムの歯抜け）を少なくできます。

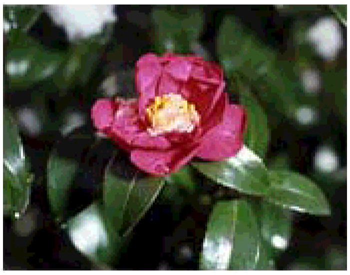
下図では、画像／ヒストグラムともに、24bit と 48bit の違いはわかりません。



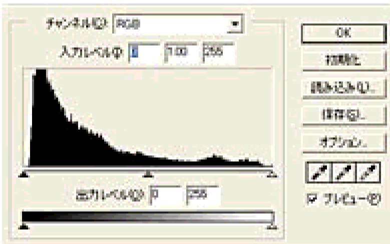
24bitカラーの元画像とヒストグラム







48bitカラーの元画像とヒストグラム





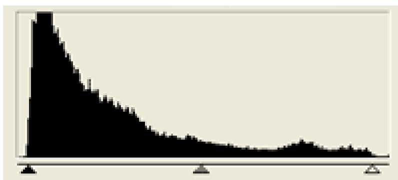
元画像は白い部分（花の中心にある雪の部分）が白くなっていないため、データの中で本来は白であるべき部分が白くなるように、［ヒストグラム調整］ダイアログで補正してみます。

ハイライトポイントを黒い山の右端に、シャドウポイントを黒い山の左端に移動すると、取り込み枠内の最も明るいピクセルが白に近く、最も暗いピクセルが黒に近くなるように、全体の明暗が調整されます。





調整前のヒストグラム



調整後のヒストグラム

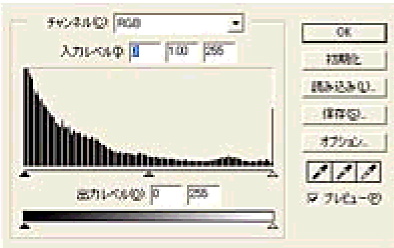
下図は補正後の画像とヒストグラムです。

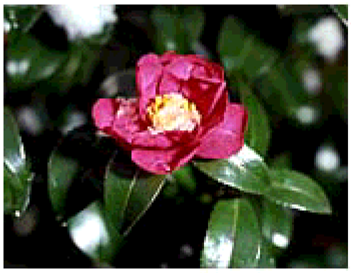
24bit の場合は、元々少ないデータの範囲を広げたため、所々で歯抜けが起きています。見た目はよくなりますが、階調表現力は厳密には低下します。

48bit の場合は、元々のデータ量が多いので、範囲を広げても歯抜けは最小限で済んでいます。階調表現力を損なわずに、見た目がよくなります。

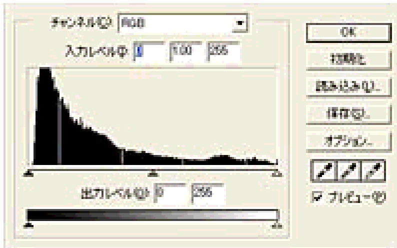


補正後の24bitカラーの画像とヒストグラム



補正後の48bitカラーの画像とヒストグラム




## 48bit 入力の利用の仕方

出版用途などで画像の品質が重要な場合はもちろん、次のような利用の仕方もあります。

### 画質調整を使い慣れたフォトレタッチソフトで行う場合に利用

EPSON Scan では、自動露出調整だけを行い、厳密な画質調整をせずに 48bit で取り込みます。その後、使い慣れたフォトレタッチソフトでレタッチし、24bit に変換してください。
高品質の画像を効率よく作成することができます。

### 元々品質が悪い原稿を取り込む場合に利用

大幅なレタッチを行うと階調飛びが激しくなり、粗い画像になります。そのため、品質が悪い原稿を取り込む場合は、48bit で取り込んでおけば、24bit で取り込んだ場合に比べ、レタッチ後の階調飛びを抑えることができます。

**ポイント**

データ容量について
コンピュータが扱えるデータは 24bit ですので、48bit で取り込む場合、その画像にはファイル 2 つ分のデータ容量が割り当てられます。
そのため、48bit 画像は 24bit 画像の 2 倍のデータ容量になります。ハードディスクやメモリ容量にご注意ください。

# 明暗を簡単に調整する方法

取り込んだ画像が明るすぎたり暗すぎた場合に、適切な明暗に調整する方法を説明します。
ここでは、プロフェッショナルモードを選択した場合を例に説明します。ここでの調整は［イメージタイプ］でカラー／グレーを選択した場合に使用できます。

## 明るさ／コントラストの調整

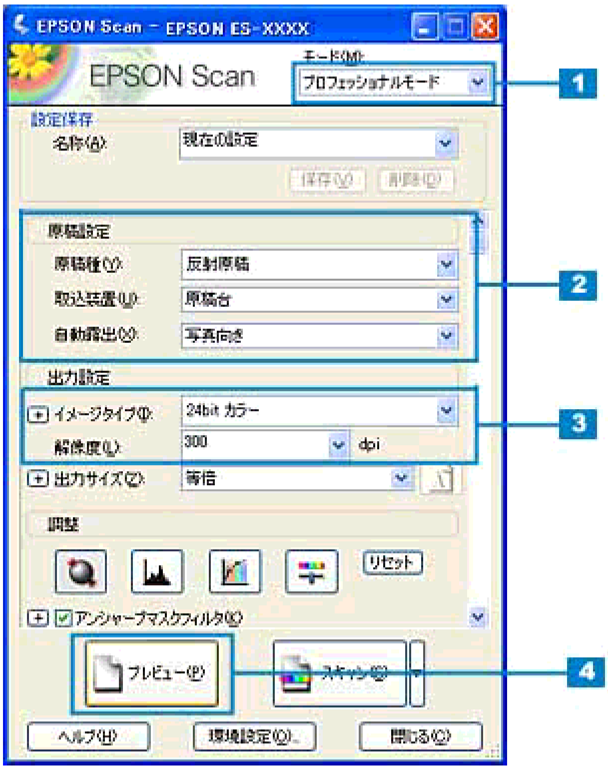
明るさは、取り込んだ画像が明るすぎたり、暗すぎる場合に調整します。コントラスト（明暗の差）に大きな影響を与えずに、画像全体の明暗を調整できます。
コントラストは、明暗をはっきりさせたり、逆に全体の明暗の差を少なくする場合に調整します。

1. **EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。**

「EPSON Scan の起動方法」7

2. **［原稿設定］をセットした原稿に合わせて設定します。**

反射原稿の場合は［取込装置］と［自動露出］、透過原稿の場合は［フィルムタイプ］を設定してください。




3. **［イメージタイプ］と［解像度］を目的に合わせて設定します。**

4. **［プレビュー］ボタンをクリックして、原稿をプレビューします。**

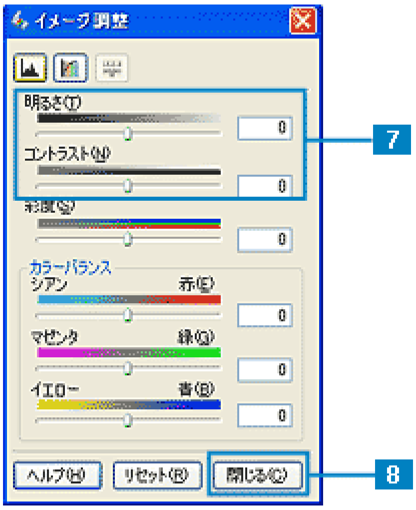
画像の仮取り込み（プレビュー）が実行され、プレビュー画面が表示されます。

5. **取り込み枠を指定します。**

「取り込み枠の調整方法」16
サムネイル表示でコマが複数ある場合は、調整したいコマをクリックします。

6. **［イメージ調整］ボタンをクリックします。**

7. **明るさ、コントラストのスライダーを左右に動かして調整します。**




ポイント

- テキストボックスに数値を直接入力して微調整することもできます。
- 明るさの調整範囲は -100 〜 100 です。設定を -（マイナス）にすると暗くなり、設定を +（プラス）にすると明るくなります。明暗いずれも極端に設定すると、メリハリのない画像になる場合があります。
- コントラストの調整範囲は -100 〜 100 です。コントラストを上げる（スライダを右に動かす）と明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなってメリハリのある画像になります。コントラストを下げる（スライダを左に動かす）と逆の効果が得られます。

**明るさを調整した例**


－20


＋50

**コントラストを調整した例**


－20


＋50

8. **イメージ調整ダイアログの［閉じる］ボタンをクリックして画面を閉じ、［スキャン］ボタンをクリックして取り込みを実行します。**

以上で、明暗の簡単な調整は終了です。

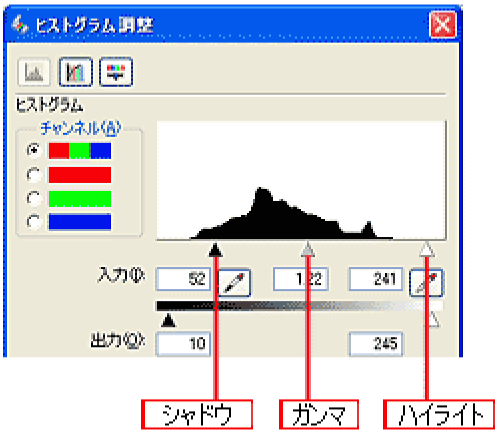
# 明暗を厳密に調整する方法

きれいな画像にするためには、「画像のもっとも明るい部分」（ハイライト）、「画像のもっとも暗い部分」（シャドウ）、および「その中間の明るさの部分」（ガンマ）の明暗を適切に設定することが必要です。ここでは、ハイライト／シャドウ／ガンマを調整し、明暗を厳密に調整する手順を説明します。

ハイライト・シャドウ・ガンマを調整する時は、プロフェッショナルモードを使用します。

## ヒストグラムを使って調整する

ヒストグラム調整では、ピクセル分布を見ながら調整できるため、モニタの表示能力の影響を受けずに、客観的に明暗を最適にできます。ヒストグラムとは、画像の黒（0 ）〜白（255 ）までのデータ分布（ピクセル数）をグラフで表したものです。
厳密に画像を調整するには、ヒストグラム調整をお勧めします。




ヒストグラムで調整する項目は以下の通りです。

| | |
|---|---|
| ハイライト | 画像のもっとも明るくしたい部分を設定します。 |
| シャドウ | 画像のもっとも暗くしたい部分を設定します。 |
| ガンマ | 画像の明るい部分や暗い部分に大きな影響を与えずに、ハイライトとシャドウの中間部分（ミッドトーン）の明るさを設定します。 |

### 調整を始める前に

ちょうどよい明るさとはどんな画像でしょうか？下図の例のように、ハイライト、シャドウ、ガンマを調整すると、明暗をさまざまに変化させることができます。ハイライト／シャドウ／ガンマを適切に調整して、画像がちょうどよい明るさになるように補正してください。

●適切な画像
（ハイライトも、シャドウも適切）



●ハイライトが弱く、シャドウは適切



●ハイライトは適切、シャドウが弱い



●ハイライトもシャドウも弱い



●ガンマが暗い方向に寄っている

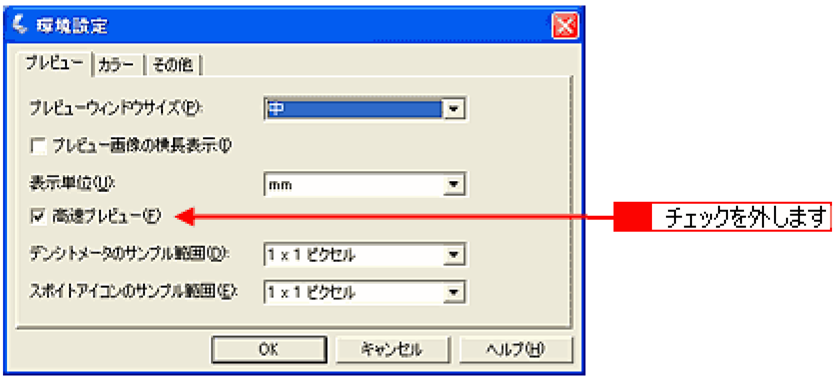


## お勧めの調整方法

ちょうどよい明るさになるように、ヒストグラムを使って画質を補正してみましょう。

ポイント

- 画質調整はプレビュー画像が表示されているときに有効ですので、プレビューを実行してください。プレビュー画像では、調整効果をリアルタイム に確認することができます。
- 画質調整の精度を上げるには、［環境設定］ダイアログ－［プレビュー］画面で［高速プレビュー］のチェックを外してください。プレビュー画像が高品位になります。



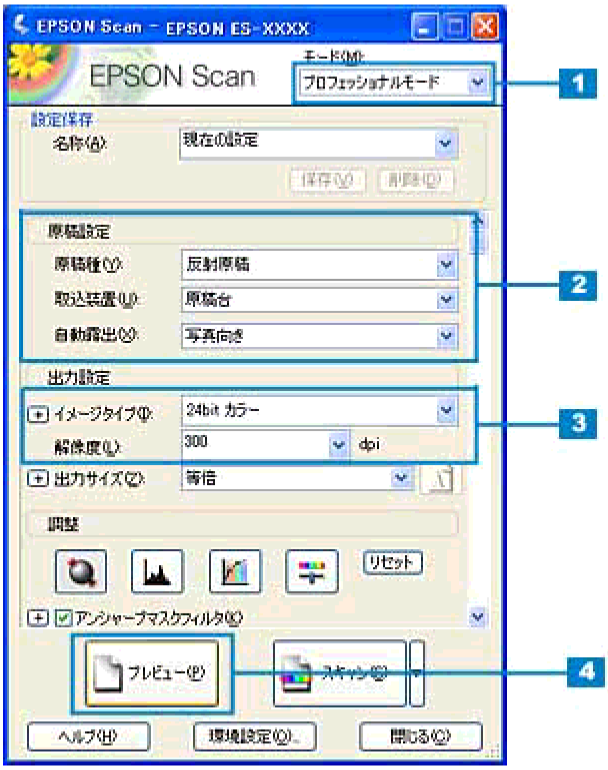

- 厳密な調整を行いたい場合は、ディスプレイを調整することをお勧めします。ディスプレイが調整されていないと、取り込んだ画像が適切な明るさ / 色あいで表示されません。そのため、印刷結果も予測できません。
  「ディスプレイの調整」206

1. **EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。**

   「EPSON Scan の起動方法」7

2. **［原稿設定］をセットした原稿に合わせて設定します。**

反射原稿の場合は［取込装置］と［自動露出］、透過原稿の場合は［フィルムタイプ］を設定してください。




3. ［イメージタイプ］と［解像度］を目的に合わせて設定します。

4. ［プレビュー］ボタンをクリックして、原稿をプレビューします。

画像の仮取り込み（プレビュー）が実行され、プレビュー画面が表示されます。

5. 取り込み枠を指定します。

「取り込み枠の調整方法」16
サムネイル表示でコマが複数ある場合は、調整したいコマをクリックします。

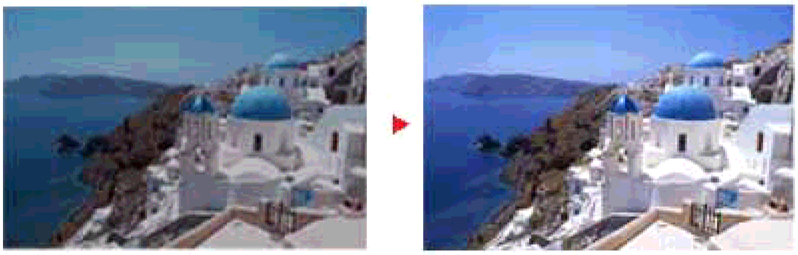
6. ［ヒストグラム調整］ ボタンをクリックします。

ヒストグラム調整ダイアログが表示されます。

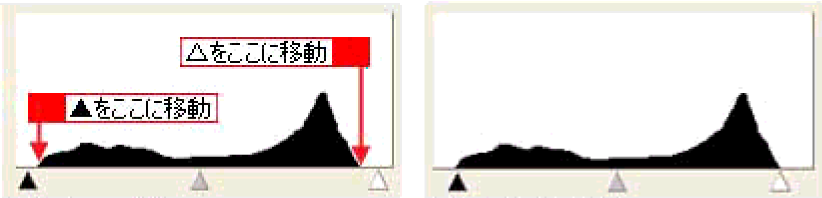



7. ハイライトとシャドウを調整します。

ハイライトポイントを黒い山の右端に、シャドウポイントを黒い山の左端に移動してください。
取り込み枠内の最も明るいピクセルが白に近く、最も暗いピクセルが黒に近くなるように、全体の明暗が調整されます。



調整前　　調整後



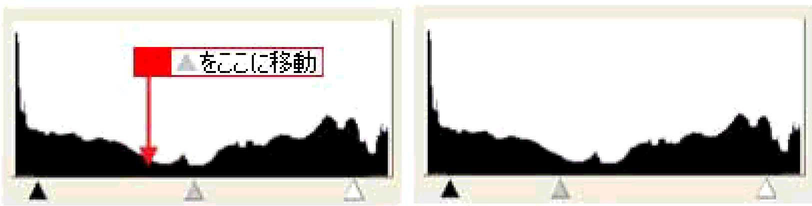

調整前のヒストグラム　　調整後のヒストグラム

**8. ガンマを調整します。**

ハイライトとガンマの中間にある、ガンマポイントを移動してください。明るい部分や暗い部分に大きな影響を与えずに、中間部分の明暗を調整できます。例えば、夕方や曇りの日に撮ったため、全体的に暗くなってしまった写真などを補正できます。



調整前　　調整後




調整前のヒストグラム　　調整後のヒストグラム

**ポイント**

調整する取り込み枠またはコマを切り替えたい場合は、プレビューウィンドウ上で切り替えたい枠またはコマをクリックしてください。このダイアログを一旦閉じる必要はありません。

**9. 調整が終了したら、ヒストグラム調整ダイアログの［閉じる］ボタンをクリックして画面を閉じ、取り込みを実行します。**

**ポイント**

ちょうどよい明るさに調整するよりも、メリハリをつけたい場合には以下をご覧ください。

「メリハリをつけた調整をする方法」44

# さらに微妙な調整をするには

ヒストグラムを調整した後、さらに微妙な調整をする場合は、濃度補正やシャドウ部／ハイライト部の階調補正をしてみましょう。

## 濃度補正

濃度はトーンともいいます。画像の濃度データを、トーン曲線に合わせて補正します。シャドウ（最暗部）、ミッドトーン（中間調）、ハイライト（最明部）へと変化していく濃度の曲線を補正することで、画像全体の濃度をバランスよく仕上げることができます。これは、現在プレビューウィンドウで選択されている取り込み枠に対して有効です。

**1. ［濃度補正］ ボタンをクリックし、微妙な部分を追加補正します。**

「濃度を調整する方法」46




## シャドウ部／ハイライト部の階調補正

［ヒストグラム調整］ダイアログで設定したハイライト点 / シャドウ点より外側の階調を補正することができます。

**2. ［ヒストグラム調整］ ボタンをクリックし、［端部カーブ形状変更］ボタンを使用してシャドウ部／ハイライト部の階調を補正します。**

「シャドウ部／ハイライト部の階調を調整する方法」48




以上で、明暗の厳密な調整は終了です。
以下の項目で色あいの調整方法を説明していますが、明暗調整をしっかり行えば、通常、色あいの調整は必要ありません。
「より色鮮やかに取り込む方法」54

# メリハリをつけた調整をする方法

ヒストグラムでハイライトとシャドウを調整して、メリハリのある画像に補正してみましょう。

1. **EPSON Scan（プロフェッショナルモード）を起動します。**

   「EPSON Scan の起動方法」7

2. **［プレビュー］ボタンをクリックします。**

   画像の仮取り込み（プレビュー）が実行され、プレビュー画像が表示されます。

3. **取り込み枠を作成します。**

   「取り込み枠の調整方法」16
   サムネイル表示でコマが複数ある場合は、調整したいコマをクリックします。

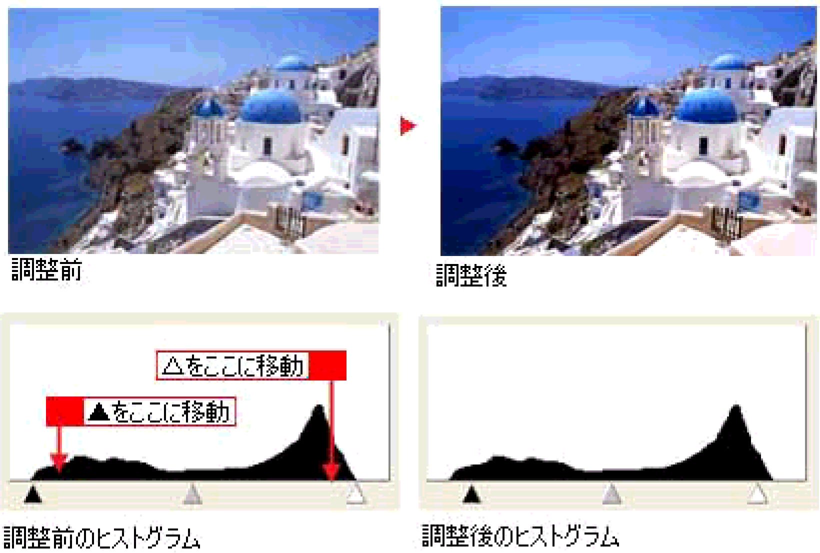
4. **［ヒストグラム調整］ ボタンをクリックします。**

   ヒストグラム調整ダイアログが表示されます。




5. **ハイライトとシャドウを調整します。**

   ハイライトポイントを黒い山の右端よりやや左に、シャドウポイントを黒い山の左端よりやや右に移動すると、メリハリのある画像になります。




調整が終了したら、ヒストグラム調整ダイアログの［閉じる］ボタンをクリックして画面を閉じ、取り込みを実行します。

**ポイント**

**テキストボックスに数値を直接入力して、微調整することもできます。**

# 濃度を調整する方法

自動露出やヒストグラム調整で調整しきれない微妙な濃度の調整は、［濃度補正］で補正します。

1. **EPSON Scan（プロフェッショナルモード）を起動します。**

   「EPSON Scan の起動方法」7

2. **［プレビュー］ボタンをクリックします。**

   画像の仮取り込み（プレビュー）が実行され、プレビュー画像が表示されます。

3. **取り込み枠を作成します。**

   「取り込み枠の調整方法」16
   サムネイル表示でコマが複数ある場合は、調整したいコマをクリックします。

4. **［濃度調整］ ボタンをクリックします。**



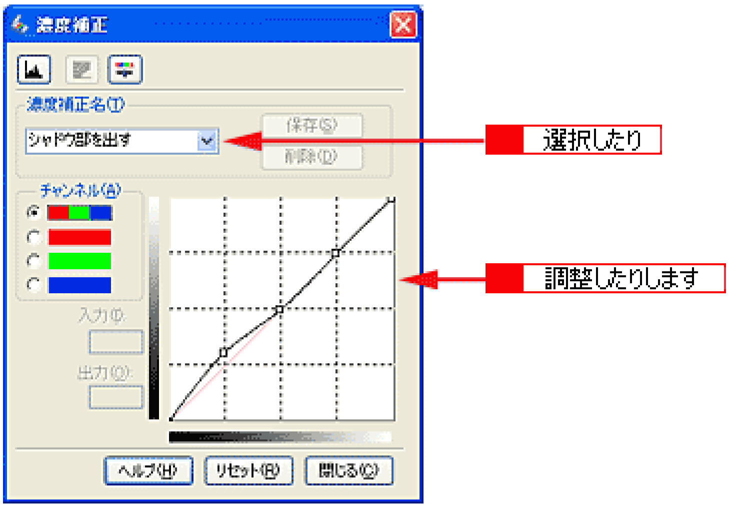

5. **［濃度補正名］リストから最適なメニューを選択します。**

   露出オーバーの補正など、代表的なトーン曲線がメニューに用意されていますので、メニューから選択した後、画像にあわせて微調整することをお勧めします。

| 濃度補正名 | 説明 |
|---|---|
| リニア | 濃度補正をしません。プレビュー画像上で明暗に問題がなければ、リニアのままで取り込んでください。 |
| より浅い感じに | 露出アンダーな画像を、より浅い（明るい）感じに補正します。（露出アンダーとは、露出不足＝暗いことを言います） |
| より重い感じに | 露出オーバーな画像を、より重い（暗い）感じに補正します。（露出オーバーとは、露出過多＝明るいことを言います） |
| コントラストを弱く | コントラスト（明暗の差）が高すぎる画像を、自然なコントラストに補正します。 |
| コントラストを強く | コントラスト（明暗の差）が低すぎる画像に、メリハリを付けます。 |
| シャドウ部を出す | シャドウ部分を少し明るくして、シャドウ部の階調表現を豊かにします。画像を印刷した時に、シャドウ部が黒ベタになってしまう場合に有効です。 |

6. **トーン曲線で微調整したい部分を補正します。**

   調整が終了したら、濃度調整ダイアログの［閉じる］ボタンをクリックして画面を閉じ、取り込みを実行します。

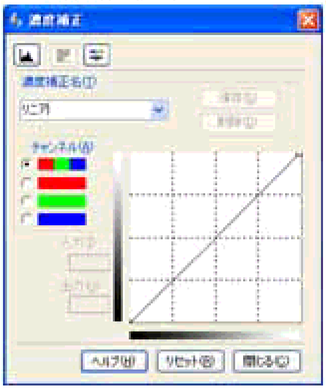


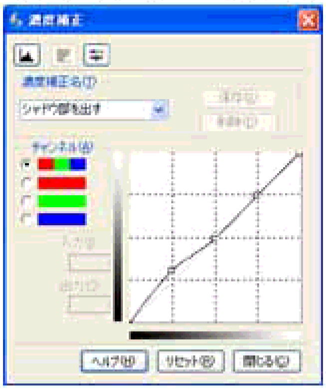



リニア(補正なし)



「シャドウ部を出す」を選択した例





**ポイント**

**補正前の濃度に戻すには、[濃度補正名]で[リニア]を選択します。**

# シャドウ部／ハイライト部の階調を調整する方法

ヒストグラムで設定したハイライト／シャドウポイントより外側の階調を、[端部カーブ形状変更] ボタンで調整することができます。

1. **[ヒストグラム調整] ダイアログで、ハイライト／シャドウ／ガンマを設定します。**

「明暗を厳密に調整する方法」39

2. **[ヒストグラム調整] ダイアログで、[端部カーブ形状変更] ボタンをクリックします。**

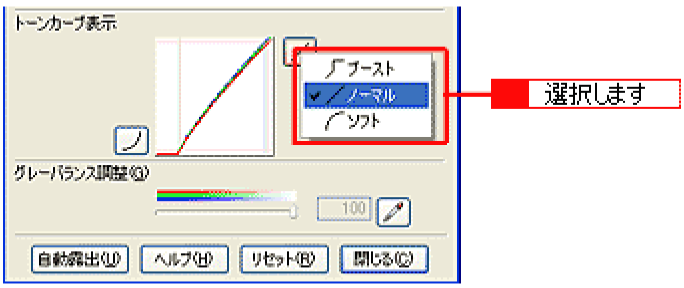
ハイライトまたはシャドウの [端部カーブ形状変更] ボタンをクリックし、補正したいメニューを選択してください。

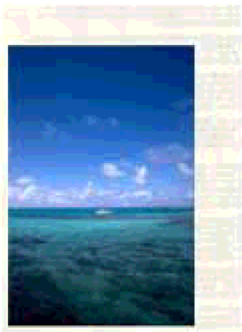
| | |
|---|---|
| ブースト | 真っ白に飛ばすまたは、真っ黒に潰す場合に選択してください。 |
| ノーマル | ハイライトやシャドウ部分の階調をそのまま表現する場合に選択してください。 |
| ソフト | 真っ白に飛んでしまった場合や、真っ黒に潰れてしまった場合に選択してください。 |

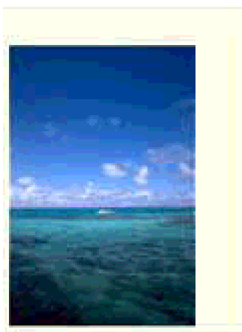
次のように使用してください。

紙の表面のムラや裏写りを除去したい場合 ：
ハイライト側のボタンを押し、表示されるリストでブーストを選択してください。

黒い部分のムラを除去したい場合 ：
シャドウ側のボタンを押し、表示されるリストでブーストを選択してください。





選択前


ハイライト側の
ブースト選択時

調整が終了したら、ヒストグラム調整ダイアログの [閉じる] ボタンをクリックして画面を閉じ、取り込みを実行します。

# モアレ（網目状の陰影）を取り除く方法

ここでは、取り込んだ画像にモアレ（網目状の陰影）がある場合、モアレ除去を使用して取り除く方法を説明します。

**ポイント**

- モアレ除去を行うと、印刷物（雑誌、カタログなど）の取り込みで発生する、モアレパターンの発生を防止できます。モアレとは、網目状などに発生する陰影で、肌色などの中間調部分で特に目立ちます。
- 原稿種やイメージタイプの設定によっては、モアレ除去機能は無効になります。これは、原理上モアレが発生しないためです。

**1. EPSON Scan を起動し、ホームモードを選択します。**

「EPSON Scan の起動方法」7
EPSON Scan（ホームモード）が起動して、画像がプレビューされます。

**2. ［原稿種］、［イメージタイプ］、［出力設定］を、目的に合わせて設定します。**

［原稿種］は実際にセットしている原稿に合わせて選択してください。
出力設定は、［スクリーン /Web］または［プリンタ］を選んだ場合は、用途に応じた最適な解像度が自動設定されます。［その他］を選んだ場合は、目的に適した解像度を入力してください。




**3. プレビューされていない場合は、プレビューします。**

初期設定では、EPSON Scan（ホームモード）の起動時に自動プレビューが行われます。［プレビュー］ボタンの上にある［自動プレビュー］のチェックを外してある場合は、［プレビュー］ボタンをクリックしてプレビューしてください。

**4. ［モアレ除去フィルタ］チェックボックスをチェックします。**


チェックOff


チェックOn

ポイント

- 画像にモアレパターンが発生しているかどうかは、取り込んだ画像をディスプレイ上で 100%（1:1）で表示して確認してください（縮小表示すると画像が荒くなってモアレが発生しているように見えるため）。
- モアレ除去はソフトウェアで処理しますので、チェックされていると取り込みに少し時間がかかります。
- モアレ除去の設定は、取り込み画像に適用されます。プレビュー画像には適用されません。
- モアレ除去は、解像度設定が 600dpi 以上のときは適用できません。

**5. ［スキャン］ボタンをクリックして、取り込みを実行します。**

以上で、モアレを取り除く調整は終了です。

## それでもモアレが目立つときは

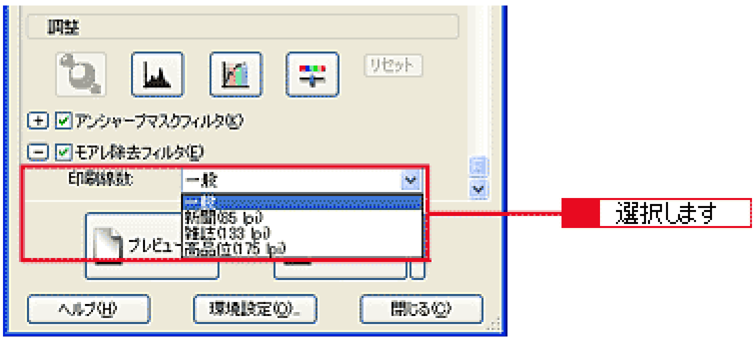
**1. 取り込みモードをプロフェッショナルモードに切り替えます。**

「モードの切り替え方法」12

**2. ［印刷線数］の設定を変更します。**

印刷線数を変更すると、モアレが目立たなくなる場合があります。

モアレ除去フィルタの横にある「+」（Macintosh の場合は「 」）をクリックして、原稿に適した印刷線数を選択してください。また、一致する線数の選択肢がない場合には、近い値を試してください。




ポイント

プロフェッショナルモードおよびオフィスモードの場合、モアレ除去機能を使用すると、取り込んだ画像がややボケる場合があります。この場合はアンシャープマスクフィルタのチェックボックスをチェックしてください。

# おかしな色かぶりを取り除く方法

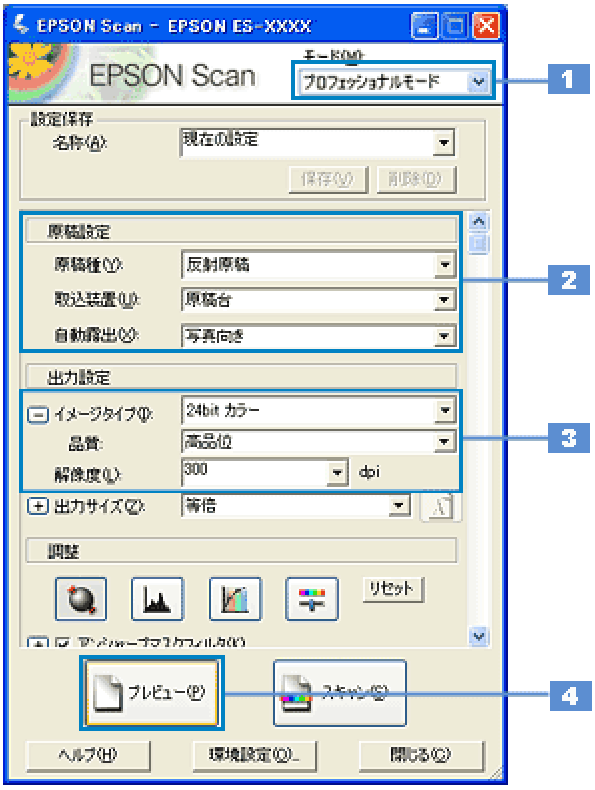
画像に照明などの色がかぶっている場合は、グレーバランスを調整することで色かぶりを取り除くことができます。グレーバランスは、選択した色を無彩色（白黒またはグレー）とする機能です。

1. **EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。**

「EPSON Scan の起動方法」7

2. **［原稿設定］をセットした原稿に合わせて設定します。**

反射原稿の場合は［取込装置］と［自動露出］、透過原稿の場合は［フィルムタイプ］を設定してください。




3. **［イメージタイプ］と［解像度］を目的に合わせて設定します。**

4. **［プレビュー］ボタンをクリックして、原稿をプレビューします。**

画像の仮取り込み（プレビュー）が実行され、プレビュー画面が表示されます。

5. **取り込み枠を作成します。**

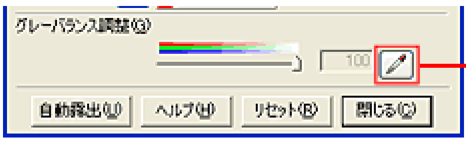
「取り込み枠の調整方法」16
サムネイル表示でコマが複数ある場合は、調整したいコマをクリックします。

6. **［ヒストグラム調整］ ボタンをクリックします。**

ヒストグラム調整ダイアログが表示されます。




7. **グレーバランス調整の［スポイト］ ボタンをクリックします。**




8. **画像の中で、白黒またはグレー（無彩色）となるべき部分をクリックします。**

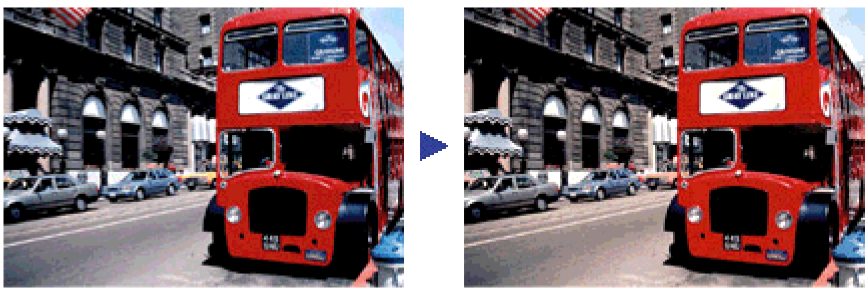
［スポイト］ボタンによる調整をキャンセルしたい場合は、キーボード上の［esc］キーを押してください。




9. **色が変わりすぎてしまった場合は、スライドバーで微調整します。**

調整が終了したら、ヒストグラム調整ダイアログの［閉じる］ボタンをクリックして画面を閉じ、取り込みを実行します。



調整前　　調整後

ポイント

グレーバランス調整の範囲は 0 ～ 100 です。
数値を上げるほど、色かぶりを除去する効果が高くなります。100 に設定すると、選択した色が完全な無彩色（白黒、グレー）となり、画像全体の色かぶりが取り除かれます。
0 に設定した場合は、グレーバランス機能は無効になります。ただし、選択した色の情報は保持されているので、もう一度調整することもできます。

# より色鮮やかに取り込む方法

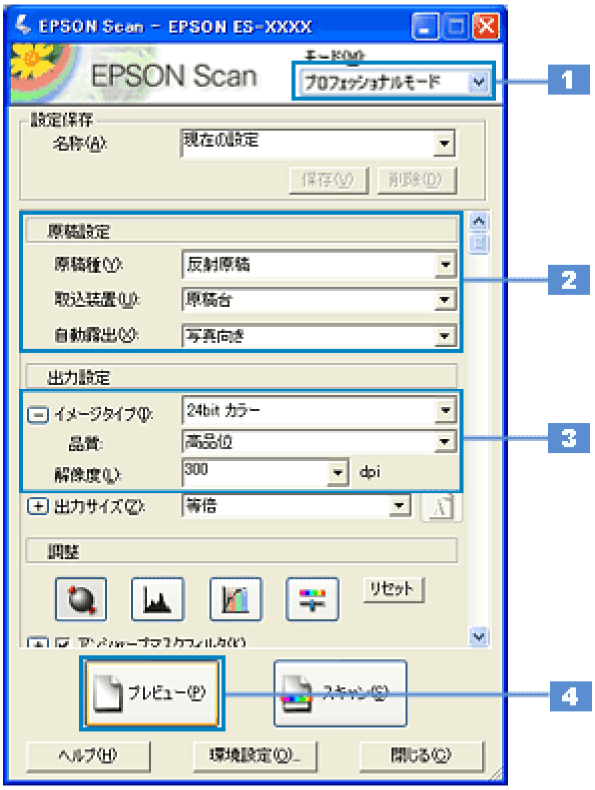
ここでは、原稿に鮮やかさが足りない場合に、彩度を調整して鮮やかに取り込む方法を説明します。

1. **EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。**

「EPSON Scan の起動方法」7

2. **［原稿設定］をセットした原稿に合わせて設定します。**

反射原稿の場合は［取込装置］と［自動露出］、透過原稿の場合は［フィルムタイプ］を設定してください。




3. **［イメージタイプ］と［解像度］を目的に合わせて設定します。**
4. **［プレビュー］ボタンをクリックして、原稿をプレビューします。**

画像の仮取り込み（プレビュー）が実行され、プレビュー画面が表示されます。

5. **取り込み枠を指定します。**

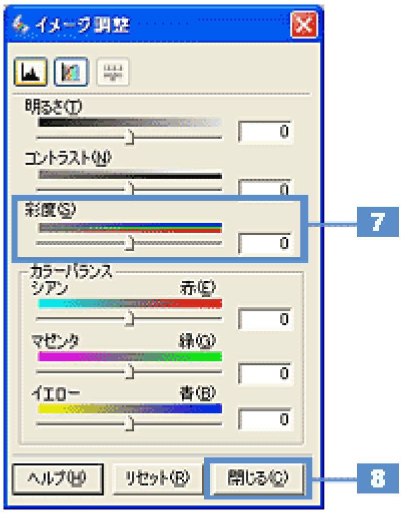
「取り込み枠の調整方法」16
サムネイル表示でコマが複数ある場合は、調整したいコマをクリックします。

6. **［イメージ調整］ボタンをクリックします。**

イメージ調整ダイアログが表示されます。




7. **彩度のスライダーを左右に動かして、色の鮮やかさを調整します。**





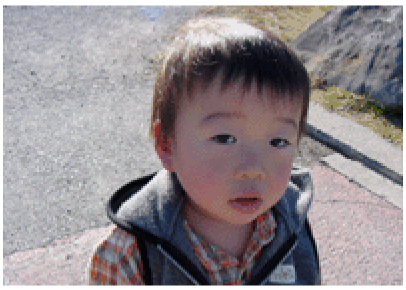

調整前（0）



調整後（+50）

**ポイント**

**設定を -（マイナス）にすると色みがなくなり（無色彩化され）、グレーに近くなります。白黒写真風のカラー画像にして取り込むことができます。**



調整前（0）



調整後（-80）

8. **イメージ調整ダイアログの［閉じる］ボタンをクリックして画面を閉じ、［スキャン］ボタンをクリックして取り込みを実行します。**

**以上で、画像の鮮やかさの調整は終了です。**

# 全体的な色あいを変えて取り込む方法

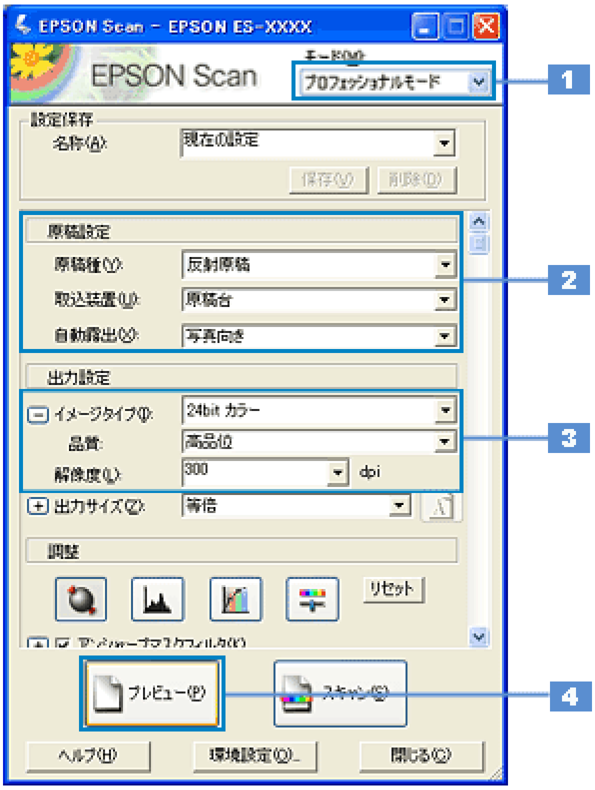
ここでは、天候や撮影場所の照明によって、写真が全体的に赤みを帯びていたり、青っぽいような場合に、色あいを補正して取り込む方法を説明します。

1. **EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。**

   「EPSON Scan の起動方法」7

2. **[原稿設定]をセットした原稿に合わせて設定します。**

   反射原稿の場合は[取込装置]と[自動露出]、透過原稿の場合は[フィルムタイプ]を設定してください。




3. **[イメージタイプと[解像度]を目的に合わせて設定します。**

4. **[プレビュー]ボタンをクリックして、原稿をプレビューします。**

   画像の仮取り込み(プレビュー)が実行され、プレビュー画面が表示されます。

5. **取り込み枠を指定します。**

   「取り込み枠の調整方法」16
   サムネイル表示でコマが複数ある場合は、調整したいコマをクリックします。

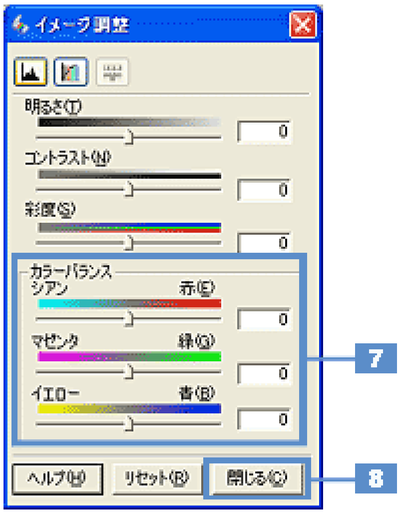
6. **[イメージ調整] ボタンをクリックします。**

   イメージ調整ダイアログが表示されます。




7. **スライダーを左右に動かして、色あいを調整します。**

| | |
|---|---|
| シアン－赤 | スライダを左に動かすとシアンが強くなり（赤が弱くなり）、右に動かすと赤みが強くなり（シアンが弱くなり）ます。 |
| マゼンタ－緑 | スライダを左に動かすとマゼンタが強くなり（緑が弱くなり）、右に動かすと緑が強くなり（マゼンタが弱くなり）ます。 |
| イエロー－青 | スライダを左に動かすとイエローが強くなり（青が弱くなり）、右に動かすと青みが強くなり（イエローが弱くなり）ます。 |




**シアン－赤 を調整した場合の例**

スライダを左に動かすとシアンが強くなり（赤が弱くなり）、右に動かすと赤みが強くなり（シアンが弱くなり）ます。


設定－


設定＋

8. **イメージ調整ダイアログの［閉じる］ボタンをクリックして画面を閉じ、［スキャン］ボタンをクリックして取り込みを実行します。**

以上で、画像の全体的な色あいを変える調整は終了です。

# 原稿に最適な設定で取り込もう

## 文字原稿／線画の取り込みに適した設定

スキャナから OCR（光学文字認識）ソフトに文字原稿を取り込むと、原稿上の文字を文字データに変換することができます。ここでは、OCR（光学文字認識）で利用しやすいように文字原稿の認識率を上げたり、かすれている線画をきれいに取り込む場合の設定方法について説明します。

ポイント

- 文字原稿の認識率は、原稿の状態に左右されます。次の場合、認識率は下がることがあります。なお、手書き文字は認識できません。
  ・何度もコピーした原稿（コピーのコピー）
  ・FAX 受信した原稿
  ・文字間や行間が狭すぎる原稿
  ・文字に罫線や下線がかかっている原稿
  ・草書体、行書体、毛筆体、斜体などのフォントや、8 ポイント未満の小さな文字が使われている原稿
  ・折り跡やしわがある原稿
  ・本の綴じ込み付近
- OCR ソフトの使い方の詳細は、お使いの OCR ソフトの取扱説明書をご覧ください。ここでは EPSON Scan を使った取り込み方法を説明します。

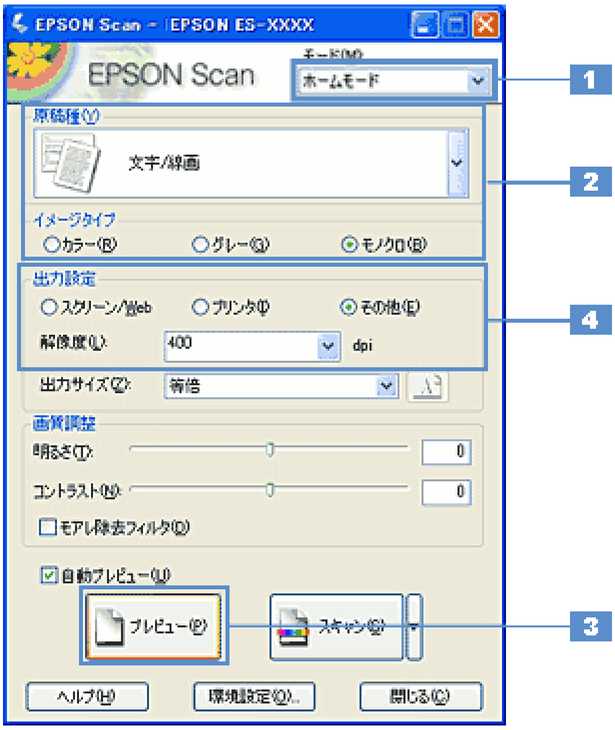
### 文字／線画の取り込み手順

1. **EPSON Scan を起動し、ホームモードを選択します。**

   「EPSON Scan の起動方法」7
   EPSON Scan（ホームモード）が起動して、画像がプレビューされます。

2. **［原稿種］リストから［文字／線画］を選択します。**

   ［文字／線画］を選択すると、イメージタイプは自動的にモノクロに設定されます。




3. **プレビューされていない場合は、プレビューします。**

   初期設定では、EPSON Scan（ホームモード）の起動時に自動プレビューが行われます。[プレビュー] ボタンの上にある [自動プレビュー] のチェックを外してある場合は、[プレビュー] ボタンをクリックしてプレビューしてください。

4. **[解像度] を設定します。**

   [出力設定] の項目で [その他] を選択し、原稿に最適な解像度を設定してください。

   文字原稿の場合：400dpi
   線画の場合：600dpi
   に設定してください。

5. **取り込み枠を作成します。**

   「取り込み枠の調整方法」16

6. **[スキャン] ボタンをクリックして、取り込みを実行します。**

7. **文字原稿の場合は、OCR（光学文字認識）ソフトで文字認識を実行します。**

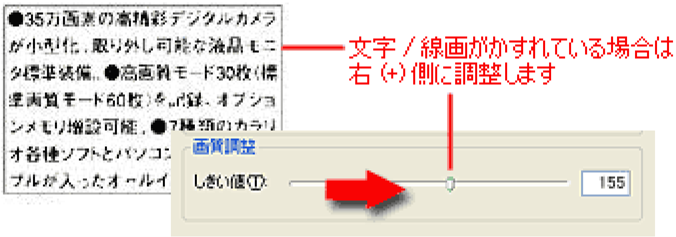
   詳しくは、OCR ソフトの取扱説明書をご覧ください。
   認識率がよくない場合は、次の手順へ進んでください。

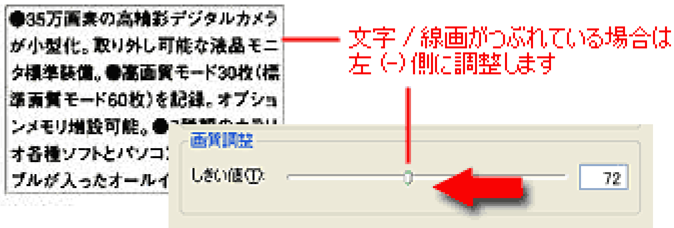
## 文字や線画がかすれたりつぶれる場合は

1. **EPSON Scan を起動し直します。**

2. **[イメージタイプ] が [モノクロ] に設定されていることを確認します。**

3. **プレビュー画像で効果を確認しながら、[しきい値] を調整します。**

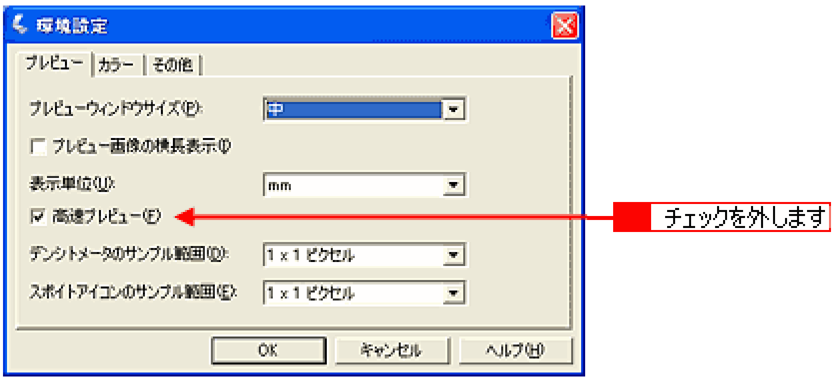



しきい値とは、白として取り込む部分と、黒として取り込む部分の明るさの境界を決めるものです。
最適なしきい値は原稿の状態によって異なりますので、繰り返し確認しながら、最適な調整値を見つけてください。

**ポイント**

初期設定では、プレビューは高速の設定になっています。しきい値調整の精度を上げるには、［環境設定］ダイアログ－［プレビュー］画面で［高速プレビュー］のチェックを外してください。
プレビュー画像が高品位になりますので、ズームプレビュー画像で文字がきれいに見えるように、しきい値を調整してください。




## それでも認識率が向上しないときは

しきい値を調整しても認識率が向上しない場合は、OCR ソフト側の補正機能（かすれ補正など）を使用してください。また、文字のフォントサイズによって認識領域を分けるなどの工夫をしてみてください。詳しくは、OCR ソフトの取扱説明書をご覧ください。

# カラーのビジネス文書に適した設定

カラーのロゴ・グラフ・イラストなどが入っている書類は、色数を減らして取り込むと、ロゴ・グラフ・イラストなどに色ムラが発生しません。また、取り込んだ画像をフォトレタッチソフトで編集する場合、減色されているため目的の色を簡単に選択できて便利です。

ここでは、原稿の色の分布を解析し、使用頻度の高い 30 色程度に自動減色するカラースムージングを使用し、カラー書類をきれいに取り込む場合の設定方法について説明します。カラースムージングは、ホームモード、プロフェッショナルモードで使用できます。

ポイント

以降の説明は、次の場合には不向きです。

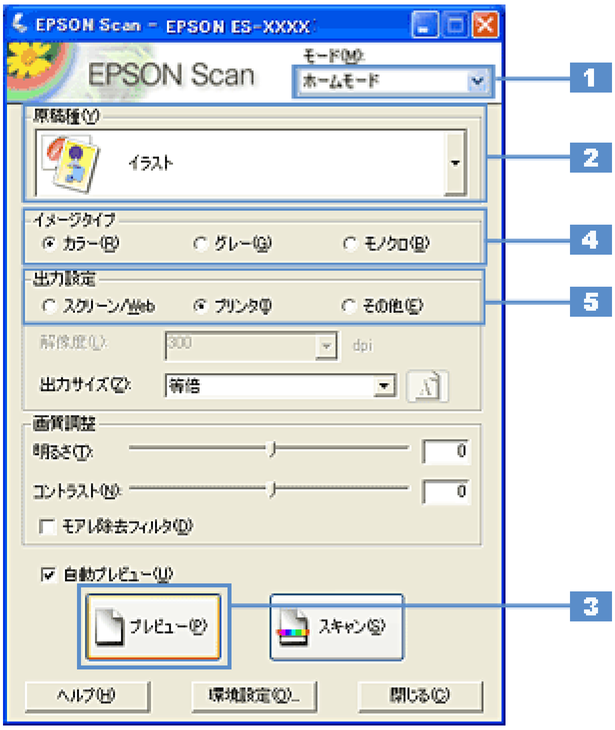
- カラー写真をフルカラーで取り込みたい場合
- グラデーションや近似色を正確に取り込みたい場合

## カラー書類の取り込み手順

1. **EPSON Scan を起動し、ホームモードを選択します。**

   「EPSON Scan の起動方法」7
   EPSON Scan（ホームモード）が起動して、画像がプレビューされます。

2. **［原稿種］リストから［イラスト］を選択します。**




3. **プレビューされていない場合は、プレビューします。**

   初期設定では、EPSON Scan（ホームモード）の起動時に自動プレビューが行われます。［プレビュー］ボタンの上にある［自動プレビュー］のチェックを外してある場合は、［プレビュー］ボタンをクリックしてプレビューしてください。

4. **［イメージタイプ］リストから［カラー］を選択します。**

原稿種で［イラスト］を、イメージタイプで［カラー］を選択すると、カラースムージングが自動的に適用されます。

**ポイント**

- カラースムージングの設定は、プレビューには適用されません。スキャンのときにのみ有効です。
- プロフェッショナルモードを使用する場合は、［イメージタイプ］リストから［カラースムージング］を選択してください。

5. **［出力設定］の項目で［プリンタ］を選択します。**

   印刷に最適な解像度が自動的に設定されます。

6. **取り込み枠を作成します。**

   「取り込み枠の調整方法」16

7. **［スキャン］ボタンをクリックして、取り込みを実行します。**

# 新聞・雑誌の取り込みに適した設定

新聞や雑誌を取り込むと、新聞の白い部分が黄色っぽくなったり、雑誌の裏面が透けて写ることがあります。

ここでは、自動露出を調整し、新聞・雑誌をきれいに取り込む場合の設定方法について説明します。

### お勧めのモード

- 簡単に新聞の白い部分の黄色みや、雑誌の裏写りを除去したい場合は、ホームモードをお勧めします。
  「ホームモードの場合」64
- 雑誌の写真をきれいに取り込んで、裏写りを除去しつつ画質調整をしたい場合は、プロフェッショナルモードをお勧めします。
  「プロフェッショナルモードの場合」65

## 新聞・雑誌の取り込み手順

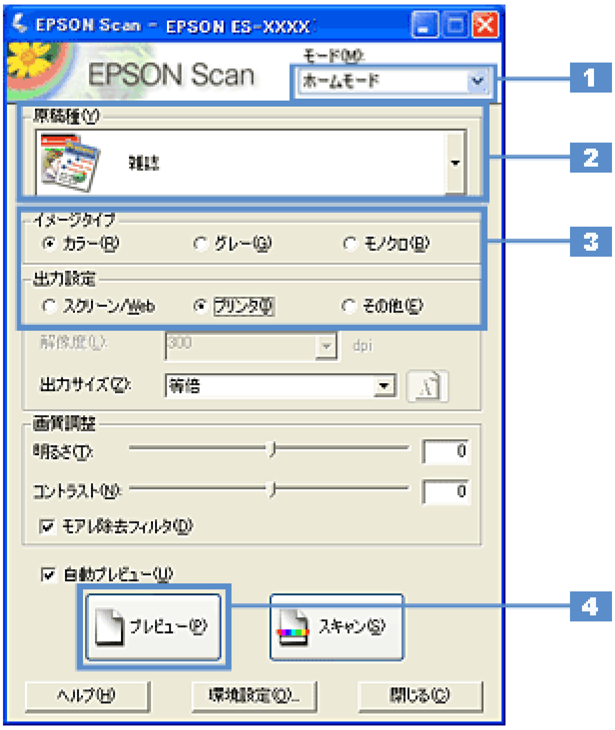
### ホームモードの場合

1. **EPSON Scan を起動し、ホームモードを選択します。**

   「EPSON Scan の起動方法」7
   EPSON Scan（ホームモード）が起動して、画像がプレビューされます。

2. **［原稿種］リストから［雑誌］または［新聞］を選択します。**

   ［雑誌］または［新聞］を選択すると、背景の黄色みを除去したり、裏写りを防止できます。




3. **［イメージタイプ］、［出力設定］を設定します。**

   原稿に合わせて、［イメージタイプ］を選択し、［出力設定］の項目で［プリンタ］を選択してください。印刷に最適な解像度が自動的に設定されます。

4. **プレビューされていない場合は、プレビューします。**

初期設定では、EPSON Scan（ホームモード）の起動時に自動プレビューが行われます。プレビューボタンの上にある［自動プレビュー］のチェックを外してある場合は、［プレビュー］ボタンをクリックしてプレビューしてください。

5. **取り込み枠を作成します。**

「取り込み枠の調整方法」16

6. **［スキャン］ボタンをクリックして、取り込みを実行します。**

**ポイント**

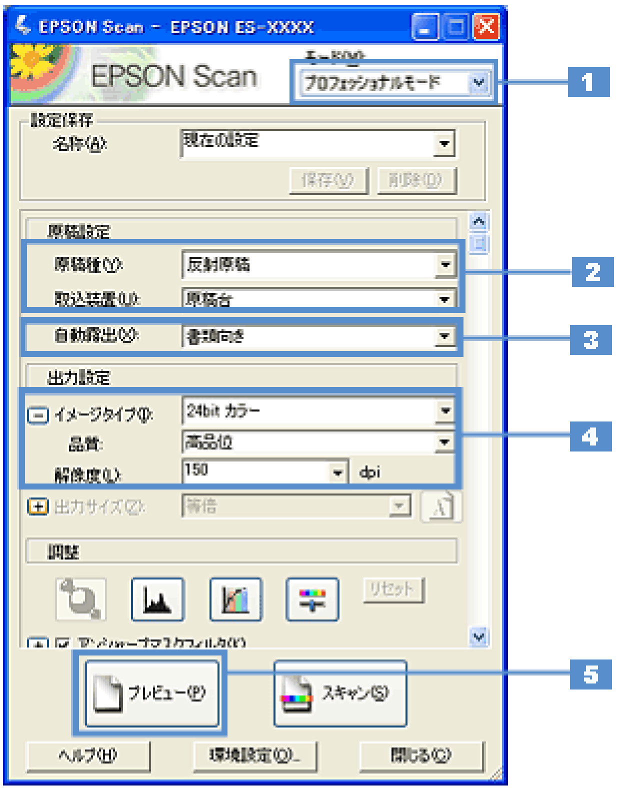
通常は、［原稿種］で［雑誌］または［新聞］を選択すると、［モアレ除去フィルタ ］のチェックボックスが自動的にチェックされます。モアレ除去機能が必要でない場合は、チェックを外してください。

## プロフェッショナルモードの場合

1. **EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。**

「EPSON Scan の起動方法」7

2. **［原稿種］で［反射原稿］を選択します。**




3. **［自動露出］で［書類向き］を選択します。**

書類を選択すると、背景の黄色みを除去したり、裏写りを防止できます。

4. **［イメージタイプ］と［解像度］を目的に合わせて設定します。**

5. **［プレビュー］ボタンをクリックして、原稿をプレビューします。**

6. **取り込み枠を作成します。**

「取り込み枠の調整方法」16

7. **［スキャン］ボタンをクリックして、取り込みを実行します。**

# 便利な取り込み方法

## 原稿台より大きい原稿を分割して取り込もう

スキャナの原稿台よりも大きな原稿を分割して取り込み、市販のフォトレタッチソフトで合成する方法を説明します。

ポイント

- 取り込む原稿としては、パンフレットやポスターなどの一枚紙の原稿を使用してください。雑誌などの製本物は、分けて取り込むときに角度がずれてしまうのでうまく取り込めません。
- ここでは、市販の Adobe Photoshop Elements を例に説明します。他のアプリケーションをお使いの場合は、お使いのアプリケーションの取扱説明書をご覧ください。
- ここで説明している内容は、仕様として保証するものではありません。ここで説明している手順で取り込みと貼り合わせをしても、分割して取り込んだ画像の明るさや色あい、角度などは完全には一致しない場合があります。

### 分割して取り込む方法

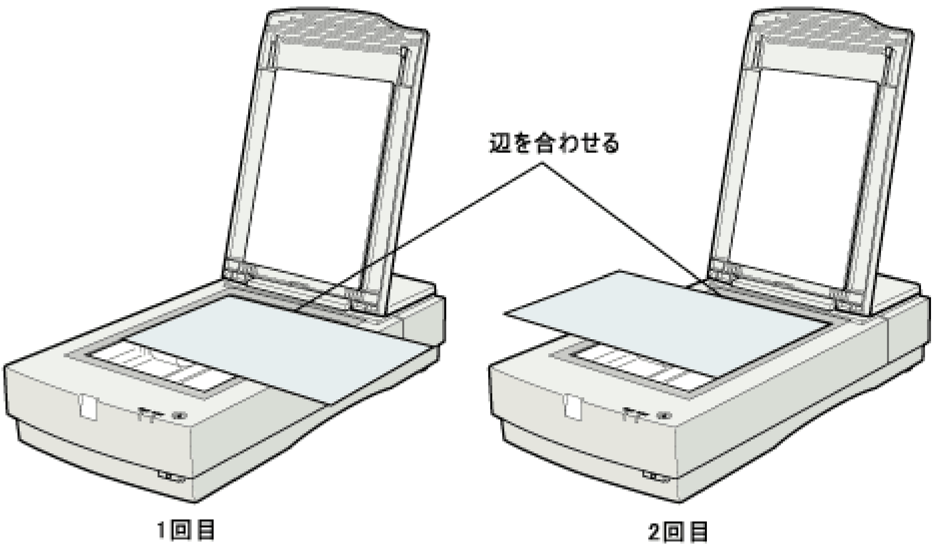
#### 原稿のおよそ半分を取り込む

1. **原稿をセットします。**

   原稿のおよそ半分を原稿台にセットします。

ポイント

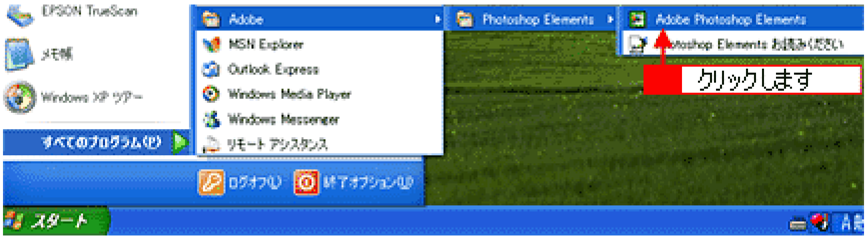
分けて取り込むときには一回目、二回目とも、原稿台のスケールに合わせる辺が一致するようにセットしてください。



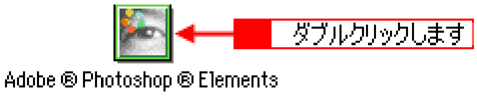

2. **Adobe Photoshop Elements を起動します。**

   Windows の場合は、[スタート] - [すべてのプログラム]（または [プログラム]）- [Adobe ] - [Photoshop Elements] - [Adobe Photoshop Elements] をクリックして起動します。

   ＜画面は Windows XP の場合＞



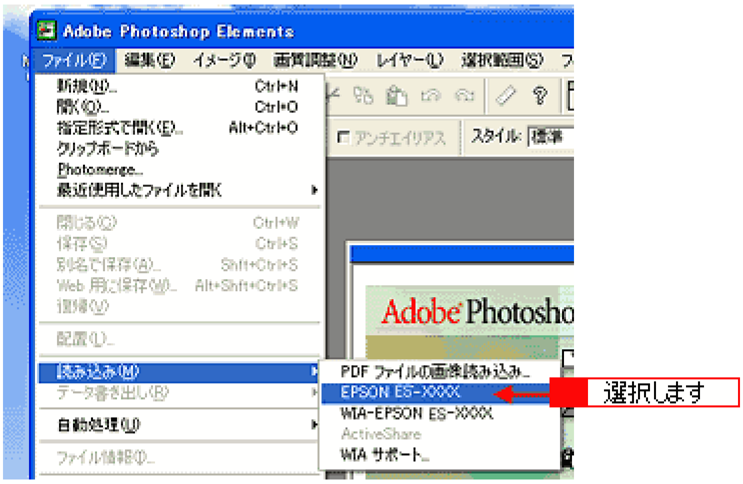

Macintosh の場合は、[ハードディスク] - [Adobe Photoshop Elements] フォルダ - [Adobe Photoshop Elements] をダブルクリックして起動します。




**3. EPSON Scan を起動します。**

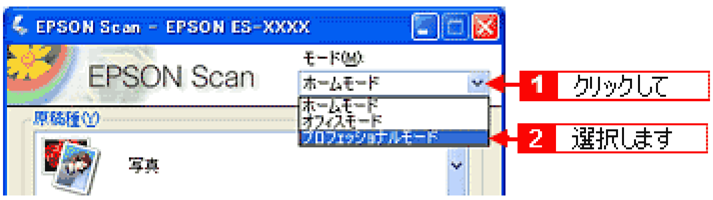
Adobe Photoshop Elements の [ファイル] メニュー - [読み込み] - [EPSON ES-XXXX] を選択してください。EPSON Scan が起動します。

[WIA- EPSON ES-XXXX ] がある場合は選択しないでください。




**4. プロフェッショナルモードを選択します。**

[モード] のプルダウンメニューから [プロフェッショナルモード] を選択します。




**5. [プレビュー] ボタンをクリックして、プレビューします。**

通常表示でプレビューしてください。

ポイント

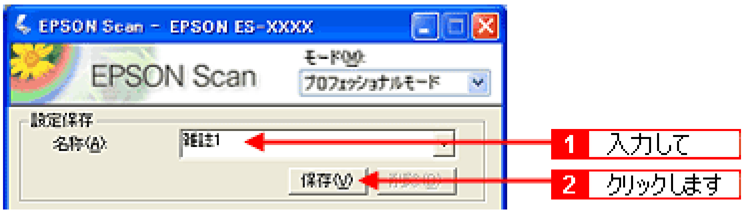
取り込み枠を作成しないで、全面を取り込んでから、フォトレタッチソフトで選択したい部分を切り抜いてください。または、取り込み枠を作成する場合は、少し大きめに作成してください。これは、取り込んだ画像を貼り合わせる際に、画像の欠落がないように、ゆとりをもたせるためです。

6. ［お勧めの調整方法］を参照して、一通り画質の調整を行います。

「お勧めの調整方法」40

7. 設定を保存します。

現在の設定（取り込み枠、イメージタイプ、解像度、画質などすべての設定）に名前を付けて保存します。設定保存の［名称］欄に新規名称を入力して、［保存］ボタンをクリックしてください。入力できる文字数は、半角で 32 文字、全角で 16 文字以内です




8. ［スキャン］ボタンをクリックして、取り込みます。

画像が新規ファイルとして表示されます。

次に残りのおよそ半分を取り込んでみましょう。

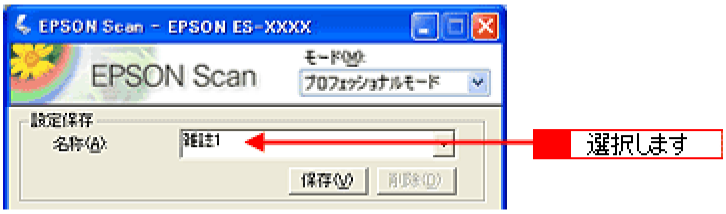
## 残りのおよそ半分を取り込む

1. 原稿をセットし直します。

残りのおよそ半分を原稿台にセットしてください。このとき、すでに取り込んだ画像の部分を少し含めてセットすると、貼り合わせやすくなります。

2. ［プレビュー］ボタンをクリックします。

3. ［設定保存］の名称リストでさきほど保存した名称を選択します。




ポイント

- この操作によって、［イメージタイプ］や［解像度］などの設定が先程の画像と一致します。また、画質もほぼ一致します。
- この後、画質調整はしないでください。先に取り込んだおよそ半分の画質と合わなくなってしまいます。
- 取り込み枠を移動する場合は、［環境設定］ダイアログ－［カラー］画面－［常に自動露出を実行］チェックボックスのチェックを外しておいてください。ここがチェックされていると、取り込み枠の移動時に自動露出調整が行われるため、先に取り込んだおよそ半分の画質と合わなくなってしまいます。

4. ［スキャン］ボタンをクリックして、取り込みます。

画像が新規ファイルとして表示されます。

5. **EPSON Scan を終了します。**

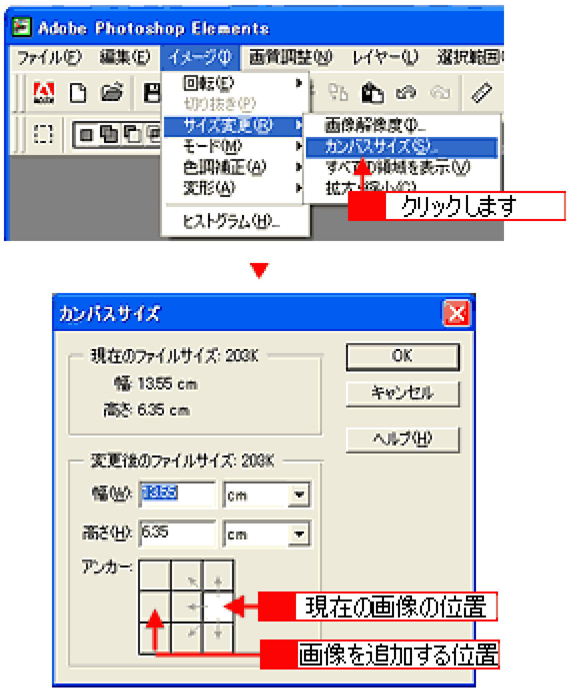
［閉じる］ボタンをクリックして、EPSON Scan を終了します。

以上で、原稿取り込みは終了です。次にアプリケーションでふたつの画像を貼り合わせてみましょう。

## 画像を貼り合わせる

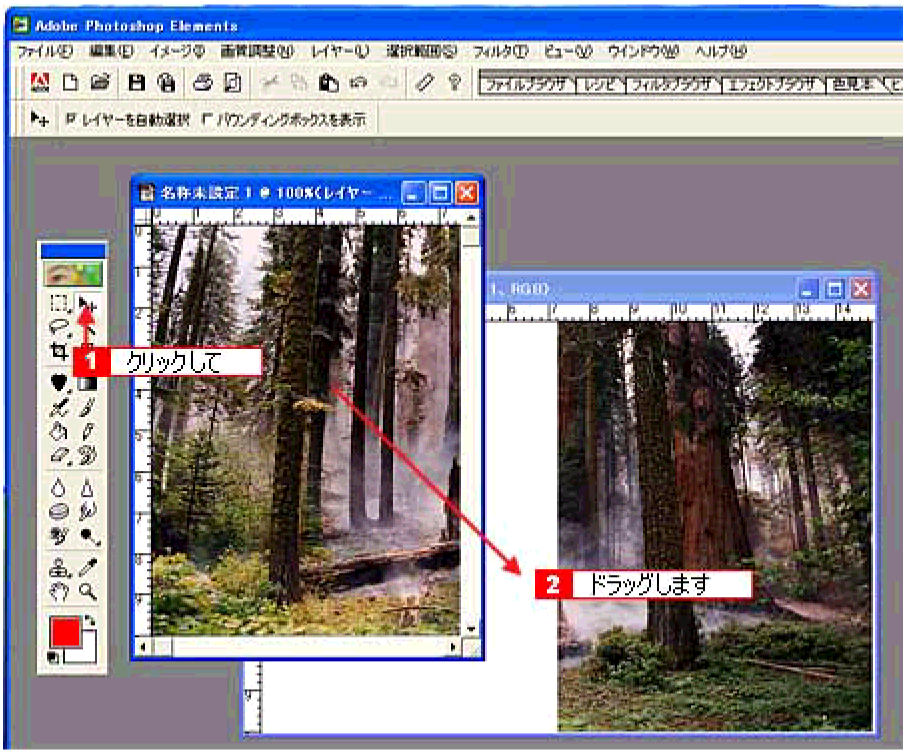
1. **カンバスサイズを指定します。**

取り込んだ画像のどちらかの画像をクリックして、［イメージ］－［サイズ変更］－［カンバスサイズ］をクリックします。
ダイアログの下側にあるアンカー項目は、カンバスサイズを広げたときに、現在の画像をどの位置に配置するかを決めるものです。
例えば、現在の画像を右側に配置して、左側に画像を貼り付けたい場合は、下図のようにアンカー項目を設定します。
画像を横に追加する場合は幅の値を、画像を縦に追加する場合は高さを約 2 倍以上に指定してください。




2. **画像を貼り合わせます。**

移動ツールを選択して、カンバスサイズを広げた画像に、もう片方の画像をドラッグしてください。
2 つの画像が貼り合わされるので、移動ツールで微調整してください。




**この後は、画像を統合して、必要な部分を切り抜いて保存してください。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。**



貼り合わせた画像

# 複数の原稿を連続して取り込もう

TWAIN 対応アプリケーションから EPSON Scan を起動して複数の領域を取り込む場合は、画像をひとつずつ保存しなければなりません。
しかし EPSON Scan を単独起動した場合、取り込んだ画像は自動的にファイル名を付けて保存されます。そのため、複数の原稿を連続して取り込む場合は、単独起動での取り込みをお勧めします。

ここでは、ホームモードを例に、複数の領域を指定して一気に取り込む方法を説明します。

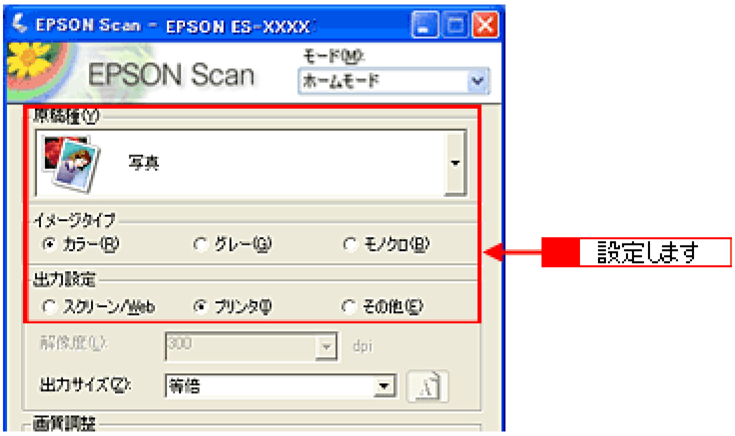
## 複数の領域を指定して一気に取り込む

1. **EPSON Scan を単独で起動し、ホームモードを選択します。**

   「EPSON Scan の起動方法」7
   EPSON Scan（ホームモード）が起動して、画像がプレビューされます。

2. **［イメージタイプ］、［出力設定］を目的に合わせて設定します。**

   ［原稿種］は実際にセットしている原稿に合わせてください。
   出力設定は、［スクリーン /Web］または［プリンタ］を選んだ場合は、用途に応じた最適な解像度が自動設定されます。［その他］を選んだ場合は、目的に適した解像度を入力してください。




3. **プレビューされていない場合は、原稿をプレビューします。**

   起動時にプレビューされなかった場合は、［プレビュー］ボタン右にある縦長のボタンをクリックし、［サムネイル表示］または［通常表示］を選択して［プレビュー］ボタンをクリックします。

4. **取り込みたい複数のコマ、または領域を選択します。**

<u>**サムネイル表示の場合**</u>

プレビューされると、すべてのコマがチェックされます。すべてのコマを取り込みたくない場合は、プレビューされた画像の一覧から、取り込まないコマのチェックを外します。

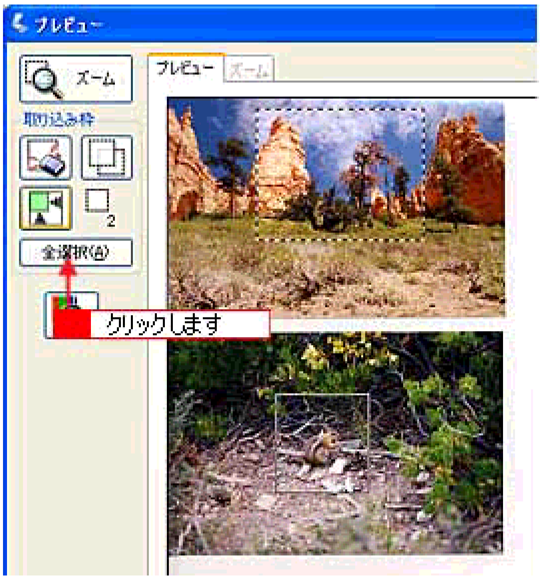



**通常表示の場合**

取り込みたい領域を選択してください。

「取り込み枠の調整方法」16

5. **通常表示の場合は、取り込み枠をすべて作成し、[全選択]ボタンをクリックしてください。**




6. **[スキャン]ボタンをクリックします。**

[保存ファイルの設定]ダイアログが表示されます。

7. **表示された[保存ファイルの設定]ダイアログで、[保存先]や[ファイル名]などを設定してください。**

[保存ファイルの設定]ダイアログでの設定については、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。




**ポイント**

**後で画像を開く時はこの［保存先］で設定したフォルダを指定しますので、フォルダ名を覚えておいてください。**

**8.　［OK］ボタンをクリックします。スキャンと保存が連続して実行されます。**

# フィルムをインデックス画像として取り込もう（ES-2200/8500）

たくさんのフィルムを整理する場合、インデックス画像として保存しておくと便利です。ここでは、プロフェッショナルモードを例にインデックス画像の作り方を説明します。

ポイント

サムネイル表示と通常表示のメリット
プロフェッショナルモードでは、プレビューウィンドウは、サムネイル表示と通常表示があります。サムネイル（インデックス）を作る場合のそれぞれのメリットは以下のとおりです。

- サムネイル表示：任意のコマを回転し、天地を揃えて取り込むことができます。
- 通常表示：取り込み枠をコピーできます。

サムネイル表示は 35mm フィルムのみ可能です。そのほかのフィルムの場合は通常表示でプレビューしてください。

## インデックスを作る方法（サムネイル表示の場合）

フィルムホルダはまっすぐセットしてください。少しでも斜めにセットすると、正しく認識されません。

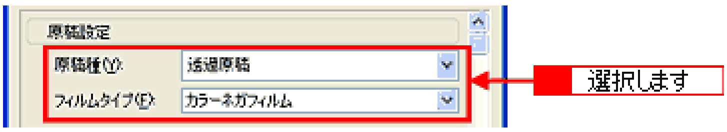
1. EPSON Scan を単独起動し、プロフェッショナルモードを選択します。

「EPSON Scan の起動方法」7

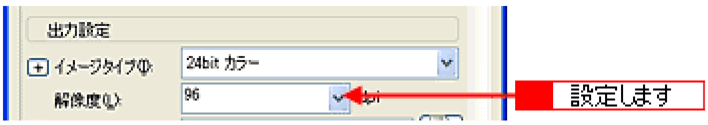
単独起動の場合、取り込んだ画像は自動的にファイル名を付けて保存されるので便利です。インデックスを作成するときは、取り込み作業を繰り返すので単独起動をお勧めします。

2. ［原稿設定］を原稿に合わせて設定します。

［原稿種］は［透過原稿］を選択してください。
［フィルムタイプ］はセットしたフィルムに合わせて選択してください。




3. 解像度を 96 ～ 150dpi 程度に設定します。




4. サムネイル表示でプレビューします。

［プレビュー］ボタンの右にある縦長のボタンで、［サムネイル表示］を選択し、［プレビュー］ボタンをクリックします。

ポイント

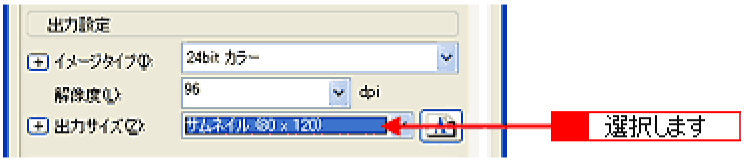
［原稿種］で［透過原稿］を選択すると、フィルムホルダにセットしたフィルムに合わせた焦点位置（2.5mm）に設定されます（ES-2200 の場合、［焦点位置選択］ボタンの場合はグレーアウトし、2.5mm 固定になります）。

5. 必要に応じて、プレビューされた画像の一覧から、取り込まないフィルムのチェックを外します。




6. ［出力サイズ］リストで、［サムネイル (80X120)］を選択します。

現在選択されているコマに、取り込み枠が表示されます。

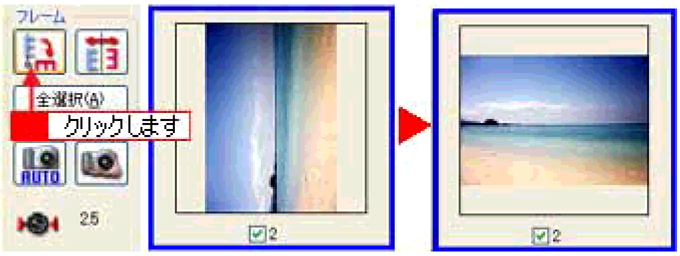
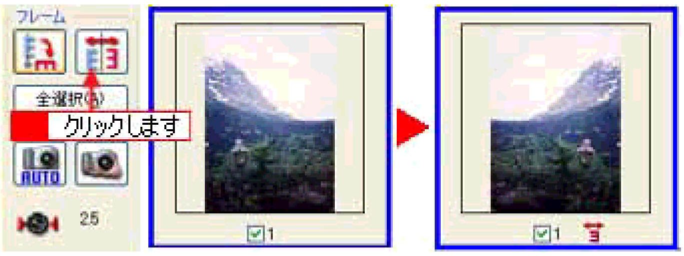






ポイント

- サムネイルを選択すると、80X120 ピクセルに設定されます。小さすぎる場合は、他のサイズを選択するか、または［ユーザー定義サイズ］で目的のサイズを設定してください。
- 画像の向きを変えて取り込みたい場合は、［90 度回転］ボタン、［鏡像反転］ボタンを使用してください。

| | |
|---|---|
|  | [ 90 度回転］ボタン<br>このボタンをクリックすると、選択している画像を右方向（時計回り）に 90 度ずつ回転できます。 |
| |   |
|  | ［鏡像反転］ボタン<br>このボタンをクリックすると、選択している画像を左右に鏡像反転できます。膜面を下に向けてセットした場合に使用してください。 |
| |   |

7. **取り込み枠を、取り込みたい領域に移動します。**




8. **手順 6 と 7 を取り込みたいコマ分繰り返します。**

9. **［スキャン］ボタンをクリックします。**

   ［保存ファイルの設定］ダイアログが表示されます。

10. **表示された［保存ファイルの設定］ダイアログで、［保存先］や［ファイル名］などを設定してください。**

   ［保存ファイルの設定］ダイアログでの設定については、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。




ポイント

- 後で画像を開く時はこの［保存先］で設定したフォルダを指定しますので、フォルダ名を覚えておいてください。
- 保存形式は、圧縮形式の JPEG （拡張子：jpg ）をお勧めします。［詳細設定］ボタンをクリックすると、圧縮率を変更できます。

**11. ［OK］ボタンをクリックします。スキャンと保存が連続して実行されます。**

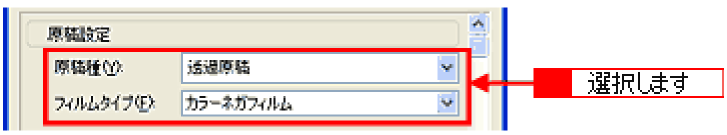
## サムネイルを作る方法（通常表示の場合）

**1. EPSON Scan を単独起動し、プロフェッショナルモードを選択します。**

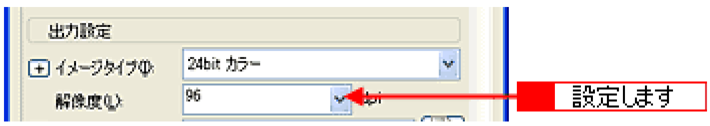
「EPSON Scan の起動方法」7

**2. ［原稿設定］を原稿に合わせて設定します。**

［原稿種］は［透過原稿］を選択してください。
［フィルムタイプ］はセットしたフィルムに合わせて選択してください。




**3. 解像度を 96 ～ 150dpi 程度に設定します。**




**4. 通常表示でプレビューします。**

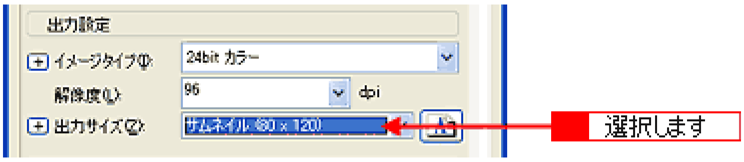
［プレビュー］ボタンの右にある縦長のボタンで、［通常表示］を選択し、［プレビュー］ボタンをクリックします。

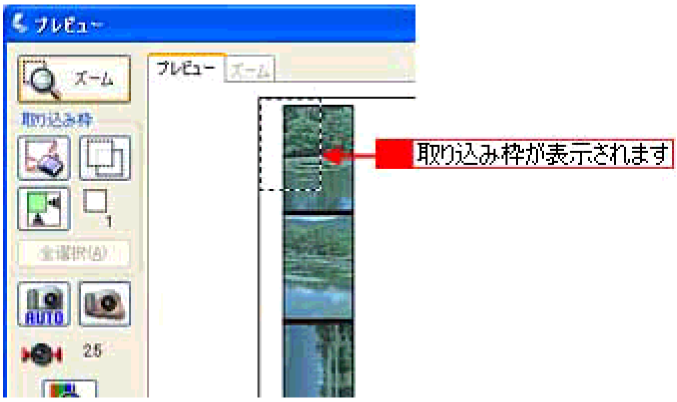
ポイント

［原稿種］で［透過原稿］を選択すると、フィルムホルダにセットしたフィルムに合わせた焦点位置（2.5mm）に設定されます。

**5. ［出力サイズ］リストで、［サムネイル (80X120)］を選択します。**

取り込み枠が表示されます。




**ポイント**

**サムネイルを選択すると、80X120 ピクセルに設定されます。小さすぎる場合は、他のサイズを選択するか、または［ユーザー定義サイズ］で目的のサイズを設定してください。**

6. **取り込み枠を取り込みたいコマの上に移動し、大きさを変更します。**

**「取り込み枠の調整方法」** 16




7. **取り込み枠を、取り込みたいコマ分コピーします。**

**プレビュー画面左上のボタンを使って、作成した取り込み枠をコマ分コピーして移動してください。**

**作成した取り込み枠を削除したい場合は、プレビュー画面左上のボタンを使って削除してください。**




8. ［全選択］ボタンをクリックします。




9. ［スキャン］ボタンをクリックします。

［保存ファイルの設定］ダイアログが表示されます。

10. 表示された［保存ファイルの設定］ダイアログで、［保存先］や［ファイル名］などを設定してください。

［保存ファイルの設定］ダイアログでの設定については、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。




ポイント

- 後で画像を開く時はこの［保存先］で設定したフォルダを指定しますので、フォルダ名を覚えておいてください。
- 保存形式は、圧縮形式の JPEG （拡張子：jpg ）をお勧めします。［詳細設定］ボタンをクリックすると、圧縮率を変更できます。

**11.［OK］ボタンをクリックします。スキャンと保存が連続して実行されます。**

# スキャナの最高画質で取り込もう

ここではプロフェッショナルモードを例に、スキャナの最高解像度で取り込む場合の設定を説明します。

**ポイント**

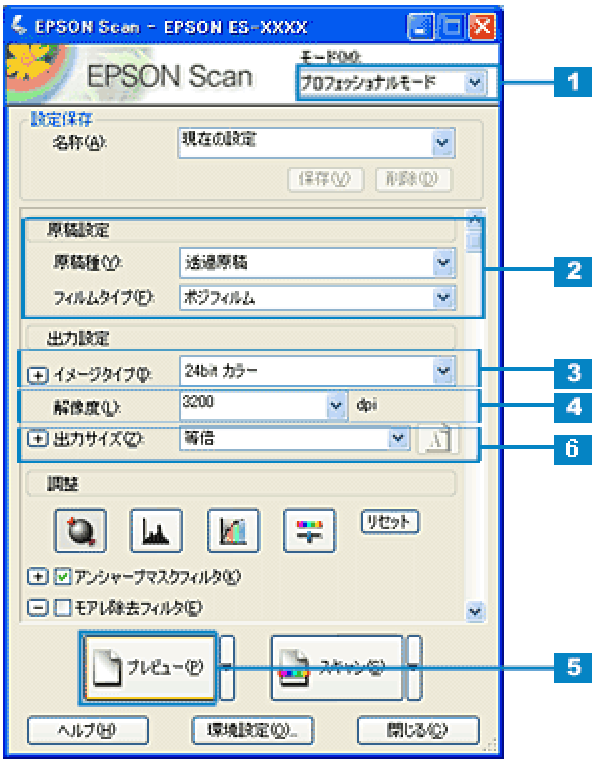
解像度を何千 dpi まで上げると、データ転送の規格上の制限などにより、取り込み可能サイズに制限が生じます。そのため、エラーメッセージが表示され、取り込みができない場合があります。また、取り込みに非常に時間がかかる場合があります。

1. **EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。**

「EPSON Scan の起動方法」7

2. **［原稿設定］を原稿に合わせて設定します。**

［原稿種］は実際にセットしている原稿に合わせてください。
反射原稿の場合は［取込装置］と［自動露出］、透過原稿の場合は［フィルムタイプ］を設定してください。




3. **［イメージタイプ］を選択します。**

4. **解像度を選択します。**

解像度リストからお使いのスキャナの光学解像度を選択してください。
光学解像度については、以下の項目（光学解像度の主走査の値）を参照してください。
「基本仕様（ES-6000HS）」186
「基本仕様（ES-8500）」188
「基本仕様（ES-9000H）」190
「基本仕様（ES-2200）」192

5. **［プレビュー］ボタンをクリックして、原稿をプレビューします。**

画像の仮取り込み（プレビュー）が実行され、プレビュー画面が表示されます。

6. **［出力サイズ］の設定が［等倍］になっていることを確認します。**

**そのほかの設定になっている場合は、［等倍］を選択してください。**

**ポイント**

**手順 4 で設定した解像度は、出力解像度（取り込み後の画像の解像度）です。スキャナからの入力解像度を設定した解像度と一致させたい場合は、［出力サイズ］を必ず［等倍］に設定してください。［等倍］に設定することで入力解像度＝出力解像度となります。［等倍］以外を選択すると、入力解像度と出力解像度が一致しません。**

7. **取り込み枠を指定します。**

**「取り込み枠の調整方法」**16
**サムネイル表示でコマが複数ある場合は、調整したいコマをクリックします。**

8. **［スキャン］ボタンをクリックして、取り込みを実行します。**

# 大量の原稿をスピーディに取り込もう

**ここではオプションの ADF（オートドキュメントフィーダ）を使って、大量の原稿をスピーディに取り込む方法を説明します。**

ADF の取り付けについては以下をご覧ください。
「ADF の取り付け（ES-6000HS/8500/9000H）」157
「ADF の取り付け（ES-2200）」167

**ポイント**

- ADF から取り込むときは EPSON Scan を単独起動し、オフィスモードを使用して取り込んでください。
  単独起動することによって、取り込んだ画像を自動的に保存できます。また、オフィスモードを使用することによって、簡単な手順で取り込むことができます。
- ADF 動作中に、ADF 本体を開けたり ADF のカバーを開けたりすると、スキャナ本体がエラーとなり取り込みができません。必ず、閉じた状態でお使いください。

## 原稿の全領域を連続して取り込む場合

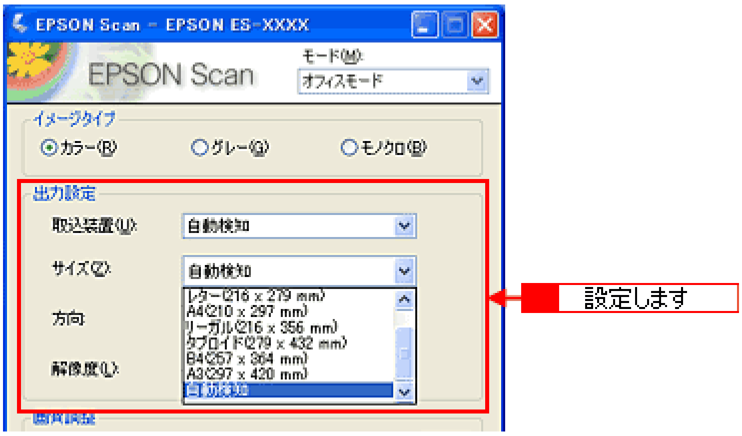
1. **ADF に原稿をセットします。**
2. **EPSON Scan を単独起動し、オフィスモードを選択します。**

   「EPSON Scan の起動方法」7

3. **出力設定項目の［取込装置］、［サイズ］、［方向］、［解像度］を原稿や目的に合わせて設定します。**

   ［取込装置］で［自動検知］を選択した場合：
   ADF に原稿がセットされているときは、ADF から原稿の片面を取り込みます。ADF に原稿がないときは、原稿台から取り込みます。

   ［サイズ］で［自動検知］を選択した場合：
   原稿サイズ（取り込む範囲）が自動検知されます。プレビューする必要がないので、取り込み作業が効率的に行えます。ただし、お使いの機種や［取込装置］の選択によっては選択できません。



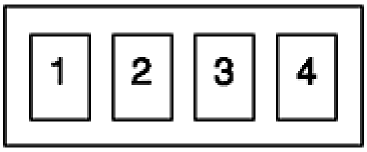

4. **［スキャン］ボタンをクリックして、画像を取り込みます。**
5. **［保存ファイルの設定］ダイアログボックスが表示されるので、保存設定を行います。**

   ［保存先］、［ファイル名］、［保存形式］を設定してください。
   詳しくは、［保存ファイルの設定］ダイアログのヘルプをご覧ください。




ポイント

- ［保存形式］は、［PDF］または［Multi-TIFF］をお勧めします。PDF または Multi-TIFF を選択すると、連続して取り込んだ全ページが 1 つのファイルとして保存されます。




- PDF を開くには Adobe Acrobat または Acrobat Reader が、Multi-TIFF 形式のファイルを開くには Multi-TIFF に対応したアプリケーションが必要です。付属の EPSON ScanPalette（Windows のみ）は、Multi-TIFF に対応しています。
- 後で画像を開く時は、この［保存先］で設定したフォルダを指定しますので、フォルダ名を覚えておいてください。

6. ［OK］ボタンをクリックします。

## 原稿の一部分を連続して取り込む場合

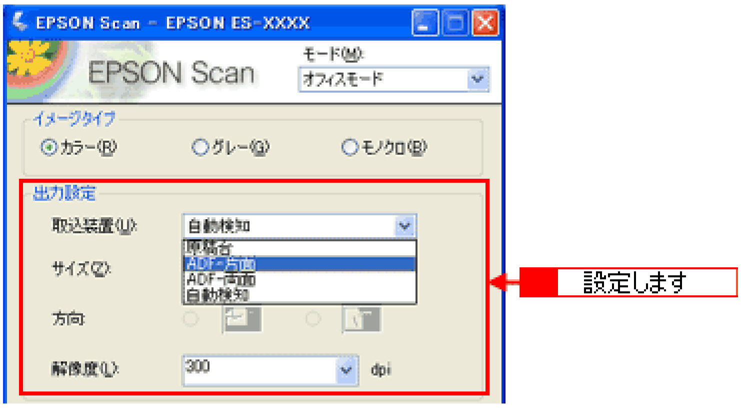
たとえば伝票の一部分を連続して取り込みたい場合は、次の手順に従ってください。

1. ADF に原稿をセットします。
2. EPSON Scan を起動し、オフィスモードを選択します。

「EPSON Scan の起動方法」7

3. 出力設定項目の［取込装置］、［サイズ］、［方向］、［解像度］を、原稿や目的に合わせて設定します。

［取込装置］で ADF-XX を選択してください。




4. **［プレビュー］ボタンをクリックして、原稿をプレビューします。**

   1 番上の原稿が給紙されて画像の仮取り込み（プレビュー）が行われます。プレビューが終了すると排紙されます。A3 スキャナの場合は、プレビューによって上から 2 番目の原稿も給排紙されます。

5. **取り込み枠を指定します。**

   取り込み枠は、1 つだけ設定してください。ADF からの取り込みでは、複数枠の取り込みはできません。
   「取り込み枠の調整方法」16

6. **排紙された原稿を順番通りまとめ直し、原稿をすべてセットします。**

   プレビュー時と同じ向きでセットしてください。

7. **［スキャン］ボタンをクリックして、取り込みを実行します。**

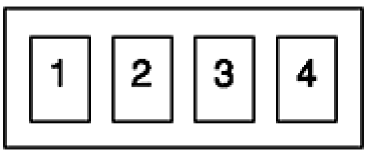
8. **［保存ファイルの設定］ダイアログボックスが表示されるので、保存設定を行います。**

   ［保存先］、［ファイル名］、［保存形式］を設定してください。
   詳しくは、［保存ファイルの設定］ダイアログのヘルプをご覧ください。




**ポイント**

- ［保存形式］は、［PDF］または［Multi-TIFF］をお勧めします。PDF または Multi-TIFF を選択すると、連続して取り込んだ全ページが 1 つのファイルとして保存されます。



- PDF を開くには Adobe Acrobat または Acrobat Reader が、Multi-TIFF 形式のファイルを開くには Multi-TIFF に対応したアプリケーションが必要です。付属の EPSON ScanPalette（Windows のみ）は、Multi-TIFF に対応しています。
- 後で画像を開く時は、この［保存先］で設定したフォルダを指定しますので、フォルダ名を覚えておいてください。

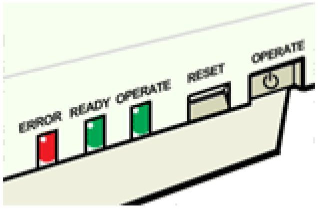
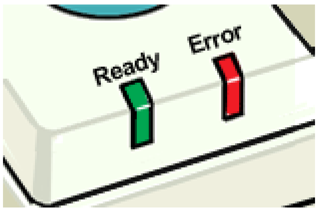
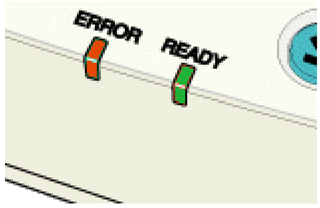
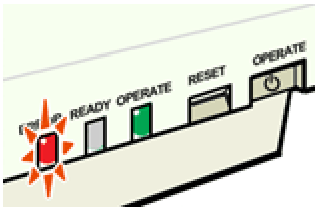
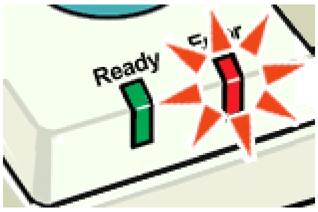
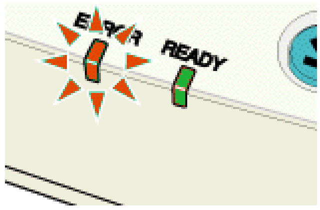
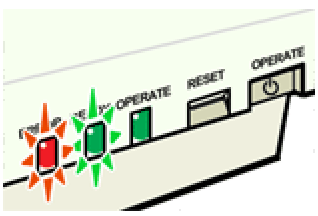
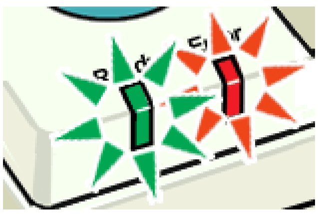
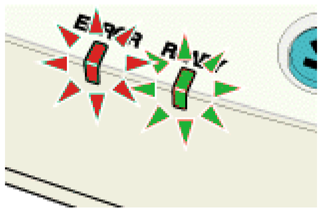
9. ［OK］ボタンをクリックします。

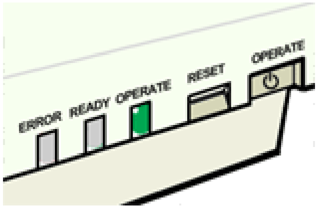
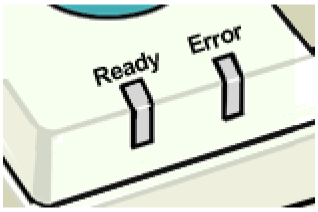
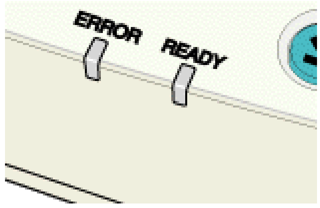
# トラブル対処方法

## スキャナのエラー表示

スキャナでエラーが起こった時は、ランプの表示でエラーの内容を確かめることができます。

：点灯　：点滅　：消灯

| | | | |
|---|---|---|---|
| ランプ表示 | ＜ ES-6000HS/8500 ＞<br><br> | ＜ ES-9000H ＞<br><br> | ＜ ES-2200 ＞<br><br> |
| 内容／対処 | ソフトウェアの設定や送られてきたコマンドに誤りがあります。ソフトウェアで取り込み操作をもう一度やり直してください。<br>スキャナをリセットする必要はありません。 | | |
| ランプ表示 | ＜ ES-6000HS/8500 ＞<br><br> | ＜ ES-9000H ＞<br><br> | ＜ ES-2200 ＞<br><br> |
| 内容／対処 | インターフェイスの接続か設定に誤りがあります。インターフェイスの接続や設定を確認してください。<br>スタートアップガイド「SCSI ID とターミネータの設定」<br>それでもエラーが解除されなければ、スキャナの電源をオフにし、10 秒ほど待ってからオンにしてください。 | | |
| ランプ表示 | ＜ ES-6000HS/8500 ＞<br><br> | ＜ ES-9000H ＞<br> | ＜ ES-2200 ＞<br> |

<table>
<tr>
<td rowspan="2">内容／対処</td>
<td>スキャナの電源をオフにし、次のことを確認してください。<br>・キャリッジの固定が解除されているか<br>「電源オンでエラーが出る」90<br>・透過原稿ユニットの輸送用固定ネジを外しているか (ES-8500 のみ )<br>「輸送用固定ネジの取り外し」124<br>・ADF で紙が詰まっていないか<br>「ADF で原稿が詰まった時は（ES-6000HS/8500/9000H）」115</td>
<td>スキャナの電源をオフにし、次のことを確認してください。<br>・キャリッジの固定が解除されているか<br>「電源オンでエラーが出る」90<br>・ADF で紙が詰まっていないか<br>「ADF で原稿が詰まった時は（ES-6000HS/8500/9000H）」115</td>
<td>スキャナの電源をオフにし、次のことを確認してください。<br>・キャリッジの固定が解除されているか<br>「電源オンでエラーが出る」90<br>・透過原稿ユニットの輸送用固定ネジを外しているか<br>「輸送用固定ネジの取り外し」141<br>・ADF で紙が詰まっていないか<br>「ADF で原稿が詰まった時は（ES-2200）」118</td>
</tr>
<tr>
<td colspan="3">上記を確認してもエラーが起こる場合はスキャナの故障が考えられます。エプソンの修理窓口にご相談ください（スタートアップガイド の裏表紙参照）。</td>
</tr>
<tr>
<td>ランプ表示</td>
<td>＜ ES-6000HS/8500 ＞<br><br></td>
<td>＜ ES-9000H ＞<br><br></td>
<td>＜ ES-2200 ＞<br><br></td>
</tr>
<tr>
<td>内容／対処</td>
<td colspan="3">ADF や透過原稿ユニットを完全に閉じていないか、または ADF に原稿がセットされていません。これらをご確認ください。</td>
</tr>
</table>

# 電源がオンにならない

チェック

**電源プラグがコンセントに接続されていますか？**

**コンセントに接続してください。コンセントに電気が通じていないこともありますので、ほかの電気製品をつないで動くかどうかも調べてください。**

# 電源オンでエラーが出る

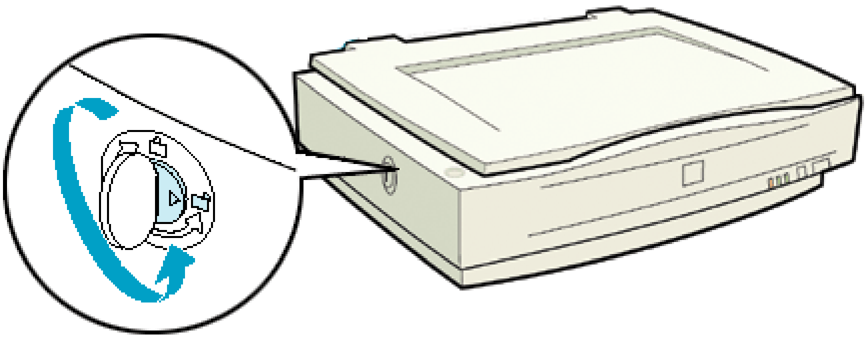
ERROR・READY ランプが点滅する（システムエラーになる）場合は、次のことが考えられます。

チェック

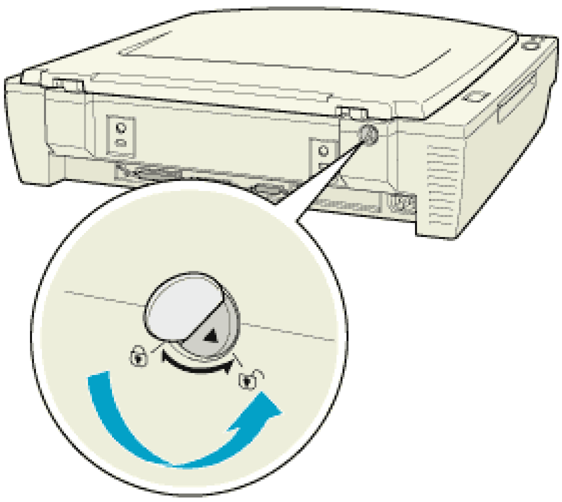
**輸送用固定ノブまたはレバーが LOCK の状態になっていませんか？**

キャリッジが輸送用固定ノブで固定されているため、動けない状態になっています。
電源をオフにしてから、コインなどを使って輸送用固定ノブを UNLOCK の位置に回してください。

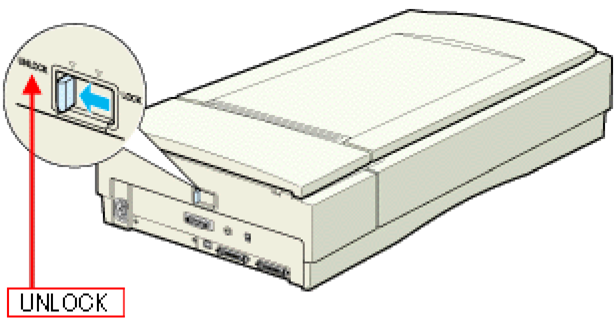
**＜ ES-6000HS/8500 の場合＞**



**＜ ES-9000H の場合＞**



**＜ ES-2200 の場合＞**



# スキャナが認識されない（SCSI）

ポイント

- ここでは、スキャナをコンピュータに直接接続している場合のトラブルについて説明しています。
- スキャナを IEEE1394 接続されている場合のトラブルについては、IEEE1394 I/F カードの取扱説明書をご覧ください。

チェック

**接続に問題はありませんか？**

SCSI ケーブルをしっかりと接続してください。
SCSI ケーブルに問題があることも考えられます。コネクタのピンが折れたり曲がったりしていないか確認してください。

チェック

**スキャナの準備はできていますか？**

スキャナの電源がオフになっていると、スキャナは認識されません。必ず、電源をオンにして READY ランプが緑色に点灯した状態にしておいてください。

チェック

**電源投入の順序は正しいですか？**

コンピュータの電源をオンにする前に、必ずスキャナの電源をオンにしておいてください。そうしないと、スキャナが認識されません。

チェック

**ES-9000H の場合、SCSI データバス幅切替スイッチの設定は正しいですか？**

SCSI データバス幅切替スイッチの設定を確認してください。

チェック

**エプソンで動作確認済みの SCSI ボードを使っていますか？**

エプソンで動作確認済みの SCSI ボード以外では、スキャナの動作保証は致しかねます。動作確認済み SCSI ボードについては、エプソン販売のホームページでご確認ください。エプソン販売のホームページアドレスは、スタートアップガイドの裏表紙にあります。

チェック

**SCSI ボードは正しく取り付けられていますか？**

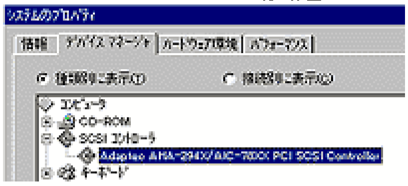
コンピュータにしっかりと取り付けられていない可能性があります。取り付け（奥までしっかり挿入されているか）を確認してください。

チェック

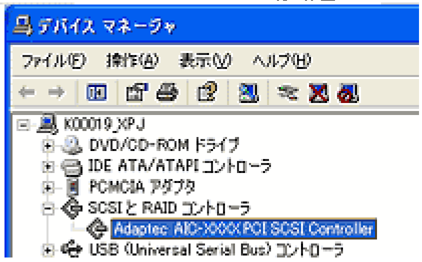
**SCSI ドライバが正しくインストールされ、SCSI ボードが認識されていますか？**

SCSI ボードの取扱説明書を参照して、SCSI ドライバを正しくインストールしてください。
SCSI ドライバは、Windows の CD-ROM に入っているドライバか、または SCSI ボード指定のドライバをお使いください。
SCSI ボードを取り付け、SCSI ドライバをインストールすると、［コントロールパネル］の［システム］の中の［デバイスマネージャ］で次のように認識されます（Windows NT を除く）。

Windows 95/98/ME の場合




Windows 2000/XP の場合




認識されない場合は、以下の項目を参照して対処してください。
→「SCSI ボードが認識されない時は（NT を除く）」94

---

チェック

**SCSI ID の設定は正しいですか？**

スキャナの SCSI ID を他の SCSI 機器と違う設定にしてください。重複していると正常に動作しません。
→ スタートアップガイド「SCSI ID とターミネータの設定」

各機器の ID 番号は、SCSI ボードに付属のソフトウェア（SCSI Select など。SCSI ボードの取扱説明書参照）で確認できます。

---

チェック

**ターミネータの設定は正しいですか？**

接続の順序をご確認の上、ターミネータを正しく設定してください。
誤った設定をすると正常に動作しないことがあります。
→ スタートアップガイド「SCSI ID とターミネータの設定」

---

チェック

**Windows 98 の場合、SCSI ID またはボードを変更していませんか？**

Windows 98 の場合は、EPSON Scan を削除した後で、スキャナの SCSI ID または SCSI ボード（カード）を変更してください。
→「Windows 98 で SCSI ID（ボード）または USB ポートを変更する時は」202

---

チェック

**Windows 98 の場合、EZ-SCSI をインストールしてありませんか？**

EZ-SCSI がインストールされていると、スキャナがデバイスマネージャに [Scanner － ES-XXXX] と登録され、EPSON Scan をインストールできない場合があります。この場合は次のように対処してください。

1) スキャナを接続したまま、デバイスマネージャで Scanner － ES-XXXX を削除します。

2) Windows￥Inf￥Scsiscan.inf を削除します（または EZ-SCSI をアンインストールします）。

3) コンピュータとスキャナの電源をオフにします。

4) コンピュータの電源をオンにし、EPSON Scan をインストールします。
→ スタートアップガイド「ソフトウェアのインストール Windows」

5) コンピュータの電源をオフにします。

6) スキャナの電源をオンにし、次にコンピュータの電源をオンにします。

---

チェック

**Windows 98/2000/Me/XP の場合、インストールが不完全な状態で終了している可能性があります。**

EPSON Scan を削除し、再インストールしてください。
スタートアップガイド「ソフトウェアのインストール（Windows)」

---

チェック

**Windows NT の場合、固有の問題を解決しましたか？**

Windows NT の場合は、ネットワークボードと I/O ポートアドレスが重複したり、またターミネータや SCSI ケーブルの種類に制限がある場合があります。
WindowsNT の readme ファイルを参照の上、固有の問題を解決してください。readme ファイルが保存されている場所は、Windows NT の取扱説明書に記載されています。

## それでもダメな時は

前記を確認してもスキャナが認識されない場合は、次のように対処してください。

---

チェック

**デイジーチェーンの場合、SCSI 機器の順番を入れ替えてみる**

1) スキャナ以外のすべての SCSI 機器をいったん取り外し、スキャナのみ接続します。その後、以下のページを参照して接続の確認をしてください。
スタートアップガイド「接続の確認」

2) 動作が確認できたら、他の SCSI 機器をスキャナの後ろに接続してみてください。この時、SCSI ID やターミネータの設定にご注意ください。
スタートアップガイド「SCSI ID とターミネータの設定」

---

チェック

**SCSI ボードに添付されている取扱説明書または Q&A 集などで確認**

特定のコンピュータおよび SCSI ボードとの組み合わせにおいて、SCSI ボードのディップスイッチや、ソフトウェアの設定変更などが必要になる場合があります *。
SCSI ボードに添付されている取扱説明書や Q ＆ A 集には、このようなケースの具体的な対処方法がいくつか記載されていますので、確認してみてください。

* 他のボード（サウンド・TV チューナーなど）と I/O ポートアドレスなどの設定が重複することがあり、この場合は SCSI ボード側の設定を、ディップスイッチやソフトウェアなどにより変更します。

---

チェック

**デイジーチェーンの場合、他の SCSI 機器に接続上の制限がないか確認**

SCSI 機器によっては、SCSI ID や接続の順序が制限されているものがあります。お使いの SCSI 機器の取扱説明書または readme ファイルでご確認ください（readme ファイルとは、SCSI 機器に添付の CD-ROM などに入っている文書ファイルで、使用上の制限など、読んでほしい内容が書かれています)。

# SCSI ボードが認識されない時は（NT を除く）

ここでは、SCSI ボードの取り付けと SCSI ドライバのインストールを確認します。
まず、お使いの SCSI ボードがプラグ & プレイ対応品かご確認ください（プラグ & プレイとは、周辺装置やボードなどの自動設定機能のことです）。

ポイント

Windows で認識できても、エプソンで動作確認済みの SCSI ボード以外ではスキャナの動作保証は致しかねます。動作確認済み SCSI ボードについては、エプソン販売のホームページでご確認ください。エプソン販売のホームページアドレスは、スタートアップガイド の裏表紙にあります。

## SCSI ボードがプラグ & プレイに対応している場合

プラグ＆プレイに対応しているにもかかわらず、SCSI ボードが認識されない場合は、SCSI ボードが正しく取り付けられていないことが考えられます。取り付け（奥までしっかり挿入されているか）を確認してください。
SCSI ボードが正しく取り付けられていれば、自動的に SCSI ドライバがインストールされます。

※ SCSI ボードが PCI バス用でない場合、ボードがプラグ＆プレイ対応品でも、コンピュータがプラグ＆プレイに対応していない場合があります。コンピュータメーカーにお問い合わせください。

## SCSI ボードがプラグ & プレイに対応していない場合

まず、SCSI ボードが正しく取り付けられているか（奥までしっかり挿入されているか）確認してください。その後、次の手順で SCSI ドライバをインストールします。

1) ［コントロールパネル］を開き、次のアイコンをダブルクリックします。
Windows 95：［ハードウェア］アイコン
Windows 98/Me：［ハードウェアの追加］アイコン
Windows 2000：［ハードウェアの追加と削除］アイコン
Windows XP の場合は、［プリンタとその他のハードウェア］ー関連項目の［ハードウェアの追加］をクリックします。

2) 画面の指示に従って SCSI ボードを検出します。
なお、検出の途中でコンピュータが応答しなくなることがありますので、他のアプリケーションは終了しておいてください（コンピュータが応答しなくなった場合は、リセットしてください）。

3) SCSI ボードを検出できたら、SCSI ドライバをインストールしてください。
詳しくは、SCSI ボードの取扱説明書をご覧いただくか、または SCSI ボードのメーカーにお問い合わせください。
SCSI ボードが検出されない場合は、ボードの取り付けを確認してください。

4) SCSI ボードが正しく認識されたか確認してください。
スタートアップガイド「SCSI ボードの認識確認」

# スキャナが認識されない（USB）

ポイント

- ここでは、スキャナをコンピュータに直接接続している場合のトラブルについて説明しています。
- スキャナを IEEE1394 接続されている場合のトラブルについては、IEEE1394 I/F カードの取扱説明書をご覧ください。

チェック

**スキャナの準備はできていますか？**

スキャナの電源がオフになっていると、スキャナは認識されません。必ず、電源をオンにして READY ランプが緑色に点灯した状態にしておいてください。

チェック

**接続に問題はありませんか？**

USB ケーブルをしっかりと接続してください。

チェック

**必要なシステム条件（OS 環境）を満たしていますか？**

以下のページを参照し、USB 接続に必要なシステム条件（OS 環境）を満たしているか確認してください。
スタートアップガイド「USB 接続の仕方－システム条件の確認」

チェック

**USB ハブは 1 段目に接続していますか？**

USB ハブをお使いの場合、2 段目以降の接続は動作保証外となります。
1 段（1 つ）目の USB ハブに接続してください。
1 段目の USB ハブに接続していてもダメな場合は、スキャナを PC に直接接続してみてください。なお、Windows 98 をお使いの場合は、以下の項目の手順に従ってください。
「Windows 98 で SCSI ID（ボード）または USB ポートを変更する時は」202

この手順に従わないと、スキャナが正常に動作しなくなる場合があります。

チェック

**インストールが不完全な状態で終了している可能性があります。**

EPSON Scan を削除し、再インストールしてください。
スタートアップガイド「ソフトウェアのインストール」

# プレビュー画像の色がおかしい

チェック

**[環境設定] ダイアログー [カラー] 画面の設定を確認してください。**

1) [カラー] 画面の設定が、[ドライバによる色補正] または、[ICM] (Windows) または [ColorSync] (Macintosh) になっていることを確認してください。[色補正なし] は使用しないでください (Windows NT 4.0 を除く)。
「EPSON Scan のヘルプ」

2) [カラー] 画面の設定に応じて、次のことを確認してください。

| カラー画面の設定 | 確認事項 |
|---|---|
| ドライバによる色補正 | • ディスプレイガンマの設定値が 1.8 近傍であること<br>• [常に自動露出を実行] のチェックが外れていないこと |
| • ICM (Windows NT 4.0 以外)<br>• ColorSync | ソース (スキャナ) リストで、EPSON 標準が選択されていること |

チェック

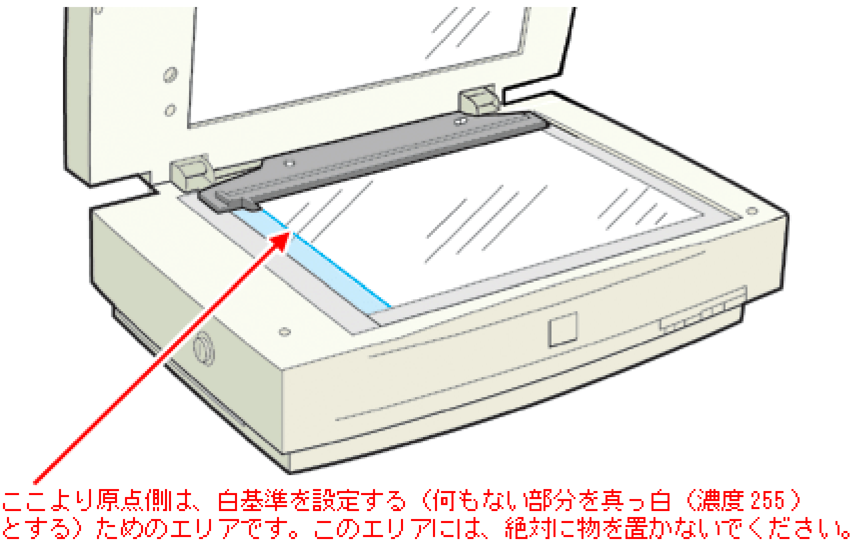
**[環境設定] ダイアログの [高速プレビュー] をチェックしていませんか？**

[環境設定] ダイアログ− [プレビュー] 画面で [高速プレビュー] の チェックを外すと、プレビュー画像が高品位になります。
「EPSON Scan のヘルプ」

チェック

**ES-8500 を使用してフィルムを取り込む場合、図に示す部分に物を置いてありませんか？**

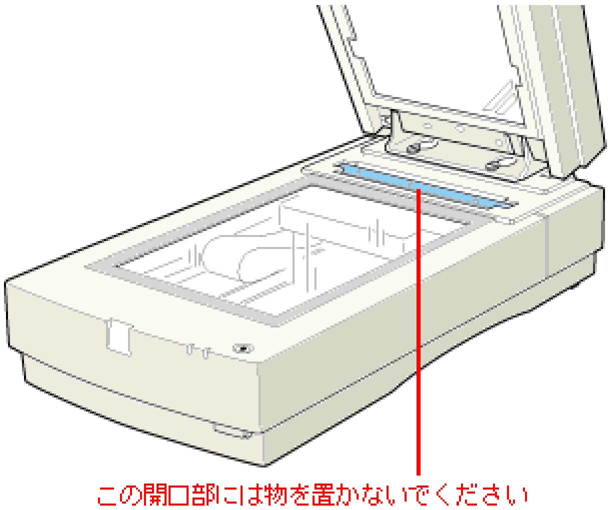
図に示す部分には、絶対に物を置かないでください。




チェック

**ES-2200 を使用してフィルムを取り込む場合、白基準エリアに物を置いてありませんか？**

**白基準エリアに物を置くと、何もない部分を真っ白（濃度 255）にするための補正が正常に働かず、異常な画像になります。白基準エリアには、絶対に物を置かないでください。**



# 画像がぼけている・細部が良く見えない・ゆがんでいる

チェック

**取り込み中にスキャナを揺らしていませんか？**

スキャナに振動を与えないように気を付けながら、もう一度取り込んでください。

チェック

**焦点位置の設定を間違えていませんか？**

設定を確認してください。適切な値は、フィルムホルダにセットしたフィルムを取り込む場合は 2.5mm、原稿台に直接置いた原稿を取り込む場合は 0mm です。
「EPSON Scan のヘルプ」

チェック

**プロフェッショナルモードの場合、［アンシャープマスクフィルタ］のチェックが外れていませんか？**

メインウィンドウ上のアンシャープマスクフィルタのチェックボックスをチェックしてください。
「画像をシャープにする方法」32

チェック

**ディスプレイガンマの設定は適切ですか？**

ディスプレイはメーカや型番によって、明るさ・コントラスト（明暗の差）が異なります（ガンマ値の設定にバラつきがあります）。そのため、画像をお使いのディスプレイに合わせて最適な明るさで取り込めるよう、［環境設定］ダイアログー［カラー］画面で［ディスプレイガンマ］の設定を行ってください。

設定は、ご使用のプリンタドライバの設定と一致させてください。印刷しない場合は、1.8 に設定してください。なお、ディスプレイガンマの数値を上げると、自動露出調整後の画像は明るくなります。
［環境設定］ダイアログの詳細については、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。

チェック

**原稿自体のピントがずれていませんか？**

取り込む原稿自体のピントがずれている可能性があります。プロフェッショナルモードの［アンシャープマスクフィルタ］のチェックボックスをチェックしてみてください。
「画像をシャープにする方法」32

ただし、その場合、モアレ（網目状の陰影）が生じるおそれがあります。モアレが生じる場合は、次の項目を参照して対処してください。
「モアレ（網目状の陰影）を取り除く方法」49

チェック

**［環境設定］ダイアログの［常に自動露出を実行］のチェックが外れていませんか？**

チェックが外れていると自動露出調整が行われないため、露出（明暗）が不適切な画像となり、ぼけているように見える場合があります。

［環境設定］ダイアログー［カラー］画面で［ドライバによる色補正］を選択して、［常に自動露出を実行］をチェックしておくか、［自動露出］ボタンを使用して調整してください。
ほとんどの場合は適切な露出に調整され、鮮明な画像になります。

チェック

**解像度が適切に設定されていますか？**

EPSON Scan の解像度設定によって、画像のきめ細かさが変わります。適切な解像度については、以下を参照してください。

「用途に応じた解像度」34

# 点がいくつか現れるだけで画像にならない

---

**チェック**

**スキャナに原稿をセットしてありますか？**

スキャナに原稿をセットしてください。原稿をセットしないで取り込むと、原稿カバーの裏を取り込むため、白い画像になるだけです。

---

**チェック**

**原稿の取り込む面を下にしてセットしてありますか？**

原稿の取り込みを行う面を下にしてセットしてください。

---

**チェック**

**モノクロ（白黒 2 値）で取り込む場合、しきい値の設定は適切ですか？**

［イメージタイプ］でモノクロを選択し、［しきい値］の設定を変更してみてください。設定を変更すると線や文字を取り込めるようになります。

「文字原稿／線画の取り込みに適した設定」59

# 画像が暗い、原稿の裏面が取り込んだ画像に写ってしまう

チェック

**原稿に裏が透けて見えるほどの薄い用紙を使用していませんか？**

原稿の紙が薄い場合は、裏面や重ねてある紙の画像が裏写りして取り込まれることがあります。この場合は黒い紙や下敷きを原稿の裏側に重ねて取り込むと効果があります。さらに次のように対処すると、より効果があります。

| | |
|---|---|
| ホームモードの場合 | 原稿種を［雑誌］または［新聞］に設定して取り込む |
| オフィスモードの場合 | オフィスモードでは、裏写りや背景の黄色みを除去する機能が常に働きます |
| プロフェッショナルモードの場合 | 自動露出を［書類向き］に設定して取り込む。さらに［ヒストグラム調整］ダイアログの端部カーブ形状変更ボタンで、ハイライトを［ブースト］に設定すると効果が出る場合があります。 |

チェック

**ディスプレイガンマの設定は適切ですか？**

ディスプレイはメーカや型番によって、明るさ・コントラスト（明暗の差）が異なります（ガンマ値の設定にバラつきがあります）。そのため、画像をお使いのディスプレイに合わせて最適な明るさで取り込めるよう、［環境設定］ダイアログー［カラー］画面で［ディスプレイガンマ］の設定を行ってください。

設定は、ご使用のプリンタドライバの設定と一致させてください。印刷しない場合は、1.8 に設定してください。なお、ディスプレイガンマの数値を上げると、自動露出調整後の画像は明るくなります。自動露出は環境設定ダイアログで設定できます。環境設定ダイアログの詳細は、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。

チェック

**［環境設定］ダイアログの［常に自動露出を実行］のチェックが外れていませんか？**

チェックが外れていると自動露出調整が行われないため、露出（明暗）が不適切な画像となり、暗く見える場合があります。環境設定ダイアログの詳細は、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。

［環境設定］ダイアログー［カラー］画面で［ドライバによる色補正］を選択して、［常に自動露出を実行］をチェックしておくか、［自動露出］ボタンを使用して調整してください。

ほとんどの場合は適切な露出に調整され、鮮明な画像になります。

# 画像にモアレ（網目状の陰影）が生じる

チェック

**印刷物などのスクリーン処理された原稿を取り込んでいませんか？**

印刷物などは、スクリーン処理がされているため、モアレ（網目状の陰影）が発生しやすい原稿です。モアレを完全になくすことはできませんが、次のいずれかの方法で少なくすることができます。
モアレについての詳細は以下の項目を参照してください。
「用語集」214

- EPSON Scan（プロフェッショナルモード）で［アンシャープマスクフィルタ］のチェックを外して取り込む
- ［モアレ除去フィルタ］をチェックして取り込む
  「モアレ（網目状の陰影）を取り除く方法」49
- 原稿の向きを変えて取り込み、アプリケーションで本来の向きに回転する
- EPSON Scan のプロフェッショナルモードで［ズーム］の設定を少し変更して取り込む

# 画像にむらやシミ、斑点が出る

チェック

**原稿台が汚れていませんか？**

原稿台のガラス面は、いつもきれいにしておいてください。

汚れているときは、以下の項目を参照して、お手入れをしてください。
「日常のお手入れ」182

チェック

**取り込むとき、原稿を強く押さえ付けていませんか？**

原稿は、静かに置いて取り込んでください。

画像を取り込むとき、原稿カバーや原稿を強く押さえ付けていると、原稿台のガラス面に原稿が貼り付いて、ムラや斑点が出ることがあります。

# 画像が画面に大きく表示される

チェック

**画像を高解像度で取り込んでいませんか？**

通常ディスプレイの解像度は 70 〜 90dpi しかありません。しかし、アプリケーションによっては、取り込んだ画像データの各画素（画像を構成している細かな点の一つ一つ）を画面の解像度に対応させて表示するものがあります。その場合、高解像度の画像データは大きく表示されますが、アプリケーション上で縮小してご確認いただければ、問題ありません。印刷すると原稿と同じ大きさになります。

# 画像の色がセットした原稿と違う

取り込んだ画像がセットした原稿の色あいと異なる。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

**［イメージタイプ］を正しく設定していますか？**

取り込む原稿の種類や画像の用途に合わせて、［イメージタイプ］を正しく設定してください。

チェック

**ディスプレイの表示色数が 256 色以下になっていませんか？**

フルカラー（1677万色以上）のデータを表示させるのであれば、次の表示色にしなければきれいな表示は得られません。

- Windows：High Color（65,000 色）以上
- Macintosh：32,000 色以上

チェック

**ディスプレイの調整はできていますか？**

ディスプレイ表示には、ディスプレイやディスプレイアダプタによってクセがあるため、正しく調整されていなければ、取り込んだ画像が適切な明るさ / 色あいで表示されませんし、また印刷結果が予測できません。ディスプレイを正しく調整してください。
「ディスプレイの調整」206

チェック

**アプリケーションソフトでのモニタ設定をしていますか？**

Adobe Photoshop などのフォトレタッチソフトを使用している場合は、フォトレタッチソフト側の［モニタ設定］などで、モニタ（ディスプレイのことですが、多くのフォトレタッチソフトではモニタと表現しています）のキャリブレーションを行ってください。
モニタ設定を行うと、モニタやディスプレイアダプタによるクセをソフト上で取り除き、画像を適切に表示することができます。
詳しい手順については、お使いのフォトレタッチソフトの取扱説明書やヘルプをご覧ください。

ポイント

**印刷物とディスプレイの色は一致しない**
印刷物は CMY（シアン・マゼンタ・イエロー / 色の三原色）、ディスプレイは RGB（赤・緑・青 / 光の三原色）で色を表現するため、すべての明るさや色あいを完全に一致させることはできません。
自分が最も気になる部分（肌色など）が合うように、EPSON Scan またはフォトレタッチソフトで調整してみてください。

# 文字原稿の認識率が良くない

OCR ソフトで取り込んだ文字原稿の文字の認識率がよくない。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

**原稿が斜めにセットされていませんか？**

原稿が斜めにセットされていると、認識率は低下します。まっすぐにセットしてください。また、原稿カバーを閉じる時は、原稿が動かないようにゆっくり閉じてください。

チェック

**［しきい値］を正しく調整していますか？**

イメージタイプを［モノクロ］に設定して［しきい値］を調整してください。
しきい値とは、白として取り込む部分と、黒として取り込む部分の明るさの境界を決めるものです。
「文字原稿／線画の取り込みに適した設定」59

それでも認識率が向上しない場合は、OCR ソフト側の補正機能（かすれ補正など）を試してみてください。また、文字のフォントサイズによって認識領域を分けるなどの工夫をしてみてください。詳しくは、OCR ソフトの取扱説明書をご覧ください。

チェック

**原稿の品質に問題がありませんか？**

文字原稿の認識率は、原稿の状態に左右されます。次の場合、認識率は下がることがあります。なお、手書き文字は認識できません。

- 何度もコピーした原稿（コピーのコピー）
- FAX 受信した原稿
- 文字間や行間が狭すぎる原稿
- 文字に罫線や下線がかかっている原稿
- 草書体、行書体、毛筆体、斜体などのフォントや、8 ポイント未満の小さな文字が使われている原稿
- 折り目やしわがある原稿
- 本の綴じ込み付近

ポイント

詳しくは、OCR ソフトの取扱説明書をご覧ください。

# ディスプレイと印刷結果の色が合わない

チェック

**カラーマッチング機能を使用してみましたか？**

Windows の「ICM/sRGB」や Macintosh の「ColorSync」などのカラーマッチング機能を使用してみてください。詳しくは下記をご覧ください。
「カラーマネージメントシステムについて」207

チェック

**ディスプレイの調整はできていますか？**

ディスプレイ表示には、ディスプレイやディスプレイアダプタによってクセがあるため、正しく調整されていなければ、印刷結果が予測できません。ディスプレイを正しく調整してください。
「ディスプレイの調整」206

チェック

**アプリケーションソフトでのモニタ設定をしていますか？**

Adobe Photoshop などのフォトレタッチソフトを使用している場合は、フォトレタッチソフト側の［モニタ設定］などで、モニタ（ディスプレイのことですが、多くのフォトレタッチソフトではモニタと表現しています）のキャリブレーションを行ってください。
モニタ設定を行うと、モニタやディスプレイアダプタによるクセをソフト上で取り除き、画像を適切に表示することができます。
詳しい手順については、お使いのフォトレタッチソフトの取扱説明書やヘルプをご覧ください。

ポイント

**印刷物とディスプレイの色は一致しない**
印刷物は CMY（シアン・マゼンタ・イエロー / 色の三原色）、ディスプレイは RGB（赤・緑・青 / 光の三原色）で色を表現するため、すべての色を完全に一致させることはできません。また、インクジェットプリンタで印刷する場合、プリンタで表現する画素（インクの粒）はインクの色そのままであるのに対し、ディスプレイは画素 1 つ 1 つの階調を豊富に表現できます。そのため、画像の階調表現力はディスプレイの方が圧倒的に勝ります。

自分が最も気になる部分（肌色など）の色や階調が合うように、EPSON Scan またはフォトレタッチソフトで画質を調整してみてください。

**書籍のご案内**
**「カラーマネージメント !」**
カラーマネージメントシステムの使いこなしテクニックが徹底解説されています。モニタキャリブレーションについても詳しく解説されています。
ISBN4-87280-336-1
発行所：株式会社 IDG コミュニケーションズ

# サムネイルプレビューでコマが正常に切り出されない

ホーム／プロフェッショナルモードのサムネイルプレビューで、コマが正常に切り出されない。こんなときは、次の項目を確認してください。

チェック

**35mm フィルムをセットしていますか？**

ホーム／プロフェッショナルモードのサムネイル表示で取り込むことができるのは、35mm フィルムのみです。120/220 フィルムや 4 × 5 インチフィルムを取り込む場合は、ホームまたはプロフェッショナルモードで通常表示表示を選択して取り込んでください。

チェック

**単色の 35mm カラーフィルムをセットしていませんか？**

35mm カラーフィルムでも、単色の場合は思った通りの画像を取り込めない場合があります。その場合は、ホームまたはプロフェッショナルモードの通常表示で取り込んでください。

チェック

**透過原稿ユニットに付属のフィルムホルダを、正しい位置にセットしていますか？**

必ず、透過原稿ユニットに付属しているフィルムホルダを使用してセットしてください。また、フィルムホルダはまっすぐセットしてください。少しでも斜めにセットすると正常に認識されません。

チェック

**標準コマとパノラマが混在していませんか？**

標準コマとパノラマが混在していると、パノラマが正常に認識されません。パノラマを含むフィルムを取り込む場合は、ホームまたはプロフェッショナルモードで通常表示を選択して取り込んでください。

# 透過原稿ユニット使用時のトラブル（ES-8500）

「透過原稿ユニットを取り付け、電源オンでエラーが出る」109
「フィルムの取り込みで画像がおかしい」109
「フィルムの取り込みで色付きの縞模様が生じる」110
「［原稿種］または［取込装置］を選択できない」111

## 透過原稿ユニットを取り付け、電源オンでエラーが出る

この場合、システムエラーになります（ERROR・READY ランプ点滅）。

---

チェック

**透過原稿ユニットの輸送用固定ネジを外していないため、キャリッジが動けない状態になっています。**

電源をオフにしてから、透過原稿ユニットの輸送用固定ネジを外してください。
「輸送用固定ネジの取り外し」124

## フィルムの取り込みで画像がおかしい

---

チェック

**通常表示でプレビューしている場合、取り込み枠がフィルムのコマからはみ出していませんか？**

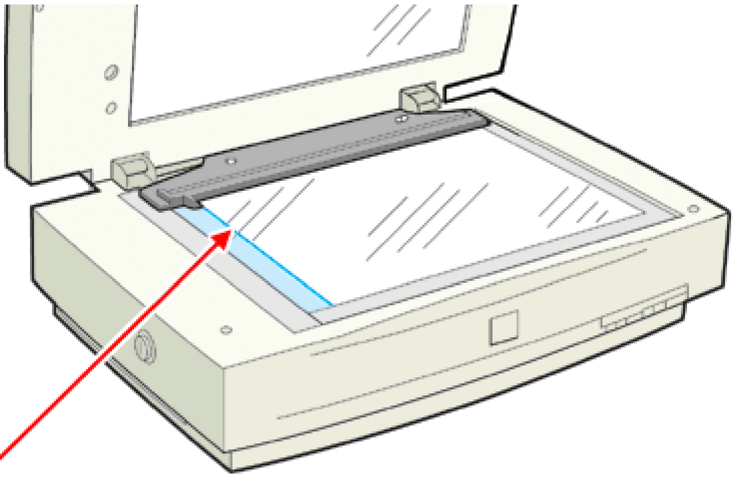
取り込み枠がフィルムのコマからはみ出していると、自動露出調整が正しく行われません。ズームプレビューを実行し、取り込み枠がコマからはみ出していないか確認してください。

---

チェック

**図に示す部分に物を置いてありませんか？**

図に示す部分には、絶対に物を置かないでください。




チェック

**スキャナ本体に同梱されていたスケールストッパをはがしてありますか？**

透過原稿ユニットを使用する場合は、必ず、スケールストッパをはがしておいてください。透過原稿ユニット使用時にスケールストッパが貼り付けられていると，フィルムを正しく取り込めない場合があります。

「透過原稿ユニットの取り付け（ES-8500)」124

## フィルムの取り込みで色付きの縞模様が生じる

チェック

**フィルムを表裏反対（膜面をスキャナのガラス側）にして取り込んでみてください。**

膜面（取り込む面の反対側）をスキャナのガラス側に向けると、ガラスとフィルム面の間に感光剤の凹凸が入るので、縞模様が発生しにくくなります。
ただしこの方法では画像が鏡像反転します。そのため、プレビューの表示形式に応じて、以下の方法で正しい向きに戻してください。

| | |
|---|---|
| サムネイル表示の場合： | プレビューウィンドウの［鏡像反転］ボタンを使用する |
| 通常表示の場合： | 画像を取り込んだ後、アプリケーションで鏡像反転する |

この縞模様は、ニュートンリングといいます。

「用語集」214

# ［原稿種］または［取込装置］を選択できない

チェック

**透過原稿ユニットのケーブルが外れていませんか？**

ケーブルがスキャナに接続されていないと、オプションが使えません。ケーブルを接続してください。

「透過原稿ユニットの取り付け（ES-8500）」124

チェック

**オフィスモードを使用していませんか？**

オフィスモードは透過原稿ユニットに対応していません。ホームモードまたはプロフェッショナルモードに切り替えて取り込んでください。

# 透過原稿ユニット使用時のトラブル（ES-2200）

「透過原稿ユニットを取り付け、電源オンでエラーが出る」112
「フィルムの取り込みで画像がおかしい」112
「フィルムの取り込みで色付きの縞模様が生じる」113
「[原稿種] または [取込装置] を選択できない」113

## 透過原稿ユニットを取り付け、電源オンでエラーが出る

この場合、システムエラーになります。（ERROR・READY ランプ点滅）。

チェック

**透過原稿ユニットの輸送用固定ネジを外していないため、キャリッジが動けない状態になっています。**

電源をオフにしてから、透過原稿ユニットの輸送用固定ネジを外してください。
「輸送用固定ネジの取り外し」141

## フィルムの取り込みで画像がおかしい

チェック

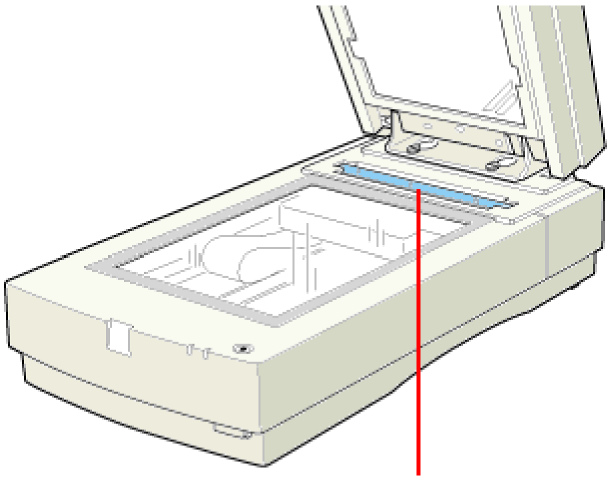
**通常表示でプレビューしている場合、取り込み枠がフィルムのコマからはみ出していませんか？**

取り込み枠がフィルムのコマからはみ出していると、自動露出調整が正しく行われません。ズームプレビューを実行し、取り込み枠がコマからはみ出していないか確認してください。

チェック

**白基準エリアに物を置いてありませんか？**

白基準エリアに物を置くと、何もない部分を真っ白（濃度 255）にするための補正が正常に働かず、異常な画像になります。白基準エリアには、絶対に物を置かないでください。



## フィルムの取り込みで色付きの縞模様が生じる

チェック

**フィルムを表裏反対（膜面をスキャナのガラス側）にして取り込んでみてください。**

膜面（取り込む面の反対側）をスキャナのガラス側に向けると、ガラスとフィルム面の間に感光剤の凹凸が入るので、縞模様が発生しにくくなります。
ただしこの方法では画像が鏡像反転します。そのため、プレビューの表示形式に応じて、以下の方法で正しい向きに戻してください。

| | |
|---|---|
| サムネイル表示の場合： | プレビューウィンドウの［鏡像反転］ボタンを使用する |
| 通常表示の場合： | 画像を取り込んだ後、アプリケーションで鏡像反転する |

この縞模様は、ニュートンリングといいます。
「用語集」214

## ［原稿種］または［取込装置］を選択できない

チェック

**透過原稿ユニットのケーブルが外れていませんか？**

ケーブルがスキャナに接続されていないと、オプションが使えません。ケーブルを接続してください。
「透過原稿ユニットの取り付け （ES-2200）」141

チェック

**オフィスモードを使用していませんか？**

オフィスモードは透過原稿ユニットに対応していません。ホームモードまたはプロフェッショナルモードに切り替えて取り込んでください。

# ADF 使用時のトラブル（ES-6000HS/8500/9000H）

「ADF から給紙した原稿に傷が付く」114
「ADF から取り込んだ画像が上下にズレる」114
「[原稿種］または［取込装置］を選択できない」114

## ADF から給紙した原稿に傷が付く

チェック

**ES-6000HS/8500 の場合、スキャナ本体に同梱されていたスケールストッパをはがしてありますか？**

ADF を使用する場合は、必ず、スケールストッパをはがしておいてください。ADF 使用時にスケールストッパが貼り付けられていると、原稿に傷が付くおそれがあります。

「ADF の取り付け（ES-6000HS/8500/9000H）」157

## ADF から取り込んだ画像が上下にズレる

チェック

**ES-6000HS/8500 の場合、ADF に付属のストッパと排紙サポートを、スキャナ本体に正しく貼り付けていますか？**

ストッパと排紙サポートは、原稿の停止および排紙に必要不可欠な部品です。必ず貼り付けてください。
貼り付けないと、ADF が正常に動作しません。また、原稿が詰まったり折れたりすることがあります。

「ADF の取り付け（ES-6000HS/8500/9000H）」157

## ［原稿種］または［取込装置］を選択できない

チェック

**ADF のケーブルが外れていませんか？**

ケーブルがスキャナに接続されていないと、オプションが使えません。ケーブルを接続してください。

「ADF の取り付け（ES-6000HS/8500/9000H）」157

チェック

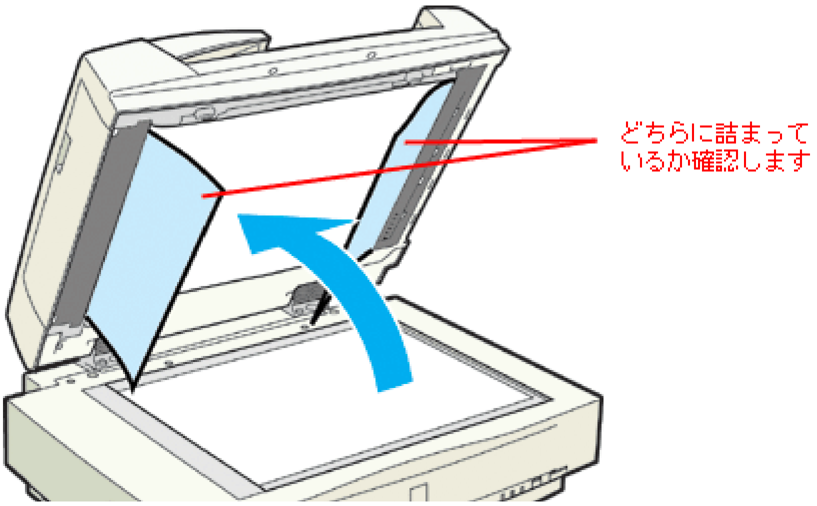
**ホームモードを使用していませんか？**

ホームモードは ADF に対応していません。オフィスモードに切り替えて取り込んでください。

# ADF で原稿が詰まった時は（ES-6000HS/8500/9000H）

ADF で原稿が詰まった時は、次の手順で詰まった原稿を取り除いてください。

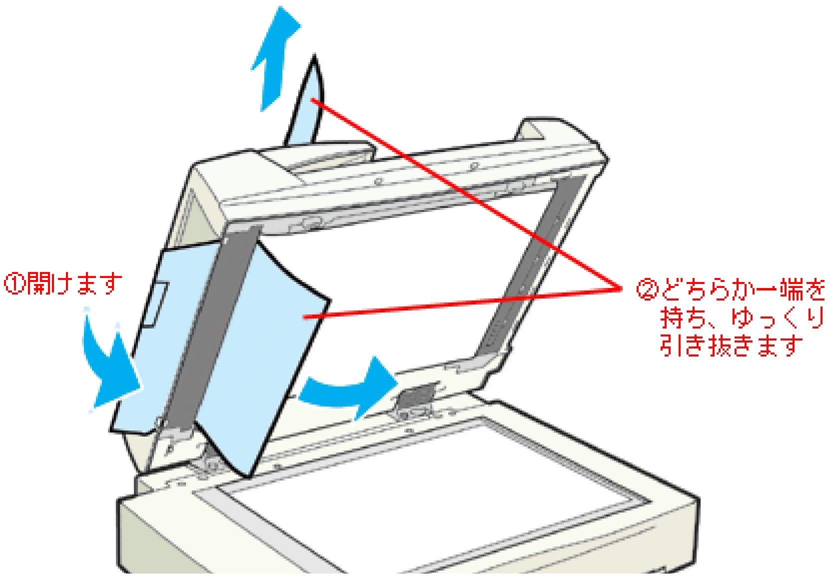
**1. ADF を開け、原稿が詰まっている場所を確認します。**




**2. 詰まっている原稿を取り除きます。**

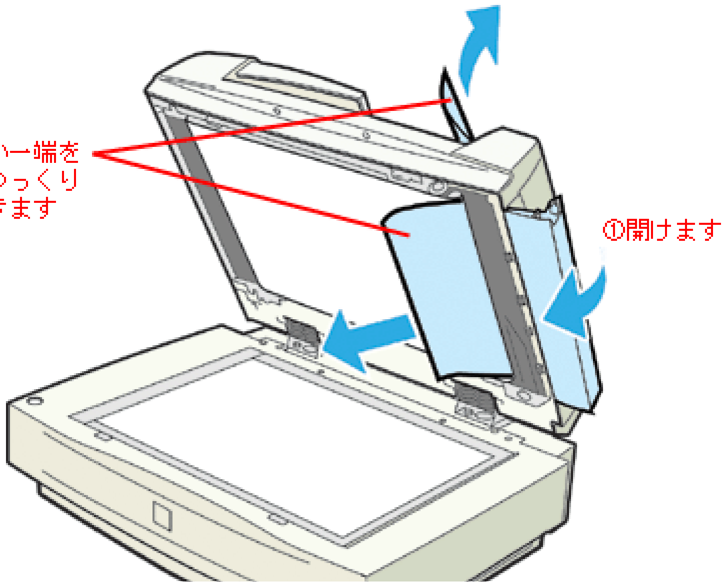
<u>**給紙口で詰まった場合**</u>

（1）図のカバーを開け、原稿を押さえる力を解放します。（2）原稿のどちらか一端を持ち、ゆっくり引き抜きます。強く引っ張ると原稿が破れるおそれがあります。



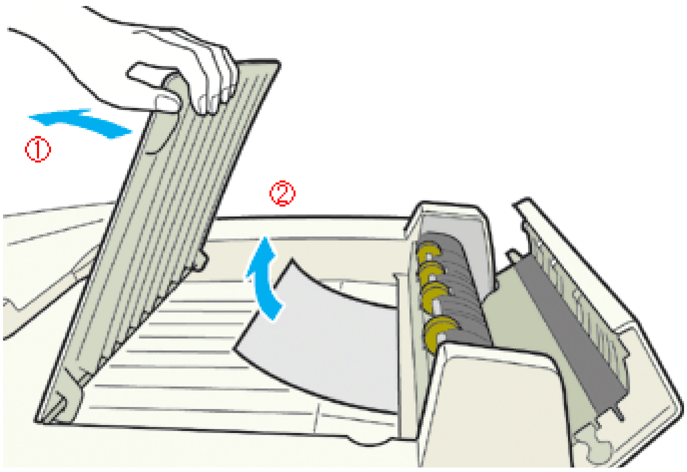

<u>**排紙口で詰まった場合**</u>

（1）図のカバーを開け、原稿を押さえる力を解放します。（2）原稿のどちらか一端を持ち、ゆっくり引き抜きます。強く引っ張ると原稿が破れるおそれがあります。




**原稿が破れて取り出せなくなった場合は**

（1）ADF 上面のカバーを開けます。（2）原稿をゆっくり引き抜きます。




原稿を取り出したら、ADF 上面のカバーを閉じておいてください。

3. **原稿を取り除いたら、ADF のカバーを閉じてから、ADF 本体を閉じてスキャナ前面の［リセット］ボタンを押してください。**

**ポイント**

仕様外の用紙は正しく給紙できません。用紙が仕様にあっているか確認してください。

「ADF で使用できる原稿」162

# ADF 使用時のトラブル（ES-2200）

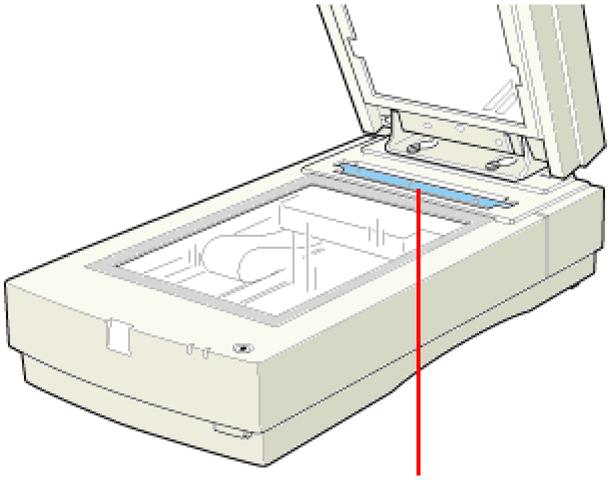
「ADF から取り込んだ画像がおかしい」117
「［原稿種］または［取込装置］で ADF を選択できない」117

## ADF から取り込んだ画像がおかしい

チェック

**スキャナの細長いガラス面に物が置いてあったり、ガラスが汚れていませんか？**

ADF からの取り込みでは細長いガラス面を透して原稿を読み取るため、ここに物が置いてあったり、ガラスが汚れていると、ADF から取り込んだ画像にスジなどが入る原因になります。そのため、細長いガラス面には物を置かないでください。また、ガラスが汚れている場合はきれいに拭いてください。




## ［原稿種］または［取込装置］で ADF を選択できない

チェック

**ADF のケーブルが外れていませんか？**

ケーブルがスキャナに接続されていないと、オプションが使えません。ケーブルを接続してください。

「ADF の取り付け（ES-2200）」167

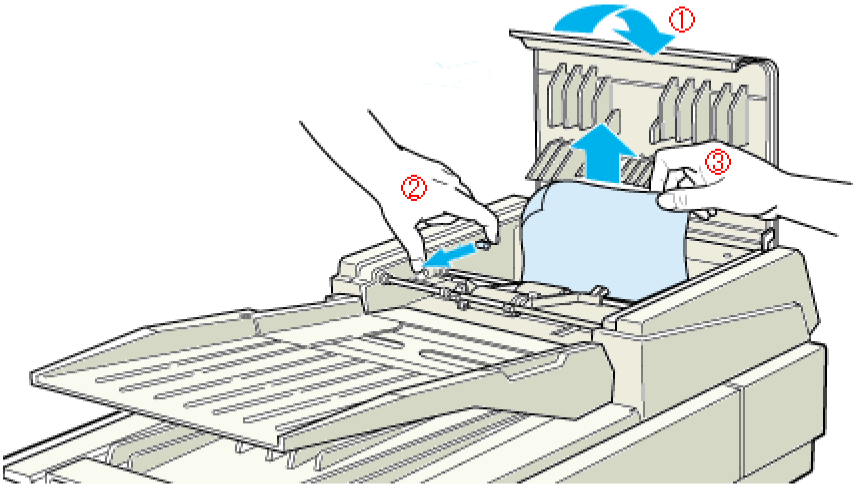
チェック

**ホームモードを使用していませんか？**

ホームモードは ADF に対応していません。オフィスモードに切り替えて取り込んでください。

# ADF で原稿が詰まった時は（ES-2200）

ADF で原稿が詰まったときは、次の手順で詰まった原稿を取り除いてください。
（1）ADF のカバーを開けます。（2）紙詰まり解除レバーを手前に引きながら、（3）原稿をゆっくり引き抜きます。
原稿を強く引っ張ると破れるおそれがあるのでご注意ください。




原稿を取り除いたら、ADF のカバーを閉じてスキャナをリセットします。
ADF 動作中に、カバーを開けたり ADF 本体を開けたりすると、スキャナ本体がエラーとなり取り込みができません。
必ず、閉じた状態でお使いください。

ポイント

仕様外の用紙は正しく給紙できません。用紙が仕様にあっているか確認してください。
「ADF で使用できる原稿」169

# オプションの使い方

## オプションの紹介

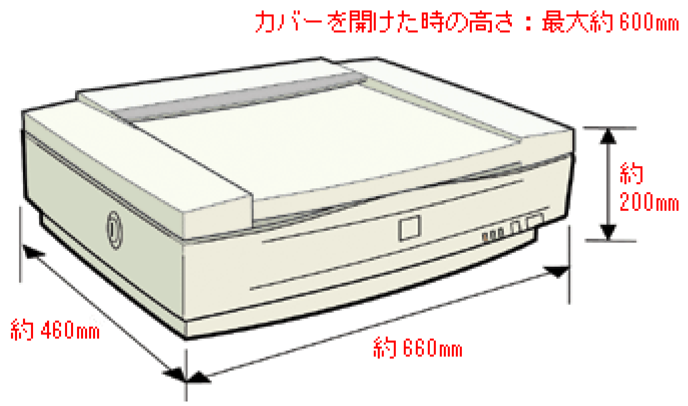
ここでは、各種オプションを紹介しています。

「スキャナ用オプション」119
「コンピュータ接続用オプション」121
「コピーユニット」122
「ネットワーク接続用オプション」122

### スキャナ用オプション

#### ES-8500 用透過原稿ユニット

（型番：ESA3FLU2）

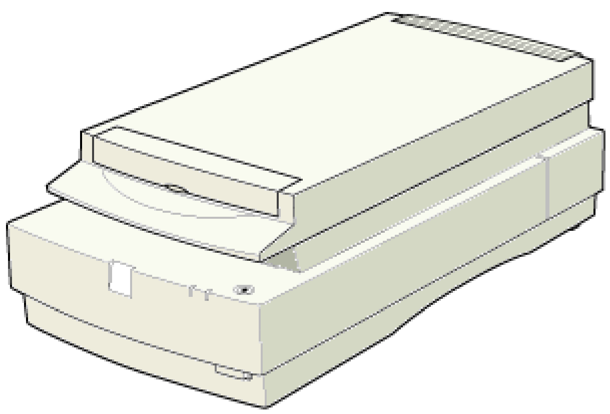



透過原稿（ポジフィルム / ネガフィルム）取り込み装置です。スキャナに取り付けることにより、透過原稿を取り込むことができます。

「透過原稿ユニットの取り付け（ES-8500）」124

#### ES-2200 用透過原稿ユニット

（型番：ESA4FLU）



透過原稿（ポジフィルム / ネガフィルム）取り込み装置です。スキャナに取り付けることにより、透過原稿を取り込むことができます。

「透過原稿ユニットの取り付け （ES-2200）」141

## フィルムホルダ（ES-2200/8500 共通）

（型番：ESFLUHLD）

次のフィルムホルダのセットです（透過原稿ユニットの付属品と同じものです）。

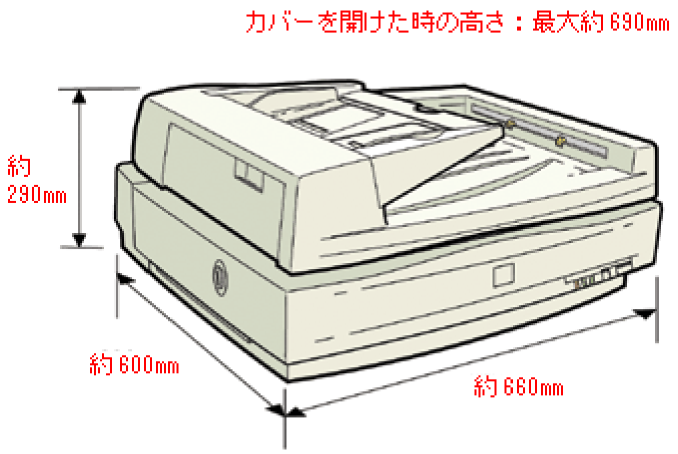
- 35mm スライドフィルムホルダ
- 35mm ストリップフィルムホルダ
- 120/220（中判、ブローニ判）フィルムホルダ
- 4 × 5 インチフィルムホルダ

次のように利用することで、作業効率を上げることができます。

- ES-8500 で 35mm ストリップフィルムを何十枚も取り込む場合に、透過原稿ユニットの付属品と並べてセットする
- 透過原稿ユニットの付属品を使用して取り込んでいる間に、次に取り込むフィルムをオプションのフィルムホルダにセットする。それを交互に繰り返す

## ES-6000HS/8500/9000H 用オートドキュメントフィーダ

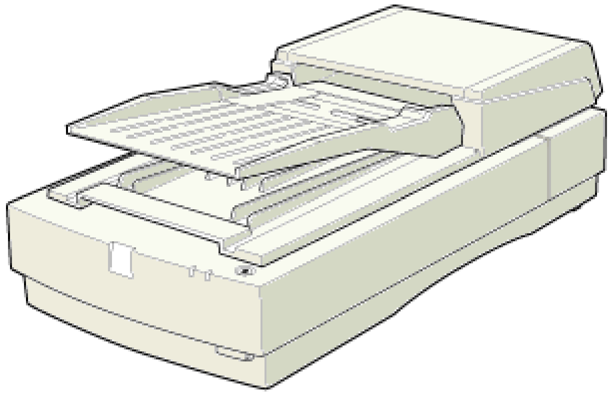
（型番：ESA3ADF2）




原稿連続取り込み装置です。スキャナに取り付けることにより、原稿を連続して取り込むことができます。大量の文書の取り込みやファイリングに威力を発揮します。
この ADF は、両面取り込みも可能です。
「ADF の取り付け（ES-6000HS/8500/9000H）」157

## ES-2200 用オートドキュメントフィーダ

（型番：GT96ADF）

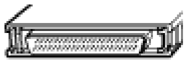
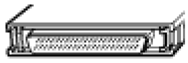
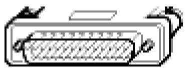
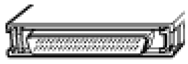
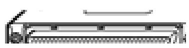
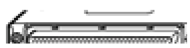


原稿連続取り込み装置です。スキャナに取り付けることにより、原稿を連続して取り込むことができます。大量の文書の取り込みやファイリングに威力を発揮します。
「ADF の取り付け（ES-2200）」167

## コンピュータ接続用オプション

### SCSI ケーブル

デイジーチェーンで接続するための SCSI ケーブルです。お使いの SCSI ボードや SCSI 機器のコネクタに合うケーブルをお買い求めください。
スキャナ側の SCSI コネクタは、50 ピン高密度ピンタイプと、68 ピン高密度ピンタイプ（ES-9000H のみ対応）です。

| 型番 | ケーブル仕様 | コンピュータ側 | スキャナ側 |
|---|---|---|---|
| EPSON 製 GTATSCCB3 | 50 ピン高密度ピンタイプ<br>×<br>50 ピン高密度ピンタイプ（シールド型） |  |  |
| EPSON 製 GTMACSCCB1 | D-Sub25 ピン<br>×<br>50 ピン高密度ピンタイプ（シールド型） |  |  |
| EPSON 製 GTATSCCB4<br>（ES-9000H のみ対応） | 68 ピン高密度ピンタイプ<br>×<br>68 ピン高密度ピンタイプ（シールド型） |  |  |

### USB ケーブル（型番：USBCB2）

USB 接続するためのケーブルです。

### IEEE1394 I/F カード（型番：ES20FWIFS）

スキャナを IEEE1394 接続するためのオプションです。
スキャナ側に装着する IEEE1394 I/F カードと、IEEE1394 I/F ケーブル（6 ピン－ 6 ピン）のセットです。
「IEEE1394 I/F カードの取り付け」172

### システム条件について

| | |
|---|---|
| **Windows** | • Windows 2000/Me/XP プレインストールモデル<br>• エプソンで動作確認済みの IEEE1394 ホストアダプタを装着すること |
| **Macintosh** | • FireWire（IEEE1394）ポートを標準搭載している Power Macintosh<br>• Mac OS 8.6 以上（Mac OS 8.6 の場合は FireWire 2.1 以上が必要） |

ポイント

**Windows 環境でお使いの方へ**
動作確認済み IEEE1394 ホストアダプタについては、エプソン販売のホームページでご確認ください。エプソン販売のホームページアドレスはスタートアップガイド の裏表紙にあります。

### IEEE1394 接続での取り込み速度について

IEEE1394 接続での取り込み速度は、SCSI 接続での取り込み速度とほぼ同じです。また、高解像度での取り込みでは、USB 接続と比べてかなり高速です。なお ES-9000H の場合は、IEEE1394 接続よりも Wide SCSI 接続の方が高速です。
※取り込み速度は、コンピュータの処理能力によって異なります。

### 複数のインターフェイスでの接続について

スキャナは SCSI や USB インターフェイスを標準で装備していますが、複数のインターフェイスを使用して、1 台または複数台のコンピュータに接続（例えば、Macintosh と IEEE1394 接続し、さらに Windows PC と SCSI 接続）すると、スキャナが正常に動作しません。

## コピーユニット

### 型番：CS-6800

A3 スキャナ（ES-6000HS/8500/9000H）とカラーレーザープリンタ（LP-8800C）を接続し、カラーコピー機として使用するためのオプションです。コピー機感覚で操作でき（コンピュータ不要）、しかもカラーコピー機よりリーズナブルです。
なお、専用スキャナスタンドおよび、専用プリンタ台もあります。

ポイント

スキャナには、コンピュータとコピーユニットの両方を接続することができます。
ただし、取り込み動作とコピー動作を同時に行うことはできません。

## ネットワーク接続用オプション

### ネットワークスキャニングボックス

ネットワークスキャニングボックスをスキャナおよびネットワークに接続すると、そのスキャナをネットワーク経由で利用することができます。
ネットワークスキャニングボックスには、ESNSB1 と ESNSB2 の 2 種類があります。機能の違いについては、下表をご覧ください。

#### 概仕様

| | ESNSB1 | ESNSB2 |
|---|---|---|
| 外形寸法 | 幅 155mm ×奥行 110mm ×高さ 27mm | 幅 121mm ×奥行 111mm ×高さ 29mm |
| インターフェイス（ネットワーク） | 10BASE-T/100BASE-TX（自動切替） | 10BASE-T/100BASE-TX（自動切替） |
| インターフェイス（スキャナ） | SCSI<br>• 50 ピン高密度ピンタイプ× 50 ピン高密度ピンタイプ（シールド型）の SCSI ケーブルが付属しています。<br>• 同一 SCSI バス上に他の SCSI 機器を接続（デイジーチェーン）することはできません。 | SCSI<br>• D-sub25 ピン× 50 ピン高密度ピンタイプ（シールド型）の SCSI ケーブルが付属しています。<br>• 同一 SCSI バス上に他の SCSI 機器を接続（デイジーチェーン）することはできません。 |
| 対応スキャナ | EPSON ES シリーズのスキャナ | EPSON ES シリーズのスキャナ |
| ネットワークスキャン機能 | あり | あり |

| | | |
|---|---|---|
| サーバスキャン機能 | あり | コピーユニット［CS-6800］および、コピーユニットが対応している A3 スキャナと組み合わせると可能（ESNSB2 とスキャナだけでは不可）。 |

## ネットワークスキャン機能とは

ネットワーク上のコンピュータで EPSON Scan を使用して、ネットワーク経由で画像を取り込む機能です。

## サーバスキャン機能とは

ESNSB1 またはコピーユニット［CS-6800］のパネル操作によって画像を取り込み、ファイルサーバに保存する機能です。EPSON Scan を使用しないため、原稿を簡単な操作でデータ化し、自動的に保存できます。またネットワーク上での共有が可能です。特に文書を電子ファイル化する作業に向いています。

ポイント

スキャナには、コンピュータとネットワークスキャニングボックスの両方を接続することができます（この場合、コンピュータは USB または IEEE1394 で接続します。SCSI 接続はできません）。
ただし、取り込み動作を同時に行うことはできません。

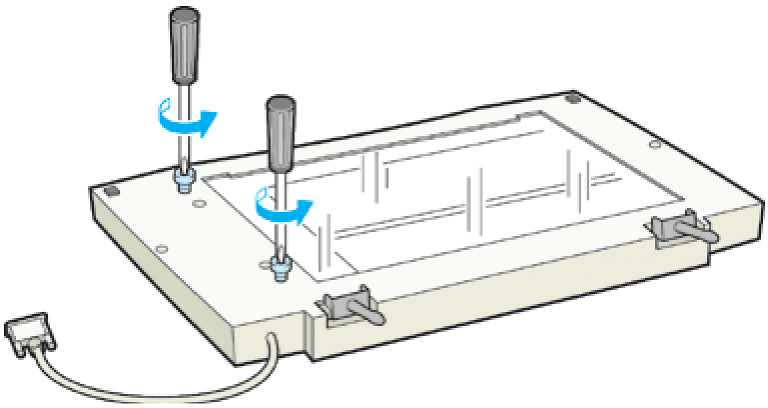
# 透過原稿ユニットの取り付け（ES-8500）

ここでは、オプションの透過原稿ユニットの取り付け方法を説明します。

## 輸送用固定ネジの取り外し

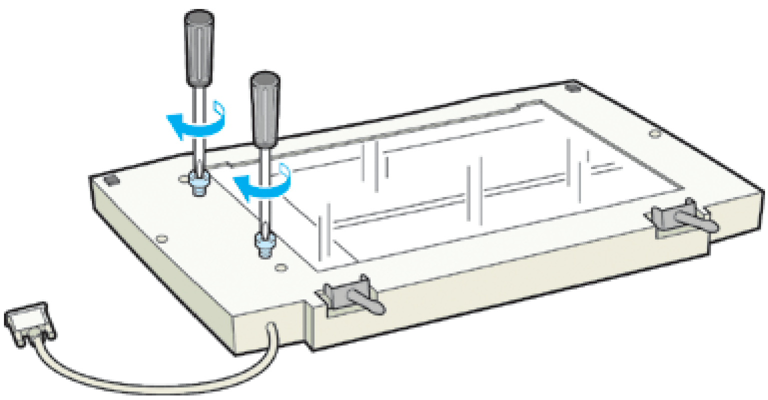
輸送中の衝撃から透過原稿ユニットの駆動部分を保護するために、固定ネジが取り付けてあります。お使いの前に、必ず取り外してください。

1. **透過原稿ユニットのガラスのある面を上に向けます。**
2. **図の位置（CLAMP 穴）のネジをゆるめ、外します。**



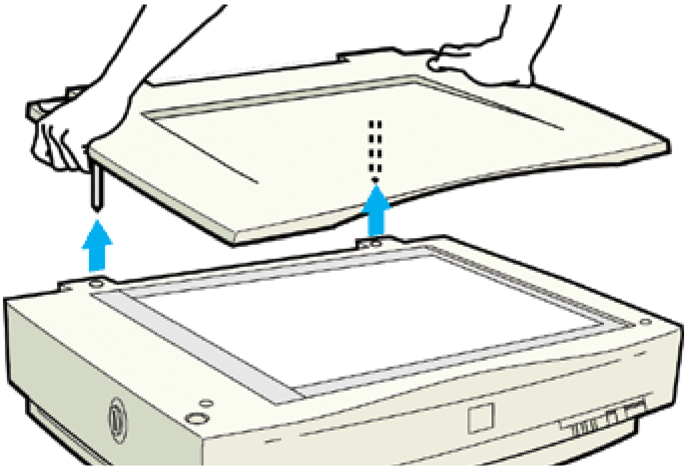
3. **取り外したネジを、図の位置の保管（STOCK）穴に取り付けます。**

輸送用固定ネジは輸送時に必要です。必ず保管（STOCK）穴に取り付けて保管してください。



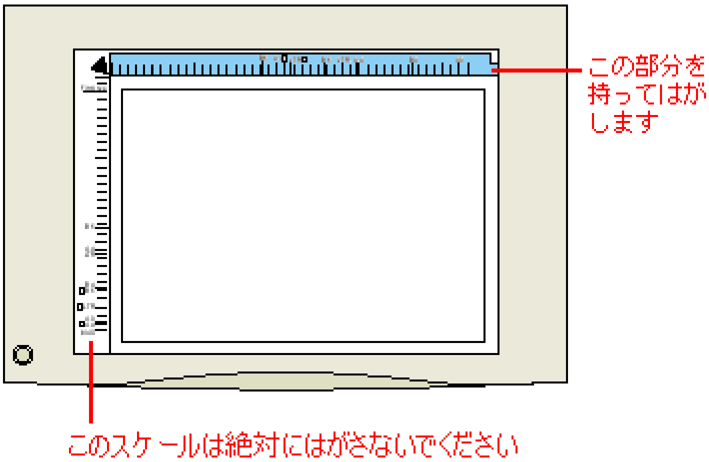
## スキャナへの取り付け

1. **スキャナの電源をオフにし、原稿カバーを取り外します。**



2. **スキャナ本体に付属していたスケールストッパを貼り付けてある場合は、スケールストッパをはがします。**

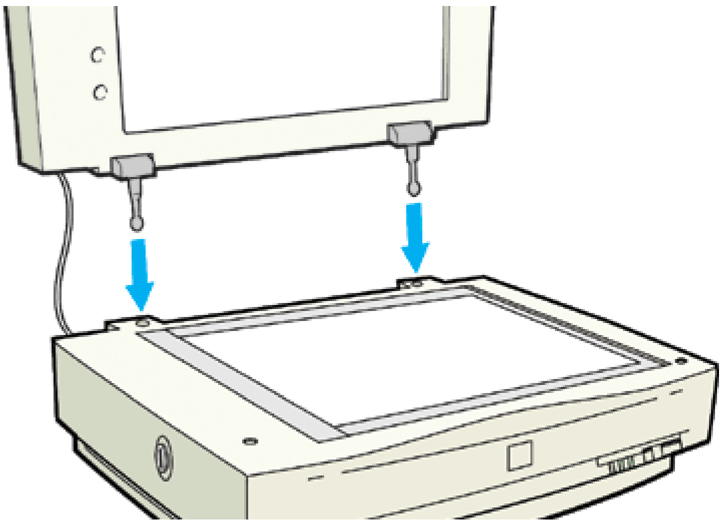
スケールストッパの粘着部分には、スキャナ本体の購入時にスケールストッパに貼られていた剥離紙を貼り付けて保管してください。



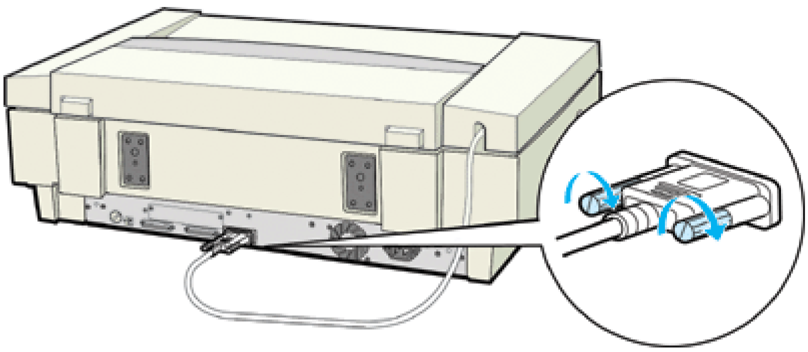

**ポイント**

スキャナ本体に付属していたスケールストッパを貼り付けてある場合は、必ずはがしておいてください。透過原稿ユニット使用時にスケールストッパが貼り付けられていると、フィルムを正しく取り込めない場合があります。

3. **透過原稿ユニットを持ち上げ、ユニットの２本の軸をスキャナの穴に差し込みます。**



4. **透過原稿ユニットを閉じます。スキャナ背面のオプションコネクタに透過原稿ユニットのコネクタを取り付け、コネクタ両脇のネジで固定します。**



これで透過原稿ユニットの取り付けは終了です。

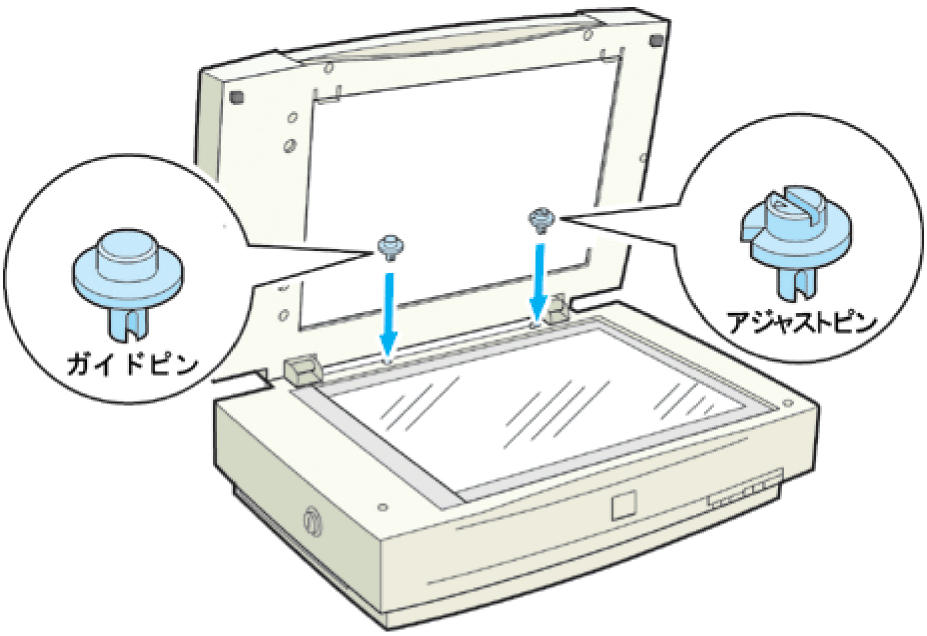
**注意**

- 透過原稿ユニットの上には、透過原稿ユニットに付属の反射原稿マット、フィルムホルダ、または薄手の原稿以外は置かないでください。
  重いものを置くと、故障の原因となる場合があります。
- スキャナの移動時には、透過原稿ユニットを取り外し、スキャナの固定ノブを LOCK にするとともに、透過原稿ユニットの CLAMP 穴に固定ネジを取り付けてください。
- 輸送用固定ネジが CLAMP 穴にうまく取り付かない場合は、透過原稿ユニットの駆動部分の位置がずれているおそれがあります。この場合はもう一度ユニットをスキャナに取り付け、ユニットを閉じた状態で電源をオンにしてください。ユニットの駆動部分が自動的にホームポジションに戻ります。

## 透過原稿ガイドの取り付け

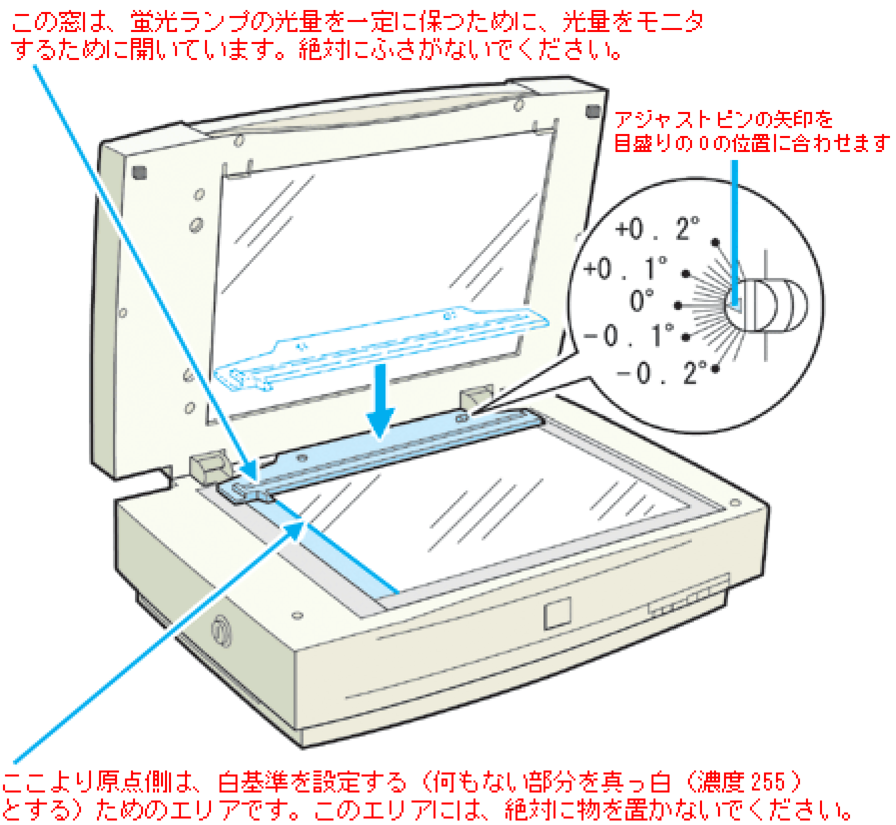
1. **透過原稿ユニットを開き、ガイドピンとアジャストピンを差し込みます。**

   これらのピンは透過原稿ユニットに付属しています。
   アジャストピンは、ピンの矢印がガイドピンの中心に向くように差し込んでおいてください。




2. **透過原稿ガイドを、２本のピンに合わせてセットします。**

**透過原稿ガイドの長穴が、アジャストピン側になるようにセットしてください。**



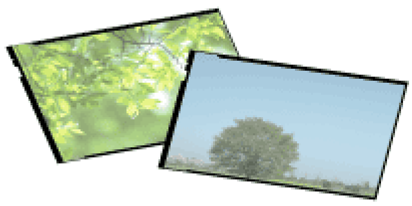

**ポイント**

EPSON Scan**（プロフェッショナルモード）の［設定保存］に、各フィルム（ホルダ）に合わせた取り込み枠が登録されています。**
**この取り込み枠は、フィルムおよびフィルムホルダを「透過原稿のセット方法」の図の向きでセットした場合に合わせています。**

**「透過原稿のセット方法**（ES-8500）**」**130

# 使用できるフィルム（ES-8500）

透過原稿ユニットにセットできるフィルムと、セット方法の参照先は次の通りです。

| | |
|---|---|
| 35mm ストリップフィルム<br>（ネガ / ポジ）<br>「35mm ストリップフィルムのセット」130 | 一般の 35mm フィルムを 6 枚切りにしたフィルムのことです。<br>ネガフィルム：画像の濃淡が反転して記録されているフィルムです（一般的なフィルムです）。<br>ポジフィルム：白黒がそのまま再現されていて、周囲が黒いフィルムです（カラースライド用のフィルムです）。<br> |
| 35mm スライドフィルム<br>「35mm スライドフィルムのセット」131 | スライド用に、ポジフィルムを 1 枚ずつ切ってプラスチックなどの枠に挟んだものです。マウントフィルムともいいます。<br> |
| 120 / 220 フィルム（ブローニ）<br>「120/220 フィルムのセット」132 | 中型カメラに使われる、幅 60mm のロール・フィルムのことです。120 / 220 フィルムは、中判またはブローニ判ともいいます。主に使用されるサイズには、6 × 6（ロクロク）、6 × 4.5（ロクヨンゴ、セミ版）、6 × 9（ロクキュウ）などがあります。<br>スキャナに付属のフィルムホルダで読み取れる 120 / 220 フィルムの大きさは最大 6 × 9 サイズです。マウントしたブローニフィルムは使用できません。<br> |
| 4 x 5 インチフィルム<br>「4 × 5 インチフィルムのセット」134 | 写真館のスタジオなどにある、蛇腹のついた大型カメラで使われるフィルムのことです。通称「シノゴ」といいます。サイズは約 104mm（4 インチ）x 約 127mm（5 インチ）です。<br> |

ポイント

**ベース面と膜面**
フィルムの脇に書いてあるメーカ名や数字などを正しく読める側をベース面と言います。ベース面から見ると、像が正しく見えます。
反対側を膜面と言い、こちらに感光剤が塗布されています。ベース面は、膜面と比べてより光沢（つや）があります。膜面は、乳剤面またはエマルジョン面とも言います。

## サムネイル表示で認識できるフィルムとセット方法

ホーム／プロフェッショナルモードでプレビューをサムネイル表示する場合に認識できるフィルムとセット方法について説明します。

## 認識できるフィルム

35mm ストリップ / マウントフィルムのみ、サムネイル表示できます。

次のフィルムは認識できませんので、ホームまたはプロフェッショナルモードで通常表示プレビューし、手動で取り込み枠を作成して取り込んでください。

- 120 ／ 220（中判）フィルム
- 4 × 5、8 × 10（エイトバイテンまたはバイテン）などの大判フィルム
- ハーフサイズ（標準コマを 2 分割したサイズ）
- 標準コマを 2 つ使用したパノラマ
- 夜景や天体写真など、背景が暗い画像

## セット方法

- 必ず透過原稿ユニットに付属のフィルムホルダを使用してセットしてください。また、フィルムホルダはまっすぐセットしてください。少しでも斜めにセットすると、正しく認識されません。
- ネガフィルムとポジフィルムなど、異なる種類のフィルムを一緒にセットしないでください。フィルムを正しく認識できません。（ホームまたはプロフェッショナルモードで通常表示プレビューする場合でも、ネガフィルムとポジフィルムの混在はできません）
- 35mm ストリップフィルムでも、標準サイズとパノラマサイズが混在していると、パノラマがうまく切り出せない場合があります。この場合はホームまたはプロフェッショナルモードで通常表示プレビューし、手動で取り込み枠を作成して取り込んでください。

**ポイント**

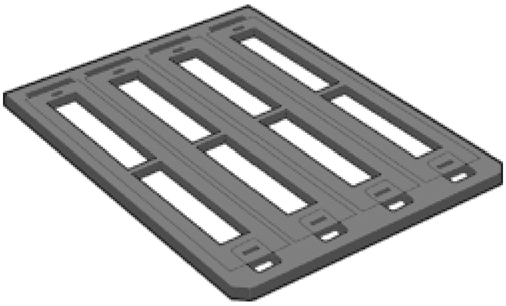
取り込んだフィルムの端の部分は、若干切り取られます。

# 透過原稿のセット方法（ES-8500）

「35mm ストリップフィルムのセット」130
「35mm スライドフィルムのセット」131
「120/220 フィルムのセット」132
「4 × 5 インチフィルムのセット」134
「8 × 10 インチなどの大きなフィルムのセット」135

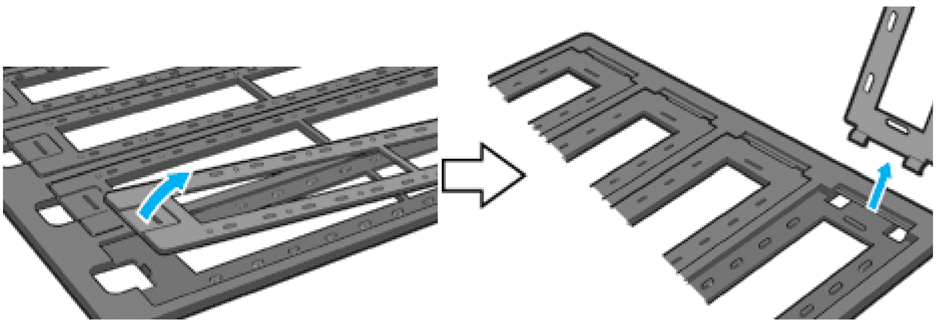
## 35mm ストリップフィルムのセット

35mm ストリップフィルム（ネガ／ポジ）のセットには、以下のフィルムホルダを使用します。

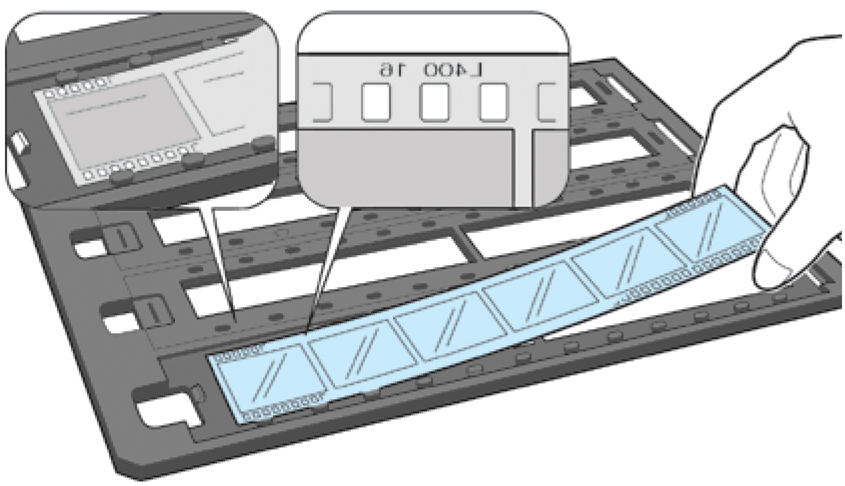


1. **35mm ストリップフィルムホルダに、ストリップフィルムをセットします。**

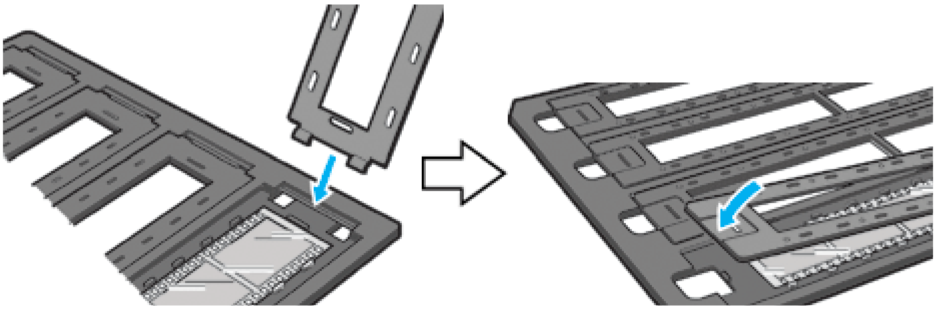
1） フィルムホルダを机の上などに置き、カバーを外します。



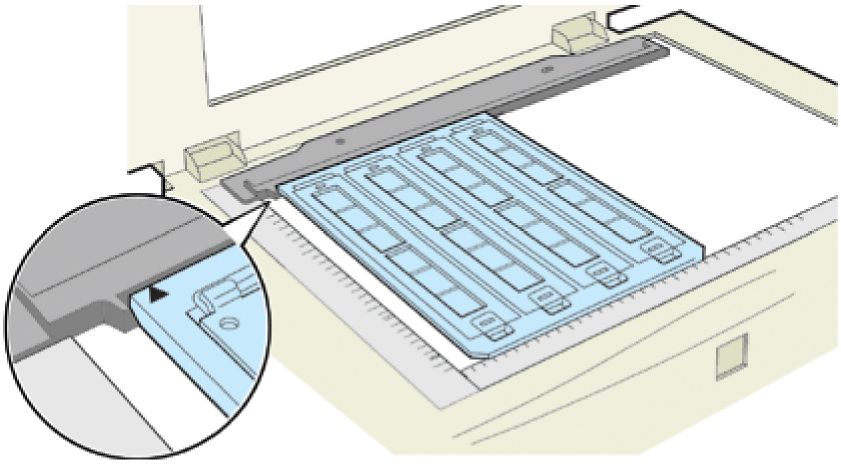
2） フィルムのベース面（像が正しく見える面）を下に向けてセットします。
フィルムは、指紋や手の油がつかないように、端面を指ではさんで持つか、または手袋をはめて持ってください。



3) 外したカバーを静かに取り付けます。



2. **透過原稿ユニットを開けます。フィルムのベース面が下になるように、フィルムホルダを原稿台にセットします。**



3. **透過原稿ユニットを、フィルムが動かないように静かに閉じます。**

「透過原稿の取り込み方法（ES-8500）」137

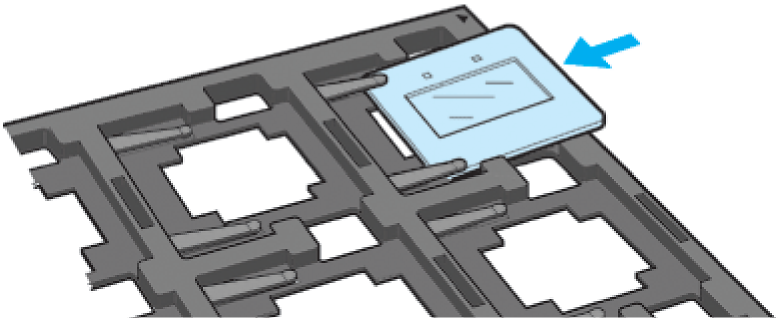
## 35mm スライドフィルムのセット

35mm スライドフィルムのセットには、以下のフィルムホルダを使用します。スライド（マウント）は 2mm 以内の厚さのものを使用してください。

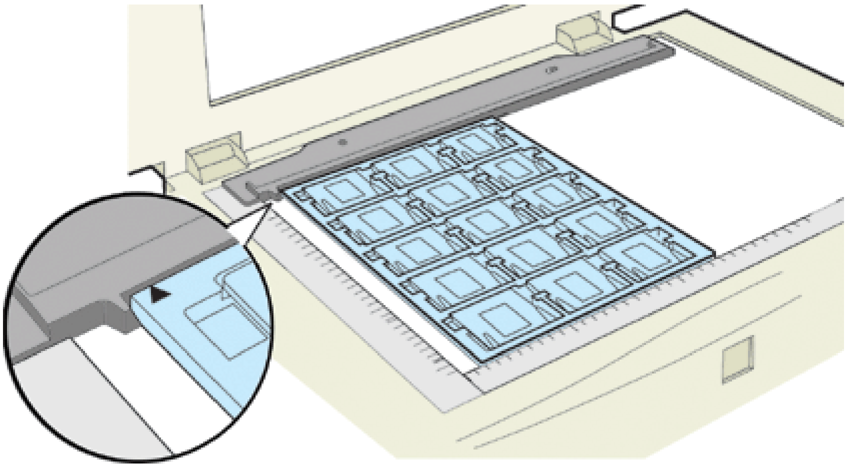


1. **35mm スライドフィルムホルダに、スライドフィルムをセットします。**

**フィルムのベース面（像が正しく見える面）を下に向けてセットします。**



2. 透過原稿ユニットを開けます。フィルムのベース面が下になるように、フィルムホルダを原稿台にセットします。

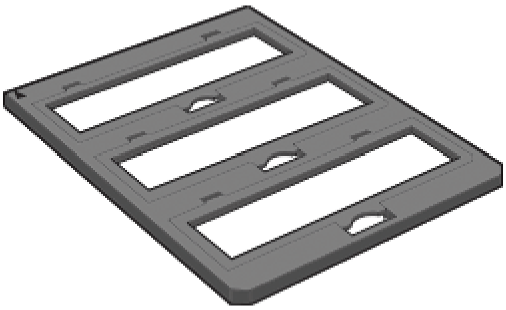


3. 透過原稿ユニットを、フィルムが動かないように静かに閉じます。

「透過原稿の取り込み方法（ES-8500）」137

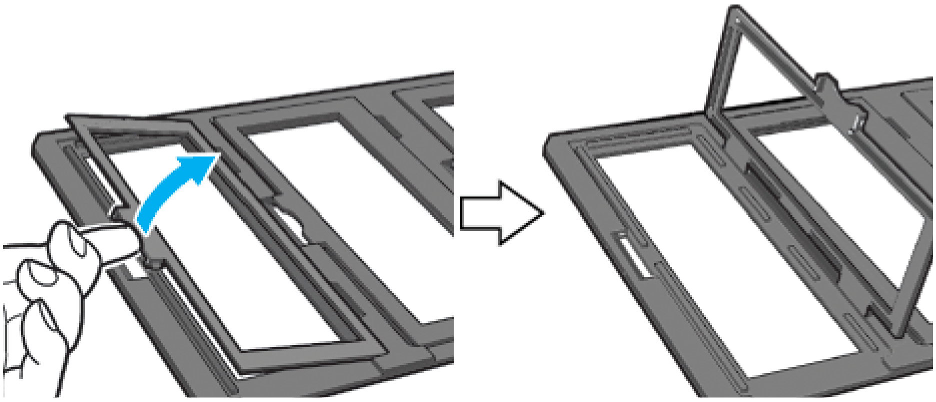
## 120/220 フィルムのセット

120/220（中判）フィルムのセットには、以下のフィルムホルダを使用します。

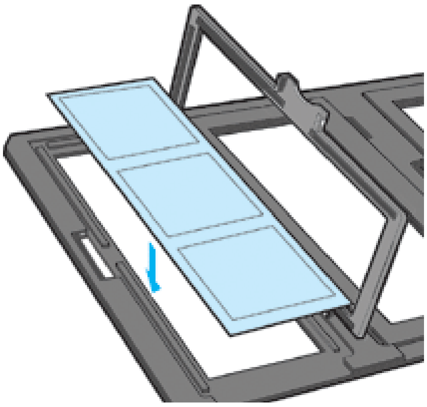


1. 120/220 フィルムホルダに、120/220 フィルムをセットします。

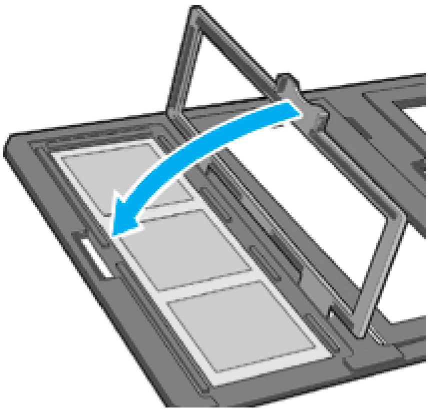
1） フィルムホルダを机の上などに置きます。図の部分を持ち上げ、カバーを開けます。



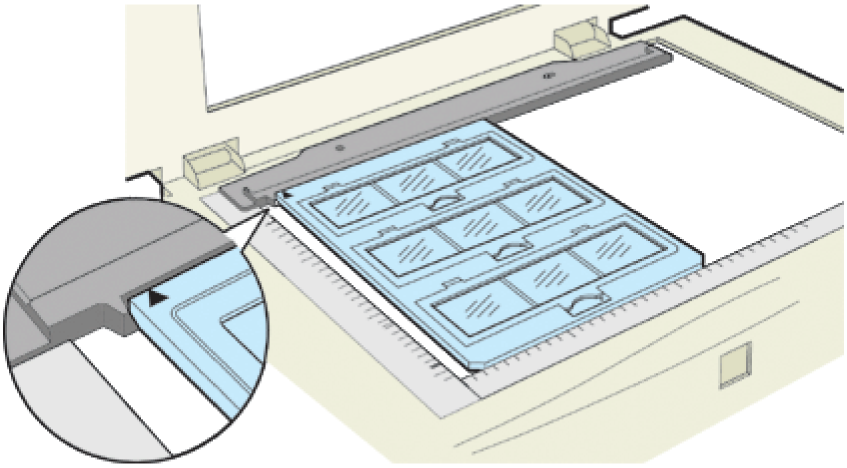
2） フィルムのベース面（像が正しく見える面）を下に向けてセットします。



3） カバーを静かに閉じます。



**2. 透過原稿ユニットを開けます。フィルムのベース面が下になるように、フィルムホルダを原稿台にセットします。**

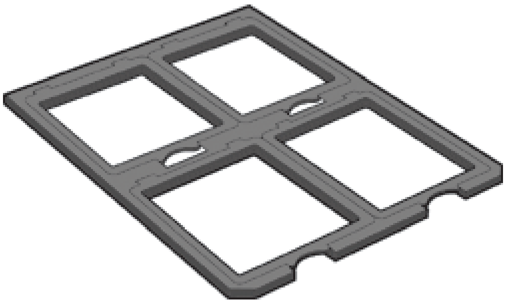


3. **透過原稿ユニットを、フィルムが動かないように静かに閉じます。**

「透過原稿の取り込み方法（ES-8500）」137

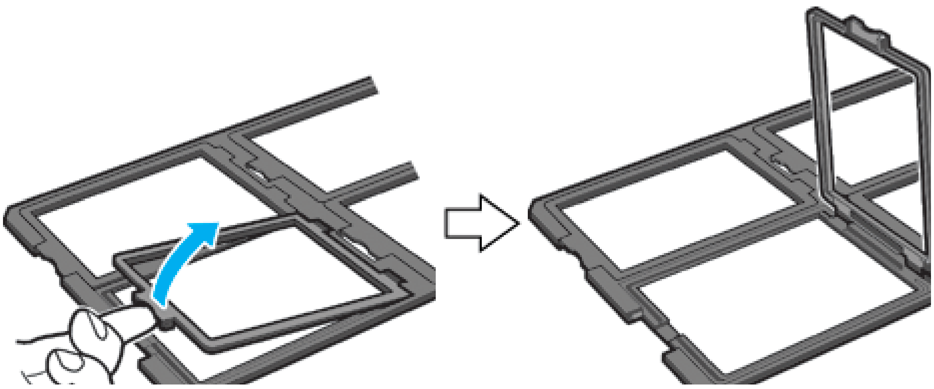
## 4 × 5 インチフィルムのセット

4 × 5 インチフィルムのセットには、以下のフィルムホルダを使用します。

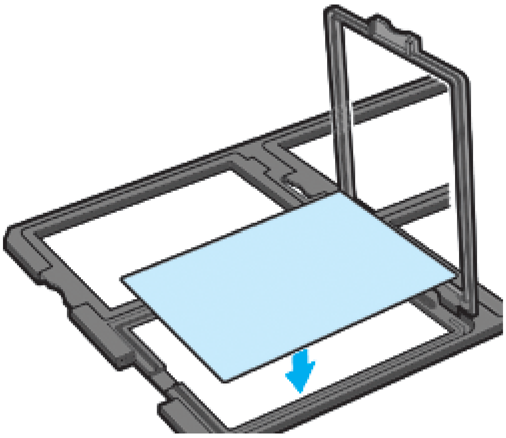


1. **4 × 5 インチフィルムホルダに、4 × 5 インチフィルムをセットします。**

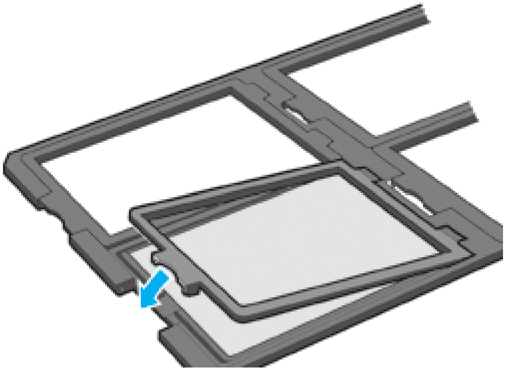
1） フィルムホルダを机の上などに置きます。図の部分を持ち上げ、カバーを開けます。



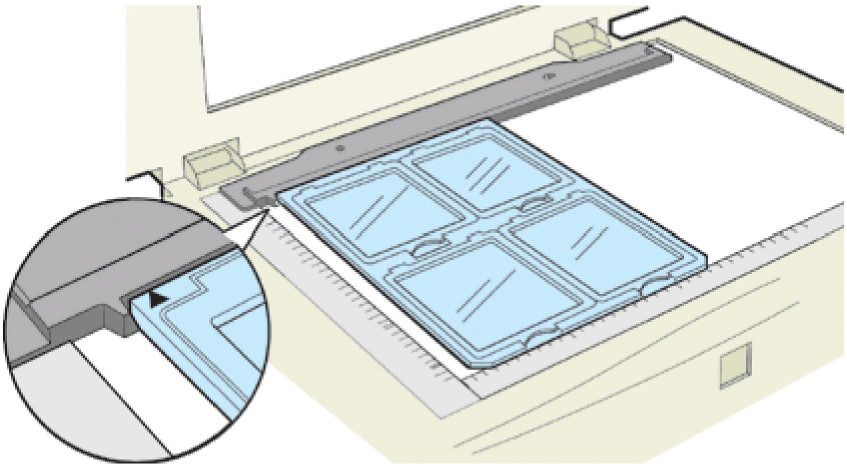
2） フィルムのベース面（像が正しく見える面）を下に向けてセットします。



3） カバーを静かに閉じます。



**2. 透過原稿ユニットを開けます。フィルムのベース面が下になるように、フィルムホルダを原稿台にセットします。**

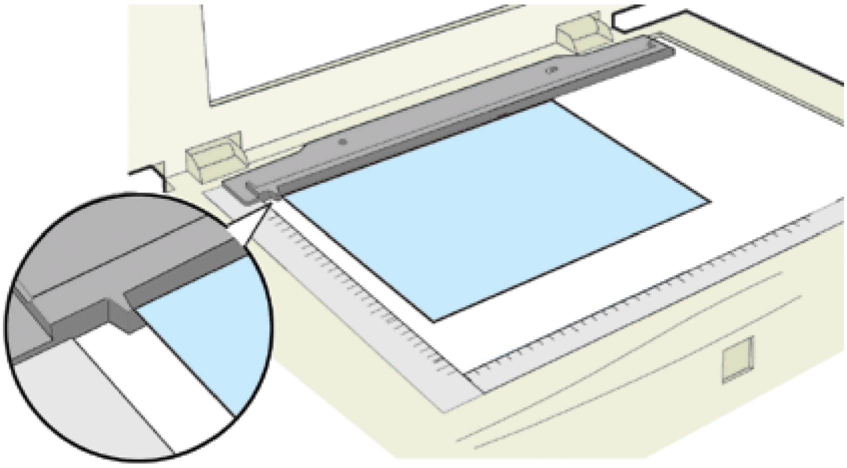


**3. 透過原稿ユニットを、フィルムが動かないように静かに閉じます。**

「透過原稿の取り込み方法（ES-8500）」137

## 8 × 10 インチなどの大きなフィルムのセット

フィルムホルダにセットできない大きなフィルムは、ベース面（像が正しく見える面）を下に向け、直接原稿台にセットします。
取り込むことのできる最大サイズは、290 × 420mm です。



「透過原稿の取り込み方法（ES-8500）」137

ポイント

フィルムを原稿台の上に直接置いて取り込む場合は、EPSON Scan で焦点位置を 0mm に設定してください。

「EPSON Scan のヘルプ」

# 透過原稿の取り込み方法（ES-8500）

透過原稿ユニットを使って、透過原稿（フィルム）を取り込む方法を説明します。ここでは、EPSON Scan のホームモードを使った場合を例に説明します。

なお、透過原稿ユニットを取り付けたまま、反射原稿（写真、雑誌）を取り込むことができます。
「反射原稿の取り込み」139

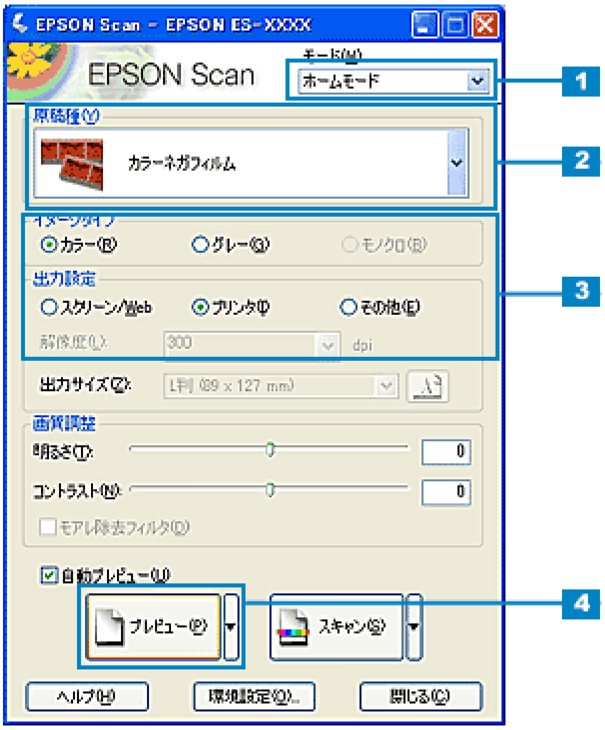
## 透過原稿の取り込み

1. **EPSON Scan を起動し、ホームモードを選択します。**

   「EPSON Scan の起動方法」7
   EPSON Scan（ホームモード）が起動して、画像がプレビューされます。

2. **［原稿種］を選択します。**

   ［原稿種］リストから、セットしたフィルムを選択してください。




3. **［イメージタイプ］、［出力設定］を設定します。**

   原稿に合わせて、［イメージタイプ］を選択します。出力設定に、［スクリーン /Web］または［プリンタ］を選んだ場合は、用途に応じた最適な解像度が自動設定されます。［その他］を選んだ場合は、目的に適した解像度を入力してください。ここでは、［プリンタ］を選択します。

4. **プレビューされていない場合は、プレビューします。**

   メインウィンドウの［プレビュー］ボタン右横にある縦長のボタンをクリックし、表示されるメニューでサムネイル表示または通常表示を選択してから、［プレビュー］ボタンをクリックしてください。

**ポイント**

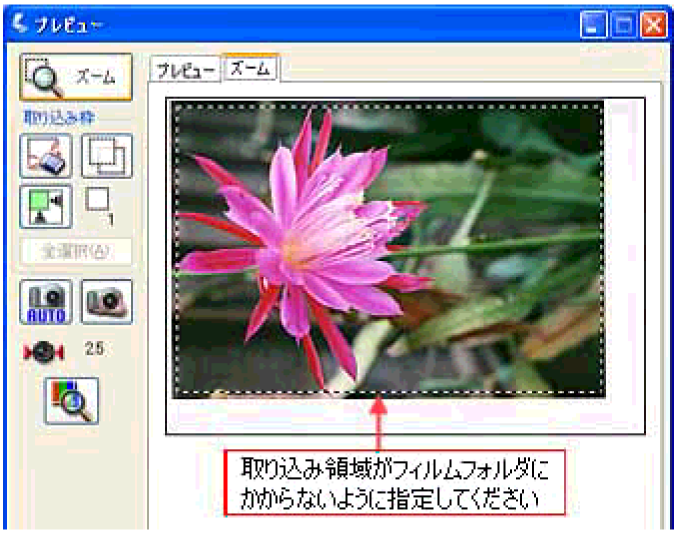
原稿種を［XX フィルム］に設定すると、焦点位置は 2.5mm（フィルムホルダにセットしたフィルムにピントが合う位置）に設定されます。

5. **通常表示の場合は、取り込み枠を作成します。**

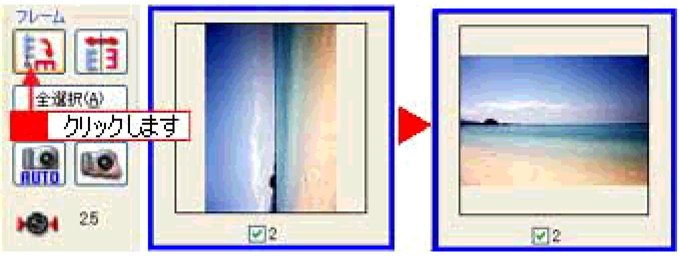
「取り込み枠の調整方法」16

**ポイント**

- フィルムの部分（取り込む部分）をズームプレビューして取り込んでください。特に 35mm ネガフィルムの場合は、取り込み枠がフィルムホルダにかからないように指定してください。
  ズームプレビューをしないと、画像を正しく取り込めません。




- プレビューをサムネイル表示する場合
  ホーム／プロフェッショナルモードでプレビューをサムネイル表示する場合に認識できる原稿種とセット方法については、以下の項目を参照してください。
  「サムネイル表示で認識できるフィルムとセット方法」128
- フィルムの天地を間違えてセットした場合でも、サムネイル表示の場合は、[90 度回転] ボタンをクリックすると、選択している画像を右方向（時計回り）に 90 度ずつ回転できます。




6. **［スキャン］ボタンをクリックして、取り込みを実行します。**

## フィルムの取り込みで色の付いた縞模様が生じる時は

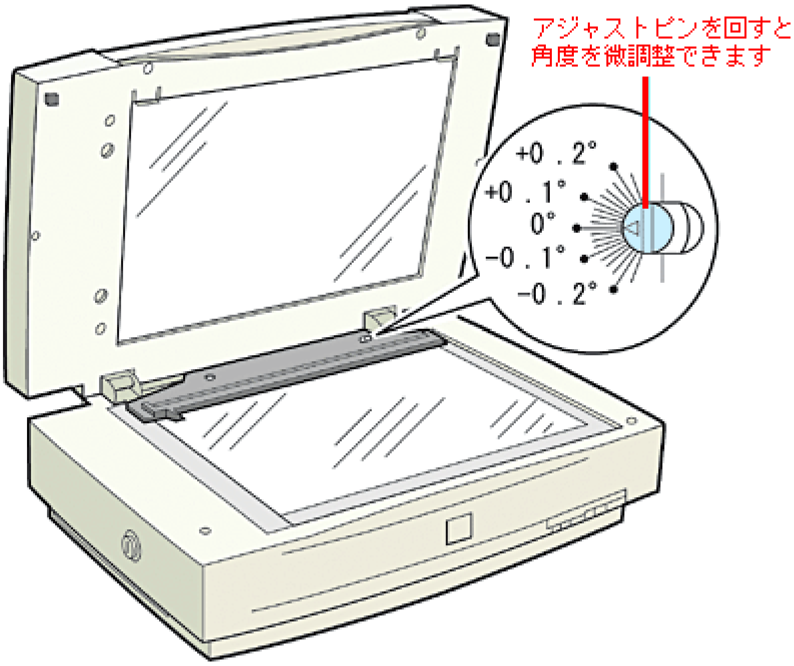
これは、透過原稿（フィルム）の取り込みで発生する光学的な現象で、ニュートンリングと言います。シャボン玉の表面に見える虹と同じ原理で、非常に薄い 2 層の膜があるところに発生します。
この時は、フィルムを表裏反対（膜面をスキャナのガラス側）にして取り込んでみてください。膜面をガラス側に向けると、ガラスとフィルム面の間に感光剤の凹凸が入りますので、ニュートンリングが発生しにくくなります。取り込んだら、TWAIN 対応アプリケーションで画像を鏡像反転させて本来の向きにしてください。

## 取り込み時のご注意

透過原稿ユニット動作中に透過原稿ユニット本体を開けるとスキャナ本体がエラーとなり、取り込みができません。必ず、閉じた状態でお使いください。

### 透過原稿ガイドの角度調整機能について

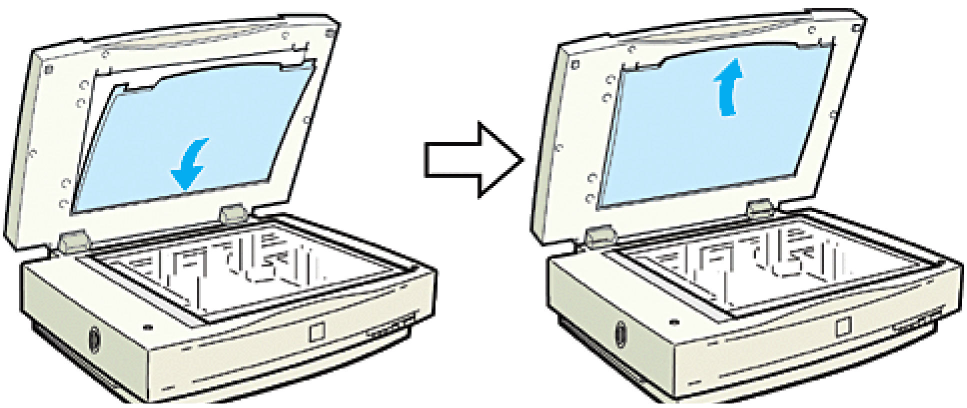
透過原稿ガイドには、角度を調整する機能があります。この機能は、EPSON Scan（プロフェッショナルモード）の［設定保存］に登録されている取り込み枠と、フィルムホルダの角度がズレている場合にご利用ください。



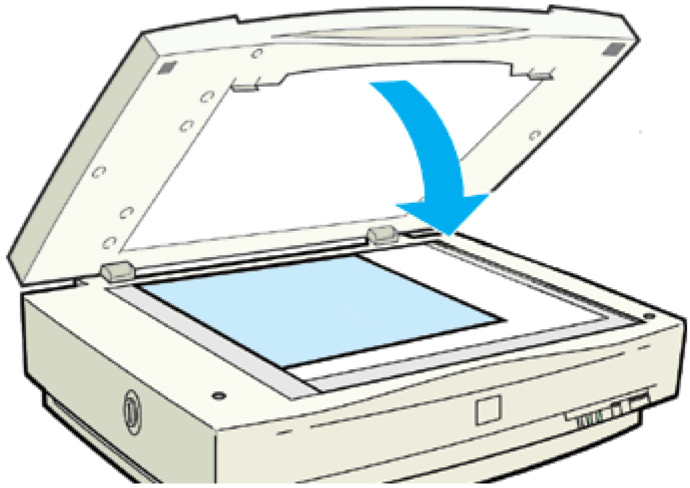

## 反射原稿の取り込み

透過原稿ユニットをスキャナに取り付けたままでも、原稿台に通常の原稿をセットして取り込むことができます。その場合、反射原稿マットを透過原稿ユニットに取り付ける必要があります。

1. **透過原稿ユニットを開け、透過原稿ガイドを取り外します。**
2. **透過原稿ユニットに反射原稿マットを取り付けます。**



3. **原稿をセットし、透過原稿ユニットを閉じます。**



再び透過原稿を取り込む場合は、反射原稿マットを取り外し、透過原稿ガイドを取り付けてください。

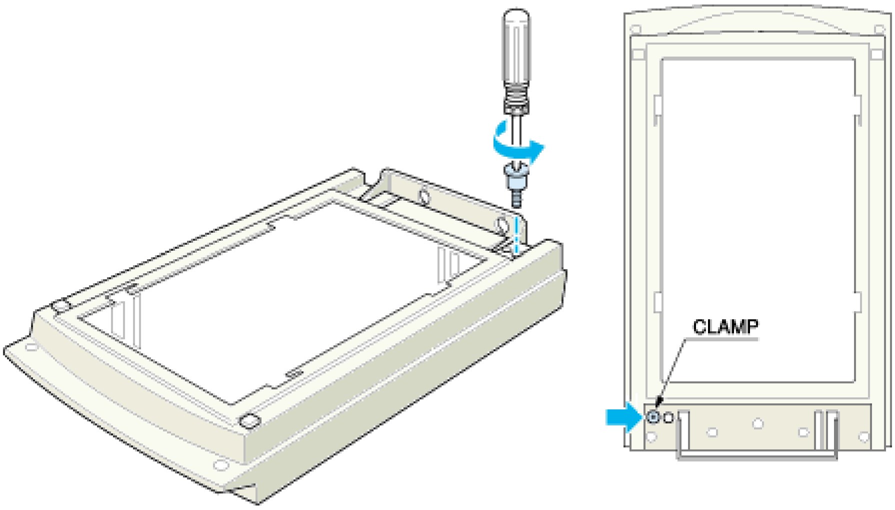
# 透過原稿ユニットの取り付け（ES-2200）

ここでは、オプションの透過原稿ユニットの取り付け方法を説明します。

## 輸送用固定ネジの取り外し

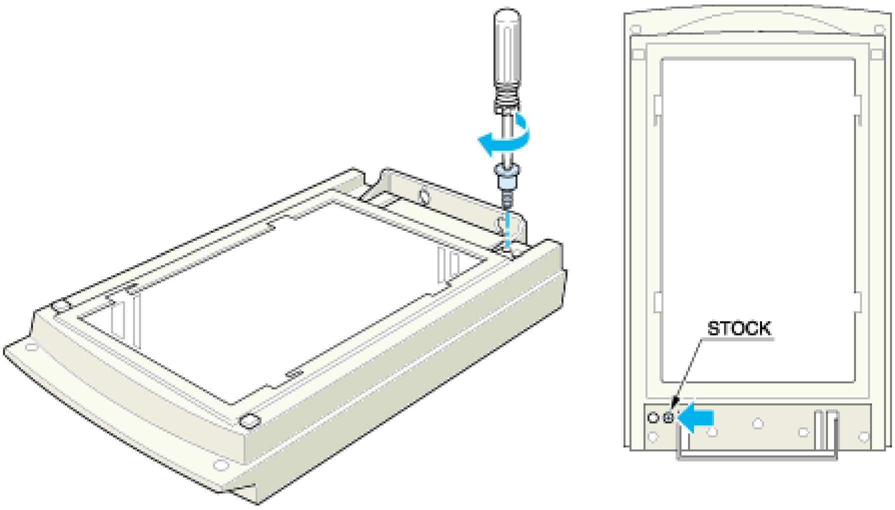
輸送中の衝撃から透過原稿ユニットの駆動部分を保護するために、固定ネジが取り付けてあります。お使いの前に、必ず取り外してください。

1. **透過原稿ユニットのガラスのある面を上に向けます。**
2. **図の位置（CLAMP）のネジをゆるめ、外します。**



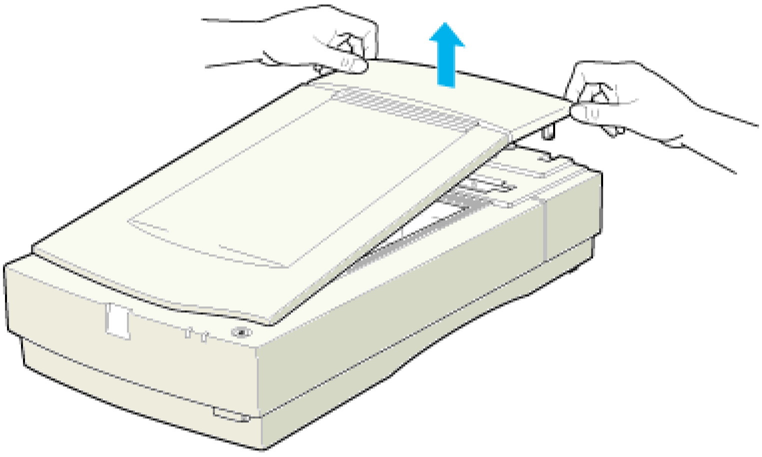

3. **取り外したネジを、図の位置の保管（STOCK）穴に取り付けます。**

   輸送用固定ネジは再輸送時に必要です。必ず保管（STOCK）穴に取り付けて保管しておいてください。

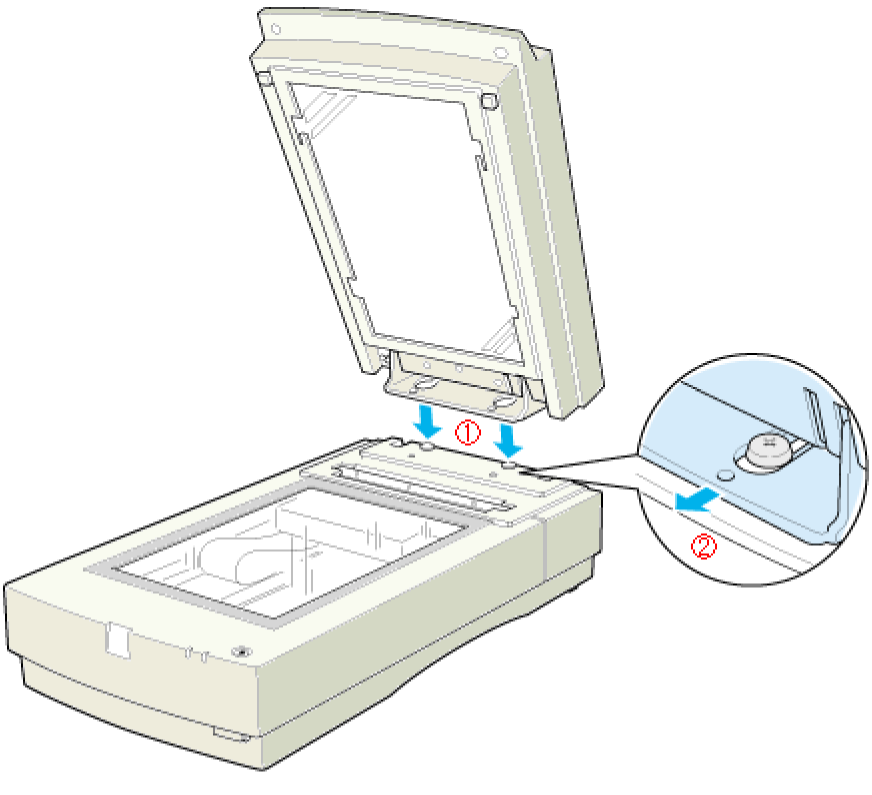


## スキャナへの取り付け

1. スキャナの電源をオフにし、原稿カバーを取り外します。

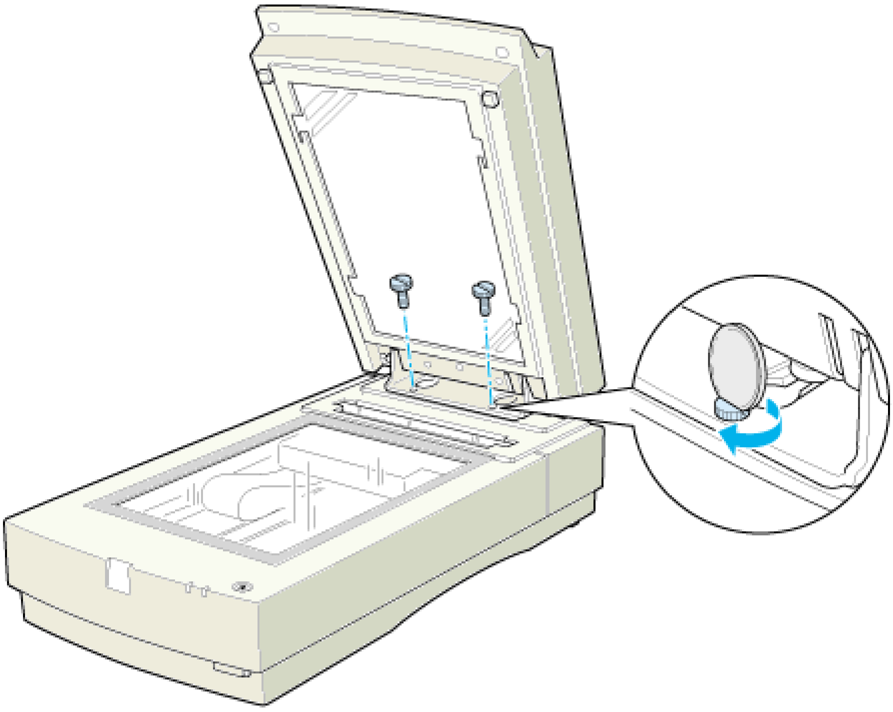


2. （1）スキャナ本体の 2 本のネジに透過原稿ユニットの取り付け金具を差し込み、（2）手前に引いて取り付けます。

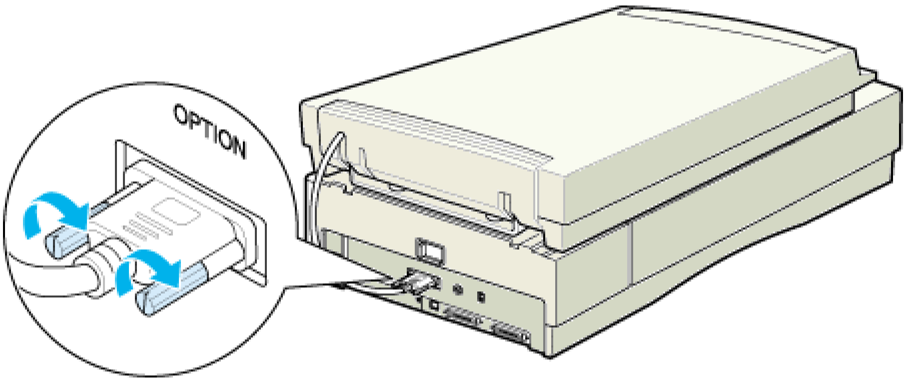



3. 透過原稿ユニットに付属のネジで、透過原稿ユニットを固定します。

   コインなどをお使いください。



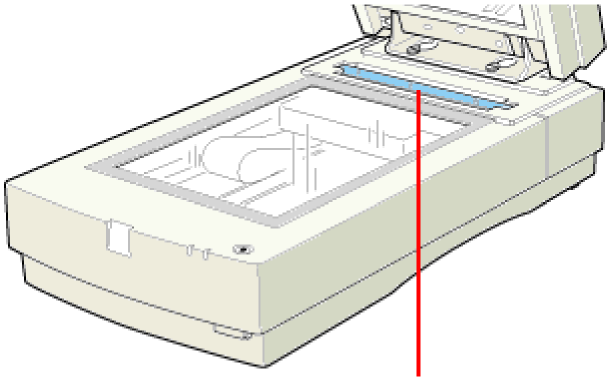
4. **透過原稿ユニットを閉じ、スキャナ背面のオプションコネクタに透過原稿ユニットのケーブルを接続します。**




**これで透過原稿ユニットの取り付けは終了です。**

**注意**

- **スキャナ本体の細長いガラス面には、絶対に物を置かないでください。このガラス面は、白基準を設定する（何もない部分を真っ白（濃度 255）とする）ためのエリアです。**

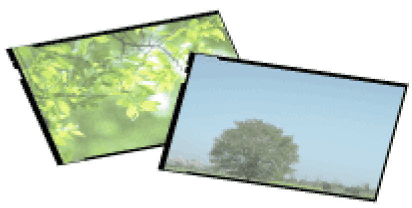



- **スキャナの移動時には、透過原稿ユニットを取り外し、スキャナの輸送用固定レバーを LOCK にするとともに、透過原稿ユニットの CLAMP 穴に固定ネジを取り付けてください。**

- **輸送用固定ネジが** CLAMP **穴にうまく取り付かない場合は、透過原稿ユニットの駆動部分の位置がずれているおそれがあります。この場合はもう一度ユニットをスキャナに取り付け、ユニットを閉じた状態で電源をオンにしてください。ユニットの駆動部分が自動的にホームポジションに戻ります。**

# 使用できるフィルム（ES-2200）

透過原稿ユニットにセットできるフィルムと、セット方法の参照先は次の通りです。

| | |
|---|---|
| 35mm ストリップフィルム<br>（ネガ / ポジ）<br>「35mm ストリップフィルムのセット」147 | 一般の 35mm フィルムを 6 枚切りにしたフィルムのことです。<br>ネガフィルム：画像の濃淡が反転して記録されているフィルムです（一般的なフィルムです）。<br>ポジフィルム：白黒がそのまま再現されていて、周囲が黒いフィルムです（カラースライド用のフィルムです）。<br> |
| 35mm スライドフィルム<br>「35mm スライドフィルムのセット」148 | スライド用に、ポジフィルムを 1 枚ずつ切ってプラスチックなどの枠に挟んだものです。マウントフィルムともいいます。<br> |
| 120 / 220 フィルム（ブローニ）<br>「120/220 フィルムのセット」149 | 中型カメラに使われる、幅 60mm のロール・フィルムのことです。120 / 220 フィルムは、中判またはブローニ判ともいいます。主に使用されるサイズには、6 × 6（ロクロク）、6 × 4.5（ロクヨンゴ、セミ版）、6 × 9（ロクキュウ）などがあります。<br>スキャナに付属のフィルムホルダで読み取れる 120 / 220 フィルムの大きさは最大 6 × 9 サイズです。マウントしたブローニフィルムは使用できません。<br> |
| 4 x 5 インチフィルム<br>「4 × 5 インチフィルムのセット」151 | 写真館のスタジオなどにある、蛇腹のついた大型カメラで使われるフィルムのことです。通称「シノゴ」といいます。サイズは約 104mm（4 インチ）x 約 127mm（5 インチ）です。<br> |

ポイント

**ベース面と膜面**
フィルムの脇に書いてあるメーカ名や数字などを正しく読める側をベース面と言います。ベース面から見ると、像が正しく見えます。
反対側を膜面と言い、こちらに感光剤が塗布されています。ベース面は、膜面と比べてより光沢（つや）があります。膜面は、乳剤面またはエマルジョン面とも言います。

## サムネイル表示で認識できるフィルムとセット方法

ホーム／プロフェッショナルモードでプレビューをサムネイル表示する場合に認識できるフィルムとセット方法について説明します。

## 認識できるフィルム

35mm ストリップ / マウントフィルムのみ、サムネイル表示できます。

次のフィルムは認識できませんので、ホームまたはプロフェッショナルモードで通常表示プレビューし、手動で取り込み枠を作成して取り込んでください。

- 120 ／ 220（中判）フィルム
- 4 × 5、8 × 10（エイトバイテンまたはバイテン）などの大判フィルム
- ハーフサイズ（標準コマを 2 分割したサイズ）
- 標準コマを 2 つ使用したパノラマ
- 夜景や天体写真など、背景が暗い画像

## セット方法

- 必ず透過原稿ユニットに付属のフィルムホルダを使用してセットしてください。また、フィルムホルダはまっすぐセットしてください。少しでも斜めにセットすると、正しく認識されません。
- ネガフィルムとポジフィルムなど、異なる種類のフィルムを一緒にセットしないでください。フィルムを正しく認識できません。（ホームまたはプロフェッショナルモードで通常表示プレビューする場合でも、ネガフィルムとポジフィルムの混在はできません）
- 35mm ストリップフィルムでも、標準サイズとパノラマサイズが混在していると、パノラマがうまく切り出せない場合があります。この場合はホームまたはプロフェッショナルモードで通常表示プレビューし、手動で取り込み枠を作成して取り込んでください。

**ポイント**

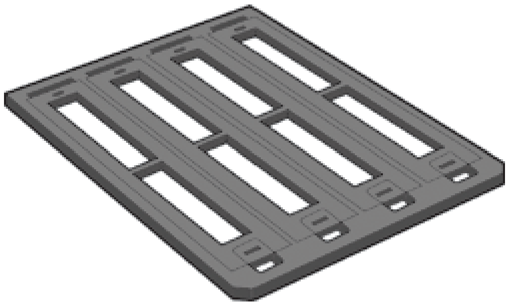
取り込んだフィルムの端の部分は、若干切り取られます。

# 透過原稿のセット方法（ES-2200）

「35mm ストリップフィルムのセット」147
「35mm スライドフィルムのセット」148
「120/220 フィルムのセット」149
「4 × 5 インチフィルムのセット」151
「8 × 10 インチなどの大きなフィルムのセット」153

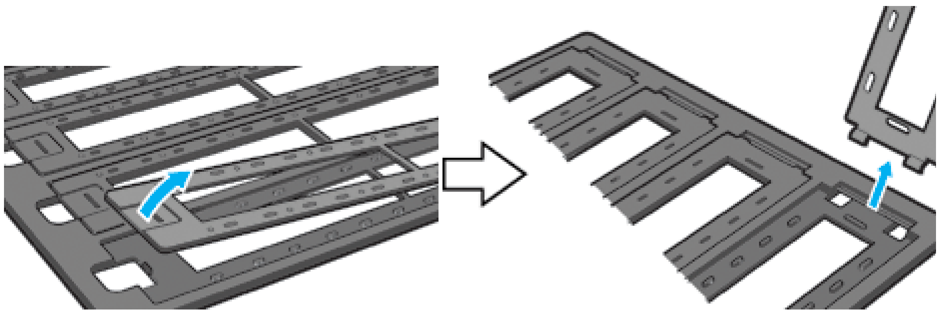
## 35mm ストリップフィルムのセット

35mm ストリップフィルム（ネガ / ポジ）のセットには、以下のフィルムホルダを使用します。

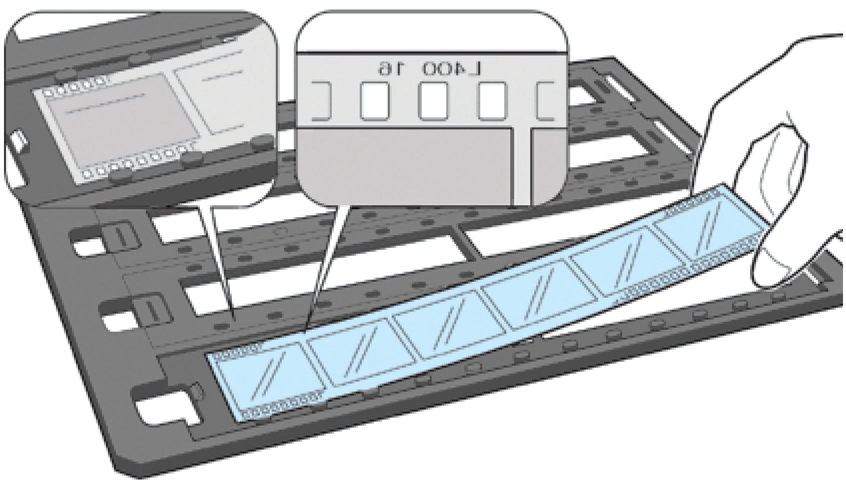


1. 35mm ストリップフィルムホルダに、ストリップフィルムをセットします。

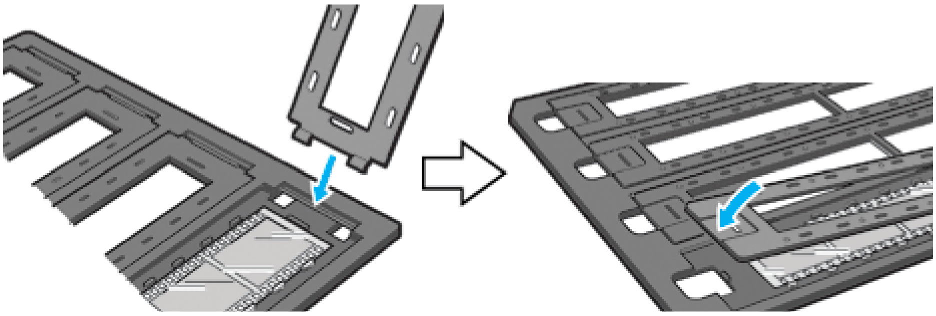
1）　フィルムホルダを机の上などに置き、カバーを外します。



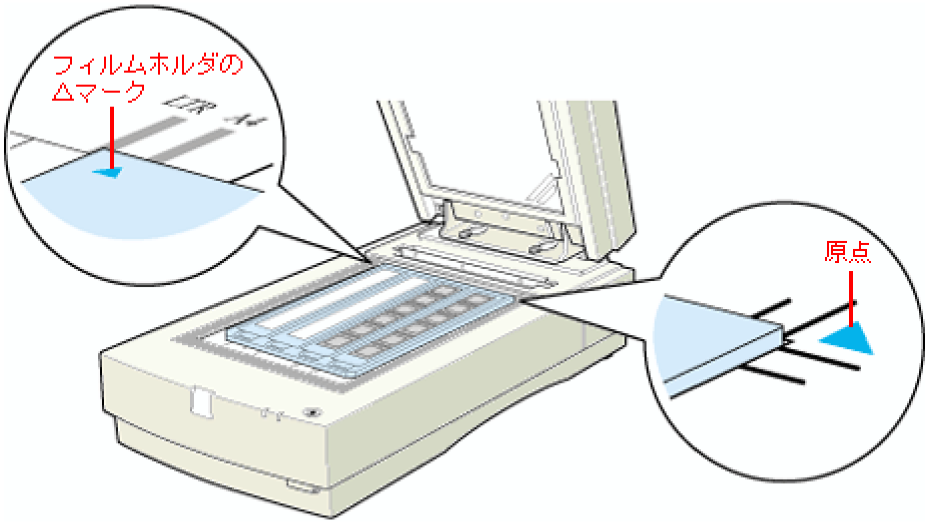
2）　フィルムのベース面（像が正しく見える面）を下に向けてセットします。
フィルムは、指紋や手の油がつかないように、端面を指ではさんで持つか、または手袋をはめて持ってください。



3） 外したカバーを静かに取り付けます。



2. 透過原稿ユニットを開けます。フィルムのベース面が下になるように、フィルムホルダを原稿台にセットします。

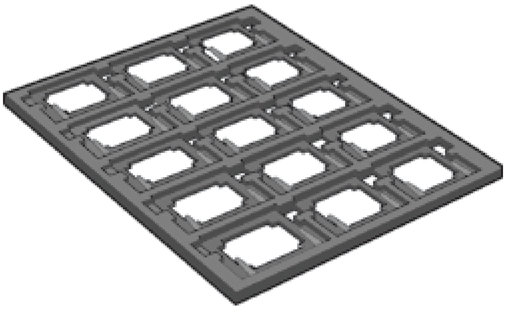



3. 透過原稿ユニットを、フィルムが動かないように静かに閉じます。

「透過原稿の取り込み方法（ES-2200）」154

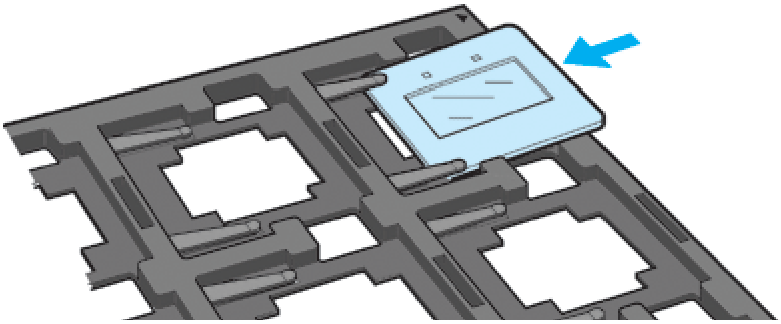
## 35mm スライドフィルムのセット

35mm スライドフィルムのセットには、以下のフィルムホルダを使用します。スライド（マウント）は 2mm 以内の厚さのものを使用してください。

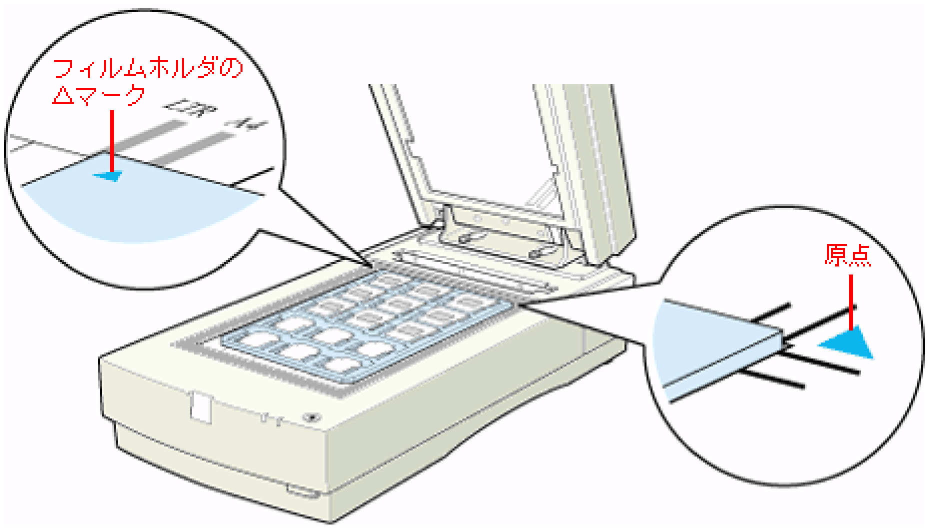


1. 35mm スライドフィルムホルダに、スライドフィルムをセットします。

フィルムのベース面（像が正しく見える面）を下に向けてセットします。



2. **透過原稿ユニットを開けます。フィルムのベース面が下になるように、フィルムホルダを原稿台にセットします。**

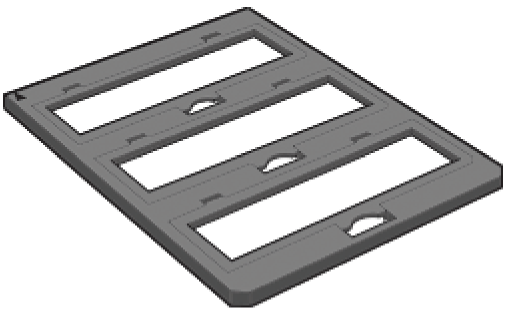



3. **透過原稿ユニットを、フィルムが動かないように静かに閉じます。**

「透過原稿の取り込み方法（ES-2200）」154

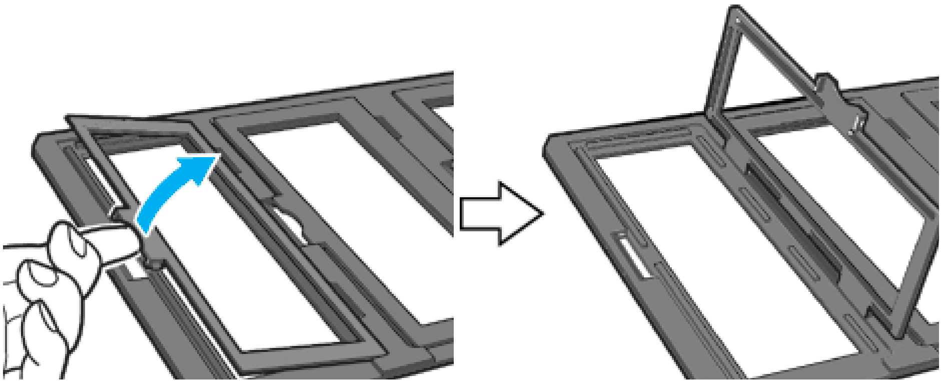
## 120/220 フィルムのセット

120/220（中判）フィルムのセットには、以下のフィルムホルダを使用します。

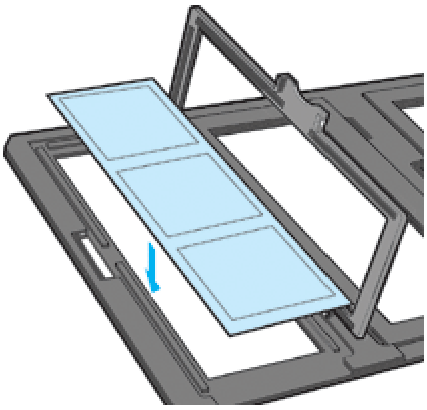


1. **120/220 フィルムホルダに、120/220 フィルムをセットします。**

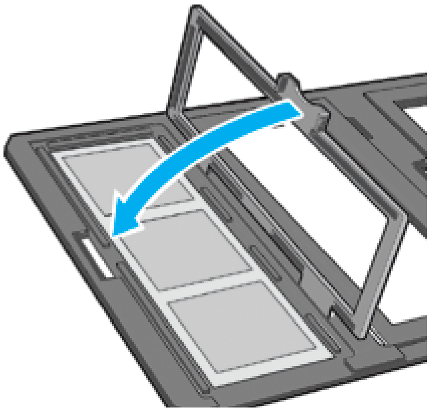
1） フィルムホルダを机の上などに置きます。図の部分を持ち上げ、カバーを開けます。



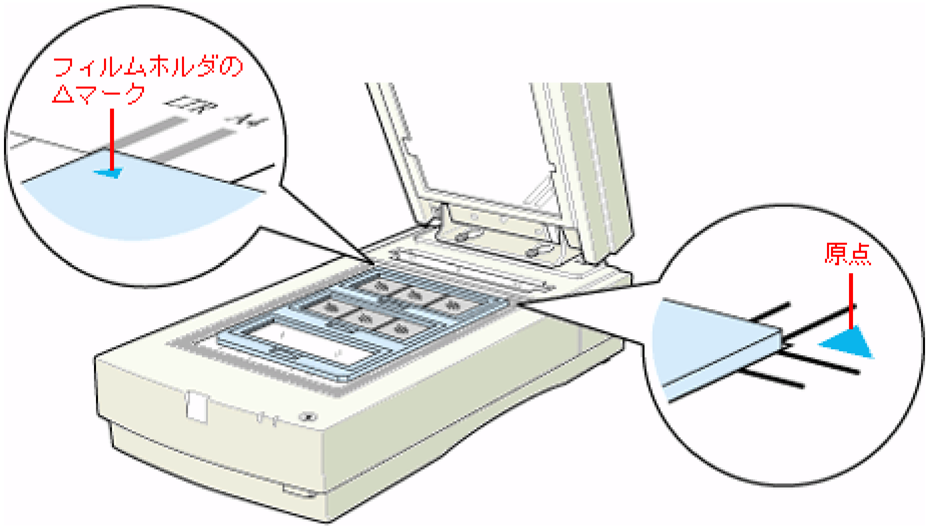
2） フィルムのベース面（像が正しく見える面）を下に向けてセットします。



3） カバーを静かに閉じます。



**2. 透過原稿ユニットを開けます。フィルムのベース面が下になるように、フィルムホルダを原稿台にセットします。**

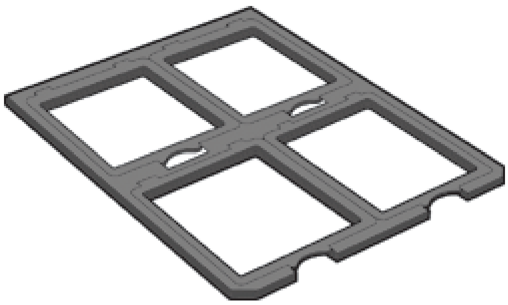



3. **透過原稿ユニットを、フィルムが動かないように静かに閉じます。**

「透過原稿の取り込み方法（ES-2200）」154

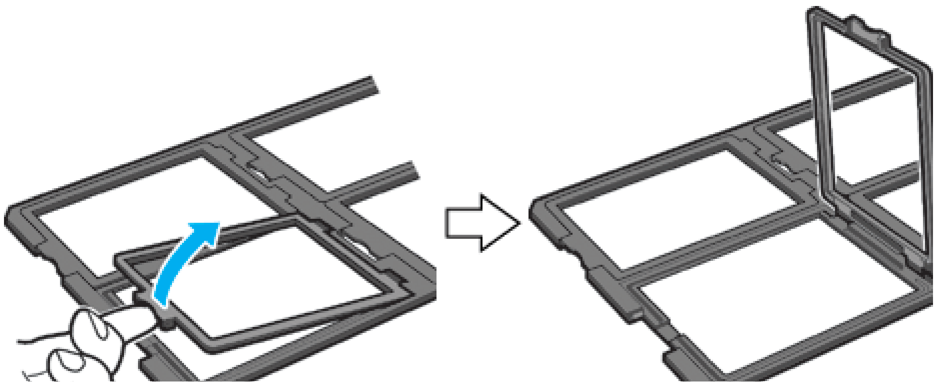
## 4 × 5 インチフィルムのセット

4 × 5 インチフィルムのセットには、以下のフィルムホルダを使用します。

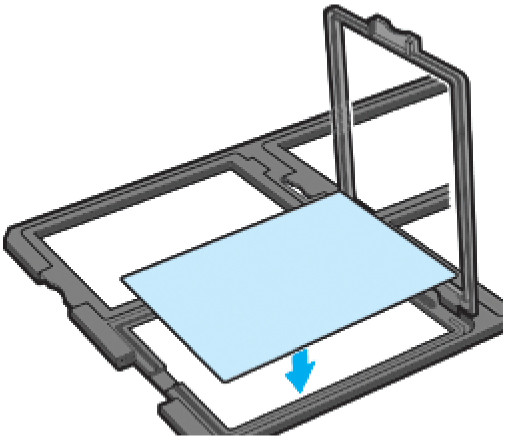


1. **4 × 5 インチフィルムホルダに、4 × 5 インチフィルムをセットします。**

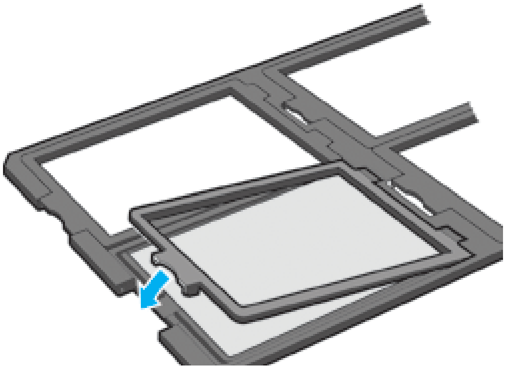
1） フィルムホルダを机の上などに置きます。図の部分を持ち上げ、カバーを開けます。



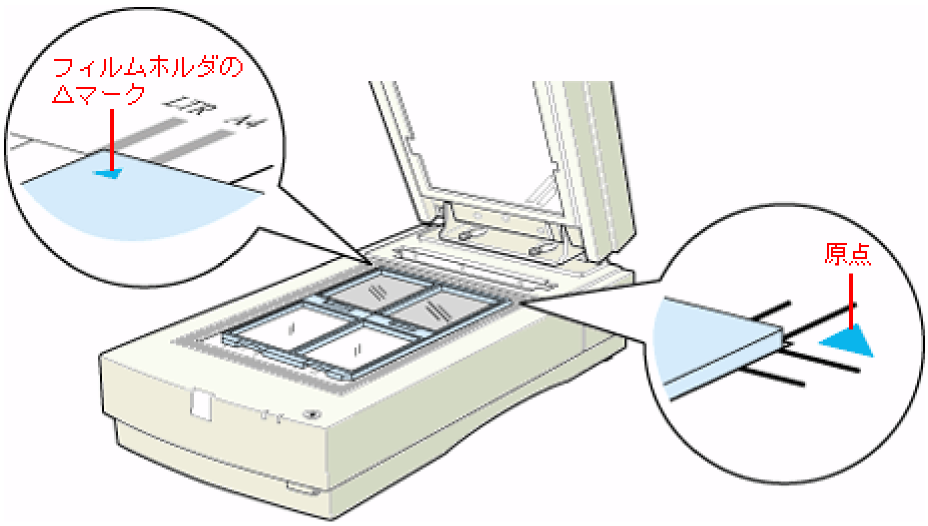
2） フィルムのベース面（像が正しく見える面）を下に向けてセットします。



3） カバーを静かに閉じます。



2. 透過原稿ユニットを開けます。フィルムのベース面が下になるように、フィルムホルダを原稿台にセットします。

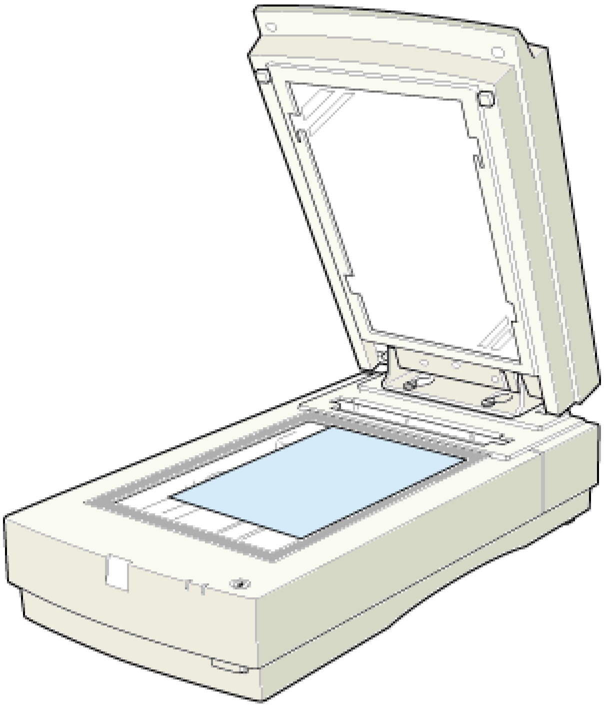



3. 透過原稿ユニットを、フィルムが動かないように静かに閉じます。

「透過原稿の取り込み方法（ES-2200）」154

## 8 × 10 インチなどの大きなフィルムのセット

フィルムホルダにセットできない大きなフィルムは、ベース面（像が正しく見える面）を下に向け、直接原稿台にセットします。
取り込むことのできる最大サイズは A4 です。



「透過原稿の取り込み方法（ES-2200）」154

**ポイント**

フィルムを原稿台の上に直接置いて取り込む場合は、EPSON Scan で焦点位置を 0mm に設定してください。
「EPSON Scan のヘルプ」

# 透過原稿の取り込み方法（ES-2200）

透過原稿ユニットを使って、透過原稿（フィルム）を取り込む方法を説明します。ここでは、EPSON Scan のホームモードを使った場合を例に説明します。

なお、透過原稿ユニットを取り付けたまま、反射原稿（写真、雑誌）を取り込むことができます。
「反射原稿の取り込み」156

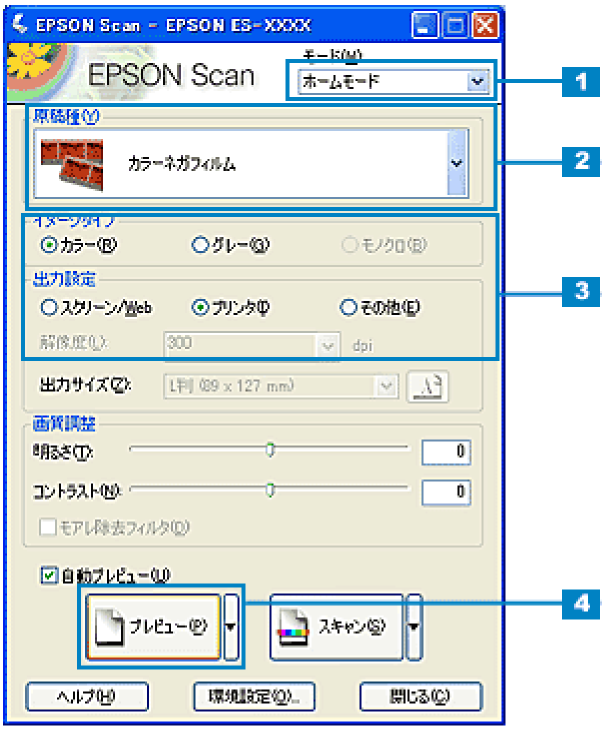
## 透過原稿の取り込み

1. **EPSON Scan を起動し、ホームモードを選択します。**

   「EPSON Scan の起動方法」7
   EPSON Scan（ホームモード）が起動して、画像がプレビューされます。

2. **［原稿種］を選択します。**

   ［原稿種］リストから、セットしたフィルムを選択してください。




3. **［イメージタイプ］、［出力設定］を設定します。**

   原稿に合わせて、［イメージタイプ］を選択します。出力設定に、［スクリーン /Web］または［プリンタ］を選んだ場合は、用途に応じた最適な解像度が自動設定されます。［その他］を選んだ場合は、目的に適した解像度を入力してください。ここでは、［プリンタ］を選択します。

4. **プレビューされていない場合は、プレビューします。**

   メインウィンドウの［プレビュー］ボタン右横にある縦長のボタンをクリックし、表示されるメニューでサムネイル表示または通常表示を選択してから、［プレビュー］ボタンをクリックしてください。

**ポイント**
原稿種を［XX フィルム］に設定すると、焦点位置は 2.5mm（フィルムホルダにセットしたフィルムにピントが合う位置）に固定されます。

5. **通常表示の場合は、取り込み枠を作成します。**

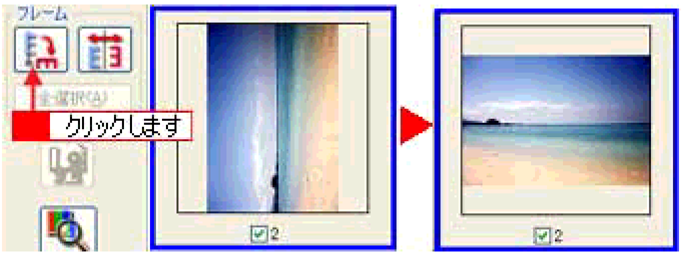
「取り込み枠の調整方法」16

**ポイント**

- **フィルムの部分（取り込む部分）をズームプレビューして取り込んでください。特に 35mm ネガフィルムの場合は、取り込み枠がフィルムホルダにかからないように指定してください。**
  **ズームプレビューをしないと、画像を正しく取り込めません。**




- **プレビューをサムネイル表示する場合**
  **ホーム／プロフェッショナルモードでプレビューをサムネイル表示する場合に認識できる原稿種とセット方法については、以下の項目を参照してください。**
  「サムネイル表示で認識できるフィルムとセット方法」128
- **フィルムの天地を間違えてセットした場合でも、サムネイル表示の場合は、[90 度回転] ボタンをクリックすると、選択している画像を右方向（時計回り）に 90 度ずつ回転できます。**




6. **[スキャン] ボタンをクリックして、取り込みを実行します。**

## フィルムの取り込みで色の付いた縞模様が生じる時は

**これは、透過原稿（フィルム）の取り込みで発生する光学的な現象で、ニュートンリングと言います。シャボン玉の表面に見える虹と同じ原理で、非常に薄い 2 層の膜があるところに発生します。**
**この時は、フィルムを表裏反対（膜面をスキャナのガラス側）にして取り込んでみてください。膜面をガラス側に向けると、ガラスとフィルム面の間に感光剤の凹凸が入りますので、ニュートンリングが発生しにくくなります。取り込んだら、TWAIN 対応アプリケーションで画像を鏡像反転させて本来の向きにしてください。**

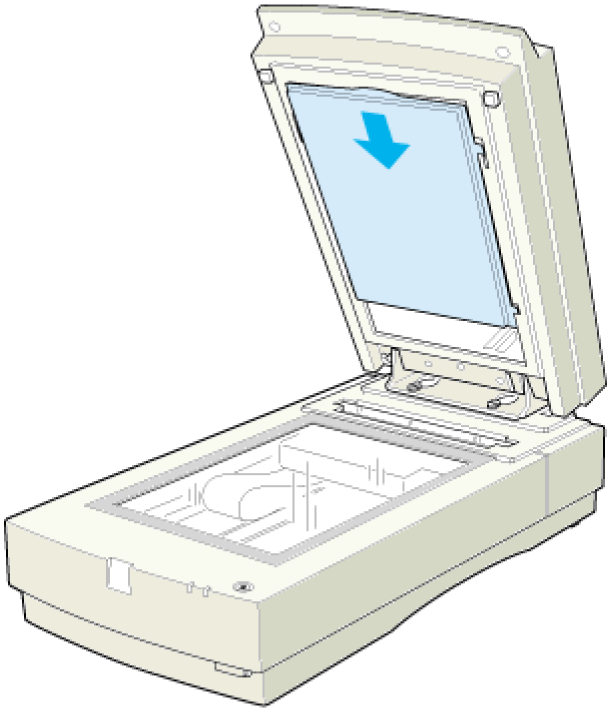
## 取り込み時のご注意

**透過原稿ユニット動作中に透過原稿ユニット本体を開けるとスキャナ本体がエラーとなり、取り込みができません。必ず、閉じた状態でお使いください。**

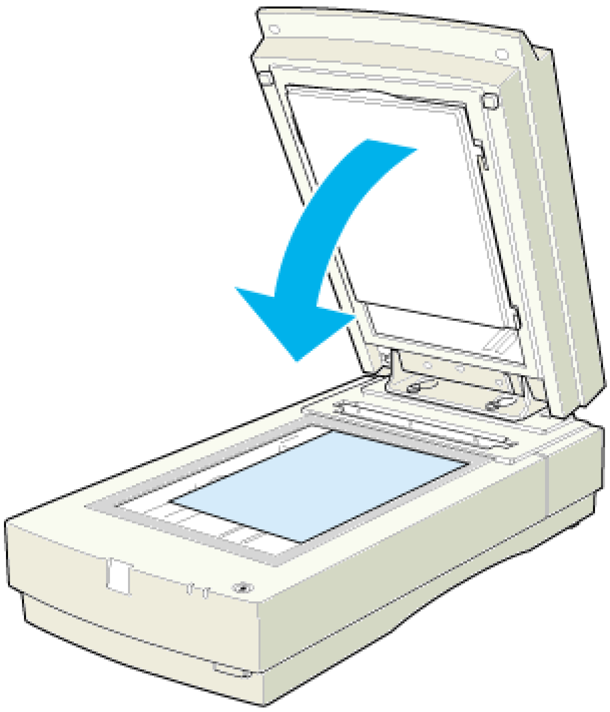
# 反射原稿の取り込み

透過原稿ユニットをスキャナに取り付けたままでも、原稿台に通常の原稿をセットして取り込むことができます。
その場合、反射原稿マットをユニットに取り付ける必要があります。

1. 透過原稿ユニットを開け、反射原稿マットを取り付けます。



2. 原稿をセットし、透過原稿ユニットを閉じます。



再び透過原稿を取り込む場合は、反射原稿マットを取り外してください。

# ADF の取り付け（ES-6000HS/8500/9000H）

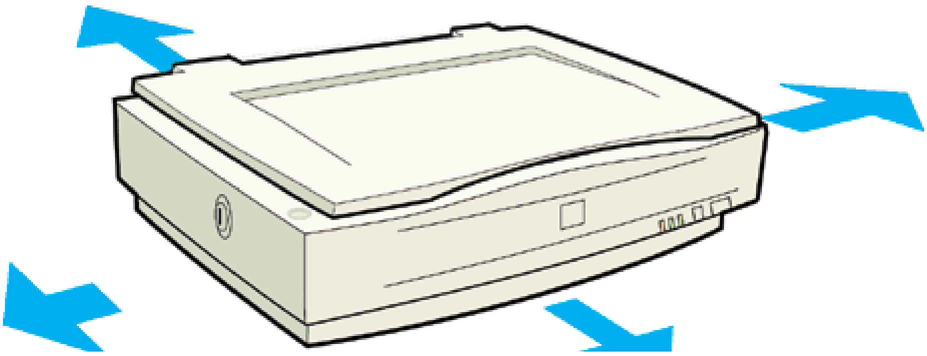
ここでは、オプションのオートドキュメントフィーダ（ADF）の取り付け方法を説明します。

**注意**

ADF は重く（約 13kg）、取り付け前は不安定ですので、取り付け作業は必ず２人以上で行ってください。１人で行うと、落下によりけがをしたり、ADF が破損するおそれがあります。

1. **スキャナの電源をオフにし、ケーブル類をすべて取り外します。**
2. **スキャナの周囲に人が作業できるスペースを確保します。また、できるだけ低い位置に置きます。**

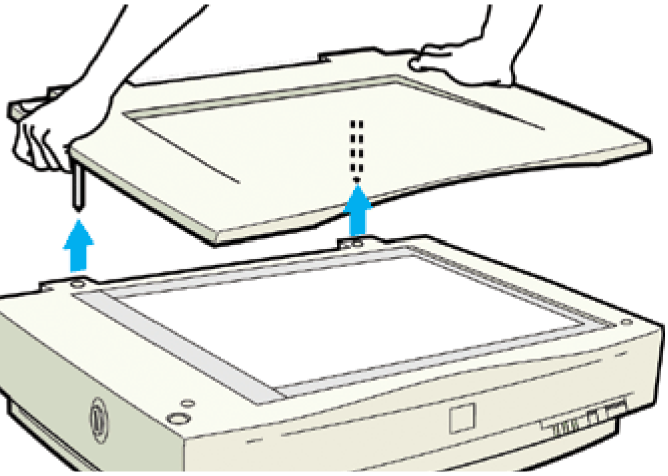
   ADF は、スキャナの背面側から取り付けますので、背面側に、ADF を取り付けるための作業スペースを確保してください。



**注意**

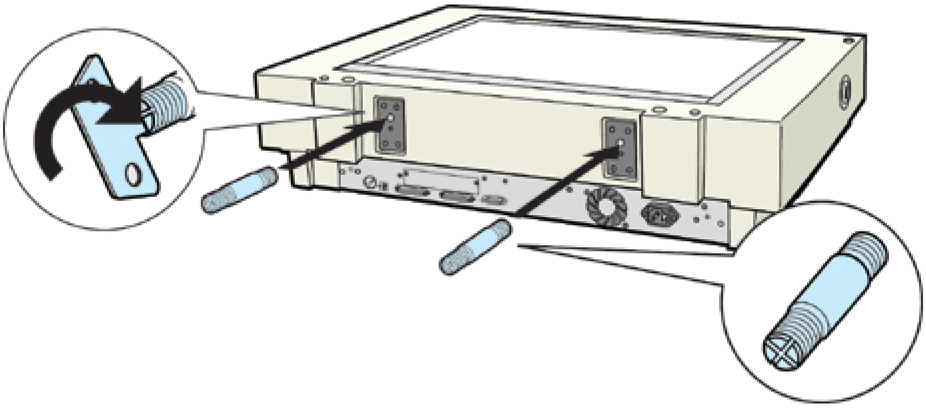
ADF を取り付ける時は、作業を容易にするため、腰よりも低い安定した位置にスキャナを置き、落下によるけがや ADF の破損が起きないように注意して作業してください。

3. **スキャナの原稿カバーを取り外します。**



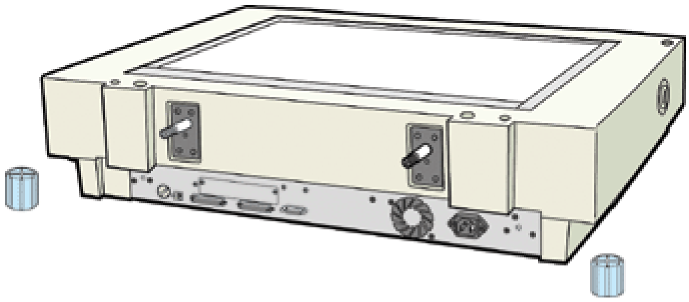
4. **ADF に付属のネジを、スキャナ背面に取り付けます。**

   手で締められるところまで締めてから、ADF に付属のネジ締め工具を使って固く締めます。

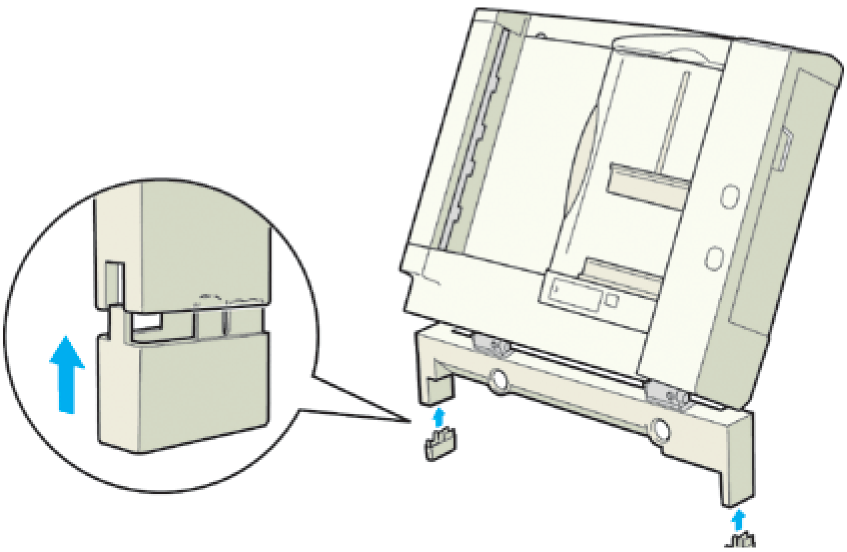


5. **ADF に付属のナットを、スキャナの近く（背面側）に置きます。**

   このナットは、ADF の固定に使用するものです。ADF を取り付ける前に、スキャナ背面側に置いておきます。

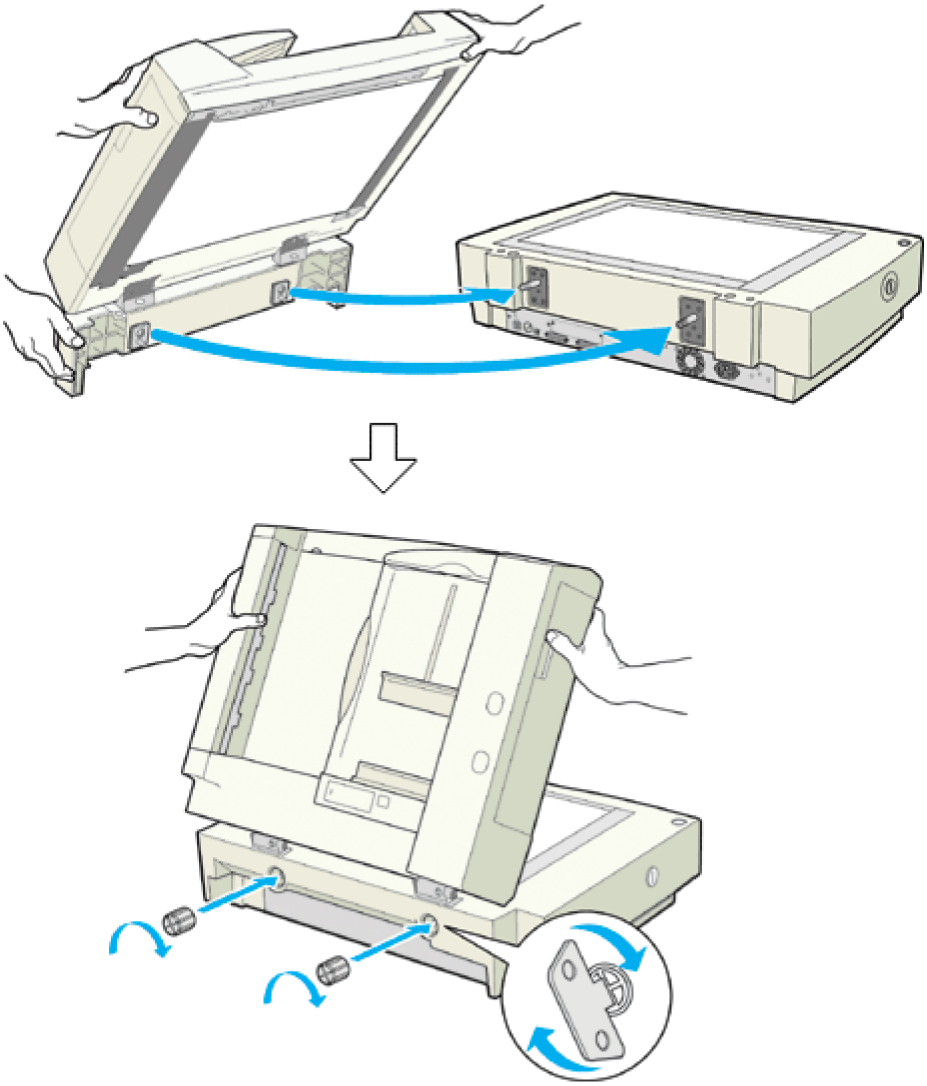


6. **ES-6000HS/8500 の場合、ADF に付属のフットを、図のように ADF に取り付けます。**

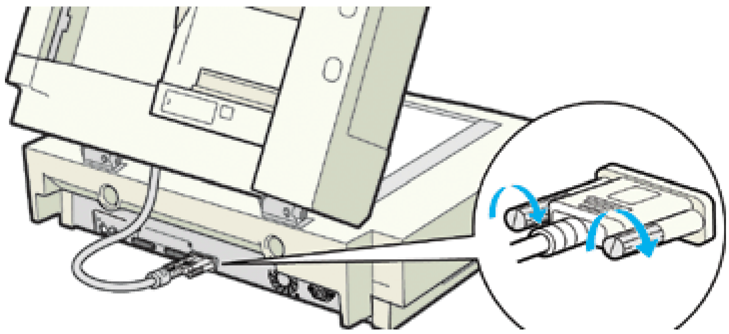


7. **ADF を２人以上で持ち上げます。スキャナ背面に取り付けたネジに ADF の取り付け穴を差し込み、ナットで固定します。**

   手で締められるところまで締めてから、ADF に付属のネジ締め工具を使って固く締めます。



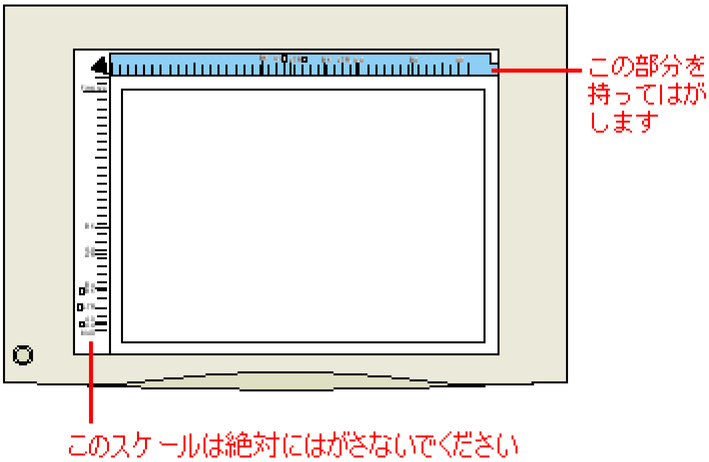
8. **スキャナ背面のオプションコネクタに ADF のコネクタをを取り付け、コネクタ両脇のネジで固定します。**



ES-9000H をお使いの場合は、手順 11 に進んでください。

9. **ES-6000HS/8500 をお使いで、スキャナに、スキャナ本体に付属していたスケールストッパを貼り付けてある場合は、スケールストッパをはがします。**

スケールストッパの粘着部分には、スキャナ本体の購入時にスケールストッパに貼られていた剥離紙を貼り付けて保管してください。




**注意**

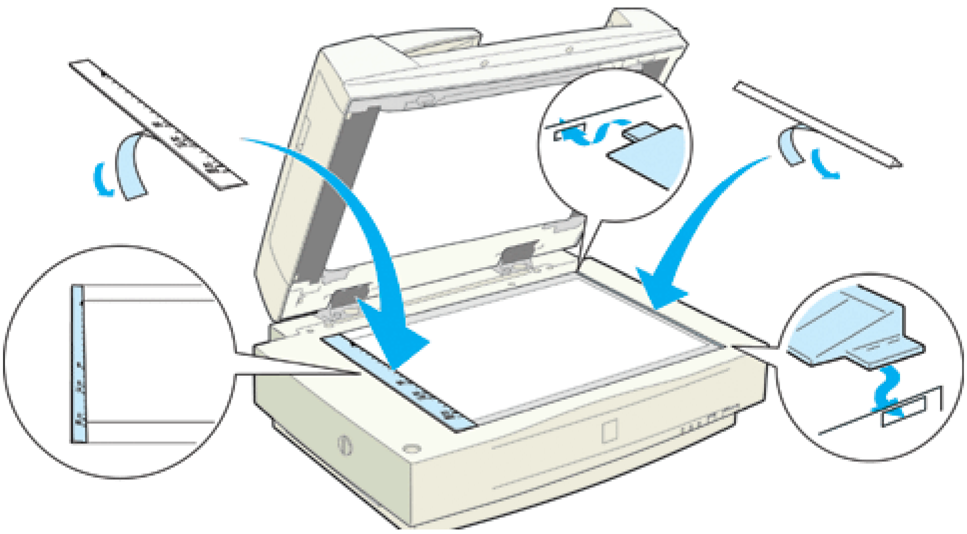
ES-6000HS/8500 に、スキャナ本体に付属していたスケールストッパを貼り付けてある場合は、必ずはがしておいてください。ADF 使用時にスケールストッパが貼り付けられていると、原稿に傷が付くおそれがあります。

**10. ES-6000HS/8500 の場合は、ADF に付属しているストッパと排紙サポートを、スキャナ本体に貼り付けます。**

裏面の剥離紙をはがし、図の位置に貼り付けます。

**ポイント**

ADF には、ストッパが 2 種類（白色と灰色）同梱されています。ES-8500 には白色のストッパを、ES-6000HS には灰色のストッパを貼り付けてください。



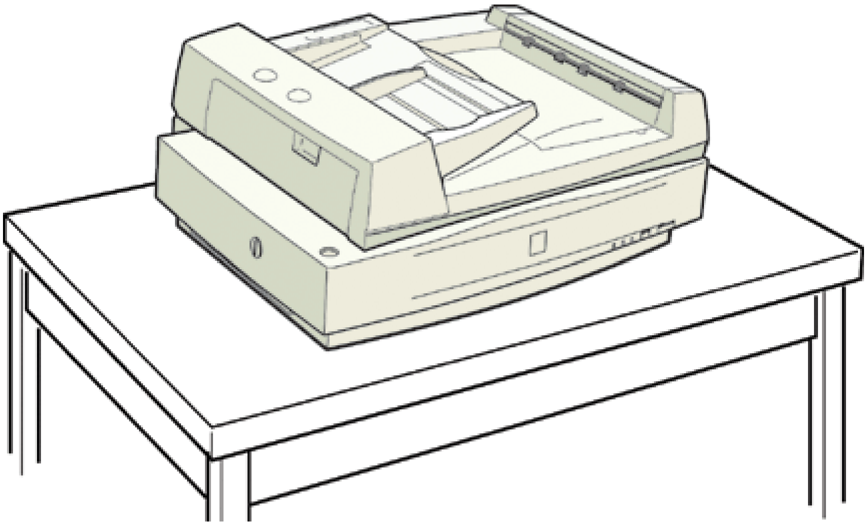
**注意**

ADF に付属のストッパと排紙サポートは、原稿の停止および排紙に必要不可欠な部品です。必ず貼り付けてください。貼り付けないと、ADF が正常に動作しません。

**11. ADF を閉じます。ADF とスキャナが、ガタなく、しっかりと固定されているか確認します。**

ガタがある場合は、ナットを増し締めしてしっかりと固定します。

**12. スキャナを 2 人以上で持ち上げ、設置する場所に置きます。**



## 注意

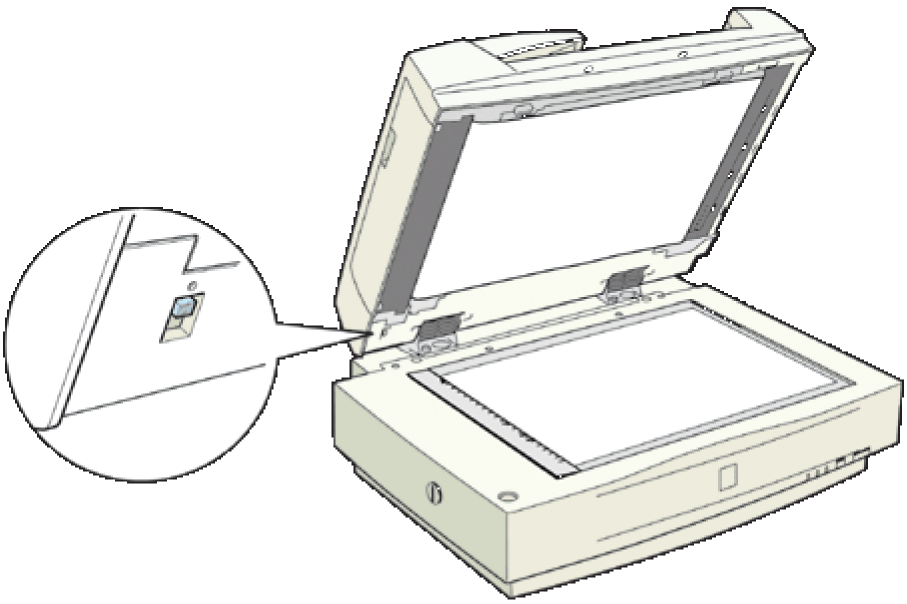
- ADF を取り付けた状態では、総重量は約 34Kg になります。必ず、２人以上で運んでください。
- 必ず、水平で安定した頑丈な場所に設置してください。また、ADF を取り付けた状態のスキャナより大きな台に設置してください。
- ADF を開ける時は、ゆっくりと開けてください。勢いよく開けると、反動でスキャナが動く（設置位置がズレる）場合があります。

**13. 取り外したケーブル類を接続します。**

これで ADF の取り付けは終了です。

**ポイント**

ADF の底面にあるスイッチは、図の位置のままにしておいてください。



# ADF への原稿のセット方法（ES-6000HS/8500/9000H）

## ADF で使用できる原稿

ADF にセットできる用紙は以下の通りです。
写真原稿など特に貴重な原稿は、カールなどで原稿を傷めるおそれがありますので使用しないでください。

| | |
|---|---|
| セット可能サイズ<br>※違うサイズの用紙を混載しないこと | A3、Ledger（約 280 × 432mm）、B4、Legal（216 × 356mm）、A4、Letter（216 × 279mm）、B5、A5、A6*、官製ハガキ *<br>不定形紙幅：148 ～ 297mm<br>長さ：100 ～ 432mm<br>* 横長にセットしてください。このサイズは自動検知できないので、A5 横サイズで取り込まれます。この場合は、一度プレビューして取り込み枠を原稿に合わせてから取り込んでください。 |
| セット可能枚数 | 100 枚（80g/$m^2$）<br>※エッジガイドの目盛りを超えてセットしないこと |
| 排紙枚数 | 100 枚 |
| 紙種 | 上質紙、中質紙、インクジェット紙（ファイン紙、スーパーファイン紙相当） |
| 紙厚（原稿坪量） | 50 ～ 127g/$m^2$ |

注意

次の用紙は、ADF では使用しないでください。給紙不良や、ADF の故障などの原因になります。

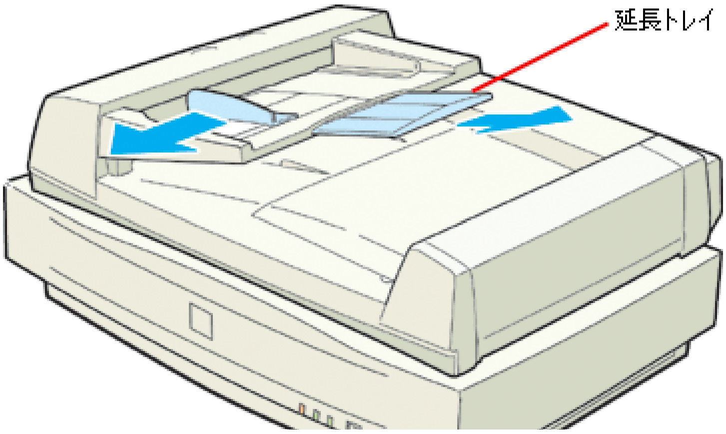
- 折り目、反り（カール）、しわ、破れのある用紙
  （原稿が反っている場合は、反りを直してセットしてください）
- 糊、ホチキス、クリップなどが付いた用紙
- 形状が不規則な用紙、裁断角度が直角でない用紙
- 貼り合わせ（切り貼り）、ラベル紙（裏面糊付）
- ルーズリーフの多穴原稿
- 綴じのある用紙（製本物）
- 裏カーボンのある用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙
- 透明紙（OHP シートなど）、半透明紙、光沢紙

※カタログ類は、正常に給紙されない場合があります。

## セットの仕方

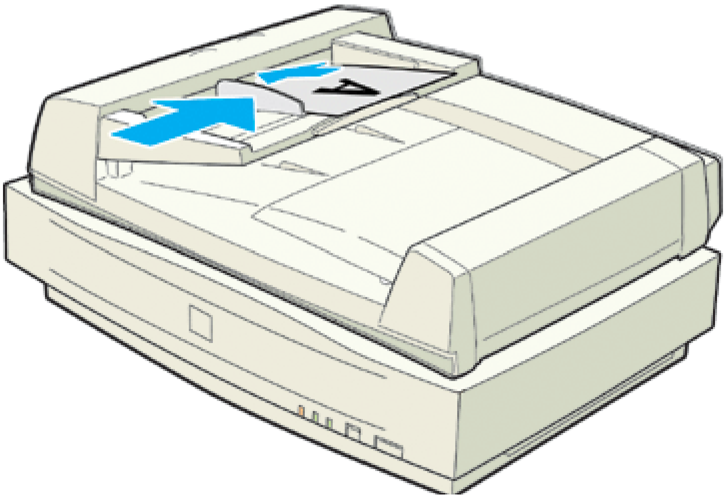
1. **ADF のエッジガイドを、セットする原稿サイズの目盛りの位置まで広げます。**

   B4 以上の原稿をセットする時は、延長トレイを引き出します。




2. **原稿の取り込む面を上にして、ADF の目盛りに合わせて奥に突き当たるまで差し込みます。**

   両面原稿の場合は、表面を上に向けて差し込みます。原稿を差し込んだら、エッジガイドを原稿にぴったりと当てます。

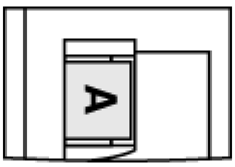


以上で原稿のセットは終了です。

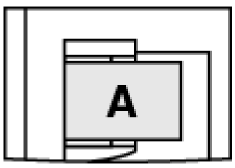
## 原稿のセット方向

**A4 以下の原稿**

原稿の下側を ADF 挿入口に向けてセット




**A4 より大きい原稿**




- どちらの場合も、取り込む面を上に向けてセットしてください。
- 両面原稿の場合は、表面を上に向けてセットしてください。
- 1 番上の原稿から給紙されます。

# ADF からの取り込み方法（ES-6000HS/8500/9000H）

## 原稿の全領域を連続して取り込む場合

原稿の全領域を取り込む場合については以下をご覧ください。
「原稿の全領域を連続して取り込む場合」83

## 原稿の一部分を連続して取り込む場合

原稿の一部分を連続して取り込む場合については以下をご覧ください。
「原稿の一部分を連続して取り込む場合」84

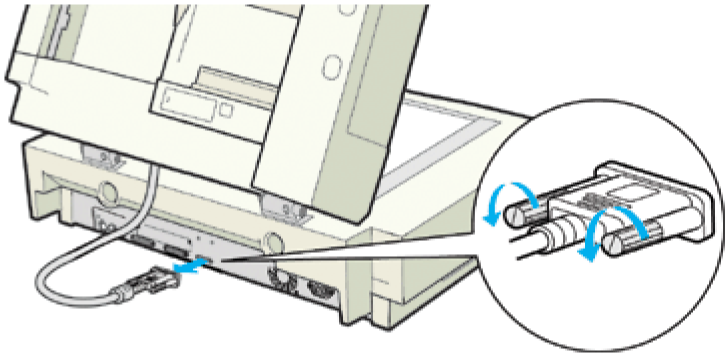
# ADF の取り外し（ES-6000HS/8500/9000H）

何らかの理由で ADF を取り外す時は、次の手順で作業してください。

**注意**

- ADF は重く（約 13kg）、取り外し後は不安定ですので、取り外し作業は必ず２人以上で行ってください。１人で行うと、落下によりけがをしたり、ADF が破損するおそれがあります。
- ADF を取り外す時は、作業を容易にするため、腰よりも低い安定した位置にスキャナを置き、落下によるけがや ADF の破損が起きないように注意して作業してください。

1. スキャナの電源をオフにし、オプションコネクタを取り外します。また、ケーブル類をすべて取り外します。

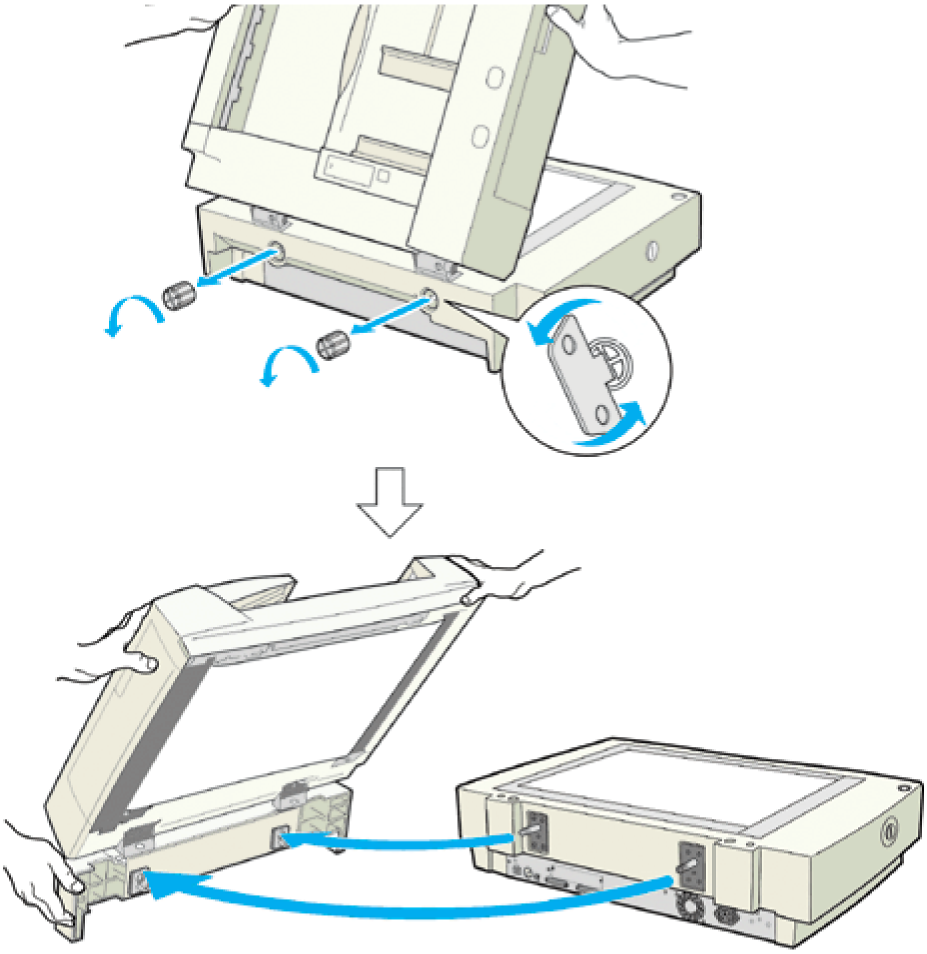


2. ADF を開けます。ADF を手で支えながら、ADF を固定しているナットを外し、ADF をゆっくり取り外します。

   ナットの取り外しには、ADF に付属のネジ締め工具をお使いください。

**注意**

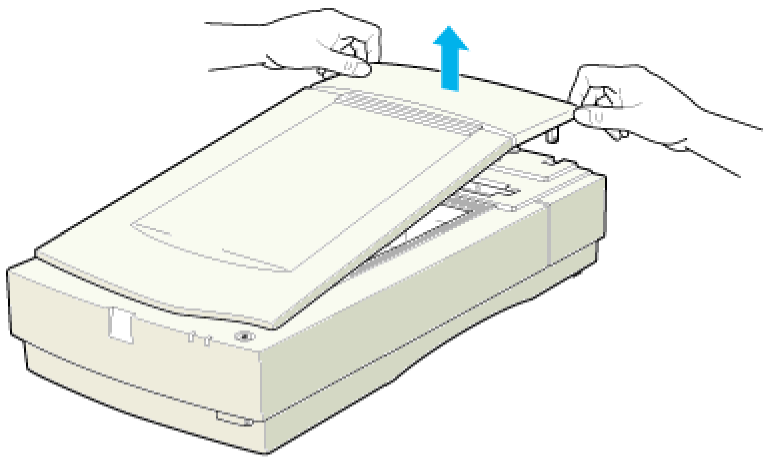
ナットは、必ず ADF を開け、手で支えながら外してください。ADF を閉じた状態でナットを外すと、ADF のバネの力により、ADF の固定部分が跳ね上がり、けがをしたり、ADF を破損するおそれがあります。



# ADF の取り付け（ES-2200）

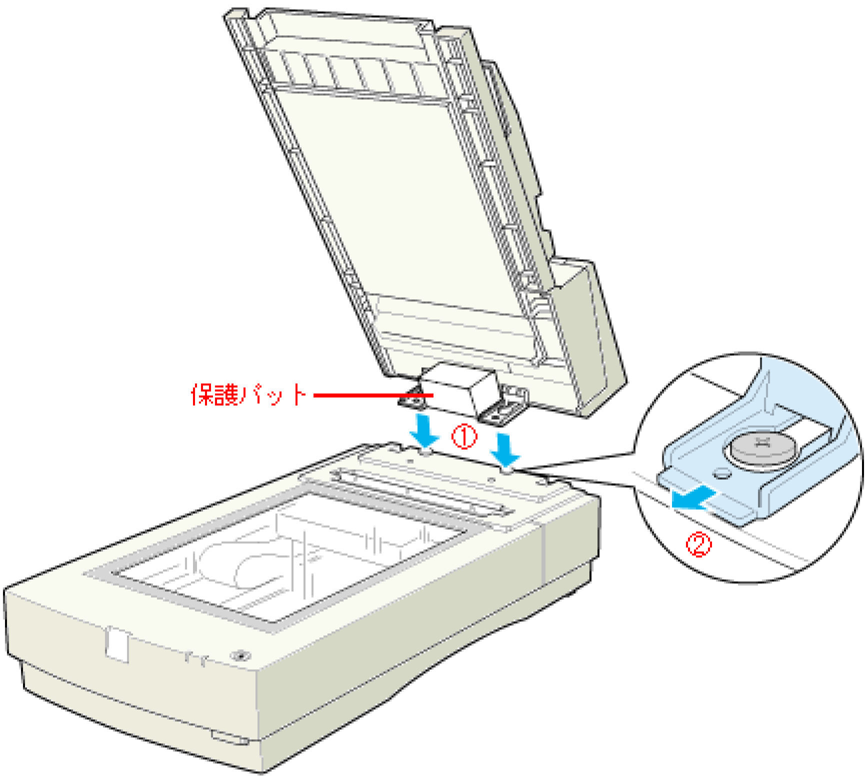
ここでは、オプションのオートドキュメントフィーダ（ADF）の取り付け方法を説明します。

1. **スキャナの電源をオフにし、原稿カバーを取り外します。**



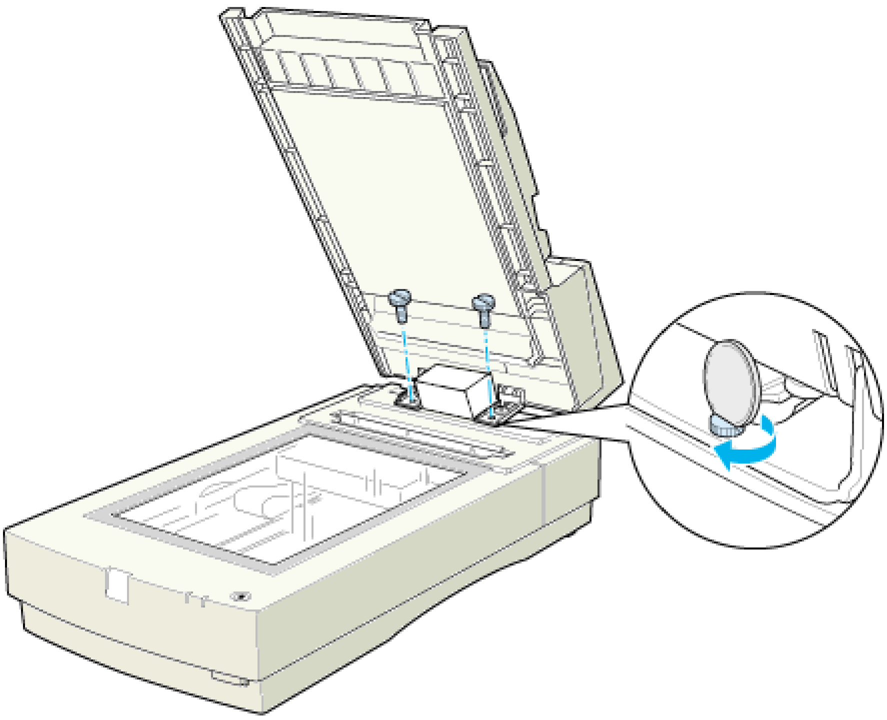
2. **（1）スキャナ本体の 2 本のネジに ADF の取り付け金具を差し込み、（2）手前に引いて取り付けます。**

   取り付け金具の保護パットは外さないでください。




3. **ADF に付属のネジで ADF を固定します。**

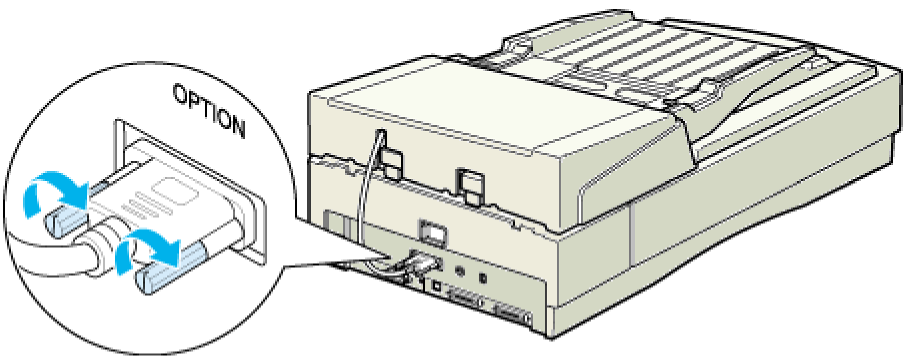
   コインなどをお使いください。



4. **ADF の取り付け金具から保護パットを取り外します。**

   保護パットは ADF の取り付け・取り外しの際に必要となりますので保管しておいてください。

5. **ADF を閉じ、スキャナ背面のオプションコネクタに ADF のケーブルを接続します。**




これで ADF の取り付けは終了です。

# ADF への原稿のセット方法（ES-2200）

## ADF で使用できる原稿

ADF にセットできる用紙は以下の通りです。
写真原稿など特に貴重な原稿は、カールなどで原稿を傷めるおそれがありますので使用しないでください。

| | |
|---|---|
| セット可能サイズ<br>※違うサイズの用紙を混載しないこと。 | A4、B5、Legal（216 mm × 356 mm）、Letter（216 mm × 279 mm）<br>不定形紙幅 :76 ～ 216 mm<br>長さ :127 ～ 356 mm |
| セット可能枚数 | 30 枚（55kg 紙）、総用紙厚 6mm 以下<br>（エッジガイドの目盛りを超えてセットしないこと） |
| 紙質 | 上質紙、再生紙、ボンド紙 |
| 紙厚（原稿坪量） | 45 ～ 110g/m$^2$ |

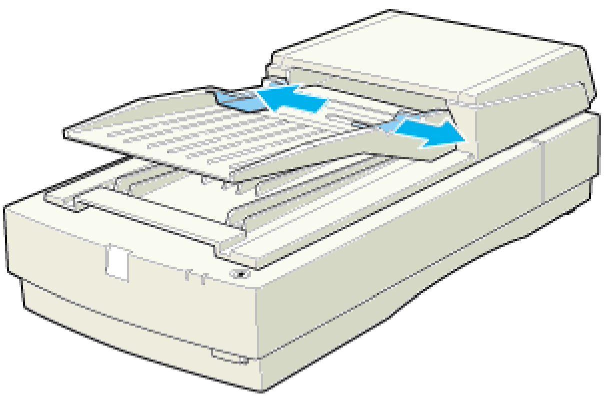
注意

以下の用紙は、ADF では使用しないでください。給紙不良または ADF の故障などの原因になります。

- 折り目、反り（カール）、しわ、破れのある用紙
  （原稿が反っている場合は、反りを直してセットしてください）
- 糊、ホチキス、クリップなどが付いた用紙
- 形状が不規則な用紙、裁断角度が直角でない用紙
- 貼り合わせ、ラベル紙（裏面糊付）
- ルーズリーフの多穴原稿
- 綴じのある用紙（製本物）
- 裏カーボンのある用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙
- 透明紙（OHP シートなど）、半透明紙、光沢紙

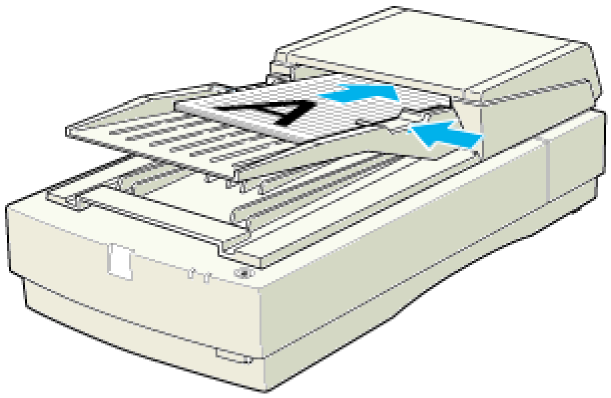
## セットの仕方

1. **ADF のエッジガイドを、セットする原稿サイズの目盛りの位置まで広げます。**



2. **原稿の取り込む面を上にして、左のエッジガイドを基準にして奥に突き当たるまで差し込みます。**

**原稿を差し込んだら、右のエッジガイドを原稿にぴったりと当てます。**




**以上で原稿のセットは終了です。**

# ADF からの取り込み方法（ES-2200）

## 原稿の全領域を連続して取り込む場合

原稿の全領域を取り込む場合については以下をご覧ください。
「原稿の全領域を連続して取り込む場合」83

## 原稿の一部分を連続して取り込む場合

原稿の一部分を連続して取り込む場合については以下をご覧ください。
「原稿の一部分を連続して取り込む場合」84

# IEEE1394 I/F カードの取り付け

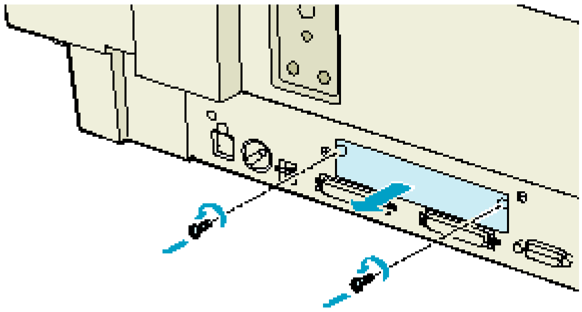
ここでは、オプションの IEEE1394 I/F カードの取り付け方法を説明します。

注意

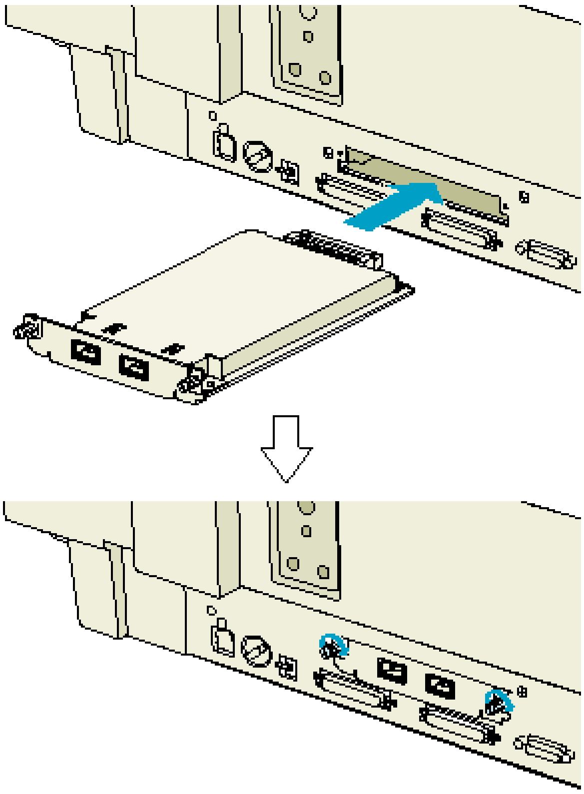
カードを取り付ける前に、必ずスキャナの電源をオフにしておいてください。電源がオンの状態でカードを取り付けると、スキャナおよびカードの故障の原因になります。

1. **スキャナ背面の、オプションスロットカバーを取り外します。**

   カバーの２本のネジを取り外し、カバーを取り外します。



2. **IEEE1394 I/F カードをスロットの奥までしっかりと差し込み、ネジで固定します。**



# ソフトウェア関連情報

## EPSON Scan のシステム条件

EPSON Scan を使用するために最小限必要なハードウェアおよびシステム条件は次の通りです。

### Windows

| | | |
|---|---|---|
| オペレーティングシステム | SCSI の場合 | ・ Windows 98/Me/NT4.0 Workstation Service Pack4 以上 /2000 Professional/XP Home Edition,Professional<br>・ エプソンで動作確認済みの SCSI ボードを装着し、かつ SCSI ドライバが組み込まれていること。<br>エプソンで動作確認済みの SCSI ボードについては、エプソン販売のホームページで最新情報をご提供しております。エプソン販売のホームページアドレスは、「スタートアップガイド」の裏表紙をご覧ください。 |
| | USB の場合 | ・ Windows 98/Me/2000 Professional/XP Home Edition,Professional がプレインストールされているコンピュータ（購入時すでにインストールされているコンピュータ）<br>・ Windows 98 以降の OS がプレインストールされていて、Windows Me/2000/XP にアップグレードしたコンピュータ<br>・ 上記いずれかのコンピュータで、USB に対応し、コンピュータメーカーにより USB ポートの動作が保証されているコンピュータ |
| | IEEE1394 の場合 | ・ Windows 2000 Professional/Me/XP Home Edition,Professional がプレインストールされているコンピュータ（購入時すでにインストールされているコンピュータ）。<br>・ 標準で IEEE1394 ポートを搭載しているコンピュータ。<br>※ただし、標準搭載されている IEEE1394 ポートのホストコントローラが、Windows でサポートされている OHCI 規格に対応している必要があります。標準 IEEE1394 ポートでご使用になれない場合は、エプソンで動作確認済みの IEEE1394 増設カードが必要になります。<br>動作確認済みの IEEE1394 増設カードについては、エプソン販売のホームページで最新情報をご提供しております。エプソン販売のホームページアドレスは、「スタートアップガイド」の裏表紙をご覧ください。 |
| CPU | | 233 MHz 以上の Pentium または互換プロセッサ |
| 主記憶メモリ | | 64MB 以上（128MB 推奨） |
| ハードディスク空き容量 | | インストール時：20MB<br>実行時：50MB<br>取り込みを行う画像データによって、さらに多くの空き容量が必要となります。 |
| ディスプレイ | | Super VGA (800 × 600) 以上のフルカラー高解像度ビデオアダプタおよびモニタ |

### Macintosh

ポイント

Mac OS X 環境での動作につきましてはエプソン販売のホームページにてご確認ください。

| | | |
|---|---|---|
| システムソフトウェア | SCSI の場合 | • Mac OS 8.6 以上 /Mac OS 9.x のコンピュータ |
| | USB の場合 | |
| | FireWire の場合 | • Mac OS 8.6 以上（Mac OS8.6 は FireWire2.1 以上が必要）<br>• IEEE1394（FireWire）インターフェイスを標準装備している　iMac、iBook、PowerMacintosh のみ |
| CPU | | Power PC G3 以上 |
| メモリ空き容量 | | 64MB 以上（128MB 推奨） |
| ハードディスク空き容量 | | インストール時：20MB<br>実行時：50MB<br>取り込みを行う画像データによって、さらに多くの空き容量が必要となります。 |

# EPSON Scan の削除方法

EPSON Scan を削除（アンインストール）するときは、以下の手順に従ってください。

「Windows 98 / Me の場合」175
「Windows NT/2000/XP の場合」176
「Macintosh の場合」178

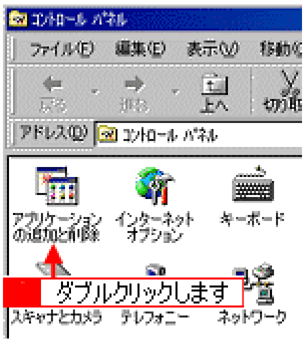
## Windows 98 / Me の場合

1. **スキャナの電源をオフにするか、インターフェイスケーブルを取り外します。**

2. **［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［コントロールパネル］をクリックします。**



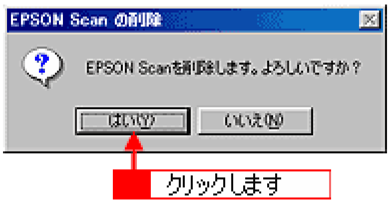

3. **［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。**




4. **［EPSON Scan］を選択して、［追加と削除］ボタンをクリックします。**



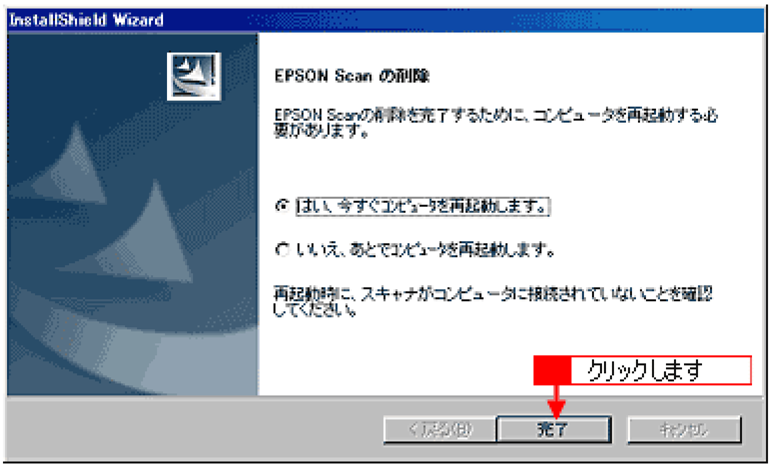

5. ［はい］ボタンをクリックします。




EPSON Scan の削除が実行されます。

6. ［完了］ボタンをクリックします。

Windows が再起動されます。




これで削除は終了です。

## Windows NT/2000/XP の場合

ポイント

- Windows NT/2000 で削除する場合は、管理者権限のあるユーザー（Administrators グループに属するユーザー）でログオンする必要があります。

- Windows XP で削除する場合は、「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーでログインする必要があります。「制限」アカウントのユーザーでは、削除できません。Windows XP をインストールしたときのユーザーは「コンピュータの管理者」アカウントになっています。

**1. スキャナの電源をオフにするか、インターフェイスケーブルを取り外します。**

**2. ［スタート］ボタンをクリックし、［コントロールパネル］をクリックします。**

Windows NT/2000 の場合は、［スタート］ボタンをクリックして、［設定］-［コントロールパネル］をクリックします。

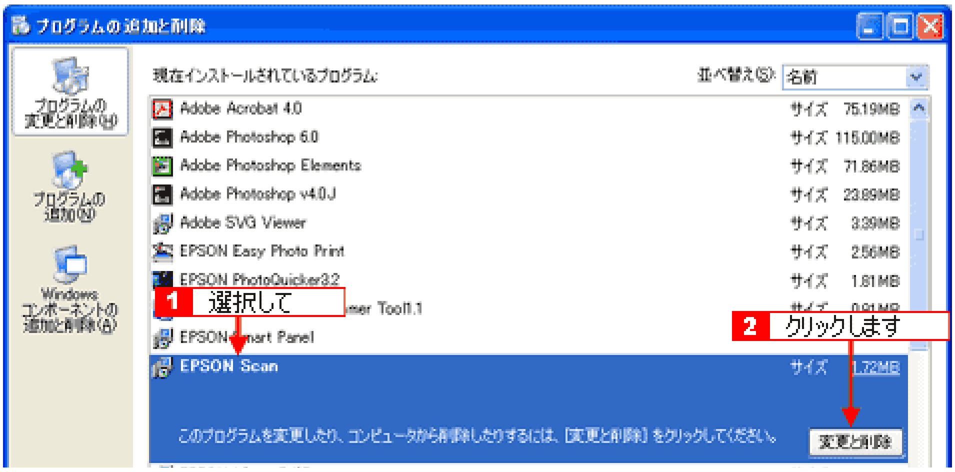



**3. ［プログラムの追加と削除］アイコンをクリックします。**

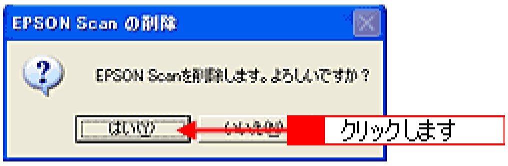
Windows NT/2000 の場合は、［アプリケーションの追加と削除］アイコンをクリックします。




**4. ［EPSON Scan］を選択して、［変更 と削除］ボタンをクリックします。**



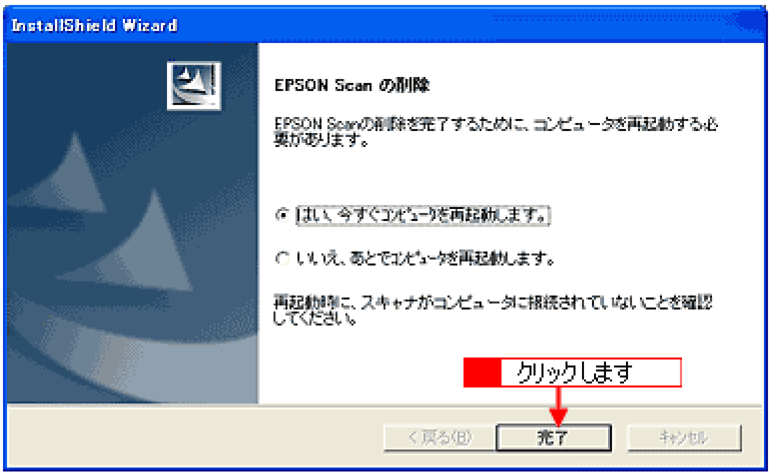

5. ［はい］ボタンをクリックします。




EPSON Scan の削除が実行されます。

6. ［完了］ボタンをクリックします。

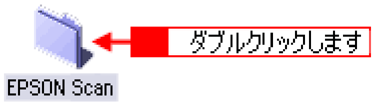
Windows が再起動されます。



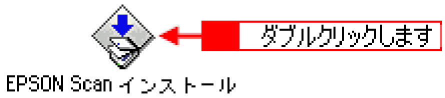

以上で削除は終了です。

## Macintosh の場合

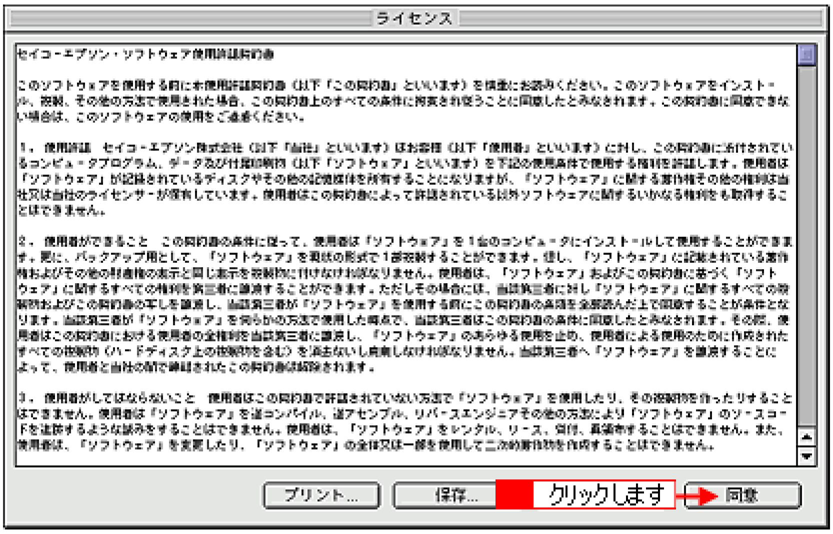
1. スキャナの電源をオフにするか、またはインターフェイスケーブルを取り外します。
2. ソフトウェア CD-ROM をセットします。
3. 画面を下の方にスクロールさせ、［EPSON Scan］フォルダをダブルクリックします。




4. ［EPSON Scan インストール］アイコンをダブルクリックします。

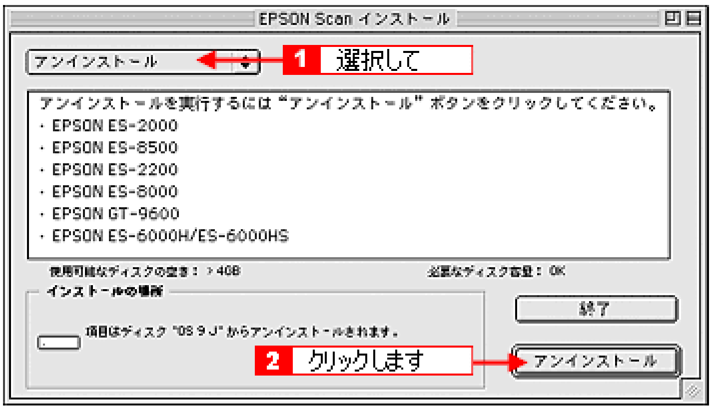



5. 使用許諾契約の内容を確認し、［同意］ボタンをクリックします。

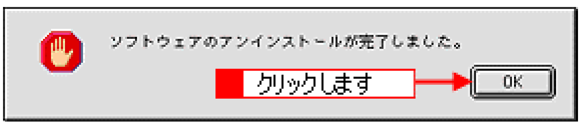



6. メニューから［アンインストール］を選択して、［アンインストール］ボタンをクリックします。

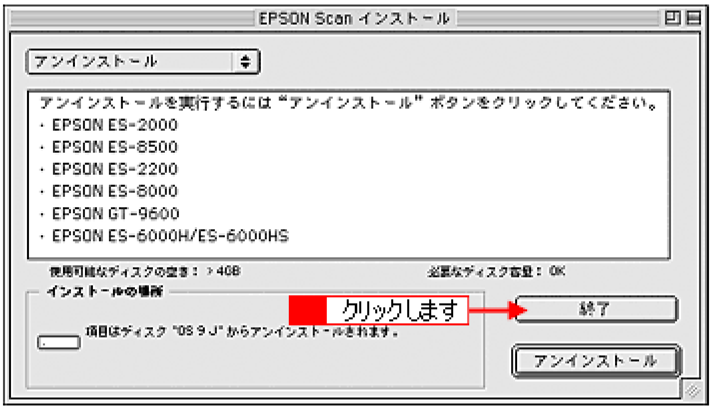
EPSON Scan の削除が実行されます。




7. ［OK］ボタンをクリックします。




8. ［終了］ボタンをクリックします。




以上で削除は終了です。Macintosh を再起動してください。

# 最新スキャナソフトウェアの入手方法

EPSON Scan や EPSON ScanPalette などのスキャナソフトウェアをバージョンアップする際は、エプソン販売のホームページ、および CD-ROM による提供を行います。

**ポイント**

スキャナソフトウェアのバージョンアップ時期は不定期ですので、定期的にホームページをご確認ください。

## 入手方法

エプソン販売のホームページからダウンロードしてください。
【アドレス】http://www.i-love-epson.co.jp/guide/scanner/

ダウンロード方法／インストール方法は、ダウンロードするページに掲載されていますので、そちらをご覧ください。




2002年10月1日現在

# その他の情報

## 日常のお手入れ

スキャナを末永くお使いいただけるように、定期的に次のようなお手入れをしてください。

### 本体の清掃

原稿台のガラス面・外装ケースの汚れは、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどい時は、中性洗剤を薄めた溶液に柔らかい布を浸し、よく絞って汚れをふきとってから、乾いた布でふいてください。

注意

- シンナー、ベンジンなどの揮発性薬品はケースなどの表面を痛めることがありますので、絶対に使わないでください。
- スキャナには絶対に水などがかからないように注意してください。

### 蛍光ランプ

蛍光ランプが切れた時は、交換修理が必要です。お買い求めの販売店か、エプソンの修理窓口にお問い合わせください。エプソンの修理窓口の連絡先はスタートアップガイドの裏表紙にあります。

### 故障の時

スキャナ本体には、お客様自身で修理、交換できる部品はありません。故障の時や調整が必要な時は、お買い求めの販売店か、エプソンの修理窓口にお問い合わせください。エプソンの修理窓口の連絡先はスタートアップガイドの裏表紙にあります。

ポイント

故障かな？と思っても、本ユーザーズガイドの「トラブル対処方法」の内容に従って確認すれば、解決できることもあります。「トラブル対処方法」の内容を確認してください。

# 移動時のご注意（ES-6000HS/8500/9000H）

スキャナを輸送するときや振動の激しい移動の時は、次のように輸送用固定ノブでキャリッジを固定してください。

1. **キャリッジがホームポジションにあることを確かめて、電源をオフにします。**

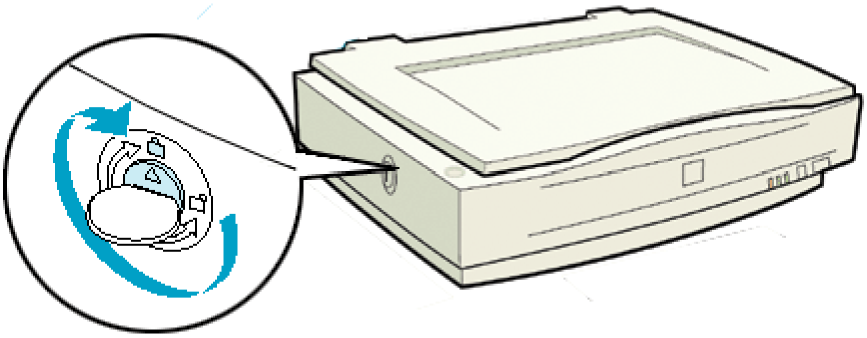
   通常は、正しく取り込みが終了すると、キャリッジはホームポジションに移動します。ホームポジションにない場合は、電源を入れ直すことにより、ホームポジションに移動します。READY ランプが点灯したら、電源をオフにしてください。

2. **電源ケーブルとインターフェイスケーブルを外します。**

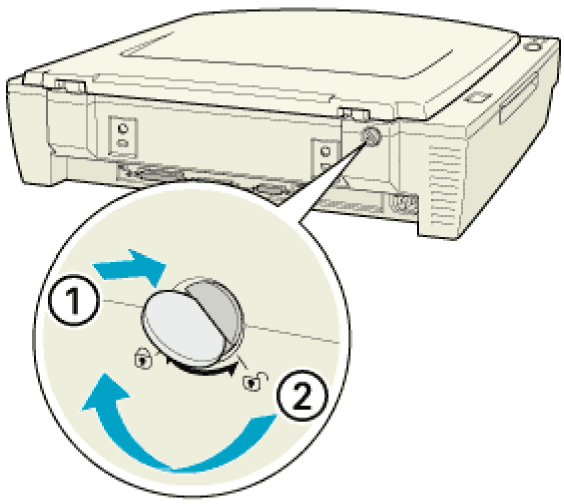
3. **輸送用固定ノブを LOCK の位置に回し、キャリッジを固定します。**

   コインなどをお使いください。

   **＜ ES-6000HS/8500 の場合＞**



   **＜ ES-9000H の場合＞**




**注意**

輸送時や移動時は、必ず輸送用固定ノブでキャリッジを固定してください。固定しないと、振動や衝撃が加わって故障の原因になることがあります。

4. **スキャナを梱包します。**

   専用の梱包箱と梱包材を使って、開梱した時と同じ状態で梱包してください。正しく梱包しないと、輸送中に振動や衝撃が加わって故障の原因になります。

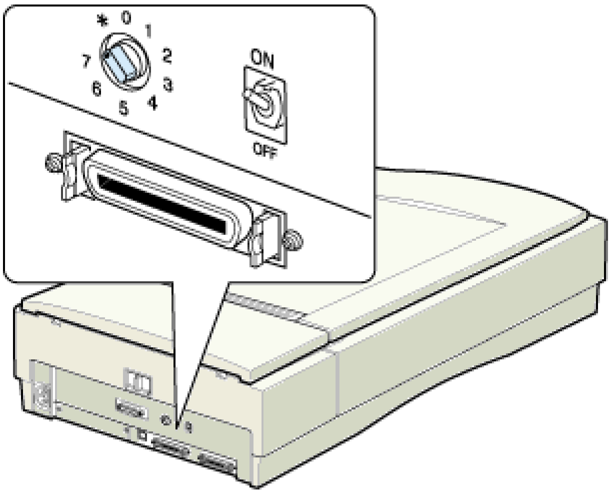
**注意**

**本製品は重いので、移動する場合１人で運ばないでください。必ず２人以上で運んでください。**

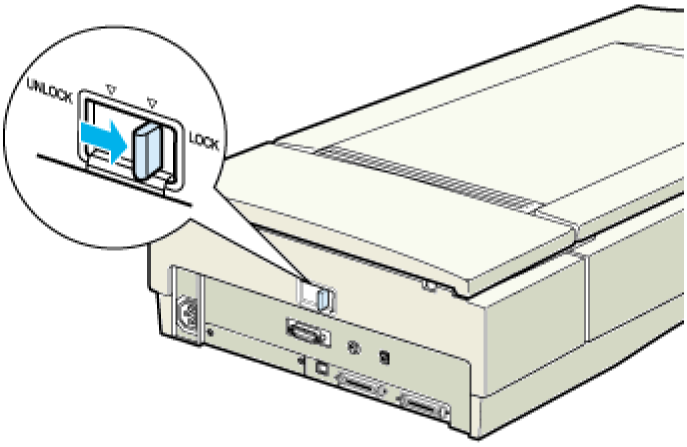
# 移動時のご注意（ES-2200）

スキャナを輸送するときや振動の激しい移動のときは、次のように輸送用固定レバーでキャリッジを固定してください。

1. スキャナの電源をオフにして、SCSI ID スイッチを＊の位置に合わせます。




2. スキャナの電源をオンにします。キャリッジがロック位置に移動しますので、輸送用固定レバーを LOCK にしてキャリッジを固定します。




**注意**

輸送時や移動時は、必ず輸送用固定レバーでキャリッジを固定してください。固定しないと、振動や衝撃が加わって故障の原因になることがあります。

3. スキャナの電源をオフにします。電源ケーブルをコンセントから抜き、インターフェイスケーブルを外します。

4. スキャナを梱包します。

   専用の梱包箱と梱包材を使って、開梱したときと同じ状態で梱包してください。正しく梱包しないと、輸送中に振動や衝撃が加わって故障の原因になります。

# 基本仕様（ES-6000HS）

仕様、外観は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

## ハードウェア基本仕様

| | | |
|---|---|---|
| 型式 | | 卓上型カラーイメージスキャナ |
| 外形寸法 | | 幅 656mm ×奥行 458mm ×高さ 176mm |
| 重量 | | 約 21kg |
| 走査方式 | | ミラー移動型原稿読み取り |
| 画像読み取りセンサ | | カラー CCD ラインセンサ（完全片側読み出し方式） |
| 原稿サイズ | | A3 まで |
| 最大有効領域 | | 297mm × 432mm |
| 最大有効画素 | | 主走査 7020 画素×副走査 10200 画素（600dpi） |
| 光学解像度 | | 主走査：600dpi<br>副走査：1200dpi |
| 読取解像度 | | 50 ～ 9,600dpi まで（スキャナから EPSON Scan に出力される解像度。1dpi 刻み）<br>※ EPSON Scan を使った場合、アプリケーションに出力される解像度は、50 ～ 4,800dpi（1dpi 刻み） |
| 階調 | | 各画素各色　12bit（入力）/1 ～ 8bit（出力） |
| 色分解方式 | | カラー CCD ラインセンサ上のフィルタ分解（R・G・B） |
| ズーム | | 50 ～ 200%（1%刻み） |
| 読み取り時間 | | （600dpi、A3、高速モード。データ転送時間含まず）<br>モノクロ 2 値：1.4msec/line<br>フルカラー /256 グレー：4msec/line |
| 画像処理機能 | 内部演算処理 | 各画素各色　8 ビット処理 |
| | ガンマ補正 * | 出力別補正：標準 5 種<br>CRT 用 2 種（A,B）<br>プリンタ用 3 種（A,B,C）<br>ユーザ定義補正テーブル設定可能（1 種） |
| | 色補正 * | 出力別補正：標準補正 4 種<br>ワイヤドットプリンタ<br>サーマルプリンタ<br>インクジェットプリンタ<br>カラーモニタ（CRT）<br>ユーザ定義補正設定可能（1 種） |
| | 明度補正 * | 7 レベル |
| | 画像処理 | 2 値出力 固定閾値（しきいち）単純 2 値出力<br>TET 処理<br>中間調処理出力（2 値、4 値出力 *）<br>平均誤差最小法中間調 3 種（A,B,C）<br>ディザ 4 種（A,B,C,D）<br>ユーザ定義ディザ 2 種（A,B）*<br>領域分離処理（AAS） |
| | インターフェイス | SCSI（高密度 50 ピンコネクタ）、IEEE1394（オプション） |
| | 光源 | 高輝度キセノン蛍光ランプ |

* ハードウェア側の仕様。

## 電気的特性

| | |
|---|---|
| 電源電圧 | 定格：AC100V（AC100V ± 10%） |
| 電源周波数 | 50/60Hz（49.5 〜 60.5Hz） |
| 消費電力 | 動作時：平均 50W（オプション非装着時）<br>動作時：平均 55W（オプション装着時）<br>待機時：平均 20W |
| 絶縁抵抗 | DC500V にて 10MΩ 以上（AC ラインとシャーシ間） |
| 絶縁耐圧 | AC1200V rms 1 分（AC ラインとシャーシ間） |

## 適合規格

| | |
|---|---|
| 耐電磁障害 | VCCI　クラス B |
| 電源高調波 | 高調波抑制対策ガイドライン適合 |
| 環境保護 | 国際エネルギースタープログラムに適合 |

## 耐電気ノイズ

| | |
|---|---|
| 静電気 | パネル部：10kV　金属部：7kV（150PF、150Ω） |

## 環境条件

| | |
|---|---|
| 温度 | 動作時：5 〜 35 度<br>保存時：-25 〜 60 度 |
| 湿度 | 動作時：10 〜 80%（非結露）<br>保存時：10 〜 85%（非結露） |

## 使用条件

| | |
|---|---|
| 塵埃 | 一般事務所、一般家庭程度<br>異常にほこりの多いところは避けること |
| 照度 | 直射日光、光源の近くは避けること |

## 原稿条件

| | |
|---|---|
| 反射原稿 | 写真、印刷物など、表面が滑らかなもの<br>・ 原稿表面に段差がある場合（台紙に写真を貼ったときなど）、読み取った画像の段差部分に色が付くことがある<br>・ 原稿が薄い場合、裏側の画像も裏写りして取り込むことがある |

# 基本仕様（ES-8500）

仕様、外観は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

## ハードウェア基本仕様

| | | |
|---|---|---|
| 型式 | | 卓上型カラーイメージスキャナ |
| 外形寸法 | | 幅 656mm ×奥行 458mm ×高さ 176mm |
| 重量 | | 約 21kg |
| 走査方式 | | ミラー移動型原稿読み取り |
| 画像読み取りセンサ | | カラー CCD ラインセンサ |
| 原稿サイズ | | A3 プラス |
| 最大有効領域 | | 310mm × 437mm |
| 最大有効画素 | | 主走査 19520 画素×副走査 27520 画素（1600dpi） |
| 光学解像度 | | 主走査：1600dpi<br>副走査：1600dpi |
| 読取解像度 | | 50 ～ 12,800dpi まで（スキャナから EPSON Scan に出力される解像度。1dpi 刻み）<br>※ EPSON Scan を使った場合、アプリケーションに出力される解像度は、50 ～ 6,400dpi（1dpi 刻み） |
| 階調 | | 各画素各色　14bit（入力）/1 ～ 14bit（出力） |
| 色分解方式 | | CCD ラインセンサ上のフィルタ分解（R・G・B） |
| ズーム | | 50 ～ 200%（1%刻み） |
| 読み取り時間 | | （1600dpi、A4、高速モード。データ転送時間含まず）<br>モノクロ 2 値 /256 グレー：4.5msec/line<br>フルカラー：13.2msec/line |
| 画像処理機能 | 内部演算処理 | 各画素各色　14 ビット処理 |
| | ガンマ補正 * | 出力別補正：標準 5 種<br>CRT 用 2 種（A,B）<br>プリンタ用 3 種（A,B,C）<br>ユーザ定義補正テーブル設定可能（1 種） |
| | 色補正 * | 出力別補正：標準補正 4 種<br>ワイヤドットプリンタ<br>サーマルプリンタ<br>インクジェットプリンタ<br>カラーモニタ（CRT）<br>ユーザ定義補正設定可能（1 種） |
| | 明度補正 * | 7 レベル |
| | 画像処理 | 2 値出力 固定閾値（しきいち）単純 2 値出力<br>TET 処理<br>中間調処理出力（2 値、4 値出力 *）<br>平均誤差最小法中間調 3 種（A,B,C）<br>ディザ 4 種（A,B,C,D）<br>ユーザ定義ディザ 2 種（A,B）*<br>領域分離処理（AAS） |
| | インターフェイス | SCSI（高密度 50 ピンコネクタ）、USB、IEEE1394（オプション） |
| | 光源 | 高輝度冷陰極キセノンランプ |

* ハードウェア側の仕様。

## 電気的特性

| | |
|---|---|
| 電源電圧 | 定格：AC100V（AC100V ± 10%） |
| 電源周波数 | 50/60Hz（49.5 〜 60.5Hz） |
| 消費電力 | 動作時：平均 45W（オプション非装着時）<br>動作時：平均 55W（オプション装着時）<br>待機時：平均 10W |
| 絶縁抵抗 | DC500V にて 10MΩ 以上（AC ラインとシャーシ間） |
| 絶縁耐圧 | AC1.5KV rms 1 分（AC ラインとシャーシ間） |

## 適合規格

| | |
|---|---|
| 耐電磁障害 | VCCI　クラス B |
| 電源高調波 | 高調波抑制対策ガイドライン適合 |
| 環境保護 | 国際エネルギースタープログラムに適合 |

## 耐電気ノイズ

| | |
|---|---|
| 静電気 | パネル部：10kV　金属部：7kV（150PF、150Ω） |

## 環境条件

| | |
|---|---|
| 温度 | 動作時：5 〜 35 度<br>保存時：-25 〜 60 度 |
| 湿度 | 動作時：10 〜 80%（非結露）<br>保存時：10 〜 85%（非結露） |

## 使用条件

| | |
|---|---|
| 塵埃 | 一般事務所、一般家庭程度<br>異常にほこりの多いところは避けること |
| 照度 | 直射日光、光源の近くは避けること |

## 原稿条件

| | |
|---|---|
| 反射原稿 | 写真、印刷物など、表面が滑らかなもの<br>・ 原稿表面に段差がある場合（台紙に写真を貼ったときなど）、読み取った画像の段差部分に色が付くことがある<br>・ 原稿が薄い場合、裏側の画像も裏写りして取り込むことがある |
| 透過原稿 | ネガ、ポジの各フィルムを専用透過原稿ユニットで取り込む |

# 基本仕様（ES-9000H）

仕様、外観は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

## ハードウェア基本仕様

| | | |
|---|---|---|
| 型式 | | 卓上型カラーイメージスキャナ |
| 外形寸法 | | 幅 658mm ×奥行 452mm ×高さ 151mm |
| 重量 | | 約 18kg |
| 走査方式 | | ミラー移動型原稿読み取り |
| 画像読み取りセンサ | | カラー CCD ラインセンサ（完全片側読み出し方式） |
| 原稿サイズ | | A3 まで |
| 最大有効領域 | | 297mm × 432mm |
| 最大有効画素 | | 主走査 7020 画素×副走査 10200 画素（600dpi） |
| 光学解像度 | | 主走査：600dpi<br>副走査：1200dpi |
| 読取解像度 | | 25 ～ 9600dpi まで（スキャナから EPSON Scan に出力される解像度。1dpi 刻み）<br>※ EPSON Scan を使った場合、アプリケーションに出力される解像度は、50 ～ 6,400dpi（1dpi 刻み） |
| 階調 | | 各画素各色　12bit（入力）/1 または 8bit（出力） |
| 色分解方式 | | CCD ラインセンサ上のフィルタ分解（R・G・B） |
| ズーム | | 50 ～ 200%（1%刻み） |
| 読み取り時間 | | （600dpi、A3、高速モード。データ転送時間含まず）<br>モノクロ 2 値 /256 グレー：0.39msec/line<br>フルカラー：0.79msec/line |
| 画像処理機能 | 内部演算処理 | 各画素各色　12 ビット処理 |
| | ガンマ補正 * | 出力別補正：標準 5 種<br>CRT 用 2 種（A,B）<br>プリンタ用 3 種（A,B,C）<br>ユーザ定義補正テーブル設定可能（1 種） |
| | 色補正 * | 出力別補正：標準補正 4 種<br>ワイヤドットプリンタ<br>サーマルプリンタ<br>インクジェットプリンタ<br>カラーモニタ（CRT）<br>ユーザ定義補正設定可能（1 種） |
| | 明度補正 * | 7 レベル |
| | 画像処理 | 2 値出力 固定閾値（しきいち）単純 2 値出力<br>中間調処理出力（2 値）<br>ディザ 4 種（A,B,C,D）<br>ユーザ定義ディザ 2 種（A,B）* |
| | インターフェイス | Fast SCSI（高密度 50 ピンコネクタ）、Wide SCSI（高密度 68 ピンコネクタ）、IEEE1394（オプション） |
| | 光源 | 高輝度冷陰極キセノンランプ |

* ハードウェア側の仕様。

## 電気的特性

| | |
|---|---|
| 電源電圧 | 定格：AC100V（AC100V ± 10%） |

| | |
|---|---|
| 電源周波数 | 50/60Hz（49.5 〜 60.5Hz） |
| 消費電力 | 動作時：平均 65W（オプション非装着時）<br>動作時：平均 90W（オプション装着時）<br>待機時：平均 12W |
| 絶縁抵抗 | DC500V にて 10MΩ 以上（AC ラインとシャーシ間） |
| 絶縁耐圧 | AC1.2KV rms 1 分（AC ラインとシャーシ間） |

## 適合規格

| | |
|---|---|
| 耐電磁障害 | VCCI　クラス B |
| 電源高調波 | 高調波抑制対策ガイドライン適合 |
| 環境保護 | 国際エネルギースタープログラムに適合 |

## 耐電気ノイズ

| | |
|---|---|
| 静電気 | パネル部：10kV　金属部：7kV（150PF、150Ω） |

## 環境条件

| | |
|---|---|
| 温度 | 動作時：5 〜 35 度<br>保存時：-25 〜 60 度 |
| 湿度 | 動作時：10 〜 80%（非結露）<br>保存時：10 〜 85%（非結露） |

## 使用条件

| | |
|---|---|
| 塵埃 | 一般事務所、一般家庭程度<br>異常にほこりの多いところは避けること |
| 照度 | 直射日光、光源の近くは避けること |

## 原稿条件

| | |
|---|---|
| 反射原稿 | 写真、印刷物など、表面が滑らかなもの<br>・ 原稿表面に段差がある場合（台紙に写真を貼ったときなど）、読み取った画像の段差部分に色が付くことがある<br>・ 原稿が薄い場合、裏側の画像も裏写りして取り込むことがある |

# 基本仕様（ES-2200）

仕様、外観は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

## ハードウェア基本仕様

| | | |
|---|---|---|
| 型式 | | 卓上型カラーイメージスキャナ |
| 外形寸法 | | 幅 332mm ×奥行 562mm ×高さ 133mm |
| 重量 | | 約 8.5kg |
| 走査方式 | | 読み取りヘッド移動による原稿読み取り |
| 画像読み取りセンサ | | CCD ラインセンサ |
| 原稿サイズ | | A4 まで |
| 最大有効領域 | | 216mm × 297mm |
| 最大有効画素 | | 主走査 13,600 画素×副走査 18,720 画素（1600dpi） |
| 光学解像度 | | 主走査：1600dpi<br>副走査：3200dpi |
| 読取解像度 | | 50 〜 12,800dpi まで（スキャナから EPSON Scan に出力される解像度。1dpi 刻み）<br>※EPSON Scanを使った場合、アプリケーションに出力される解像度は50〜6,400dpi（1dpi 刻み）。 |
| 階調 | | 16bit（入力）/1 〜 16bit（出力） |
| 色分解方式 | | CCD ラインセンサ上のフィルタ分解（R・G・B） |
| ズーム | | 50 〜 200%（1%刻み） |
| 読み取り時間 | | （1600dpi、A4、高速モード。データ転送時間含まず）<br>モノクロ 2 値 /256 グレー：3.1msec/line<br>フルカラー：9.2msec/line |
| 画像処理機能 | 内部演算処理 | 各画素各色 16 ビット処理 |
| | ガンマ補正 * | 出力別補正：標準 5 種<br>CRT 用 2 種（A,B）<br>プリンタ用 3 種（A,B,C）<br>ユーザ定義補正テーブル設定可能（1 種） |
| | 色補正 * | 出力別補正：標準 4 種<br>ワイヤドットプリンタ<br>サーマルプリンタ<br>インクジェットプリンタ<br>カラーモニタ（CRT）<br>ユーザ定義補正設定可能（1 種） |
| | 明度補正 * | 7 レベル |
| | 画像処理 | 2 値出力 固定閾値（しきいち）単純 2 値出力<br>TET 処理<br>中間調処理出力（2 値、4 値出力 *）<br>平均誤差最小法中間調 3 種（A,B,C）<br>ディザ 4 種（A,B,C,D）<br>ユーザ定義ディザ 2 種（A,B）*<br>領域分離処理（AAS） |
| | インターフェイス | SCSI（高密度 50 ピンコネクタ）、USB、IEEE1394（オプション） |
| | 光源 | 高輝度冷陰極キセノンランプ |

* ハードウェア側の仕様。

## 電気的特性

| | |
|---|---|
| 電源電圧 | ユニバーサル電源<br>定格：AC100-120V（AC+10%、AC-10% V）<br>定格：AC220-240V（AC+10%、AC-10% V） |
| 電源周波数 | 50/60Hz（49.5 ～ 60.5Hz） |
| 消費電力 | 動作時：平均 30W（オプション非装着時）<br>動作時：平均 50W（オプション装着時）<br>待機時：平均 10W |
| 絶縁抵抗 | DC500V にて 10MΩ 以上（AC ラインとシャーシ間） |
| 絶縁耐圧 | AC1.5KV rms 1 分（AC ラインとシャーシ間） |

## 適合規格

| | |
|---|---|
| 耐電磁障害 | VCCI クラス B |
| 電源高調波 | 高調波抑制対策ガイドライン適合 |
| 環境保護 | 国際エネルギースタープログラムに適合 |

## 耐電気ノイズ

| | |
|---|---|
| 静電気 | パネル部：10kV　金属部：7kV（150PF、150Ω） |

## 環境条件

| | |
|---|---|
| 温度 | 動作時：5 ～ 35 度<br>保存時：-25 ～ 60 度 |
| 湿度 | 動作時：10 ～ 80%（非結露）<br>保存時：10 ～ 85%（非結露） |

## 使用条件

| | |
|---|---|
| 塵埃 | 一般事務所、一般家庭程度<br>異常にほこりの多いところは避けること |
| 照度 | 直射日光、光源の近くは避けること |

## 原稿条件

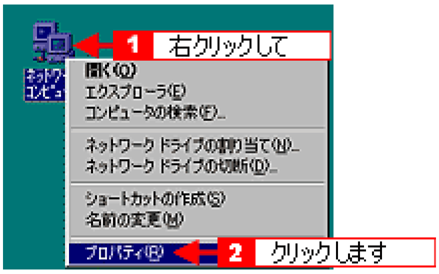
| | |
|---|---|
| 反射原稿 | 写真、印刷物など、表面が滑らかなもの<br>・ 原稿表面に段差がある場合（台紙に写真を貼ったときなど、読み取った画像の段差部分に色が付くことがある<br>・ 原稿が薄い場合、裏側の画像も裏写りして取り込むことがある |
| 透過原稿 | ネガ、ポジの各フィルムを専用透過原稿ユニットで取り込む |

# コンピュータの TCP/IP 設定（Windows 95/98/Me）

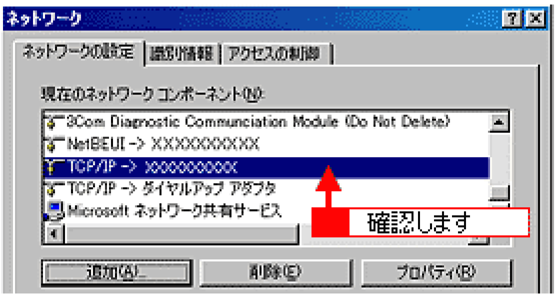
**ポイント**

TCP/IP 設定において、IP アドレスなどを設定する必要があります。IP アドレスについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
IP アドレスとは、ネットワーク上で機器を識別するための識別子のことです。
「用語集」214

1. **［ネットワークコンピュータ］または［マイネットワーク］アイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択します。**



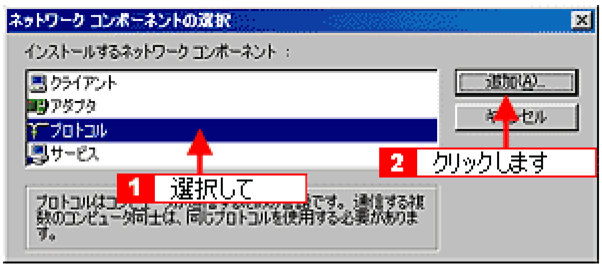

2. **［現在のネットワーク構成］または［ネットワークコンポーネント］に、［TCP/IP］があることを確認します。**




3. **［TCP/IP］がない場合は、［追加］ボタンをクリックします。**

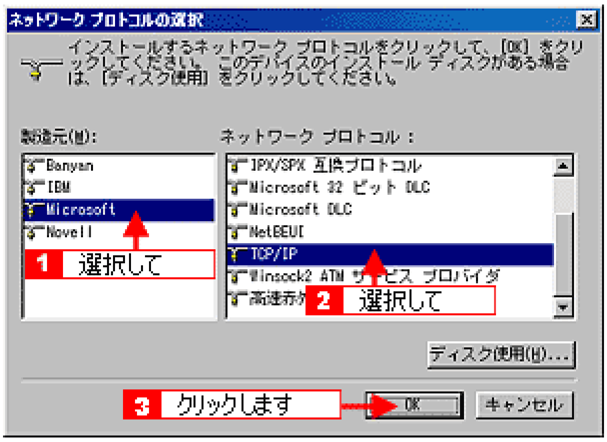
   ［TCP/IP］がある場合は、設定の必要はありません。［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

4. **［プロトコル］を選択し、［追加］ボタンをクリックします。**

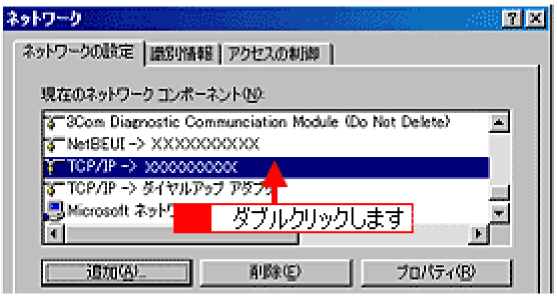



5. **［製造元］で Microsoft、［ネットワークプロトコル］で TCP/IP を選択し、［OK］ボタンをクリックします。**

   TCP/IP が追加されます。



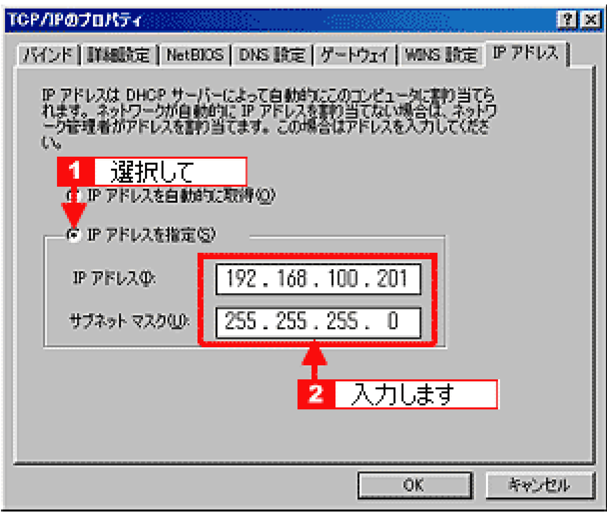

6. 追加された［TCP/IP］をダブルクリックします。




7. ［IP アドレスを指定］を選択し、IP アドレスを入力します。

IP アドレスについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。他のアドレスは、ネットワーク環境に応じて設定してください。

＜画面は例です＞




8. ［OK］ボタンをクリックします。［ネットワーク］画面に戻るので、［OK］ボタンをクリックしてください。

これで TCP/IP 設定は終了です。しばらくすると［再起動しますか？］と表示されるので、［はい］を選択してコンピュータを再起動してください。

# コンピュータの TCP/IP 設定（Windows 2000/XP）

1. ［スタート］ボタンをクリックし、［コントロールパネル］をクリックします。

   Windows 2000 の場合は、［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］をクリックします。

   Windows XP の場合

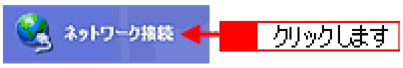



2. Windows XP の場合は、［ネットワークとインターネット接続］アイコンをクリックします。

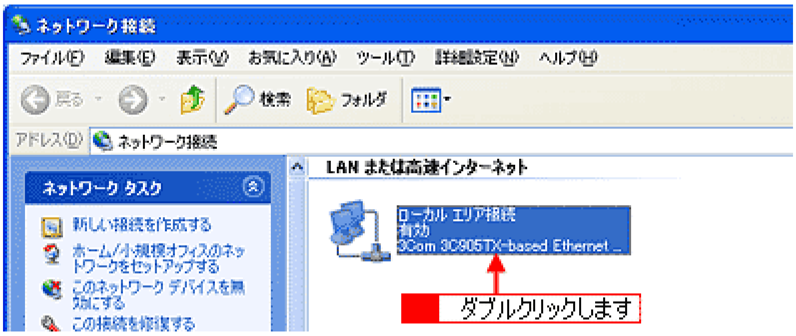



3. ［ネットワーク接続］アイコンをクリックします。

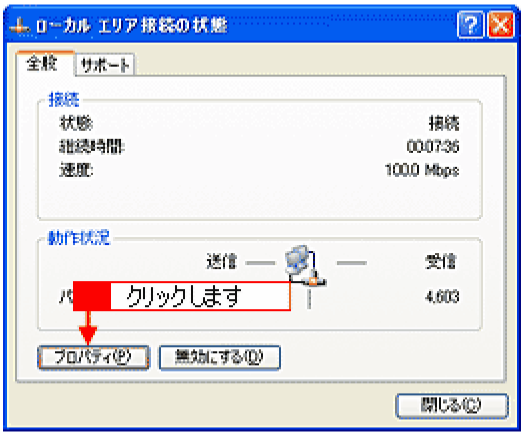
   Windows 2000 の場合は、［ネットワークとダイアルアップ接続］アイコンをダブルクリックします。



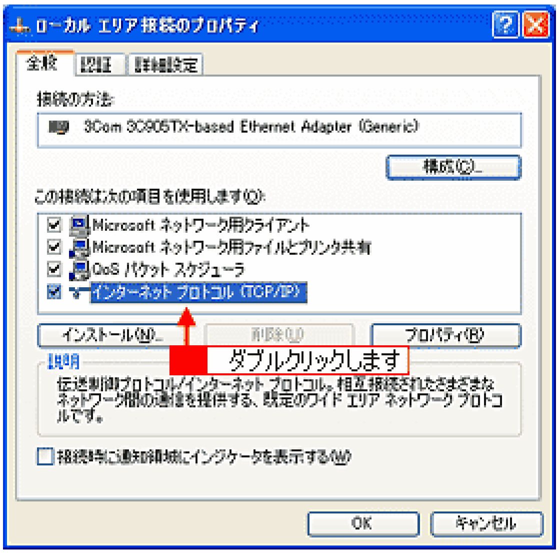

4. ［ローカルエリア接続］アイコンをダブルクリックします。




5. ［プロパティ］ボタンをクリックします。



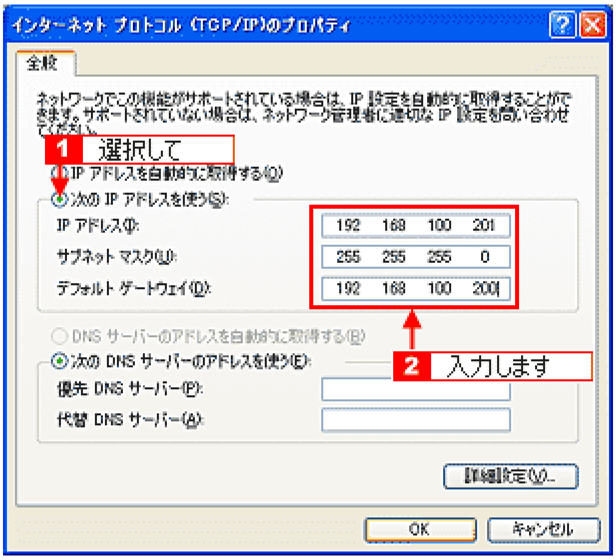

6. 表示された画面で、［インターネットプロトコル（TCP/IP）］をダブルクリックします。




7. ［IP アドレスを使う］または［次の IP アドレスを使う］を選択し、IP アドレスを入力します。

IP アドレスについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。他のアドレスは、ネットワーク環境に応じて設定してください。

＜画面は例です＞



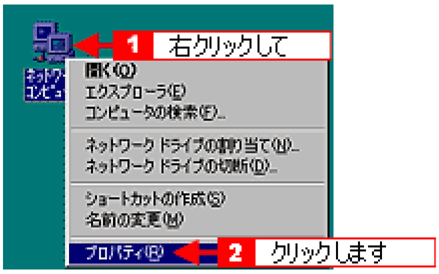

8. **[OK] ボタンをクリックします。[ローカルエリア接続のプロパティ] 画面に戻るので、[OK] ボタンをクリックしてください。**

**これで** TCP/IP **設定は終了です。**

# コンピュータの TCP/IP 設定（Windows NT4.0）

**ポイント**
設定時、Windows NT の CD-ROM が必要な場合があります。

1. ［ネットワークコンピュータ］アイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択します。



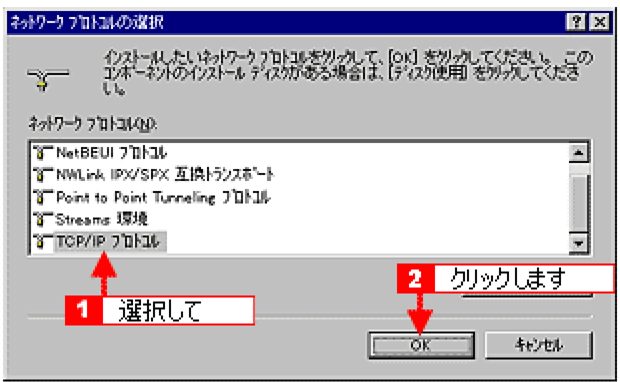

2. ［プロトコル］タブをクリックし、［ネットワークプロトコル］に［TCP/IP プロトコル］があることを確認します。




3. ［TCP/IP］がない場合は、［追加］ボタンをクリックします。

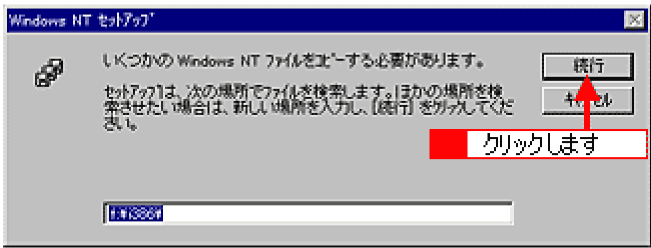
   ［TCP/IP］がある場合は、設定の必要はありません。［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

4. ［ネットワークプロトコル］で TCP/IP プロトコルを選択し、［OK］ボタンをクリックします。



**5. 下の画面が表示されたら、Windows NT4.0 の CD-ROM をセットして、［続行］ボタンをクリックします。**

下の画面は、CD-ROM ドライブが F ドライブの場合の例です。表示されたドライブ名が実際のドライブ名と異なる場合は、正しいドライブ名を入力してください。



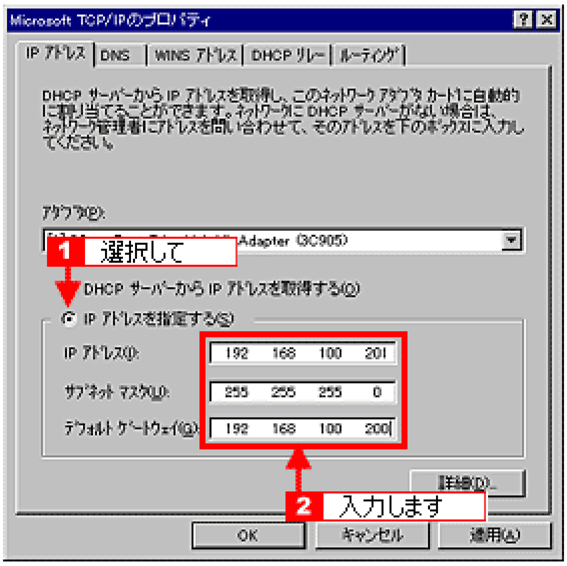

**6. ［ネットワーク］画面に戻りますので、［閉じる］ボタンをクリックします。**




**7. 下の画面が表示されますので、［IP アドレスを指定する］を選択し、IP アドレスを入力します。**

IP アドレスについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
他のアドレスは、ネットワーク環境に応じて設定してください。

＜画面は例です＞




**8.　[OK] ボタンをクリックします。**

**これで** TCP/IP **設定は終了です。しばらくすると [今すぐコンピュータを再起動しますか？] と表示されますので、[はい] を選択してコンピュータを再起動してください。**

# Windows 98 で SCSI ID（ボード）または USB ポートを変更する時は

Windows 98 環境で以下の変更をする場合は、変更前に必ずここで説明する操作を行ってください。ここでの操作を行わずに変更すると、スキャナが正常に動作しません。

- スキャナの SCSI ID または SCSI ボード（カード）を変更する場合
- USB ポート（コンピュータまたはハブのポート）を変更する場合

## Windows 98 のバージョン確認

[変更手順] で説明している手順は、Windows 98 Second Edition および、Windows 98 Service Pack 1 では必要ありません。まず、以下の手順で Windows 98 のバージョンを確認してください。

1. [マイコンピュータ] アイコンを右クリックし、[プロパティ] を選びます。
2. [全般] 画面の [システム] 項目を確認します。

   [4.10.1998] と表示される場合は、[変更手順] に従って変更してください。
   他の数値が表示される場合は、[変更手順] で説明している手順は必要ありません。

## 変更手順

1. スキャナの電源をオフにします。
2. インターフェイスケーブルを外します。
3. [コントロールパネル] - [プログラムの追加と削除]（または [アプリケーションの追加と削除]）から EPSON Scan を削除します。
4. SCSI ID（ボード）または USB ポートを変更します。
5. EPSON Scan を再インストールします。

   スタートアップガイド「ソフトウェアのインストール（Windows）」
6. インターフェイスケーブルを接続します。

# スキャナビボタンの設定

スキャナビボタンを押した時に、アプリケーションソフトを自動的に起動することができます（Windows NT4.0 を除く）。
ここでは、Windows 98/2000/Me/XP で、起動するアプリケーションを選択する手順を説明します。

**ポイント**

Mac OS 8.6 〜 9.2.x では、スキャナビボタンを押した時に起動するアプリケーションは、EPSON Scan 固定です。

1. **［スタート］ボタンをクリックし、［コントロールパネル］をクリックします。**

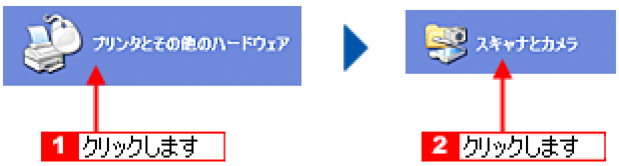
   Windows 98/Me/2000 の場合は、［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］をクリックします。

   Windows XP の場合



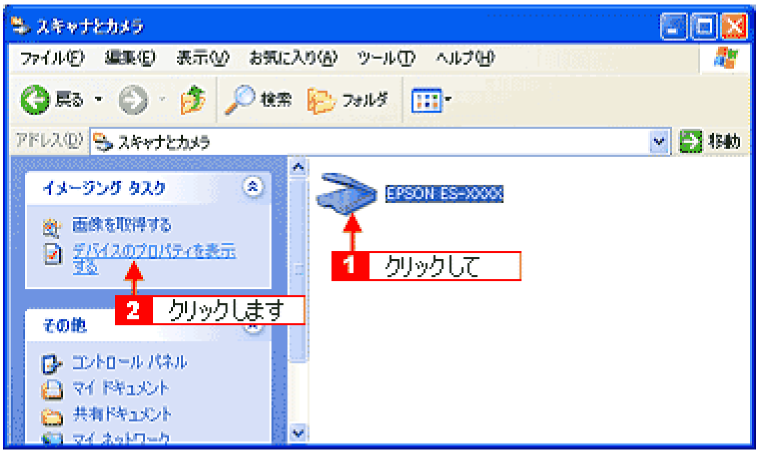

2. **［プリンタとその他のハードウェア］-［スキャナとカメラ］をクリックします。**

   Windows 98/Me/2000 の場合は［スキャナとカメラ］アイコンをダブルクリックします。

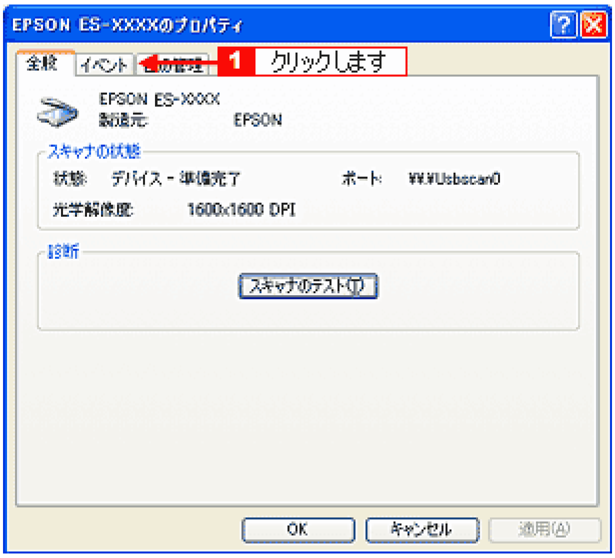



3. **お使いの機種をクリックして、［デバイスのプロパティを表示する］をクリックします。**

   Windows 98/Me/2000 の場合は、お使いの機種を選択して、［プロパティ］ボタンをクリックします。
   プロパティ画面が表示されます。




4. ［イベント］タブをクリックします。




5. ［イベントを選択してください］のリストから、［スキャナビボタン］を選択します。

Windows 98/Me/2000 の場合、［スキャナイベント］のリストから選択します。

6. ［指定したプログラムを起動する］を選択したら、［EPSON Scan］を選択して、［OK］ボタンをクリックします。




以上で設定は終了です。

ポイント

［何もしない］または［デバイスのイベントを実行しない］チェックボックスにはチェックしないでください。ここがチェックされていると、スキャナビボタンを押しても動作しません。

# ディスプレイの調整

ディスプレイ調整（モニタキャリブレーション）は、本格的に行うと非常に手間のかかる作業で、また測定機器なども必要になってきます。
ここでは、簡単な調整手順を紹介します。ディスプレイの調整方法については、お使いのディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

ポイント
出版のプロの方が使用する場合でない限り、厳密な調整をする必要はありません。

- ディスプレイの電源をオンにし、30 分以上おいてディスプレイの表示を安定させます。
- 室内の照明環境を一定にします。
  自然光は避けてなるべく一定の照明条件になるようにし、さらにフードを装着すると良いでしょう。
- ディスプレイの白調整を行います。
  ディスプレイで表示される［白］が、［真っ白］に近くなるように調整します。（印刷を前提とする場合は、［印刷に使用する紙の白］に近くなるように調整しても良いでしょう）
- ディスプレイの黒調整を行います。
  ディスプレイで表示される［黒］が、［真っ黒］に近くなるように調整します。
- ディスプレイでカラーバランスを調整できる場合は、取り込んだ画像の色が原稿に近くなるように微調整しても良いでしょう。一般的なディスプレイは、やや青みが強くなっています。
- 調整が終了したら、ディスプレイのダイヤルなどが動かないように固定します。
- Adobe Photoshop 5.0 以降をお使いの場合は、コントロールパネルの［Adobe ガンマ］を設定します。

これらの調整を行うと、一部の明るさや色あいは、原稿または印刷結果に近づけることができますが、合わない部分もあります。最も気になる部分（肌色など）を合わせ、その他の部分は多少目をつぶるくらいの気持ちで調整してください。そうでないと、時間だけを浪費することになります。

## 書籍のご案内

「カラーマネージメント !」
カラーマネージメントシステムの使いこなしテクニックが徹底解説されています。モニタキャリブレーションについても詳しく解説されています。
ISBN4-87280-336-1
発行所：株式会社 IDG コミュニケーションズ

# カラーマネージメントシステムについて

## カラーマネージメントシステムとは

スキャナ・ディスプレイ・プリンタは色の表現方法が異なり（光の三原色－ RGB と色の三原色－ CMY)、またメーカー・モデルによる違いがあるため、原画・ディスプレイ表示・印刷物の色を一致（カラーマッチング）させるには測定機器や専門知識などが必要です。

測定機器や専門知識などがなくても、機器間の色合わせを行い、原画・ディスプレイ表示・印刷物の色を近づけるためのシステムの 1 つに、ICM（Windows）または ColorSync（Macintosh）というカラーマネージメントシステムがあります。

Windows 用 EPSON Scan は ICM2.0（sRGB）に対応しています。Macintosh 用 EPSON Scan は、ColorSync2.0 以降に対応しています。
ただし、お使いのディスプレイ（印刷する場合はプリンタ）が ICM または ColorSync 以降に対応していなければ、ICM または ColorSync 以降の機能は利用できません。

## ICM ／ ColorSync を使用した取り込みから印刷までの手順

1. **モニタを調整します。詳しくは、以下の項目を参照してください。**

「ディスプレイの調整」206

モニタが正しく調整されていなければ、ICM ／ ColorSync を使用しても、またどのようなアプリケーションを使用しても、モニタ表示の色を原稿や印刷物に近付けることはできません。

2. **モニタ用のカラープロファイルをシステムに追加します。手順は次の通りです。**

Windows の場合：

(1) デスクトップ上でマウスを右クリックし、[プロパティ] を選びます。

(2) [設定] タブをクリックし、[詳細設定] ボタンをクリックします。

(3) [色の管理] タブをクリックし、お使いのモニタ用のカラープロファイルを追加します。

Macintosh の場合：

ColorSync 3.0 の場合を例に説明します。ほかのバージョンをお使いの方は、Mac OS ヘルプをご覧ください。

(1) コントロールパネルの [ColorSync ] アイコンをダブルクリックします。

(2) [プロファイル] 画面の [ディスプレイ] リストに、モニタ用のプロファイルが表示されます。これを変更するには、モニタコントロールパネルを開いて [カラー] ボタンをクリックし、リストからプロファイルを選択してください。そのほかの項目は、設定する必要はありません。

**ポイント**

- Adobe ガンマユーティリティなどを用いて独自のモニタプロファイルを作成している場合は、そのプロファイルを選択しておくとよいでしょう。
- モニタ用のカラープロファイルは、モニタのメーカーから提供されるものです。そのため、以下の内容についてはモニタのメーカーにお問い合わせください。

- お使いのモニタ用のカラープロファイルが提供されているかどうか（提供されていない場合、モニタ表示の色を原稿や印刷物に近付けることはできません）
- 提供されていれば、そのプロファイル名

3. **アプリケーションで、ICM ／ ColorSync をオン にします。**

4. **EPSON Scan の ［環境設定］で［ICM ／ ColorSync ］を選択し、ソースプロファイルとターゲットプロファイルを設定します。**

5. **画像を取り込みます。**

6. **ICM ／ ColorSync を使用して取り込んだ画像を印刷する時は、プリンタドライバで ICM ／ ColorSync を選択（オン）します。詳しくは、プリンタドライバの取扱説明書をご覧ください。**

   **この時、アプリケーションのカラーマネジメント機能はオフにしておいてください（プリンタカラー管理をオンにしてください）。**

# サービス・サポートのご案内

## サービス・サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス / サポートをご案内いたします。

### エプソンインフォメーションセンター

エプソン製品に関するご質問やご相談に電話でお答えします。

| | |
|---|---|
| 受付時間 | 「スタートアップガイド」（冊子）の裏表紙をご覧ください。 |
| 電話番号 | |

### インターネットサービス

EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。

| | |
|---|---|
| エプソン販売 WWW SERVER | http://www.i-love-epson.co.jp |

### ショールーム

エプソン製品を見て触れて操作できるショールームです。所在地については「スタートアップガイド」の裏表紙をご覧ください。

### パソコンスクール

エプソン製品の使い方、活用の仕方を講習会形式で説明する初心者向けのスクールです。
カラリオユーザーには ”より楽しく ”ビジネスユーザーには、”経費削減 ”を目的に趣味にも仕事にもエプソン製品を活かしていただけるようにお手伝いします。

| | |
|---|---|
| お問い合わせ先 | 「スタートアップガイド」（冊子）の裏表紙をご覧ください。 |

### 保守サービス

保守サービスについては、以下のページをご覧ください。
「修理に出すときは」211

# MyEPSON のご案内

「MyEPSON」とは、EPSON の会員制情報提供サービスです。

「MyEPSON」にご登録いただくと、お客様の登録内容に合わせた専用ホームページを開設してお役に立つ情報をどこよりも早く、また、さまざまなサービスを各種提供いたします。

**ポイント**

「MyEPSON 」へのユーザー登録には、インターネット接続環境（プロバイダ契約が済んでおり、かつメールアドレスを保有）が必要となります。

例えば、ご登録いただいたお客様にはこのようなサービスを提供しています。

- お客様にピッタリのおすすめ最新情報のお届け
- ご愛用の製品をもっと活用していただくためのお手伝い
- お客様の「困った！」に安心 & 充実のサポートでお応え
- 会員限定のお得なキャンペーンが盛りだくさん
- 他にもいろいろ便利な情報が満載

## すでに「MyEPSON」に登録されているお客様へ

「MyEPSON」登録がお済みで、「MyEPSON」ID とパスワードをお持ちのお客様は、本製品の「MyEPSON」への機種追加登録をお願いいたします。
追加登録していただくことで、よりお客様の環境に合ったホームページとサービスの提供が可能となります。
「MyEPSON」への新規登録、「MyEPSON」への機種追加登録は、どちらも同梱の『ソフトウェア CD-ROM』から簡単にご登録いただけます。

**ポイント**

インターネット接続環境をお持ちでない場合には、同梱のお客様情報カード（ハガキ）にてユーザー登録をお願いいたします。
ハガキでの登録情報は弊社および関連会社からお客様へのご連絡、ご案内を差し上げる際の資料とさせていただきます。
（上記「専用ホームページ」の特典は反映されません。）
今回ハガキにてご登録いただき、将来インターネット接続環境を備えられた場合には、インターネット上から再登録していただくことで上記「専用ホームページ」の特典が提供可能となります。

# 修理に出すときは

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。
詳細につきましては、お買い求めの販売店またはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

## 保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。
保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。
保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

## 保守サービスの受付窓口

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

| | |
|---|---|
| お買い求めいただいた販売店 | |
| エプソン修理センター | お問い合わせ先については、「スタートアップガイド」の裏表紙をご覧ください。 |

## 保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。使用頻度や使用目的に合わせてお選びください。詳細につきましては、お買い求めの販売店、最寄りのエプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

| 種類 | 概要 | 修理代金 | 種類 | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 保障期間内 | 保証期間外 |
| 年間保守契約 | 出張保守 | ・製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。<br>・修理のつど発生する修理代・部品代 * が無償になるため予算化ができて便利です。<br>・定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。<br>* 消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は保守対象外となります。 | 年間一定の保守料金 | |
| | 持込保守 | ・製品が故障した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預かりして修理いたします。<br>・修理のつど発生する修理代・部品代 * が無償になるため予算化ができて便利です。<br>・持込保守契約締結時に【保守契約登録票】を製品に貼付していただきます。<br>* 消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は保守対象外となります。 | 年間一定の保守料金 | |
| スポット出張修理 | | ・お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。<br>・故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。 | 無償 | 出張料<br>+ 技術料<br>+ 部品代<br>修理完了後、そのつどお支払いください |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 持込 / 送付修理 | 故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預りして修理いたします。 | 無償 | 基本料<br>+ 技術料<br>+ 部品代<br>修理完了品をお届けした時にお支払いください |
| ドア to ドアサービス | ・ 指定の運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。<br>・ 保証期間外の場合は、ドア to ドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。 | 有償<br>（ドア to ドアサービス料金のみ） | 有償<br>（ドア to ドアサービス料金 + 修理代） |

# インターネット FAQ のご案内

**インターネット FAQ は、お問い合わせの多い内容を Q&A として、エプソン販売のホームページに掲載しています。本ガイドの「トラブル対処方法」をご覧いただいても、問題が解決しない、またはわからないことがある場合は、インターネット FAQ をご覧ください。**

**ポイント**

**インターネット FAQ は、インターネットに接続していないと、ご覧になれません。**




インターネット
FAQ

2002年10月1日現在

http://www.i-love-epson.co.jp/faq/

# 付録

## 用語集

### 英数字

**API（エーピーアイ）：**

Application Program Interface の略で、アプリケーションソフトとコンピュータ（OS）の仲立ちをするもの。汎用性のある API を定めることによって、周辺装置のインターフェイスが容易に使えるようになる。TWAIN とは、スキャナを制御するための API の規格。

**bit（ビット）：**

binary digit（2進法）の略。コンピュータが扱うデータの最小単位で、0 か 1 で表す。8bit で 0 〜 255 の数値（デジタルデータ）を表すことができる。24bit カラーで取り込んだ場合、赤（R）・緑（G）・青（B）それぞれ 256 階調、トータルで約 1677 万色となる。

**I/O（アイオー）ポートアドレス：**

コンピュータと周辺装置との間で情報をやりとりするために複数の出入り口があるが、それを区別するためにつける番号のこと。キーボード、マウスなどにはあらかじめ番号が割り当てられているが、双方向パラレルなどのボードを新たに接続する場合は、これらと重複しないように番号を設定する必要がある。ハードウェア間で I/O ポートアドレスが重複すると、正常な動作ができなくなる。

**IP（アイピー）アドレス：**

IP は Internet Protocol の略。TCP/IP プロトコルによるネットワークで使われるアドレス（識別子）で、これによりネットワーク上でコンピュータを特定する。IP アドレスは数字の羅列（192.168.100.200 など）なので、インターネットの世界では、通常は分かりやすい名称（ホスト名）を使用する。

**IP アドレスの取得：**
IP アドレスは、外部との接続（インターネットへの接続・電子メールなど）を行う際には、日本ネットワークインフォメーションセンター：ＪＰＮＩＣ （h ttp://www.nic.ad.jp/i ndex-j.html ）に申請を行って正式に取得していただく必要がありますので、システム管理者にご相談ください。
なお、IP アドレスを使用するにあたって、外部との接続を将来的にも一切行なわないという条件のもとに、下記の範囲のプライベートアドレスを使用できます（RFC1918 で規定されています）。

**プライベートアドレス：**
10.0.0.1 〜 10.255.255.254
172.16.0.1 〜 172.31.255.254
192.168.0.1 〜 192.168.255.254

**OCR（オーシーアール）：**

Optical Character Recognition の略で、光学文字認識の意。印字された文字を読み取り、テキストデータ化すること。汎用のスキャナを用いる場合は、OCR ソフトが必要になる。なお、専用の光学文字認識装置の場合は、Optical Character Reader になる。

**PDF（ピーディーエフ）：**

Portable Document Format の略。電子形式書類の一種で、Acrobat Reader という無料ソフトによって閲覧できる。

**readme（リードミー）ファイル：**

ソフトウェアが納められている CD-ROM などに保存されている文書ファイルで、使用上の制限など、読んでほしい内容が書かれている。

**SCSI（スカジー）：**

SCSI とは Small Computer System Interface の略で、ハードディスク、スキャナなどの周辺機器をコンピュータに接続するためのインターフェイス規格。複数の SCSI 機器を、最大 7 台まで数珠つなぎ（デイジーチェーン）に接続可能。

**SCSI ID：**
SCSI 機器は複数接続（デイジーチェーン）可能だが、各機器を区別するために設定する番号のこと。機器間で ID 番号が重複すると、正常な動作ができなくなる。

**ターミネータ（terminator）：**
終端抵抗。SCSI などの接続において、信号が終端で反射し、戻ってくることを回避するために、終端に取り付けて信号電圧を安定させる電気抵抗のこと。

**TCP/IP（ティーシーピーアイピー）：**

TCP/IP は Transmission Control Protocol/Internet Protocol の略。コンピュータ・ネットワーク内の通信で使用される、世界的な標準プロトコルのこと。

**TWAIN（トウェイン）：**

スキャナを制御するソフトウェアのための、アプリケーションインターフェイス（API）の規格。取り込みソフトウェア自体も TWAIN と呼ばれる。

付属の EPSON Scan は、この TWAIN 規格に対応しているので、各種 TWAIN 対応ソフトから画像を直接取り込むことができる。

**USB（ユーエスビー）：**

Universal Serial Bus の略で、中速、低速向けのシリアルインターフェイスの規格の 1 つ。
コンピュータやプリンタなどの接続機器の電源が入ったまま、ケーブルの抜き差しができる。また、「USB ハブ」という機器を使用することで、規格上、同時に 127 台までの USB 対応機器を接続することができる。

**120/220：**

中型カメラ（主にプロのカメラマンが使用）に使われる、幅 60mm のロール・フィルム。一般的なフィルムは 35mm。
120/220 フィルムは、中判またはブローニ判（brownie）とも言う。

**4 × 5：**

写真館のスタジオなどにある、蛇腹のついた大型カメラに使われるフィルム。通称 ” シノゴ ”。サイズは約 102mm ｛4 インチ｝×約 127mm ｛5 インチ｝。一般的なフィルムは 35mm。

## アイウエオ

**解像度（resolution）：**

解像度には、［印刷解像度］と［画像解像度］と［表示解像度］などがある。

**印刷解像度：**
例えばカラーインクジェットプリンタでは、用紙にインクの粒を吹きつけて印刷（画像を表現）する。このインクの粒が約 25.4mm ｛1 インチ｝幅にいくつあるかを［印刷解像度］といい、単位は dpi（dot per inch）で表す。インクの粒が多いほど、画像はより精細になるが、印刷に時間がかかる。

**画像解像度：→画像を取り込むときに、EPSON Scan で設定する解像度**
画像データ自体を構成する画素（点）が約 25.4mm ｛1 インチ｝幅にいくつあるかを表すもので、単位は印刷解像度と同じく、dpi（dot per inch）で表す。画素数が多いほど画像はより精細になるが、データ量が多くなるため画像の取り込み／保存／読み込みなどに時間がかかり、また多くのメモリを必要とする。
取り込む画像の解像度は 50 ～数千 dpi まで設定可能だが、画像をプリンタで印刷する場合、画像解像度（出力機器の設定）を EPSON Scan の初期設定値以上に設定しても印刷品質は向上しない。

**表示解像度：**
画像をコンピュータのディスプレイに表示したときに、どのくらいの大きさで表示されるかを表したもので、単位はピクセル（またはドット）。ディスプレイ自体の表示能力を表すときも表示解像度を用いる。

**階調（gradation）：**

自然界の光は明から暗まで無段階にあるが、そのままではコンピュータで処理できないので、明暗を有限な段階に区切ってデータ処理する。その各段階の濃度を階調と言う。
区切りの数を階調数と言う。フルカラーでは、赤（R）・緑（G）・青（B）それぞれ 256 階調（8bit）、トータル 16,777,216 色（24bit）になる。階調の数値が高いほど画像は精細になるが、データ量が多くなるためコンピュータでの処理に時間がかかり、また多くのメモリを必要とする。

**画素（pixel）：**

画像が細かい点で構成されているとみなしたとき、それぞれの点のことを画素と言う。コンピュータでは、画素をデータに置き換えて処理する。1 画素を何ビットで表現するかにより、画像の色数や階調数が決まる。

**ガンマ（gamma）：**

画像の中間調（ミッドトーン）の明暗（濃度特性）を調整する機能。ガンマを調整することにより、暗い部分（シャドウ）や明るい部分（ハイライト）に大きな影響を与えずに、中間部分の明るさの値を変更することが可能。

**キャリッジ（carriage）：**

原稿を照射する蛍光ランプがついており、取り込み時に移動する。取り込み前のキャリッジの待機位置をホームポジションと言う。

**原色（primary color）：**

スキャナのカラー取り込みや CRT ディスプレイのカラー表示は、赤（R）、緑（G）、青（B）の光の三原色で行う。これに対し、プリンタの出力や印刷インクによる色表現は、シアン（C）、マゼンタ（M）、イエロー（Y）の色の三原色で行う。それぞれの原色は互いに補色の関係にある。プリンタや印刷機の出力では、黒色を正確に表現するために黒（K）もよく使用する。

**ストリップフィルム（strip film）：**

一般の 35mm フィルム（ネガ / ポジ）を 6 枚切りにしたフィルムのこと。

**ズーム（zoom）：**

画像を再現したときに、原稿に対して拡大または縮小されるように取り込む機能。指定した解像度に対して、ズームの分だけ、読み取る画素数が増減するので、同じ解像度の出力機器で再現したときに、結果として拡大または縮小される。

**スライドフィルム（Slide film）：**

スライド用に、ポジフィルムを 1 枚ずつ切ってプラスチックなどの枠にはさんだもの。マウントフィルム（mounted film）とも言う。

**線数（frequency）：**

スクリーン線数とも言う。画像を印刷する場合、画像にコンタクトスクリーンフィルム（に配列されている微細な網点）を重ね、網点を抜けた光をとらえることによって、画像の濃淡を網点の大小および密度に変換する（網点は中心部ほど高濃度になっており、明るい光は小さな点、暗い光は大きな点として抽出される）。
網点が約 25.4mm ｛1 インチ｝の幅に何列あるかを線数といい、単位は lpi（line per inch）で表す。線数が多いほど、画像を精細に印刷できる。
一般に、高画質なハーフトーン画像を出力するには、画像解像度を、出力に使用するスクリーン線数の 2 倍にすると良い。

**走査（scan）：**

スキャナは、原稿に光を当てて反射光を読み取り、画像などを構成する最小単位の画素に分割し、分解フィルターで色分解を行い、その色の濃淡を電気信号に変換する。この処理を走査と言う。
またスキャナは、横方向にセンサを並べ、それを縦方向に動かすことにより平面な原稿を読み取っていくが、横方向の読み取りを主走査（main scan）、縦方向の読み取りを副走査（sub scan）と言う。主走査、副走査を交互に繰り返すことにより、原稿を読み取っていく。

**ターミネータ（terminator）：**

終端抵抗。SCSI などの接続において、信号が終端で反射し、戻ってくることを回避するために、終端に取り付けて信号電圧を安定させる電気抵抗のこと。

**単純 2 値（plain bi-level）：**

中間調処理をしないで、1 ビット / 画素（白か黒か）で取り込む処理。線画、文字など階調性を必要としない画像の取り込みに適している。

**中間調処理（halftoning process）：**

画像取り込みをする際のデータ化処理の方式。取り込んだ画素を、すでに取り込んだ周囲の画素と比較しながらデータ化する。これにより、明暗のみ（2 値＝ 1 ビット / 画素）のデータにおいても、中間的な階調を擬似的に表現できる。

**チェックボックス（check box）：**

項目（機能）の有効 / 無効を設定するための四角いマーク。マウスでクリックすることにより、有効 / 無効を切り替えることができる。

**デイジーチェーン（daisy chain）：**

SCSI の説明を参照。

**ディザ処理（dithering）：**

画像の階調を 2 値のデータで表現するための手法の一種。

**ディップスイッチ：**

DIP は Dual Inline Package の略。パソコン本体や周辺機器を正常に動作させるために、動作環境の設定を行うスイッチのこと。

**ドラッグ（drag）：**

マウスボタンを押したまま、マウスを動かしてアイコンなどを移動すること。コピーなどの操作で使用する。

**ニュートンリング（newton ring.）：**

透過原稿（フィルム）の取り込みで発生する、光学的な現象。シャボン玉の表面に見える虹と同じ原理で、非常に薄い 2 層の膜があるところに発生する。（ニュートンリングは干渉縞とも言い、光の干渉で発生する）
フィルムを表裏反対（膜面をスキャナのガラス側）にして取り込むと、ガラスとフィルム面の間に感光剤の凹凸が入るため、ニュートンリングが発生しにくくなる。

**ネットワーク（Network）：**

データなどを伝送する通信網のこと。広域のネットワークを WAN （Wide Area Network ）と言い、同一建物内などのネットワークを LAN （Local Area Network ）と言う。

**ネットワーク管理者：**

サーバ（ネットワーク）を管理する人のこと。システム管理者などとも言う。

**濃度補正（tone correction）：**

濃度はトーンとも言う。スキャナで取り込んだ画像の濃度データを、トーン曲線に合わせて補正し、出力データとする機能。シャドウ、ミッドトーン（中間調）、ハイライトへと変化していくトーン曲線を補正することで、画像全体の濃度をバランス良く仕上げることができる。

**ピクセル（Pixel）：**

解像度（表示解像度）を参照。

**ヒストグラム（Histogram）：**

画像の黒（0）〜白（255）までのデータ分布（ピクセル数）をグラフで表したもの。ヒストグラムによって。画像の本来白であるべき部分が白くなっているか、黒であるべき部分が黒になっているか、などを確認できる。
EPSON Scan の［ヒストグラム調整］ダイアログでは、ヒストグラムを見ながらハイライトポイントやシャドウポイントなどを指定し、画像の明暗を最適化することができる。

**プロトコル（Protocol ）：**

異なったシステム間、ソフトウェア間で情報通信を行う場合に必要とされる、通信上のルール / 約束事 / 規約のこと。接続の開始 / 終了から電子メールの形式まで、さまざまな規約を定めている。語源は外交儀礼。

**ベース面（base side）：**

フィルムの、光沢のある面。反対側を膜面と言い、こちらに感光剤が塗布されている。（膜面は、乳剤面またはエマルジョン面とも言う）

**膜面（emulsion side）：**

ベース面の説明を参照。

**メモリ（memory）：**

データを一時的に保存する部分。例えば、ソフトウェア自体はハードディスクに保存されているが、起動するとメモリに読み込まれ、ここでさまざまな処理が行われる。ハードディスクは保存領域、メモリは作業領域と言える。
画像取り込みにもメモリを使用するため、メモリの容量が少ないと、データが収まらずにエラーが発生することがある。

**モアレ（moire）：**

**印刷におけるモアレ：**
画像を印刷する場合、画像にコンタクトスクリーンフィルム（に配列されている微細な網点）を重ね、網点を抜けた光をとらえることによって、画像の濃淡を網点の大小および密度に変換する（網点は中心部ほど高濃度になっており、明るい光は小さな点、暗い光は大きな点として抽出される。網点はハーフトーンスクリーンとも言い、網点の配列される角度をスクリーン角度と言う）。
2 色以上で印刷する場合は、それぞれの色ごとにこの処理（スクリーン処理）を行い、印刷時に再び重ねられるが、このときにそれぞれのスクリーン角度が一致（＝網点が重複）すると、モアレが発生する。

**スキャナでの画像取り込みにおけるモアレ：**
スクリーン処理された印刷物の画像は、ドット（点）の集まりで構成されている。この画像をスキャナで取り込んだときに、印刷上のドットと取り込み後にできるドットの位置が重なると、モアレが発生する。
アンシャープマスクのチェックを外したり、モアレ除去を ON にしたり、原稿の向きを変えて取り込むことによって、ドットの一致をある程度防ぐことができるが、完全に防ぐことは難しい。

# 本ガイドの見方／印刷方法

ここでは、本ガイドの使い方を記載しています。

## 本ガイドの内容をすべてご覧になりたいときは

本ガイドを起動したときに最初に表示される画面（トップページ）には、本機の基本操作、便利な取り込み機能などを表示しています。本ガイドのすべての内容をご覧いただく場合には、画面右上の［もくじ］をクリックしてください。本ガイドのもくじ（内容一覧）が表示されます。

## 表示される文字サイズが小さいときは

表示される文字サイズが小さくて本ガイドがご覧になりにくい場合には、ご使用のブラウザの機能を使って文字サイズを変更することができます。文字サイズの変更方法はブラウザの種類やバージョンにより異なりますので、詳細は各ブラウザのヘルプなどをご覧ください。

ポイント

ここでは、Microsoft Internet Explorer の場合を例にご説明します。

1. **［表示］メニューをクリックし、［文字のサイズ］（Macintosh の場合は［文字の拡大］）をクリックすると文字サイズの一覧が表示されます。**

2. **現在の文字サイズより、大きな文字サイズをクリックします。**

## 本ガイドを印刷するときは

本ガイドを印刷する場合に、いくつかの注意点があります。

- 本ガイドは、ブラウザでの表示を前提として制作してあります。
- 本ガイドを印刷した場合、本文中の表示用のオブジェクトなどが、正しく印刷されない場合があります。
- 本ガイドが複数ページに渡って印刷される場合、ページの上下で画像や文章が印刷されない個所が発生することがあります。
- ページの右側が印刷されずに切れてしまう場合は、ブラウザの［ファイル］メニュー内の［ページ設定］にて、左右の余白を 10 ミリ以下に設定してください。
- Windows の場合、ページ上の背景色などが印刷できない場合は、以下の手順に従って設定を変更してください。

1) ［表示］メニュー（Internet Explorer 5.0 の場合は［ツール］メニュー）内の［インターネットオプション］をクリックします。

2) ［詳細設定］タブをクリックしてからスクロールバーで設定項目をスクロールさせます。

3) ［印刷］の項目にある［背景の色とイメージを印刷 ...］のチェックボックスにチェックを付けて［OK］ボタンをクリックします。

- Macintosh の場合、ページ上の背景色などが印刷できない場合は、［印刷］画面下の「背景をプリント」にチェックを付けて印刷してください。

**Macintosh で Internet Explorer4.5 で印刷する場合のご注意**

以下のように設定を変更して、印刷してください。

1. **［ファイル］メニューの［用紙設定］をクリックします。**

2. **表示される［用紙設定］画面の「拡大 / 縮小率」の設定を、80%程度にします。そのほかの項目も確認し、［OK］ボタンをクリックします。**

3. **［ファイル］メニューの［プリント］をクリックします。**

4. **表示される［印刷］画面の下にあるチェックボックスの設定を確認します。**
**「プリント領域外の部分はプリントしない」または「プリント領域外の部分を別ページにプリントする」のどちらかをチェックします。**

   ［ページを縮小する］をチェックして印刷すると、印刷が始まらない場合があります。

5. **そのほかの項目も確認し、［印刷］ボタンをクリックします。**

## 本文中で使用している記号について

本文中で使用しているマークには、次のような意味があります。

| | | |
|---|---|---|
| 注意 | 注意 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。 |
| 注意 | 製品注意 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本体が損傷する可能性が想定される内容を示します。 |
| ポイント | ポイント | お取り扱い上、必ずお守りいただきたいこと（操作）、知っておいていただきたいことを記載しています。必ずお読みください。 |

## 各ボタン、ハイパーリンクについて

本文中で使用しているボタンやアイコンには、次のような意味があります。

| | | |
|---|---|---|
| トップページに戻る | トップページに戻る | 本ガイドの最初のページ（トップページ）を表示します。 |
| もくじ | もくじ | 本ガイドのもくじ（内容一覧）を表示します。 |
| 用語集 | 用語集 | 本ガイドで使用している難しい用語の解説集を表示します。 |
| 索引 | 索引 | 索引のページを表示します。 |
| << 前へ | 前へ | 現在表示している画面の前のページにジャンプします。 |
| >> 次へ | 次へ | 現在表示している画面の次のページにジャンプします。 |
| | 参照 | 関連したページへジャンプします。 |
| | スタートアップガイド | スタートアップガイドに関連事項が記載されています。 |

# 商標・表記について

## 商標について

- Adobe、Adobe Photoshop、Adobe Photoshop Elements、Acrobat は Adobe Systems Incorporated の各国での商標または登録商標です。
- PC-9801/9821 シリーズおよび PC98-NX シリーズは日本電気株式会社の商標です。
- IBM PC、DOS/V、IBM は International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。
- Apple の名称、Macintosh、PowerMacintosh、AppleTalk、EtherTalk、漢字 Talk、TrueType、iMac、Mac OS、ColorSync および FireWire は Apple Computer,Inc. の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows NT および Internet Explorer は米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
- Netscape, Netscape Navigator, Netscape ONE,Netscape の N ロゴおよび操舵輪のロゴは、米国およびその他の諸国の Netscape Communications Corporation 社の登録商標です。
- Intel、Pentium は Intel Corporation の登録商標です。
- そのほかの製品名は各社の商標または登録商標です。

## 表記について

- Microsoft(R) Windows(R) 98 operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows(R) Millennium Edition operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows NT(R) operating system Version4.0 日本語版
- Microsoft(R) Windows(R) 2000 Professional operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows XP(R)  Home Edition/Professional operating system 日本語版

以上の OS の表記について本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 98、Windows Me、Windows NT、Windows 2000、Windows XP と表記しています。

また、Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows NT、Windows XP を総称する場合は［Windows］、複数の Windows を併記する場合は［Windows 98/Me/2000］のように、Windows の表記を省略することがあります。

## EPSON Scan について

EPSON Scan is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

# 索引


***Numerics***

120 / 220 **フィルム** , 128, 145
35mm **ストリップフィルム** , 128, 145
35mm **スライドフィルム** , 128, 145
4 x 5 **インチフィルム** , 128, 145

***A***

ADF **を使用した取り込み方法** , 83

***B***

BMP **形式** , 20

***C***

ColorSync, 207

***I***

ICM, 207
IEEE1394 I/F **カード** , 121

***J***

JPEG **形式** , 20

***M***

Multi ー TIFF **形式** , 20
MyEPSON, 210

***O***

OCR, 59

***P***

PDF **形式** , 20
PICT **形式** , 20

***S***

SCSI **カード** , 202
SCSI **ケーブル** , 121
SCSI **ボード** , 202

***T***

TIFF **形式** , 20

***U***

USB **ケーブル** , 121
USB **ポート** , 202

***あ***

**明るさ** , 37
**アンシャープマスク** , 32

***い***

**イエロー** , 57
**イメージカラー** , 35
**イメージ調整** , 54, 57
**印刷線数** , 50
**インターネットサービス** , 209

***う***

**裏写りを防ぐ** , 64

### え
**エプソンインフォメーションセンター** , 209

### お
**オートドキュメントフィーダ** (ES-2200), 120
**オートドキュメントフィーダ** (ES-6000HS/8500/9000H), 120
**オフィスモード** , 12

### か
**解像度** , 34
**拡大／縮小** , 24
**拡大／縮小率** , 30
**画像ファイル形式** , 20
**画像を貼り合わせる** , 66
**カラースムージング** , 62
**カラーバランス** , 57
**カラーマネージメントシステム** , 207
**ガンマ** , 39

### く
**グレーバランス調整** , 51

### こ
**コントラスト** , 37

### さ
**彩度** , 54
**削除（アンインストール）** , 175
**サムネイル** , 74

### し
**シアン** , 57
**しきい値** , 60
**自動保存** , 71
**自動露出** , 64
**シャドウ** , 39
**修理** , 211
**出力サイズ** , 24, 28
**ショールーム** , 209

### す
**スキャナビボタン** , 203
**スケールストッパ** , 159
**ストッパ** , 160

### た
**単独起動** , 71
**端部カーブ形状変更ボタン** , 48

### と
**透過原稿ガイドの角度調整機能** , 139
**透過原稿ユニット** (ES-2200), 119
**透過原稿ユニット** (ES-8500), 119
**取り込み枠の拡大／縮小** , 16
**取り込み枠の作成** , 16
**トリミング** , 23

### に
**入力解像度** , 30

### の
**濃度** , 43
**濃度調整** , 46

### は


**排紙サポート** , 160
**ハイライト** , 39
**パソコンスクール** , 209
**反射原稿の取り込み**（ES-2200）, 156
**反射原稿の取り込み**（ES-8500）, 139


### ひ


**ヒストグラム** , 39
**ヒストグラム調整** , 44


### ふ


**フィルムホルダ** , 120
**プロフェッショナルモード** , 12


### ほ


**ホームモード** , 12
**保守サービス** , 209


### ま


**マゼンタ** , 57


### も


**モアレ** , 49
**モアレ除去フィルタ** , 49


### ゆ


**ユーザー定義サイズ** , 28
**輸送用固定ネジ** , 124, 141
**輸送用固定ノブ** , 183
**輸送用固定レバー** , 185

# 改定履歴

| Rev./Ver | 日付 | ページ | 改定内容 |
|---|---|---|---|
| 1.00 | 2002.11.22 | ALL | 新規 |